

採點ニ關シテモ各當事者ヲ督勵シテ周密ニ各答案ヲ查覈シ公平適切ノ判定ヲ下サレンコトヲ切望致候要之選拔試驗ノ問題選定並採點ノ難事タルハ各位ノ既ニ知悉セラルル所ニ有之試驗施行上固ヨリ寸毫ノ遺滲ナキコトト相信候得共改正法施行ノ初ニ當リ特ニ一層ノ御注意ヲ促シ將來ノ善例ヲ貽サレ度希望ノ餘リ一言申述候仍左ノ諸項御承知相成度大臣ノ命ニ依リ此段申進候也

一、問題ハ理解、判斷、推理等ノ素養ヲ審判スルヲ旨トシ暗記ノミニ偏スルモノヲ避クルコト 二、中學校又ハ高等女學校ニ於ケル教育ノ實狀ニ即シ、或ハ問題ノ程度高キニ失シ或ハ内容奇矯ニ亘ルカ如キヲ避ケ該教育ノ本旨ニ悖ラサルヲ旨トスルコト 三、問題ノ推敲ヲ慎重ニシ當然附スヘキ條件ヲ附セサルカ如キ粗漏ニ陥ルヲ戒ムルコト

(明治四一・五・二七各高等學校長ヘ文部次官通牒)(抄)

○小學校教員服務年限中文部省直轄諸學校臨時教員養成所入學志願者入學許可並處分ニ關スル注意

小學校教員服務年限中往々當該地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ官立諸學校ニ入學シ之カ爲ニ懲戒處分等ヲ受クル者有之候處右ハ小學校教員服務上不都合ナルノミナラス當該學校教育上ヨリ觀ルモ然ルヘカラサル次第ト被存候ニ付自今小學校教員服務義務年限内ノ者ニシテ入學志願ノ場合ニ於テハ地方長官ノ推薦ニ係ル者若ハ其ノ許可ヲ受ケタル者ニアラサレハ入學ヲ許可セラレサル様特ニ御注意相成度 追テ本文ニ該當スル事項ヲ隱蔽シテ入學ヲ許可セラレタル者有之候ハ、自今本文ノ趣旨ニ依リ相當處分相成候様致度 (明治四二・二・二七文部次官通牒)

○生徒服忌ニ關スル通牒

(明治四四・八・二八各地方長官、直轄諸學校長ヘ文部次官通牒)

服忌ノ制ハ夙ニ明治七年太政官布告第八八號ヲ以テ規定相成居候儀ニ有之候處近來小學校其ノ他諸學校ニ於テ往々其ノ生徒ノ父母祖父母等ノ死亡ニ際シテモ右ノ制度ヲ等閑ニ附スルカ如キモノモ有之ヤニ相聞エ道德教育上頗ル遺憾ノ次第ト被存候就テハ小學校及中等程度ノ諸學校等ニ於テハ自今生徒ヲシテ克ク服忌ニ關スル心得ヲ會得セシメ又之ニ丁リタル者ニ對シテ

ハ相當期間休業ヲ認許シ尙試驗ノ時期等ニ際シテハ特別ノ取扱ヲ爲ス等便宜ノ方法ヲ講シ以テ苟モ孝悌ノ至情ヲ傷ハシメザル様深ク注意スヘキ旨御示達相成度依命此段及通牒候也

○傳染病患者ニ於ケル生徒兒童ノ缺席ハ統計上授業日數短縮ト看做シ取扱方

【問】 明治三十一年本省令第二十號第四條第六條第八條ニヨリ昇校スルコトヲ得サリシ生徒兒童ノ就學ニ關スル統計上ノ取扱方ニ關シ承知致度 (某縣何)

【答】 當該生徒兒童ニ限リ授業日數ヲ短縮シタルモノト看做シ御取扱相成候方可然 (大正四・十二・二八 回答及各地方廳ヘ普通學務局通牒)

○中等程度以下ノ學校ハ此際兒童生徒ノ制服ヲ止メ便宜ノ服裝トシ質素實用ニ注意方

(大正八・十・二七各地方廳等ヘ通牒)

兒童、生徒ノ服制ニ就イテハ、先般訓令セラレタ次第モアルカ、物價騰貴ノ烈シイ今日ニ於テ一定ノ制服ヲ着用サセルコトハ父兄ノ負擔ニ影響スルトコロカ多イカラ、此際機宜ノ處置トシテ先ツ以テ中等程度以下ノ學校ニ於テハ一定ノ制服ヲ止メ洋服又ハ和服等便宜ノ服裝ヲ差支ナイコトニ省議決定致シマシタ。尙今後ハ服裝ニ就キ一層質素ヲ尙ヒ實用ヲ旨トスルコトニ注意セラレ、以上ノ趣旨ニ副フ様適宜ノ御措置ヲ望ミマス。右命ニ依ツテ通牒シマス。 追テ學校職員ノ服裝ニ就イテモ本文ノ趣旨ニ依ツテ取扱ハレタイ。

○未成年者飲酒禁止法ノ趣旨徹底方

(大正十一・五・二九各地方廳、直轄學校ヘ學校衛生課通牒)

學校生徒ノ飲酒取締ニ關シテハ明治四十二年九月文部省訓令第十二號ヲ以テ訓示ノ次第モ有之從來既ニ適宜ノ方法ヲ講セラレツアルコトト信スルモ本年三月二十九日法律第二十號ヲ以テ未成年者飲酒禁止法公布相成タルニ付テハ同法ハ學校生徒兒童ニ關係極メテ深キヲ以テ此際特ニ各學校職員生徒兒童及其家庭ニ對シ該法律ノ趣旨ヲ徹底セシメラレ度

○同一人ニシテ大學豫科、實科、專門部若クハ二箇以上ノ直轄諸學校ニ入學許可者ハ本人ノ選擇ニ依リ其ノ學校ヲ決定方

(大正一・二・二七) 發專九・五 號各大學專門學校へ各主務局通牒

今般文部省告示第五百九十一號ヲ以テ明治四十三年文部省告示第二百十三號ヲ廢止セラレタルニ付テハ之ニ關スル從前ノ通牒ハ自然其ノ效力ヲ失フコトナリ從テ自今同一人ニシテ大學豫科、實科、專門部若ハ直轄諸學校ノ中二箇以上ノモノニ入學ヲ許可セラレタルトキハ本人ノ選擇ニ依リ其ノ入學スヘキ大學豫科、實科、專門部若ハ學校ヲ決定シ得ルコトト御承知相成度

○生徒兒童戎器攜帶取締方

(大正十二・四・二六) 發普一・二・二六 號各地方長官へ文部次官通牒

今般警視廳ニ於テ別紙寫ノ通牒令發布ノ處從來生徒兒童中往々戎器ヲ攜帶スル者アリシ爲訓育上宜シカラサル結果ヲ生シタルコトアリシヲ以テ爾今修學上必要ナル場合ヲ除キテハ紙截、鉛筆削等ニ要スル程度ノ刃物ノ外ハ一切之ヲ攜帶セシメラレサル様貴管内ニ於テモ夫々各學校等ノ當事者ニ對シ篤ト御示達ノ上御取締相成様特ニ御配慮相煩度  
警視廳令第十六號

明治四十三年四月法律第五十三號銃砲火藥類取締法第十二條及明治四十四年三月勅令第十六號同法施行規則第四十八條ニ依リ短刀、匕首其ノ他之ニ類似ノ戎器ハ職務又ハ營業ノ爲ニスル場合ノ外正當ノ事由ナクシテ之ヲ攜帶スルコトヲ禁ス

○語學練習會等ニ於ケル演劇興行ニ近キ行爲監督方

(大正十三・九・三) 文部次官通牒

學生生徒ニシテ演劇的行動ヲ爲ス者ノ取締ニ關シテハ明治四十二年本省ヨリ訓令ヲ發セラレ尙過日地方長官會議ニ際シテモ特ニ本省大臣ヨリ訓示ノ次第モ有之タル處語學練習會等ニ於テ脂粉ヲ施シ假裝ヲ爲シ演劇興行ニ近キ行動ヲ爲スモノ往々有之趣此ノ如キモ固ヨリ訓令ノ精神ニ照シ不可然義ニツキ爾今貴學ニ於テモ十分御監督ノ上萬遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段通牒ス

○學校配屬將校ノ子弟轉學ノ際便宜供與方

(大正十四・五・五) 普通實業兩學務局通牒

陸軍現役將校學校配屬令ノ實施ニ依リ學校ニ配屬セラルヘキ陸軍現役將校ハ夫々順次任命セラルヘク從テ之ニ伴フ陸軍部内ノ人事異動ハ廣ク行ハル、次第ナルカ其ノ子弟ノ就學ニ關シテハ不尠憂慮スル向有之趣ヲ以テ今回陸軍省ヨリ特ニ便宜供與方申出ノ次第モ有之ニ就テハ右配屬將校等ノ子弟ニシテ貴管下中等學校等ニ轉學ヲ願出ツル者アル節ハ格別ノ便宜取計方特ニ御配慮相成度

○中等學校入學志願者資格制限撤廢方

(大正十五・三・十二) 官普四・九・〇 號各地方廳へ普通學務局通牒

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通外務省亞細亞局長ヨリ申越ノ次第有之タル處入學許可ノ際果シテ右ノ如キ制限ヲ爲ス事實アリトセハ在外日本人子弟教育上遺憾ノ義ニ付今後便宜ノ取扱相成様可然御取計相成度  
(別紙) 從來各府縣ニ於テ中等學校入學志願者激增ノ爲メ入學生募集手續上ニ關シ(本信附屬書類ノ如キ)諸種ノ規程ヲ設ケ該規程ニ適應セサルモノニアリテハ願書ヲ受理セサル向多數有之爲メニ在外指定學校卒業生ハ向學上一大蹉跌ヲ受ケ居ル折柄殊ニ最近二三年ハ各府縣共募集手續勵行ノ結果一層其打撃ヲ蒙リ在外指定各學校共卒業生ノ方途ニ迷ヒ居レルノ現狀ナル處今般在上海矢田總領事ヨリ別紙寫ノ通同地小學校長ノ諸願書相添へ國民ノ海外發展上阻害ヲ受クルコト尠ナカラサルニ依リ右入學志願者資格制限撤廢ニ關スル交渉方申越ノ次第アリタルニ付右事情御諒悉御高配ノ上何分ノ儀御回示相煩度シ

(別紙) 本件ニ關シ當地小學校長ヨリ別紙ノ通り申出アリタル處若シ斯ノ如キ制限カ事實存在スルモノトセハ在外日本人子弟ノ教育上由由敷障礙ニシテ延イテハ吾國民ノ海外發展上ニモ不尠阻害ヲ與フルモノト被存ニ付右撤廢方關係當局へ御交渉相成様御詮議アリタシ

(別紙) 右者近時内地各府縣市ニ於テ中等學校入學志願者激增ノ爲之ヲ緩和スルノ意味ニ於テカ諸種ノ制限ヲ設ケテ入學志

望者ヲ陶汰シツアル現狀ニ有之而モ如上制限令ニ依リ最モ痛手ヲ蒙ルハ在外指定學校兒童ニ有之候當上海ニハ未タ男子中等學校ノ設無ク爲ニ兒童ハ勢ヒ内地ノ中等學校ニ入學志望セサルヘカラサルノ狀態ニ有之而モ内地各府縣市ニ於テ如上ノ制限ヲ加ヘラルルニ至ツテハ殆ント其ノ方途ニ迷ハサルヘカラサルノ次第ニ候就テハ將來在外指定小學校兒童ニ限リ特別ヲ以テ内地各府縣市ノ中等學校ヘ何等ノ制限ナク入學志願シ得ル様各府縣市當局トノ御交渉方相願申上度此段及請願候也

内地各府縣市ニ於ケル制限令抜抄

- 一、同府縣市内ニ一年以上在住セル者ニ限ル
- 二、同府縣市内ニ一戸ヲ構フル者ノ子弟ニシテ自宅ヨリ通學シ得ル者ノミニ限ル
- 三、同府縣市内在住者ノ納稅義務者ノ子弟ニ限ル
- 四、同府縣市内ニ本籍ヲ有シ又ハ寄留セル者ノ子弟ニシテ學校ニ於テ適當ト認ムル確實ナル身元保證アル者ニ限ル
- 五、同府縣市内ノ優良兒童中ヨリ選抜スルコトトス
- 六、同府縣市内ノ入學志願者ニ優先權ヲ與フルコト

○運動競技會學生生徒兒童參加ニ對スル處置方

(昭和二・九・十五 文部次官通牒) 發學第四〇號

近時運動競技ノ隆興ヲ見、各種ノ運動競技會ノ多ク開催セラルルニ至レルコトハ國民體育ノ振興上效果尠ナカラサルモノアリテ之レカ健全ナル發達ヲ促スハ意義アリト雖モ動モスレハコレニ伴ヒ弊害ヲ貽ス虞ナキニアラサルヲ以テ運動競技ノ實行ニ關シテハ大正十五年文部省訓令第三號ノ趣旨ニ據リ萬全ヲ期セラルルヤウ致度特ニ全國的ノ綜合競技會ニ於ケル學生生徒兒童ノ參加ニ關シテハ自今左記ニ依リ各校ノ情況ニ應シ教育上支障ナキ場合ニ限リ可然御取計ヒ相成度尙今回全國的ノ綜合競技會タル明治神宮體育大會ニ於テハ十一月三日ヲ最終日トシテ毎二年ニ一回開催セラルルコトト相成リタルニ就テハ本通牒ニ依リ適宜御處置セラルルヤウ致度 追テ大正十五年十月二日雜學一八號明治神宮競技會學生生徒兒童參加ニ關スル件通牒ハ自然廢止セラレタルモノト御承知相成度

- 一、學生生徒ノ參加スル全國的ノ綜合競技會ハ毎二年以上ニ一回開催スルモノタルコト
- 二、中等學校以下ノ生徒兒童ノ前項ノ競技會ニ參加セシメサルコト但開催地附近ノ學校ニ在リテハコノ限ニアラサルコト

○中等學校試驗制度改正ニ對スル入學者選抜方法ニ關スル準則

(昭和二・十一・二二 文部次官通牒) 發著三〇四號

今般學校ノ入學、進級及卒業ノ試驗制度ニ關シ文部省令ノ改正並文部省訓令ノ發布有之タルニ付テハ貴管内中等學校ニ於テ第一學年ノ入學志願書ノ員數カ募集人員ニ超過シタル場合ニ於テハ右訓令ノ趣旨ヲ體シ大體左記ノ要項ニ依リ入學者ヲ選抜セシメラルル様致度尤モ本件ハ其ノ準則ヲ示スモノニシテ必スシモ劃一ヲ強フルノ旨趣ニアラス學校又ハ地方ノ情況ニ依リ必要ナル場合ニ於テハ改正ノ精神ニ反セサル限リ適當ナル選抜方法ヲ採ラシメラルルモ差支無之義ニ付御了知有之度依命此段通牒ス

- 一、中等學校第一學年入學志願者ニ就テハ出身小學校長ヲシテ當該兒童ノ小學校ニ於ケル凡ソ最終二學年ノ學業成績、身體ノ狀況、特性、其ノ他必要ナル事項(上級學校進學ニ關スル志望ノ確否、性能ノ適否、小學校卒業後ニ於ケル學歷又ハ經歷及其ノ成績等)ニ付詳細ニ調査シ志願中等學校長ニ直接其ノ意見ヲ報告セシムルコト 前項ノ外中等學校長ヨリ要求アリタルトキハ出身小學校長ヲシテ必要ナル調査書ヲ提出セシムルコト
- 二、中等學校ニ於テハ大體左ノ要項ニ依リ入學者ノ決定ヲ爲スコト但シ實業學校ニ於テハ學校又ハ學科ノ種類ニ依リ特別ノ考慮ヲ爲スコト

- イ、小學校長ノ報告ニ係ル事項ニ基キ募集員數以上適宜ノ員數ヲ考查選抜スルコト
- ロ、前號ニ依リ選抜シタル者ニ付人物考查(常識、素質、品行等ノ考查)並身體検査ヲ爲スコト但シ人物考查ニ就テハ主トシテ平易ナル口頭試問ノ方法ヲ用ヒ且小學校長ノ報告ヲ參酌スルコト
- ハ、前號ニ依リ考查選抜シタル者尙募集員數ヲ超過スルトキハ順次優良ト認ムヘキ者ヲ入學セシメ同一順位ニ在リテ優劣ヲ判定シ難キ者ニ付テハ抽籤ニ依リ入學者ヲ決定スルコト
- ニ、都市等ニア

リテハ數多ノ學校間ニ於テ聯合シテ考查ヲ行ヒ入學志願者ノ志望順位ニ依リテ入學セシムル等所謂綜合制ヲ採ルヲ可トスルコト

○高等學校試驗制度改正ニ對スル實施要項

(昭和二・十一・二二 各地方長官及高等學校長へ文部次官通牒) 發專一四一號

今般高等學校尋常科ニ於ケル入學、進級及修了ノ試驗制度並高等科ニ於ケル入學者選抜ノ制度ニ關シ高等學校規程ノ改正有之タル處右ハ大體ニ於テ中等學校ニ於ケル入學、進級及卒業ニ關スル試驗制度ノ改正ト同一方針ニ基ケルモノナルニ付本日發布ニ係ル文部省訓令第十九號ノ旨趣ヲ遵守シ之カ實施ニ付テハ大要左記要項ニ依リ萬遺漏ナキヲ期セラレ度依命此段通牒ス

一、尋常科ノ入學者選抜方法ニ關シテハ本日付發普三〇四號文部次官通牒ニ準スルコト 二、官立高等學校ニ於ケル高等科入學者選抜方法要項ハ別冊ノ通ニシテ公私立高等學校ニ於テモ右要項ニ準スルコト 三、高等學校高等科入學者選抜方法改正ノ結果トシテ中等學校ニ於テ學業成績其ノ他調査書ノ作成ヲナスコトヲ要ス而シテ其ノ報告ノ遲速ハ高等學校ニ於ケル入學者ノ決定ヲナスニ重大ナル關係アルヲ以テ十分ニ之ヲ督勵シテ期日ノ確守ヲ期セシメラレタキコト 四、官立實業專門學校ニ於ケル入學者選抜方法ニ關シテモ別冊要項ノ通改正セラタレルヲ以テ中等學校ニ於ケル學業成績其ノ他ノ調査書ノ提出ニ付テモ前項同様期日ノ確守ヲ期セシメラレタキコト

第一 入學者選抜ノ方法

一、入學者ヲ選抜スルニハ志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績ト選抜試驗ノ成績トヲ併セ考查スルコト 二、志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績ト選抜試驗ノ成績トハ對等ノ價值アルモノトシテ考查スルコト但シ昭和三年及昭和四年ニ於テハ右考查標準ニ相當對酌ヲ加フルコト 三、以上ノ外入學志願者ニ對シ口頭試問ノ方法ニ依リ性行其ノ他ニ就キ考查ヲ行フヲ得ルコト但シ志願者ノ入學前ニ在學シタル學校長ノ調査書ヲ參酌スルコト 四、身體検査ハ從前通り之ヲ行フコト

第二 選 拔 試 驗

一、各高等學校ハ同時ニ入學者選抜試驗ヲ施行スルコト 二、入學者選抜試驗ハ一回之ヲ行ヒ二班制度ヲ廢止スルコト 三、選抜試驗科目ハ三科目以內トシ各高等學校ニ於テ中學校第四學年以下ノ學年ノ必修科目中ヨリ之ヲ選定シ毎年十二月十五日マテニ文部省ニ報告シ十二月二十日前後ノ官報ヲ以テ文部省ヨリ告示スルコト但シ昭和三年及昭和四年ニ於テハ選抜試驗科目ハ四科目マテ之ヲ課スルコトアルヘシ 四、選抜試驗問題ハ各高等學校ニ於テ之ヲ作成スルコト但シ暗記ニ偏スルモノヲ避ケ理解、判斷、推理ノ能力ヲ試スヲ旨トスルコト

第三 學業成績ノ考查

一、入學志願者ハ入學試驗檢定料ヲ添へ入學願書ヲ其ノ志願學校へ直接提出シ同時ニ其ノ入學前ニ在學シタル學校長ニ其ノ旨申出ツルコト 二、前項ノ學校長ハ最終ニ學年(學校卒業者ニ在リテハ三學年)間ノ學業成績證明書並性行及身體ノ狀況ニ關スル調査書ヲ志願學校長ニ進達スルコト 必要アル場合ハ前項ノ外高等學校長ハ學校長ニ要求シテ諸種ノ調査書ヲ提出セシムルヲ得ルコト 三、試驗若ハ檢定ノ合格ニ依リ入學資格ヲ有スル志願者ニ付テハ當該試驗若ハ檢定ノ成績ハ之ヲ入學前ニ於ケル學業成績ト看做スコト但シ其ノ成績ニ付テハ相當對酌ヲ加フルヲ得ルコト 前記ノ志願者ノ入學願書ハ直接提出セシメタル上當該試驗若ハ檢定ヲ施行シタル官廳又ハ學校ニ對シ成績其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ照合スルコト 四、入學前ニ於ケル學業成績ハ各學科目別成績、平均成績及學年又ハ學級中ニ於ケル順位等ヲ參酌シテ之ヲ考查スルコト

第四 雜

一、入學者ノ選抜ヲナスタメニ行フ選抜試驗並學業成績ノ考查等ハ數個ノ學校間ニ於テ所謂綜合制ニ依リ之ヲ行フヲ得ルコト 二、公私立高等學校並北海道帝國大學豫科及東京商科大學豫科ニ於ケル入學者選抜ニ關スル規程並取扱ニ關シテハ本

案ニ準スルコト

○實業專門學校試驗制度改正ニ對スル實施要項

(昭和二十一年二月二二號)官公私立實業專門學校長へ文部次官通牒

- 一、入學者ノ選抜ハ志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績ト選抜試驗ノ成績トヲ考査シテ之ヲ決定スルコト但シ志願者ノ一部ニツキ其ノ入學前ノ學業成績ノミヲ考査シテ選抜スルヲ得ルコト
- 二、志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績ト選抜試驗ノ成績トハ對等ノ價值アルモノトシテ考査スルコト但シ昭和三年及四年ニ於テハ右考査標準ニ相當斟酌ヲ加フルコト
- 三、志願者ニ對シ人物考査(性行、素質等ノ考査)ヲ施シ得ルコト人物考査ハ口頭試問ノ方法ニ依リ之ヲ行フコト但シ志願者ノ入學前ニ在學シタル學校長ノ調查書ヲ參酌スルコト
- 四、志願者ニ對シ身體檢査ヲ施行スルコト但シ第一項但書ノ場合ニツキテハ之ヲ省略シ得ルコト
- 五、選抜試驗期日ハ大體現行ノ通りトスルコト
- 六、選抜試驗科目ハ四科目以內トシ各學校ニ於テ選定シ毎年十一月末日マテニ文部省ニ報告シ十二月二十日前後ノ官報ヲ以テ告示スルコト
- 七、選抜試驗問題ハ各學校ニ於テ之ヲ作成シ暗記ニ偏スモノヲ避ケ理解、判斷、推理ノ能力ヲ試スル旨トスルコト
- 八、志願者ハ入學檢定料ヲ添へ入學願書ヲ其ノ志願學校長ニ直接提出シ同時ニ其ノ入學前ニ在學シタル學校長ニ其ノ旨ヲ申出ツルコト
- 九、志願者ノ入學前ニ在學シタル學校長ハ最終二學年又ハ三學年間ノ學業成績證明書並性行及身體ノ狀況ニ關スル調查書ヲ志願學校長ニ進達スルコト尙志願學校長ノ要求アル場合ニハ其ノ他諸種ノ調查書ヲ提出スルコト
- 十、檢定ノ合格ニ依リ入學資格ヲ有スル志願者ニツイテハ當該檢定ノ成績ハ之ヲ入學前ノ學業成績ト看做スコト但シ其ノ成績ニ付テハ相當斟酌ヲ加フルヲ得ルコト
- 前記ノ志願者ノ入學願書ハ直接提出セシメタル上當該、檢定ヲ施行シタル官廳又ハ學校ニ成績其ノ他參考トナルベキ事項ヲ照合スルコト
- 十一、入學前ニ於ケル學業成績ハ各學科別成績、平均成績及學年又ハ學級中ニ於ケル席次等ヲ參酌シテ之ヲ考査スルコト
- 十二、公私立實業專門學校、東京帝國大學農學部實科、北海道帝國大學農學部實科、各專門部、東京商科大學專門部及各實業學校教員養成所ニ於ケル入學者選抜ニ關スル方法ハ本案ニ準スルコト

○試驗制度改正ニ對スル措置方

(昭和二十一年二月二二號)官公私立大學、專門學校長へ文部次官通牒

今般試驗制度ニ關シ文部省訓令ノ發布アリタル處右ハ從來ノ試驗制度ニ伴ツテ生セル諸種ノ弊害ヲ除去スルヲ以テ旨趣トセラルモノナルニ付貴校ニ於テモ此ノ旨趣ニ則リ右ニ準據シテ適當ニ御措置相成様致度依命此段通牒ス

○兒童生徒ノ個性尊重及職業指導實施上留意事項

(昭和二十一年二月二五號)各地方長官へ文部次官通牒

- 本日文部省訓令第二十號ヲ以テ標記ノ件訓令相成タル處右實施ニ就キテハ特ニ左記事項御留意相成度
- 一、兒童生徒ノ個性、環境等觀察調査ノ方法及記入ノ様式ニ關シテハ學校當事者ヲシテ特ニ研究工夫セシムルコト
- 一、學校當事者ヲシテ職業紹介所等トノ連絡ヲ密接ナラシムルコト
- 一、師範學校實業補習學校教員養成所等ニ於テ生徒教養上訓令ノ旨趣ニ就キ特ニ留意セシムルコト
- 一、學校職員等ニ對シ適宜個性調査ニ關スル講習ヲ爲スコト
- 一、訓令ノ旨趣ハ之ヲ父兄保護者等ニ徹底セシムルコト

○殖民地ノ專門學校入學者試驗檢定ニ於ケル科目免除ノ効力ハ相互共通ト認定ス

(昭和二十一年三月四號)文部次官通牒

朝鮮、臺灣、關東廳、樺太廳ニ於テ施行スル專門學校入學者試驗檢定ニ於テ科目免除ヲ受ケタル者ノ本省省令ニ依リ同試驗檢定受驗ノ場合ノ効力ニ關シ今般別紙通牒寫ノ通り決定致シタルニ付右御了知相成度

(別紙) 貴府(廳)專門學校入學者檢定規程ニ依リ行フ試驗檢定ニ於テ一科目又ハ數科目ニ付試驗免除ヲ受ケタル者本省省令當該檢定規程ニ依リ試驗檢定ヲ受驗スル場合ハ從來其ノ學科目免除ノ効力ヲ共通セシメサルコトニ取扱ヒ居リタル處今般大正十五年一月二十七日文部省令第五號ニ基キ其ノ適用ノ範圍ヲ推シ弘メ右學科目免除ノ効力ヲ相互共通シテ同一ニ認ムルコトニ省議決定致シタルニ付御了知相成度 (朝鮮、臺灣、關東、樺太廳宛)

○學生生徒放校除名無期停學處分及退學ノ都度通報方

(昭和二十一年三月五號)各大學專門學校へ專門學務局通牒

貴學校、學生生徒ニシテ不都合ノ行爲アリ爲ニ放校除名又ハ無期停學等ニ處セラレタル者及事由ノ如何ヲ問ハス中途退學シタル者ハ其ノ都度氏名本籍現住所及事由ノ概要ヲ具シ無遲滞御通報相成度此段通牒ニ及フ 追テ本通牒ニ抵觸スル從來ノ通牒ハ廢止サレタル義ト御含ミ相成度

○中等學校入學準備教育禁止方

(昭和四・一・二四 各地方廳へ普通學務局通牒) 發書 七

小學校ニ於ケル中等學校入學準備ノ爲メノ特別教育禁止方ニ關シテハ從來地方長官會議及學務部長會議ノ際屢々訓示セラレ又一昨年中等學校入學者選抜方法改正ノ際モ右ニ關シ訓令ヲ發セラレタル所ナルニ今尙潛カニ補習又ハ復習等ニ名ヲ濫リテ始業前或ハ放課後ニ於テ受験準備ヲ爲ス向有之ヤノ趣聞及タルニ付斯種ノ特別教育ヲ爲ササル様各小學校長ニ御通達ノ上昭和二年十一月二十二日文部省訓令第十九號ノ趣旨徹底方十分御督勵相成度 追テ地方ニ依リテハ右ニ關シ實力試驗會又ハ模擬試驗等ヲ催スモノモ有之趣ニ付兒童ヲシテ是等ノ催ニ應セザラシムル様御示達相成度

○殖民地學生ノ取扱方

(昭和四・四・十 文部次官通牒) 官專二〇〇號

大正十年五月九日發專六六號ノ外國人及殖民地人學生ノ取扱ニ關スル件ニ基キ臺灣人及朝鮮人ノ入學ニ關シテハ外國人ト同様特別ノ取扱ヲナシ來リタル處昭和四年五月一日ヨリ之ヲ外國人ノミニ限ルコトニ省議決定シタルニ付此段通牒ニ及フ

○運動競技會生徒兒童參加ニ關スル處理方

(昭和四・七・二六 各地方長官へ文部次官通牒) 發書 八五號

最近學校及一般社會ニ於テ運動競技年ト共ニ旺盛ニ赴キ精神ノ修養ト體位ノ向上トニ資スル所尠カラサルハ寔ニ喜フヘキコトニ屬ス而カモ運動競技ノコトタル其ノ效果ノ大ナルモノアルト共ニ之ニ伴フ弊害モ亦尠カラス此ノ點ニ關シテハ教育當局者ト運動競技當事者ト俱ニ深ク相警メサルヘカラサル所ニ有之從テ運動競技會ニ關シ大正十五年三月八日文部省訓令第三號ヲ以テ其ノ方針ヲ指示相成更ニ運動競技會ニ學生生徒兒童ノ參加ニ關スル件ニ就テハ昭和二年九月十五日發學四〇號ヲ以テ通牒ニ及ヒタル次第ニ有之所運動競技會ノ其ノ後穩健ナル發達ニ向ヒツツアル情況ニ鑑ミ且體育上ノ實際的手段方法ノ如キ

ハ學校當局者ヲシテ各々其ノ責任ニ於テ所信ヲ行ハシムヘキ筈ノモノナルニ依リ運動競技會ニ對スル中等學校以下ノ生徒兒童ノ參加ニ就テハ自今昭和二年九月十五日發學四〇號通牒左記第二項ニ據ラス學校ノ狀況ニ應シ學校長ニ於テ適正ナル判斷ヲ下シ生徒兒童ヲ運動競技會ニ參加セシムヘキヤ否ヤ決定セシムル様致度尤モ運動競技會ニ關シテハ其ノ長所ノ發揮ニ就テハ之ニ努ムルト共ニ之ニ伴フ弊害ニ關シテハ深ク之カ防止ニ留意シ殊ニ運動競技會ニ參加スルカ爲ニ特ニ學業ノ修得ヲ妨ケ或ハ多額ノ出費ヲ餘儀ナクセラレ或ハ品性上ニ惡影響ヲ來スカ如キコト等ニ關シテハ現ニ之カ防止取締ニ努メシメ學校長ヲシテ毅然タル態度ヲ保持シ其ノ信スル所ニ從テ事ヲ處理セシメラルル様御督勵相成度依命此段通牒ニ及フ(左記ハ前出)

○中等學校入學者選抜方法

(昭和四・十一・二八 各地方長官へ文部次官通牒) 發書 二三四號

中等學校ニ於テ入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スル場合ニ於ケル入學者選抜方法ニ關シテハ昭和二年十一月二十二日訓令第十九號及同日附通牒發普三〇四號ヲ以テ大體ノ標準ヲ定メアル處往々ニシテ其ノ解釋ヲ異ニシ時ニ情弊ヲ見ルカ如キ事例モ有之實施上遺憾尠カラサルニ付テハ右通牒第二項中イ號及ロ號ニ關シ左記ノ廣篇ト當事者ニ御示達相成平素ニ於テ準備教育ノ弊ニ陥ラス考査ニ際シテ公正ヲ失ハス克ク其ノ職責ヲ全ウスルコトヲ期セシメラルル様致度命ニ依リ此段通牒

一、入學者ハ人物考査並身體檢査ヲ行ヒ且小學校長ノ報告ヲ參酌シテ之ヲ考査選抜スルコト 一、小學校長ノ報告ニ係ル事項ノミニ基キテ入學ヲ拒否スル場合ハ到底中等學校ノ學習ニ堪ヘスト認メラルル者ニ限ルコト 一、人物考査ハ常識、素質、性行等ニ付口頭試問ノ方法ニ依リテ之ヲ行ヒ必要アル場合ニ於テハ筆記試問ノ方法ヲ加フルヲ得ルコト常識ノ考査ハ小學校ノ教科ニ基キ暗記暗誦ニ流ルルコトナク理解、推理等ノ能力ヲ判定シ得ヘキ平易ナル事項ニ付之ヲ行フコト

○新聞雜誌等ニ露擲ノ御影取扱方注意

(昭和六・三・二五 各地方長官へ文部次官通牒) 發書 三四號

天皇皇族ノ御影ノ奉掲セラレタル新聞雜誌等ノ取扱方ニ關シテハ豫テ學校ニ於テ生徒兒童ニ十分注意相成居ルコトトハ被存

モ時ニ世上ニ於テ其ノ取扱方不注意ニ流レ自然恐懼ニ堪ヘサル事態ヲ生スル虞モ有之ニ付テハ此ノ際御影ノ奉掲アル右印刷物等ニ就テハ其ノ取扱方ニ付特ニ厚ク注意ヲ加フル様學校幼稚園圖書館青年訓練所青年團少年團等ニ對シ篤ト御示達相成度

○生徒兒童ノ外國旅行スル場合ノ企劃大要等報告方

(昭和六・十二・七 文部次官通牒)  
發專一七二號

貴管内學校ノ生徒兒童ニシテ修學旅行其ノ他ノ目的ヲ以テ外國ニ旅行スル者有之際ハ夫々適宜監督相成居ルコトト思料セラ  
ルルモ爾今右ノ場合ニハ學校ノ行事タルト學校以外ノ主催タルトヲ不問其ノ所屬學校名及企劃ノ大要(目的、旅行先及日程  
生徒兒童氏名、監督ノ方法、經費額及支辨方法、授業上ノ關係等)ヲ又歸國後ハ其ノ情況ヲ其ノ都度遲滞ナク御報告相成度

○入學志願者選拔試驗ニ於ケル試驗問題選定ニ關シ注意事項

(昭和八・一・二七 文部次官通牒)  
發專一一一號

入學志願者ノ選拔ニ關スル試驗問題ノ選定ニ就テハ明治四十一年五月二十七日付申發專六四號文部次官通牒ノ次第モ有之從  
來トモ御留意相成居ル事ト被存モ試驗問題選定ノ重要性ニ鑑ミ從來ノ實績ニ徵シテ之ヲ見ルニ往々ニシテ遺憾ノ點有之ヲ以  
テ自今特ニ左記事項ニ就キ十分御注意相成萬全ヲ期セラレ度依命此段通牒ス

一、問題ハ理解、判斷、推理等ノ素養ヲ審判スルヲ旨トシ暗記ノミニ偏スルモノヲ避クルコト 一、中學校又ハ高等女學  
校ニ於ケル教育ノ實狀ニ即シ、或ハ問題ノ程度高キニ失シ、或ハ内容奇矯ニ亘ルカ如キヲ避ケ該教育ノ本旨ニ悖ラサルヲ旨  
トスルコト 一、問題ノ推敲ヲ慎重ニシ當然附スヘキ條件ヲ附セサルカ如キ粗漏ニ陥ルヲ戒ムルコト

○朝鮮人學生生徒ノ在學證明書交附取扱方

(昭和九・八・十一 文部次官通牒)  
官普一六九號

今般内務次官ヨリ朝鮮人學生生徒ニ在學證明書ヲ交附スルニ際シテハ特ニ取扱ヲ慎重ニセラレタル様申出アリタリ  
從來朝鮮人ニシテ漫然内地渡航ヲ圖ル者ハ關係官廳ニ於テ説諭防止ノ方法ヲ講シ來リタル所、最近内地諸學校ノ在學證明書  
ヲ借用改竄シ、又ハ書信ヲ以テ入學手續ヲ爲シ在學證明書ノ送付ヲ受ケ之ヲ查證トシテ内地ニ渡航シ、或ハ内地學校關係者

ノ渡航シ入學者ヲ募集スル場合偽ツテ之ニ應シ在學證明書又ハ車船賃割引證ノ即時交付ヲ受ケ、ソノ引率ノ下ニ内地ニ渡航  
後直ニ所在ヲ晦マス者等少カラス此如キハ當ニ當局ノ方針ニ背馳スルノミナラス、近時上海方面ノ不逞鮮人ノ活動敏活ヲ加  
ヘ此種ノ方法ニ依リ内地潜入ヲ企ツル虞アルニ鑑ミ、嚴戒ヲ要スルニ付テハ、特ニ取扱ヲ慎重ニシ左記ニ依リ適當方策ヲ講  
シテ萬遺漏ナキヲ期セラレ度

一、在學證明書ニハ本人ノ寫眞ヲ貼付シ之ニ印刻機等ヲ以テ契印ヲ施ス等貸與改竄ノ虞ナカラシムルコト 一、時々在學  
證明書ヲ查閱シ恒ニソノ所在ヲ確メ紛失貸與ノ暇隙ナカラシムルコト 一、在朝鮮入學志願者ニ對シテハ本人着校シ正式  
ノ手續ヲ終了スル以前ニ在學證明書又ハ車船賃割引券等ヲ送付セサルコト

○中等學校ノ入學者選拔方法

(昭和十・二・四 各地方長官ヘ文部次官通牒)  
發普一八號

中學校、高等女學校、實業學校等ニ於テ入學者選拔ノ際人物考查ノ爲ニ行フ常識考查ハ小學校ノ教科ニ基キ暗記暗誦ニ流ル  
ルコトナク理解、推理等ノ能力ヲ判定シ得ヘキ平易ナル事項ニ付之ヲナスヘキコトハ昭和四年十一月二十八日發普二三四號  
ヲ以テ依命通牒シ置キタルニ付此點ニ就テハ特ニ御注意相成居ルコトトハ存スルモ當事者ニ於テ往々ニシテ其ノ見解ヲ誤リ  
時ニ右ノ範圍ヲ超エタル難解ノ問題ヲ出シタルモノ有之ヤノ聞エアリ依ツテ本年以降各中等學校ニ於ケル口頭又ハ筆記試問  
ノ問題ハ必ス小學校ノ教科ニ基キ其ノ範圍ヲ超エサルモノヲ選定セシメ考查終了後ニ於テ其ノ問題ヲ貴廳ニ取纏メ委員ヲシ  
テ之ヲ檢閲セシムル等適當ナル方法ヲ講シ以テ不適當ト認ムルモノニ對シテハ嚴重ニ將來ヲ戒メ以テ斯ノ種弊害ヲ根絶セシ  
ムル様御措置相成度

○中等學校入學者選拔ノ際ニ於ケル問題檢閲ノ結果等報告方

(昭和十・二・七 各地方長官ヘ普通學務局通牒)  
發普一八號

本月四日發普一八號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ次官ヨリ通牒相成タルニ付テハ問題檢閲ノ結果等承知致度ニ付左記各項ヲ毎年五  
月末日マテニ本省ニ御報告相成度

一、問題檢閲ノ爲委員ヲ設ケタルトキハ其ノ組織、之ヲ設ケサル場合ハ檢閲セシメタル者ノ職名 二、問題檢閲ノ結果概評 三、問題ヲ不適當ト認メ將來ヲ戒メタルモノニ付テハ其ノ學校名、不適當ト認メタル問題(問題ハ口頭試問ニヨリタルモノト筆記試問ニヨリタルモノトニ區別スルコト)及不適當ト認メタル點

(昭和十、五、八各地方廳へ專門學務局通牒) 發專二〇〇號

○高等學校高等科入學資格試驗規程改正ニ關シ處置方

本日ノ官報ヲ以テ標記ノ件公布相成タル處右規程ニ依ル試驗學科目ノ程度ハ試驗ヲ施行スル中學校ニ於テ實施シツツアル學科課程及教授要目ニ基キ之ヲ定メ第一種課程及第二種課程ヲ併置スル場合ハ兩課程ノ何レニ據ルモ支障無之

(昭和十、十、二六各地方廳へ普通學務局通牒) 官普二七二號

○朝鮮人學生生徒ノ在學證明書ニ寫眞貼付勵行方

昭和九年八月十一日官普一六九號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ處置方通牒致置タル處今般內務省警保局長ヨリ別紙ノ通重ネテ要請有之タルニ付テハ委細右ニテ御了知ノ上可然御取計相成度尙特ニ私立學校ニツキテハ篤ト御留意相煩度爲念前同通牒ノ要項付記ス

一、在學證明書ニハ本人ノ寫眞ヲ貼付シ之ニ印刷機等ヲ以テ契印ヲ施ス等貸與、改竄ノ虞ナカラシムルコト 一、時々在學證明書ヲ查閱シ恒ニソノ所在ヲ確メ紛失貸與ノ暇隙ナカラシムルコト 一、在朝鮮入學志願者ニ對シテハ本人若校シ正式ノ手續ヲ終了スル以前ニ在學證明書又ハ車船賃割引券等ヲ送付セサルコト 一、私立學校關係者ニシテ渡鮮ノ上生徒ヲ募集スル際ニハ特ニソノ選拔監督ヲ嚴重ニシテ不正渡航ノ方便ニ利用セラレサル様注意スルコト

○滿洲國留學生指導訓育ノ趣旨

(昭和十、一、十二、二十各大學及轉學校長等へ文部次官通牒) 官專三九八號

過般滿洲國ニ於テハ留日學生ニ關スル方針ヲ確立シ各留學生本來ノ修學目的ヲ達成セシムルハ勿論特ニ其ノ訓育ニ留意シ所謂日滿一體觀ヲ把握セシメ聽テ本國ニ於ケル中堅分子トシテ指導的任務ヲ果シ兩國結合ノ楔子タラシメンコトヲ趣旨トシテ本年十一月二十五日付文化一普通合第四五四七號別紙寫ノ通依頼越ニ就イテハ委曲右ニテ御諒知ノ上其ノ希望ヲ充足セシム

ル機致度此段依命及通牒

(寫)以書翰啓上致候 陳者本國留日學生ノ指導訓育ニ關シテハ常ニ甚大ナル御高助ヲ賜リ感謝ノ至リニ奉存候今般本國側ニ於テハ更ニ其ノ指導訓育ニ萬全ヲ期シ度意向ヲ以テ其文教方針ニ基キ左記希望事項ヲ決定致候ニ就テハ日滿關係ニ鑑ミ本國ノ教育方針ヲ援助サルル意味ヲ以テ各學校ニ於テ遵守セラレ候様貴國關係各省ニ對シ御斡旋賜リ度御依頼致候右申進旁々本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬 具

一、爾今駐日滿洲國大使館下附ノ入學紹介書ヲ有セサル滿洲國人ニ對シテハ入學ヲ許可セラレサルコト 二、滿洲國留學生ニシテ留學ノ認可ヲ取消サレタルモノニハ退學ヲ命セラレタキコト 但シ駐日滿洲國大使館ハ學校側ト事前ニ協議スルコトトス 三、滿洲國留學生ノ教育ニ關シテハ日本人學生ト同様ノ取扱ヒヲナシ特ニ其ノ訓育ニ留意セラレタキコト 四、滿洲國留學生ニ對シテハ特ニ學校教練ヲ必須トシテ課スル様取計ハレタキコト

○中華民國人並滿洲國人留學生ニ對スル在學證明書ニ關スル件

(昭和十二、七、二一 文部次官通牒) 官專三三三、三四號

標記ノ件ニ關シ今般內務省警保局長ヨリ別紙寫ノ通り申越有之タルニ付テハ本邦ニ留學スル中華民國人並滿洲國人學生ニ對シ所屬學校ヨリ發給スル在學證明書(身分證明書)ニハ必ス本人ノ寫眞ヲ貼付セシメ之ニ印刷機等ヲ以テ契印ヲ施シ貸與改竄ノ虞無カラシムル等適當ノ方策ヲ講シ取締上萬遺漏無キヲ期セラレ度此段及通牒(別紙略)

○中等學校入學者選抜ニ關スル件

(昭和十二、七、二四 文部次官通牒) 發普一〇二號

中等學校ニ於ケル入學者選抜方法ニ關シテハ昭和二年以來數次訓令通牒ノ趣旨ニ則リ地方ニ於テハ其ノ實情ニ即シテ適切ナル方法ヲ考究實施シツツアルヲ認ムルモ小學校兒童ニ對スル準備教育ノ弊害ハ尙甚タシク殊ニ都市ニ於テ其ノ然ルヲ見ルハ洵ニ深憂ニ堪ヘサル次第ニ付之ニ對スル根本的方策ニ關シテハ本省ニ於テモ銳意考究スル所ナルモ差當リ入學難ノ最モ激甚ナル地方ニ於テハ速カニ適當ナル方策ヲ講シテ其ノ緩和ヲ圖ルノ要有之ニ付テハ此ノ際左記事項ノ實施ニ付格段ノ御配慮相



成度依命此段通牒ス 追テ既ニ昭和十三年度ノ入學者選抜方法ヲ具體的ニ決定セラレタル向ニ在リテハ其ノ實施上支障ナキ  
範圍ニ於テ本通牒ニ據リ考查ヲ施行相成様致度

- 一、入學者ノ選抜方法ニ關シテハ苟モ考查上ノ便宜等ニ捉ハル、コトナク專ラ兒童ノ爲テ顧念シ其ノ負擔輕減ヲ主トシテ工  
夫考案スルコト
- 二、口頭試問ハ試問スヘキ事項ノ選擇並ニ施行方法等ニ特ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ口頭試問ノ爲メノ準備教  
育ノ弊ヲ醸スカ如キコトナカラシメ又兒童ヲシテ焦躁不安ニ陥ラシムルコトナキヲ期スルコト
- 三、筆記試問ヲ加フル場  
合ニ於テハ其ノ教科目ノ數ヲ減少シ可成一科目ニ付之ヲ行フコト
- 四、兒童ノ進學指導ニ一層留意スルト共ニ學校選擇ニ  
關スル父兄ノ理解ヲ深カラシムルコト
- 五、入學志願者ノ選抜方法ハ可成速ニ之ヲ決定公表スルコト
- 六、入學願書受  
付期間ハ考查ニ支障ナキ限り之ヲ長クシ且其ノ期間ニ於テ數次ニ亘リ入學志願者數ヲ公表スルコト

(二) 小學校

○中學校高等女學校實業學校生徒高等小學校兒童授業料滯納者出席停止方 (明治三六・六・一三・栃木縣照會)

【問】 中學校高等女學校實業學校生徒又ハ高等小學校兒童ノ授業料ヲ滯納スル者アルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ處分シ得  
ヘキハ勿論ニ候得共其ノ完納ニ至ル迄ハ尙該生徒又ハ兒童ノ出席ヲ停止スルモ差支無之哉

【答】 中學校實業學校高等女學校ニ就テハ御見込ノ通ニテ可然モ高等小學校ニ就テハ兒童保護者ニ於テ授業料ヲ滯納セシノ  
故ヲ以テ兒童ノ出席ヲ停止スルハ然ルヘカラサル儀ト存候 追テ本文停止ノ場合ハ學則ニ規定セラレヘキ儀ニ候  
(明治三六・六・三〇・普通學務局回答)

○小學校兒童學用品其ノ他ノ費用節約方

(明治四五・六・二一・普通學務局通牒)

近時小學校兒童ノ使用スル學用品其ノ他ノ費用漸次増加ノ傾向アリ之カ爲ニ保護者ノ負擔ヲ重カラシメ兒童ノ就學及出席ヲ  
困難ナラシムル場合モ尠カラサル趣ニ有之候處右ハ教育普及上甚遺憾ノ次第ト存候ニ付相當取締ノ方法ヲ設ケ是等ノ費用ヲ

節約セシメ成ルヘク就學及出席ヲ便ナラシムル様此際特ニ御配慮相成度依命此段及通牒候也

○小學校兒童中物價騰貴ニ伴ヒ缺席スル者等ノ爲保護救濟方

(明治四五・六・二十・普通學務局通牒)

近來米穀其ノ他一般物價ノ騰貴ニ伴ヒ小學校兒童中往々食物缺乏等ノ爲缺席又ハ缺課スル者有之趣ニ相聞ヘ候處此ノ如キハ  
教育上甚遺憾ノ次第ト被存候ニ付市町村費又ハ有志者ノ寄附金等ヲ以テ兒童ニ晝食及學用品ヲ給スル等便宜ノ方法ヲ設ケ此  
等不幸ノ兒童ヲ保護救濟スルト同時ニ課外ニ於テ適宜其ノ地方ニ適切ナル作業ヲ爲サシメ幾分ノ學資ヲ得シムル等相當ノ方  
法ヲ講シ以テ兒童ノ出席ヲ獎勵シ教育ノ效果ヲ減セシメサル様此際特ニ御配慮相成度 追テ教育基金令第八條ニ依リ教育資  
金ノ一部ヲ以テ本文學齡兒童保護ニ關スル經費ヲ補助セラル、ハ勿論差支無之ニ付必要ニ應シ相當補助相成候様致度尙本件  
ニ關シ特ニ御施設相成候事項ハ即時御報告相成度此段申添候也

○外國人ノ兒童小學校ニ入學ハ便宜處理方

(大正二・四・二二・熊本縣照會) (大正二・五・十三・普通學務局回答)

【問】 外國人ノ兒童ニシテ小學校ニ入學ヲ志望セル場合ニ於ケル取扱ニ關シテハ規定ノ設ケラレタルモノ無之様存候處右、  
場合ハ如何措置シ可然哉差掛リタル儀有之候條此段及照會候也

【答】 右ニ就テハ別段ノ規定モ無之ニ付貴官ニ於テ便宜處理セシメラレ候様致度 追テ東京市其他ニ於テモ本文ノ場合ハ便  
宜ニ依リ本邦ノ兒童ト同様ニ教授致居候様ノ情況ニ有之候

○小學校兒童ノ紙幣偽造取締ニ關シ注意方

(大正九・三・五各地方長官へ普通學務局通牒)

近時小學校兒童ニシテ紙幣若ハ兌換券ヲ偽造シ又ハ偽造シタル紙幣兌換券ノ知情行使ヲ爲ス事例往々有之候處今般福岡縣知  
事ヨリ管下小學校ニ於テ實習用トシテ兒童ニ模造紙幣ヲ提供セシメタル件其ノ他ニ關シ別紙ノ通報告有之本件ハ明治二十七  
年文部省訓令第五號ノ趣旨ニ背反スルノミナラス自然犯行ヲ誘發スルノ原因トモ可相成存候間是等ノコト無之様當該關係ノ  
向ニ對シ相當注意方御配慮相煩度候也(別紙略)

○外國人兒童ノ小學校入學取扱方

(昭和七・七・十八各地方廳へ普通學務局通牒) 官普一三〇號

國籍法第二十條ノ二ノ規定ニ依リ日本ノ國籍ヲ失ヒタル兒童ニシテ我カ國ノ小學校ニ入學ヲ志望スル者アル場合ニ就テハ之カ取扱方ニ關シ別段ノ規定無之ニ付右ノ場合ハ可成便宜取扱ノ上本邦人ト同様ニ教授相成様御取計相成度

○兒童生徒ノ就學入學年齡取締方

(昭和八・三・十七各地方廳へ普通學務局通牒) 發普三八號

小學校及中等諸學校ニ就學又ハ入學スル者ノ年齡ニ關シテハ夫々明記セラレ又ハ自ラ定マレルトコロアルハ言フヲ要セサル儀ナルニ拘ラス實際ニ於テハ往々其ノ年齡ニ達セサル者ヲシテ就學又ハ入學セシメタル事例モ有之右ハ規定ノ趣旨ニ反スルノミナラス教育上ニ及ホス影響モ尠カラス甚タ遺憾ノ次第ナルニ付テハ爾今斯カルコト無カラシムル様致度爲念通牒ス

○小學校高等科兒童編入方

(昭和八・八・十茨城縣照會) (昭和八・十・三普通學務局回答) 學發第二四八號 英普二五號

〔問〕 小學校令第十六條ニ依ル私立學校ノ認可ヲ經ス民家ニ兒童ヲ收容シ教員無資格者一名(中學校卒業ニシテ經驗ナキモノ)小學校裁縫專科正教員資格者一名ヲ以テ所謂高等科第一學年ノ教科ヲ履修セシメタリト云フ兒童ヲ公立小學校高等科第二學年ニ編入申出有之候處右ハ市町村長ノ認可モ經サルカ故小學校令第三十六條ニ依ル家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムルノ規定ニモ準シ難キヲ以テ編入不可然ト被認候得共或ハ學校長ニ於テ高等小學校第一學年修了程度ヲ檢定考査ノ上入學セシメ可然哉聊疑義有之候ニ付何分ノ御指示相成度

〔答〕 右ハ尋常小學校ノ教科ヲ修了シタル者又ハ學齡期ヲ終リタル者ナル場合ハ學力等ヲ檢定考査ノ上適宜措置セラレ差支無之

○尋常小學校第四學年終了者中等學校入學取扱方

(昭和八・八・二六新潟縣古志郡上北谷村役場照會)

〔問〕 尋常小學四學年ヲ終了シタルノミニシテ未タ義務教育就學齡期中ニアル男子カ尋常小學卒業シタルモノ又ハ之ト同等

ノ學力ヲ有スル男子ノ入學ヲ許可スル縣立中學校若クハ縣立實業學校ニ入學許可ヲ得ルヤ否ヤ

〔答〕 右ハ年齡十二年以上ノ者ナル場合ハ學力檢定ノ上入學ヲ許可シ得ル儀ニ付御了知相成度 (昭和八・九・二八普通學務局回答)

(三) 中學校高等女學校

○中學校生徒再入學編入方

(明治三二・九・九福島縣照會) (明治三二・九・十五專門學務局回答)

〔問〕 本年六月文部省令第三十三號ヲ以テ中學校生徒入退學及表簿ニ關スル規則ヲ發セラレ候處一旦退學シタル生徒ニシテ再ヒ入學ヲ請フ者アルトキハ同一學年ニ入學ヲ許スヲ得ヘキ義トハ存候ヘトモ明文モ無之疑義ニ涉リ候ニ付御意見承知致度此段及照會候也

〔答〕 右ハ學校ニ於テ審査ノ上同一學年又ハ其以下相當ノ學年へ便宜編入相成可然此段及回答候也

○中學校へ不具者入學許可方

(明治三三・三・九山口縣照會) (專門學務局回答) 明治三三・三・二二各地方廳へ通牒 三丁九一號 子專甲七六九號

〔問〕 本縣中學校來學年入學志望者中左記ノ如キ不具者有之右等ハ到底入學ヲ許スモ兵式體操等ヲ課スル能ハサルニ付右ハ教科ヲ修ムルニ耐ヘサルモノトシ入學ヲ許ス可カラサル乎若シ之ニ入學ヲ許サストセハ既ニ入學中ノモノニシテ右ニ該當ノモノヲ生シタルトキハ退學ヲ命スヘキカ此邊ニ付至急何分ノ御省議承知致度此段及照會候也

〔答〕 右ハ入學ヲ許可セラレ可然尤モ卒業證書ニハ體操ノ一部若クハ全部ヲ缺キタルコトヲ附記スルコト、セラレ度

○心臟病ニ罹レル高等女學校生徒ハ體操科免除卒業認定方

(明治三六・三・十三福岡縣照會)

〔問〕 管下高等女學校生徒中心臟病ノ爲體操科ヲ修ムル能ハサル者有之候處右ハ明治三十三年子專甲第七六九號ノ御移牒ニ準シ同學科ヲ免除シ卒業セシメ可然乎差當リ疑義ニ涉リ候條至急御回答相煩シ度此段及問合候也

【答】 心臟病ニ罹リタル高等女學校生徒ニ體操科免除ノ上卒業ヲ認ムルモ差支ナシ (電信)

(明治三六・六・十八・普通學務局回答)

○中學校及高等女學校選拔試驗及第者中傳染病患者ハ一旦入學許可傳染ノ虞ナシト認ムルマテ出席停止方

【問】 中學校及高等女學校入學志願者中染病者ト認メタルトキハ假令選拔試驗ニ及第シタル者ト雖モ入學ヲ許可セサルモ差支無之候哉又校令施行規則中學力試驗ノ規定有之候ヘ共身體ニ關シテハ何等明文無之候ニ付テハ一旦入學ヲ許可シ傳染ノ虞ナシト認ムルマテ出席ヲ停止スヘキモノニ候哉少シク疑義相生シ候條折返シ何分ノ御回答ヲ煩シ度  
【答】 傳染ノ虞ナシト認ムルマテ出席ヲ停止スヘキモノニ候哉少シク疑義相生シ候條折返シ何分ノ御回答ヲ煩シ度  
【問】 右ハ後段ノ如ク處分相成可然但シ學則中ニ前段ノ如キ規定ヲ設クルモ差支無之候 (明治三七・四・一・普通學務局回答)

○中學校補習科生徒在學期間

(明治三七・一・二六・埼玉縣照會) (明治三七・二・一七・普通學務局回答)

【問】 本縣立中學校補習科ノ期間ハ每學年四月ヨリ九月マテ六箇月間ニ有之候ニ付テハ四學年ニ涉リ同科ニ在學セシムルモ中學校令施行規則第五十條第二項ニ抵觸セサル儀ト被存候得共聊疑義ニ涉リ候間御意見承知致度  
【答】 右ハ然ルヘカラサル儀ニ候條此段及回答候也

○中學校生徒懲戒放校處分方

(明治三七・六・二八・愛媛縣照會) (明治三七・七・五・普通學務局回答)

【問】 中學校令施行規則第五十一條ニ依レハ品行不良ニシテ改善ノ見込ナキ者ハ懲戒處分ニ依ラスシテ單ニ退學ヲ命スヘキコト、相成居候處右ハ學校生徒ニ對スル懲戒ノ目的ハ畢竟不行爲ナル生徒ノ後來ヲ規正スルニ外ナラサルノ主旨ヲ明ニセラレタル儀ト被存候就テハ中學校生徒ニシテ偶然不都合ナル所爲アリ其情狀重クシテ在學ヲ許シ難ク且改善ノ見

込立チ難キ者ハ前條ニ依リ退學處分ヲ爲スノ外決シテ同則第五十三條ニ依リ懲戒ノ名義ヲ以テ放校處分ヲ爲シ能ハサルモノト相心得居候處右ニテ差支無之候哉爲念及御問合候條至急何分ノ御回報相煩度候

【答】 中學校生徒退學處分ニ關スル件五一條ニヨリ懲戒處分トシテ放校ヲ命スルコトヲ得 (電信)

○外國人ノ子女縣立高等女學校ニ入學志望者ハ知事限リ處分方

(明治三七・三・二五・香川縣照會)

【問】 外國人ノ子女ニシテ本縣立高等女學校ニ入學志望ノ者有之場合ニ於テ右等子女ニ入學ヲ許可スルモ邦語ニ通セサルカ爲或ル學科目ハ全ク學習シ得サル義ニ付其希望ノ學科目ニ限り之ヲ學習セシムルモ差支無之候哉當地方ノ如キハ外國人ニ相當教育ヲ施スノ學校無之候間成ルヘクハ入學ノ便宜ヲ與ヘ候方然ルヘクト存候ヘトモ御指示煩度  
【答】 右ハ貴官限リ便宜御處分相成可然 (明治三七・四・四・普通學務局回答)

○中學校生徒在學ノ儘他學校入學試驗ニ應セントスル者ノ取扱方

(明治三九・六・二六・普通學務局通牒)

【問】 中學校生徒ニシテ在學ノ儘他學校ノ入學試驗ニ應セントスル者ニ對シ往々嚴重ナル取締ヲナシ退學シタル上ニアラサレハ之ニ應スルヲ得サルコトニ取扱ヒ居ル向モ有之候哉ニ候處右ハ學校管理上ノ必要ニ出テタルハ勿論ノ義ト存候得共一方ヨリイヘハ生徒將來ノ方向ニモ至大ノ關係ヲ及ボスヘキ義ニ付正當ノ希望ト認メ得ヘク且管理上甚シキ差支ヲ生セサル限リハ在學ノ儘他學校ノ入學試驗ニ應スルヲ得シムル様致度依命此段及通牒候也

○高等女學校生徒ヲ實科高等女學校ニ入學セシムルハ轉學ノ手續ニ依ラス試驗ニ依ルヘシ

【問】 高等女學校生徒ニシテ實科高等女學校ニ轉入學ヲ願出テタルモノアルトキハ轉學ノ手續ニ依リ試驗ヲ行ハスシテ同一學年ニ編入致シ候ヒテ差支無之候哉 (明治四四・七・三・私立善通寺實科高等女學校何)

【答】 右ニ關シ貴管下私立善通寺實科高等女學校長ヨリ伺出有之候處右ハ學科課程ヲ異ニスルモノニ付轉學ノ手續ニ依ルヘキモノニ無之候 追テ本項ニ關シテハ兩校ノ學科課程對照ノ上同等以上ノ程度ト認ムヘキ學科目ニ對シテハ便宜試

驗ヲ省略スルモ差支無之候條是亦御傳達相成度此段申添候也 (明治四四・七・十・普通學務局回答)

○中學校生徒ノ休學ハ兵役關係以外ノ事項ト雖モ學則ニ規定アル場合ハ許可差支ナシ

【問】 中學校生徒ニシテ正當ノ事由アラハ兵役關係以外ノ場合ニモ休學ヲ許可差支ナキヤ (電文)

【答】 右ハ學則中ニ於テ相當規定アル場合ニ於テハ一箇年以内ニ於テ休學許可差支無之候 追テ中學校令施行規則第五十條ノ二ニ依リ休學ハ同施行規則第五十一條第三號ノ缺席ト認ムルノ旨趣ニ無之候ヘ共其ノ他ノ休學日數ハ右第三號ノ關係ニ於テハ缺席日數ニ通算スヘキモノニ有之候 (明治四五・一・十九・普通學務局回答)

○中學校入學志願者中尋常小學校卒業者ニ對スル選抜試驗ハ或者ニ限リ學科試驗ヲ省略スルヲ得ス

【問】 中學校令施行規則第四十二條第三項ニハ單ニ「尋常小學校ヲ卒業シタル者ノ數入學ヲ許スヘキ人員ニ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ選抜スヘシ」トアリテ試驗ノ方法ニ關シテハ何等ノ制限ヲ設ケサルヲ以テ全部ニ對シ劃一的方法ニ依リ學科試驗ヲ行ハストモ尋常小學校優等卒業生ニシテ學科試驗ヲ要セスト認メタル者ニ對シテハ他ノ受験者ト區別シ特ニ體格試驗及口頭試驗ノミヲ以テ選抜スルモ該規定ノ解釋上別段差支無之義ト被存候ヘ共爲念一應御意見承知致度候條至急何分ノ義御回答相煩度 (大正七・八・二・新潟縣照會)

【答】 右ハ入學志願者全體ニ對シ一様ニ試驗ヲ施行スヘキモノニシテ或ル者ニ限リ特ニ學科試驗ヲ省略スルカ如キコトハ認メラレサル省議ニ付御了知相成度 (大正七・九・七・普通學務局回答)

○中學校生徒實彈射擊演習ニ關シ注意方 (長野縣照會) (大正十一・六・二・內務省警保局、普通學務局通達)

【問】 長野中學校三、四、五年生徒約四百名ノ實彈射擊演習ノ爲使用スル村田銃實包三千發ノ讓受許可出願アリタル處右ハ規律アル學校職員監督ノモトニ行フモノナルヲ以テ他ニ危害ヲ及スカ如キ事ハ無之ト思料候モ空包ヲ使用スル發火演習等トハ自然趣ヲ異ニスルモノニシテ保安上之カ許否ニ關シ聊カ疑義相生候條至急何分ノ意見承知致度

【答】 本件ハ官公署ノ火藥類ノ讓受ニ付テハ許可ノ形式ヲ要セサルモノニ有之候處中學校三年生程度ノ心身ノ發育不充分且銃器ノ操法未熟練ノモノニ對シ實彈射擊演習ヲ爲サシムルハ危險物取扱上自然慎重周到ノ用意ヲ缺キ危險豫防及保護上ヨリ見ルモ穩當ナラサル様被認候尙四、五年生ノ實彈射擊演習ニ在リテモ陸軍ノ射擊場ニ於テ當該陸軍官憲ノ監督指導ノ下ニ於テ實施スル様御取計相成度候

○中學校在學生ノ服役ニ際シ在學ノ儘卒業試驗合格者ハ卒業差支ナシ (大正十五・十一・一・奈良縣照會)

【問】 中學校在學生徒ニシテ兵役ニ服スル者ニ對シテハ中學校令施行規則第五十條ノ二ニ於テ學校長ハ其ノ期間休學ヲ許可スヘク規定有之候處右服役者カ第五學年生ナルトキハ其ノ入營期ハ一月上旬ニシテ卒業期ハ二月末日ニ有之其ノ間僅ニ二ヶ月ニ過キサルニ休學スルニ於テハ其ノ服役ヲ終ル迄卒業シ得サル不便有之候ニ就テハ此際本人ヨリハ休學ヲ願出ツルコトナク在學ノ儘服役シ卒業試驗ヲ受ケ合格スルニ於テハ之ヲ卒業セシムルコトハ別段差支無之哉

○高等學校高等科第一學年在學者ノ中學校第五學年轉入學ハ許可スルヲ得ス (昭和二・五・兵庫縣三田中學校照會)

【問】 七年制高等學校高等科第一學年ニ在學若クハ三年制高等學校一學年ニ在學ノ者ヲ中學校第五學年級ニ轉入學許可シ得ヘキカ

【答】 右ハ許可シ得サルモノト御了知相成度 (昭和二・四・五・普通學務局回答)

○中學校生徒米國へ修學旅行ノ取扱方 (昭和二・五・二一和歌山縣照會) (昭和二・六・一六普通學務局回答)

【問】 左記計畫ノ通り本縣立和歌山中學校生徒ヲ米國へ修學旅行致サセ度處本件ニ關スル取扱規程無之候ニ付一般ノ修學旅行ト同様ニ取扱ヒ可然哉至急何分ノ御指揮相成度此段稟候候也

一、目的 暑中休暇ヲ利用シ北米合衆國西海岸地方ヲ見學セシメ生徒ノ見聞ヲ擴充シ海外雄飛ノ意氣ヲ鼓舞セシメ

ントス同海岸ハ本縣人ノ最モ多數ニ發展活動シ居ル地方ニシテ本校生徒ヲシテ其ノ實況ヲ見學セシムルハ頗ル有益ナル事ト信ス尙米國ハイスタール生徒ト行フ二回ノ野球試合ニ於テ彼我青年カ純真ナルスポーツニ依リ日米親善交情ノ實ヲ擧ケ得ハ國際的ニモ甚タ有意義ナルヲ認ムルニ依ル

二、旅行先及日程 別紙ノ通り(略)

三、旅行スヘキ生徒 十二名

四、生徒監督ノ方法 學校長及囑託教員ノ二名付添監督ノ責ニ任ス

五、經費 大阪毎日新聞社カ其ノ主催ニ依ル全國選抜中等學校野球大會ニ優勝シタル同校選手十二名及監督一名ヲ渡米セシメントスルモノニシテ之レニ要スル一切ノ費用ハ同社ノ負擔ニ屬シ尙生徒ノ制服、制帽、靴、カバン並ニ若干ノ小遣金等ニ至ルマテ同社ニ於テ之ヲ支給シ生徒ノ父兄ヲシテ些ノ負擔ナカラシムルモノナリ

六、其ノ他旅行ノ爲生徒ノ欠課スヘキ第一學期末約二週間分ノ授業ハ第二學期中ニ於テ特ニ補修セシムル策ヲ立テ居レリ

【答】 右ノ旅行ハ差支ナキモ一般ノ修學旅行ト同様ニ取扱フハ適當ナラサル義ニ付御了知相成度 追テ右生徒ノ缺課セル學課ニ付テハ特ニ適當ノ方法ヲ講シ之ヲ補修セシムル様御取計相成度

○中學校高等女學校試驗制度改正ニ對シ學則中生徒ノ入學等ニ關スル事項改正ノ場合ノ處理方

(昭和二・二・二六普通學務局通牒)  
發普三二六號

本月二十二日文部省令第二十六號同第二十七號ヲ以テ中學校令施行規則並高等女學校令施行規則中ニ改正ヲ加ヘラレ又文部省訓令第十九號ヲ以テ右ニ關スル訓令ヲ發セラレタルニ付テハ從來中等學校高等女學校ノ入學者選抜ニ關シ本省ノ認可ヲ得テ徵收セル入學試驗料等ハ自今入等考査料ト見做シ更メテ認可ノ手續ヲ要セサルニ付御了知相成度(後略)

○中學校第二學年以上入學取扱ニ關スル中學校令施行規則中ノ疑義

(昭和三・二・二一東京府へ普通學務局通牒)  
東普七四號

【問】 中學校令施行規則第四十四條第二項 「前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ」ト有之候處當該學年トハ例ヘハ第三學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第二學年ノ程度ニ於テ檢定シテ差支無之候哉又ハ第一、二學年ノ各

學科目ニ就キ檢定スヘキモノニ候ヤ疑義ヲ生シ候間何分ノ御指令仰キ度此段及御伺候也

【答】 貴管下私立大成中學校長ヨリ標記ノ件ニ關シ別紙ノ通伺出有之タル處中學校令施行規則第四十四條第二項ノ當該學年ノ程度トハ入學セシムヘキ學年ノ生徒ノ履修シタル學力ノ程度ヲ指シタル義ニ付此旨御示達相成度 追テ本規定改正ノ主旨ハ從來ノ如ク前各學年ノ程度ニ於テ各學科目ニ就キ試驗スルノ必要ヲ認メサルヲ以テ改正セラレタル義ニ付御了知相成度

○日系米人中學校高等女學校等入學取扱方

(昭和一〇・二・一九熊本縣照會) (昭和一〇・二・二六普通學務局回答)

【問】 公立中學校高等女學校又ハ中學校高等女學校ニ類スル各種學校トシテ認定ヲ受ケタル學校ニ「本邦ニ籍ヲ有セサル日系米人ニシテ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ尋常小學校卒業ト同等以上ノ學力アリト認メラル者」ヲ本邦人子弟同様ニ入學許可セシメタキモ差支無之哉

【答】 右ハ中學校令施行規則第三十九條及高等女學校令施行規則第四十一條ニ依ル檢定ニ合格シタル者ハ入學セシメ差支無之

(四) 師範學校

○茨城縣女子師範學校生徒病氣ノ爲メ身體ノ一部缺損者ハ在學卒業及小學校教員免許狀ニ缺科ヲ記載セサルモ差支ナシ

【問】 一、本縣女子師範學校生徒ニシテ目下第三學年ノ者去明治三十九年五月大腿下端膿瘍症ニ罹リ延テ膝關節炎ヲ續發シ早速治癒難致ニ依リ昨一學年間休學ヲ命シ專ラ治療爲致候處數回手術ノ結果漸ク全治致候ニ付本學年ニ至リ休學ヲ解除シ教養中ノ處骨端面癒著ノ爲メ右膝關節屈折不十分ニシテ修身ノ内作法及體操ヲ課スル能ハサルモ元來本人儀ハ品行方正人物成績共ニ佳良ニシテ身體ニ於テモ單ニ膝關節強直ノミナルヲ以テ今後強制的成形手術ヲ施サハ或ハ漸次屈

伸ノ自由ヲ得ルニ至ルヘキカト被存候其ノ他ノ缺點ナク營養佳良頗ル健全ニシテ將來有望ノ者ニ有之候間此儘在學セシメ卒業セシムルモ差支無之哉 二、若シ卒業セシムルモ差支無之トセハ小學校教員免許狀ハ修身科ノ内作法及體操科ヲ缺ク旨ヲ記載シ授與致候テ可然哉 (明治四一・六・二五・茨城縣照會)

【答】 一、御意見ノ通 二、免許狀ニ關シテハ體操科等ヲ缺ク旨記載セサルモ差支ナシ (明治四一・八・八・普通學務局回答)

○東京府青山師範學校附屬小學校へ外國兒童入學ハ知事限リ處分 (明治四二・九・二三・東京府知事稟申)

【問】 本府青山師範學校附屬小學校へ外國兒童ヲ入學爲致度候ニ付御認可相成度此段稟申候也

【答】 右ハ貴官限リ便宜御處分相成可然ト存候 (明治四二・一〇・一九・普通學務局長通牒)

○師範學校生徒修學旅行ノ爲上京ノ場合開申及届出方 (明治四二・四・一三 西發普一五六號)

師範學校生徒修學旅行ノ爲メ上京ノ者有之候處自今右ノ場合ニハ其ノ生徒數、滯京期日、引率職員氏名等豫メ當該師範學校長ヨリ直接本省ニ開申セシメ尙著京ノ上ハ引率者ヨリ旅館等届出シムル様夫々貴管内師範學校ニ御示達相成度

○師範學校入學志願者中退隱料ヲ受クル權利ヲ有スル者ノ遺子ニ特別ノ便宜ヲ與ヘ差支ナシ

【問】 過般貴省令第六號ヲ以テ御改正相成候師範學校規程第五十四條ノ二ノ一號及二號ハ正面ノ解釋トシテハ現ニ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ナラサルヘカラサルカ如ク被認候へ共同規程及本月八日發普八二號御通牒ノ御精神ヨリセハ右該當者死亡ノ場合ニハ其遺子ニ對シテモ同様特別ノ便宜ヲ與ヘ差支無之哉 (明治四二・三・二三・岩手縣照會)

【答】 右ハ後段御意見ノ通ト存候 (明治四二・三・二三・普通學務局回答)

○師範學校規程第五十四條ノ二第三號十五箇年以上在職ハ勤務年數ヲ通算ス

【問】 明治四十年文部省令第十二號師範學校規程第五十四條ノ二第三號ニ十五箇年以上(中路)訓導ノ職ニ在ル者トアルハ十五年以上勤續シ居ルモノノミヲ指シタル義ナリヤ將勤續セサルモ勤務年數ヲ算シテ十五年以上ニ及ヒ現ニ在職シ居

ルモノモ前者同様職ニ在ル者トシテ取扱差支無之候哉 (明治四三・一〇・二〇・熊本縣照會)

【答】 右ハ後段御意見ノ通ト存候 (明治四三・一〇・三一・普通學務局回答)

○市町村立小學校教員又ハ師範學校訓導ノ職ニ在リタル者ニシテ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ノ子ニ支給スル學資ハ其ノ父死亡シタル場合ニ於テモ繼續支給差支ナシ

【問】 當府師範學校生徒中師範學校規程第五十九條ノ二ニ依リテ學資ノ支給ヲ受クルモノ其在學中同規程第五十四條ノ二ノ該當者タル父死亡セル場合ニ於ケル學資ノ給否ニツキテハ何等ノ明文ナキモ多年教員ノ職ニ在リタル者ノ子女特待ノ精神ニ依リ學資ノ支給ヲ繼續シ可然哉 (明治四四・一〇・一八・大阪府照會)

【答】 御意見ノ通ニ有之候 (明治四四・一〇・二〇・普通學務局回答)

○師範學校規程ニ依ル生徒入學上ノ特權ニ關スル疑義 (大正七・二・五 長野縣照會) (野普一六號 普通學務局回答)

【問】 一、師範學校規程第五十四條ノ二第一項第一號乃至第三號及第二項該當者ノ子ニシテ他家ニ入り又ハ分家シ父ト同一戸籍内ニ在ラサルトキト雖モ尙五十四條ノ二第一項ニ依ル特權ヲ有スヘキモノナルヤ 二、同條第一項第一號又ハ第三號ノ年數中ニ教育事務ニ從事スル文官ノ年數ヲモ通算シ得ルヤ

【答】 一、父ト同一戸籍内ニ在ル者ニ限ル 二、教育事務ニ從事スル文官ノ年數ヲ通算スヘキ筋ニアラス

(五) 實業學校

○外國人ノ公立實業學校ニ中途入學ハ缺員アレハ許可差支ナシ (明治四〇・一〇・一 佐賀縣照會)

【問】 公立實業學校へ外國人入學ノ儀ハ當該學校長ニ於テ便宜可取計旨去ル明治三十三年七月中費局ヨリ靜岡縣へ御通牒ノ旨モ有之候處右入學時期ニ付テハ當該學校ノ規定ニ拘ハラス其始期ニ於テセス中途入學ノ儀モ教育上差支サル限リ許可シ差支ナキヤ差懸リ疑義ヲ生シ居リ候條乍御手數電報ヲ以テ何分ノ御指示ニ預度此段及照會候也

【答】 缺員アレハ中途入學ヲ許スモ差支ナシ (電信) (明治四〇・二〇・七・實業事務局回答)

○商 專門學校入學試驗科目中ニ「國史」ヲ加フル儀周知方

(昭和九・九・一 發實五二號 各地方廳へ實業事務局通牒)

本年度ニ於テ官公立高等商業學校長協議ノ結果爾後官立及公立高等商業學校(東京商科大學附屬商學專門部及同附屬商業教員養成所並大阪商科大學高等商業部ヲ含ム)ノ入學試驗ニ際シテハ試驗學科目中ニ「國史」ヲ加フルコトトシ明年度ヨリ之ヲ實施スルコトニ決定相成リタルニ付貴管下中等學校ニ周知セシムル様可然御取計相成度

第十三 卒業生

(一) 小學校 實業補習學校

○小學校卒業者ノ上級學校選擇ニ就キ指導方

(昭和七・一・十 各地方長官へ文部次官通牒) 發實三三號

小學校卒業者ニシテ上級學校ニ進ムモノ逐年増加ノ傾向ニ在ルハ喜フヘキ所ナリト雖從來動モスレハ自己ノ性能環境ヲ顧ミス漫ニ中學校高等女學校ヲ志望スルノ風アリ小學校當事者ニ於テモ兒童ノ實業學校ヲ志望シタル場合ニ於テスラ往々強ヒテ中學校高等女學校ニ入學ヲ勸奨シ斯ノ風ヲ助長スルノ嫌アルハ遺憾ノ義ニ有之殊ニ我國現下ノ産業經濟ノ情勢ニ照シ又國民將來ノ生業ニ鑑ミ一層實業教育ノ振興ヲ圖ルノ要アル次第ニ付管下小學校職員ヲシテ能ク這般ノ事情ヲ了得セシメ昭和二年文部省訓令第二十號ノ趣旨ニ基キ一層兒童ノ學校選擇ニ關シ適正ナル指導ヲ與ヘ特ニ中等學校卒業後實務ニ就カシムルヲ適當ト認ムルカ如キ者ニ對シテハ實業學校入學ヲ勸奨セシムルヤウ此際十分御配慮相成度此段依命通牒ス

○實業補習學校卒業者ハ專門學校入學ニ關スル指定上ノ實業學校中ニ包含セス

【問】 大正十三年三月十二日文部省告示第九號ヲ以テ男子實業學校卒業者及女子實業學校卒業者ニ對シ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定相成候處右實業學校中ニハ此等ト修業年限ヲ同シクスル實業補習學校ヲモ包含セラルルモノニ有之候哉(大正一三・三・三一・大阪府知事照會)  
【答】 右告示中ノ實業學校中ニハ實業補習學校ヲ包含セサル義ニ候(大正一三・四・二・實業事務局回答)

(二) 師範學校

○師範學校卒業生學費償還金滯納處分方

(明治三三・三・九 埼玉縣照會) 五發二二三七號

【問】 明治二十五年七月文部省令第十一號師範學校卒業生服務規則第六條ニ依ル學費償還金ヲ定期内ニ納メサル者ニ對シ府縣制第十六條第二項ニ依リ國稅滯納處分ヲ行フコトヲ得サルモノニ候哉至念何分ノ御回答相煩度此段及照會候也

(內務省地方局回答)

○師範學校卒業生服務規則第二條ノ義務未了者小學校以外ノ公立學校教員ニ任用方

【問】 師範學校卒業生ニシテ其節ニ就職五年未滿ノモノ資格ヲ有スルトキハ他ノ公立學校教員ニ任用スルヲ得ルヤ(電信)

【答】 右ハ差支アリ (電信) (明治三三・五・二三 福島縣へ普通學務局回答)

○師範學校卒業生服務規則第一條ノ公職ト學務委員トノ關係

【問】 師範學校卒業生服務規則第一條ノ公職中ニ名譽職學務委員モ含ムヤ (電信) (明治三三・七・一九 福井縣會)

【答】 師範學校卒業生服務規則第一條ノ公職中ニハ學務委員ヲ含マス (電信) (明治三三・八・八 指令)

○師範學校卒業生服務義務アル小學校教員休職滿期後ノ義務(千葉縣會)

(明治三三・九・二十 普通學務局回答) 子普甲二四六〇號

【問】 師範學校卒業生ニシテ小學校教員在職中休職ヲ命セラレ其期間滿了自然退職トナリタルモノハ縦ヒ猶ホ服務義務年限アリト雖トモ當然其義務ヲ免除シタルモノト心得可然哉

【答】 右ハ二十五年當省令第十一號第四條ニ依ルノ外ハ其義務ヲ免除シタルモノト認ムヘキ限ニ無之

○師範學校卒業生服務年限中懲戒或職者學費償還方 (明治三四・三・二〇 福井縣會)

【問】 師範學校卒業生服務年限中之者ニ對シ免職ニ處シタル場合ニ於テ其免職ノ事由擅ニ任地ヲ離レ職務ヲ曠廢シタル者ナルトキハ爾ハレナク服務ノ義務ヲ盡サ、ル者トシテ師範學校卒業生服務規則第六條第一ニ依リ學費ノ幾部ヲ償還セシムルコトヲ得ルヤ將タ服務ノ義務ハ依然存在スルモノトシ學費ヲ償還セシムルコトヲ得スヤ

【答】 師範學校卒業生學費償還ニ關スル件ハ前段御見込ノ通 (電信) (明治三四・三・三十 普通學務局回答)

○師範學校卒業生服務年限中ノ小學校教員私立學校教職ニ就ク爲退職不設議方

【問】 本縣某郡某尋常小學校訓導某本縣師範學校卒業生ニシテ明治二十七年四月以來今日マテ七箇年餘小學校訓導勤續ノ者今般管内私立高等女學校教員ニ採用ノ答ニ付退職ヲ命シ度小學校令施行規則第二百二十七條ニ依リ御指揮ヲ請ヒ候也

【答】 本人ハ師範學校卒業生服務年限中ノ者ニ有之候ニ付私立學校ノ教職ニ就クコトハ服務規則第一條但書ノ趣旨ニ副ハサルニ依リ設議難相成候 (明治三四・一・二三 熊本縣へ普通學務局通牒)

○在外國居留地本邦人設立學校教員應聘ノ場合師範學校卒業生休職處分ハ服務義務ノ了否ヲ區別セス

【問】 本月六日付發普一七八號ヲ以テ清韓國等ニ於ケル本邦官廳又ハ居留地等ヨリ教員聘用方申出ノ場合ニ關シ御通牒相成候處師範學校卒業生ニシテ服務義務未了ノモノト雖右ノ場合ニ當リ特ニ休職ノ上申致候トキハ御認可相成ルヘキ儀ニ有之候哉將タ服務規則第二條ノ義務ヲ了リタルト否トニ依リ御設議振テ異ニセラル、次第ニモ候哉 (高知縣照會)

【答】 右ハ本省ニ於テハ該服務規則第二條ノ義務ヲ了リタルト否トヲ區別セサル見込 (明治三九・六・二一 普通學務局回答)

○師範學校卒業生徵兵忌避ニ依リ處刑セラレタルハ師範教育上遺憾ニ付訓育上注意方

師範學校卒業生中六週間現役ヲ免レントスル者アル儀ニ就テハ客年三月二十九日官普二七號ヲ以テ通牒ノ次第モ有之候ニ付相當御注意相成候儀ト存候處陸軍省ノ調査ニ依レハ四十三年度體格檢査ノ際左記ノ事實有之候趣範ヲ生徒ニ示スヘキ教員ニシテ此ノ如キ行爲アルハ教育上頗ル遺憾ノ次第ニ付各本人ニ對シ嚴重戒飭ヲ加ヘラルルハ勿論師範學校ニ於テハ一層訓育ニ留意シ卒業生ヲシテ自今右等ノ心得違ナカラシムル様篤ト學校長へ御示達相成其ノ狀況御報告有之度依命此段及通牒候也 (明治四四・四・二八 各地方長官へ文部次官通牒)



○師範學校卒業生東京市内及其ノ附近就職者ニシテ監督官廳ノ入學承認證明書ヲ有スル者ノ私立日本大學高等師範部へ入學方

(大正二・一・一六 東京府へ普通學務局通牒) 雜普三五四號

今般私立日本大學ヨリ同校高等師範部ニ入學セントスル師範學校卒業生ノ取扱方ニ關シ別紙ノ通直接本省ニ伺出候處右伺書中ノ「監督者ニ於テ」トアルヲ「監督官廳ニ於テ」ト更正シ伺ノ通特ニ聽置カレ候條御了知ノ上其旨同大學へ御傳達相成度此段及通牒候也

師範學校卒業生ニシテ當校高等師範部ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ明治三十二年御省令第二十五號第九條第二項ニ依リ服務義務終了ニ關スル地方長官ノ證明書ヲ願書ニ添付セシムヘキ規定ニ有之候處右高等師範部ハ概テ夜間ニ於テ教授スルノ例ニ有之候ニ付師範學校卒業生ニシテ東京市内及其附近ニ就職シ居ル者ハ縱令當校ニ入學スルモ其服務義務ヲ盡スニ於テ何等ノ支障ナキハ明瞭ナル事實ニ有之候就テハ入學志願者ニ對シ監督者ニ於テ本校入學ヲ承認シ其證明ヲ願書ニ添付シタル場合ハ東京市内及其附近就職者ニ限リ服務義務終了ニ關スル地方長官ノ證明書ニ準シ取扱候様致度候條特ニ御聽置相成度此段及稟申候也(私立日本大學伺書)

○師範學校卒業生ヲ乙種程度ノ實業學校教員ニ任用ハ小學校ニ任用ノ見込ナキ場合ハ差支ナシ

【問】 師範學校卒業生モ追々増加ノ折柄實業學校振興上特ニ必要有之候ニ付第二部卒業生(實業學校出身者ニ限ル)ヲシテ直ニ乙種程度ノ實業學校ニ任命シ普通學科ヲ擔任致サシメ度師範學校規程第六十一條但書ノ規程モ有之候ヘ共及伺候【答】 右ハ小學校ニ任用スヘキ御見込無之場合ハ差支無之(大正三・二・二一 長野縣へ普通學務局回答)

○師範學校公費卒業生服務期間制定方ニ關スル注意

(大正四・四・二 發普一三〇號 各地方廳へ普通學務局通牒)

曩ニ文部省令第五號ヲ以テ師範學校規程第六十三條改正相成候ニ就テハ同條第二項ニ依リ學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業生ノ服務期間ヲ定メラルヘキ儀ト存候處右ノ場合ハ大體左記事項御參考ノ上適當ノ期間ヲ定メ認可方御申請相成候様致

度爲念此段及通牒候也

第六十一條ノ服務期間

- 一、各學年ヲ通シテ食費及被服費ノ全額ノ凡四分ノ一ヲ給セラレタル者 四箇年
  - 二、同凡四分ノ二ヲ給セラレタル者 五箇年
  - 三、同凡四分ノ三ヲ給セラレタル者 六箇年
- 第六十二條ノ服務期間
- 一、各學年ヲ通シテ食費及被服費ノ全額ノ凡四分ノ一ヲ給セラレタル者 一箇年
  - 二、同凡四分ノ二ヨリ凡四分ノ三マテヲ給セラレタル者 二箇年

附記 第二部卒業生又ハ前各項ニ該當セサル者ノ服務期間ハ前各項ニ準シテ便宜之ヲ定ムルコト

○師範學校卒業生ノ學資償還ニ關スル疑義

(昭和六・二・二七 長崎縣照會) (昭和六・五・五 普通學務局回答) 五數報第一三七〇號

【問】 府縣知事ニ於テ小學校令施行規則第二百二十七條ニ依リ退職ヲ命シタルモノニ對シテハ師範學校規程第六十六條前段ニ依リ服務義務ヲ盡ス能ハサル事由ヲ生シタルモノトシテ服務義務ヲ免除シ更ニ同規程第六十七條第四號ニ依リ學費ノ償還ヲ命シ得ルモノト解セララルモ聊カ疑義ニ涉リ候條至急何分ノ御回示相煩度

【答】 小學校令施行規則第二百二十七條ニ依リ退職ヲ命シタル者ニ就テハ師範學校規程第六十六條ノ適用ナキヲ以テ同第六十七條第四號ニ依リ學資及授業費ヲ償還セシムヘキ限ニ無之ニ付御了知相成度

# 第十四 兵 役

## (一) 總 規

### ○一年志願兵出願後取消願出ノ場合取扱方

(明治三〇・一一・九各地方廳、直轄學校へ高等、普通、兩學務局、實業教育局通牒)

徵兵令第十三條第一項ニ掲クル學校中甲ノ學校ヲ卒業シ更ニ高等ナル乙ノ學校ニ入學後乙學校長ノ證明書ヲ添ヘ其曩ニ差出シタル一年志願兵取消願出否ノ義ニ付疑義ニ涉リ候件頃日陸軍省へ打合候處同省ニ於テハ別紙ノ通第二師團參謀長ノ質疑ニ對シ回答有之趣ニ候條右爲御參考此段及御通牒候也

【問】一年志願兵志願者ニシテ體格検査ニ合格シ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業シ又ハ陸軍試驗委員ノ試驗ニ及第シ一年志願兵認定證書附與前ニ於テ官立學校へ入校ノ爲メ右志願取消ノ旨願出ノ者アルトキ其取扱方別ニ明文モ無之候得共右ハ認定證書附與前ナルヲ以テ一年志願兵ノ資格ヲ有セサル者ニ付キ願意許可スルモ差支無之儀ト存候得共聊カ變修 涉リ候條此段及質議候也 (明治三〇・一八・第二師團參謀長質疑)

【答】右ハ認定證書附與前後ニ保ハラス願意許可相成可然候 (明治三〇・一五・陸軍省軍務局步兵課回答)

### ○學校長ノ證明書ヲ以テ一年志願兵志願ノ場合延期取扱方

(明治三〇・一一・二四直轄學校へ高等、普通、兩學務局、實業教育局通牒)

陸軍一年志願兵志願者ニシテ一月三十一日迄ニ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其年十月三十一日迄ニ卒業スヘキ者ニ限リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換フルコトヲ得ヘキモノニ有之候處今般當省大臣ヨリ右期限延期ノ儀別紙甲號ノ通陸軍大臣へ照會相成候處別紙乙號ノ通承認ノ旨回答有之候ニ付爲御心得此段及御通牒候也

【問】(甲號寫)陸軍一年志願兵志願者ニシテ一月三十一日迄ニ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其年十月三十一日迄ニ卒業スヘキ者ニ限リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換フルコトヲ得ヘキ儀ハ陸軍一年志願兵條例第九條ノ明文ニ有之候處當省直轄高等學校醫學部ノ儀ハ卒業試問ノ期毎年九月第四週ノ月曜日ヨリ始ムル規定ニシテ實地試問ノ如キハ數組ニ區分スルヲ以テ十月中ニ結了致兼候モノモ有之折角ノ志願兵出願者モ其組ニ依テハ僅少ノ時日相後レ候爲メ志願ヲ取消シ更ニ翌年ニ至リ出願セサルヲ得サル次第ニテ甚タ遺憾ノ至ニ付右等ノ者ハ當該醫學部主事ノ證明ニ依リ十一月十五日マテ卒業届出延期ヲ許可セラル、様致度且又他ノ當省直轄學校ニ於テモ右ト同一ノ場合有之候節ハ同シク延期ノ許可相成候様致度此段及御照會候也 文部大臣照會 (明治三〇・一一・一三・西高甲五三號)

【答】(乙號寫)陸軍一年志願兵志願者中學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換ヘ出願シタル者十月三十一日後卒業スル場合ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ十一月十五日日前ニ於テ卒業試問ヲ結了シ入營期ヲ後レサル者ニ限リ其年就役シ得セシムルコトニ可取扱候此段及御回答候也 陸軍大臣回答 (明治三〇・一一・一六・陸軍省送甲第三一五〇號)

### ○徵兵令第十三條ノ學校在學生徒及卒業生陸軍一年志願兵出願者引續在學並高等學校等入學志願者徵集猶豫

#### 願出手續

(明治三五・五・九各地方廳へ普通、專門、實業三學務局通牒)

徵兵令第十三條第一項ノ學校ニ在學ノ生徒ニシテ陸軍一年志願兵條例第九條ニ依リ志願兵ヲ出願シタル者病氣其他ノ事故ニ依リ其學年ニ於テ卒業セサルトキハ身體検査後ト雖右願ノ取消ヲ許可セラレ他日卒業ノ後更ニ一年志願兵ヲ出願スルトキハ許可セラレ來リ候處本年徵兵事務條例及同施行細則改正ノ結果一旦志願兵ヲ出願スル上ハ假令本人在學中ト雖徵集猶豫ノ特典ニ與ルコトヲ得サル儀ト相成候ニ付夫々陸軍省へ交渉致候處同省主任者ノ意見ニ依レハ本年一年志願兵ヲ出願シタル生徒ニシテ疾病其他ノ事故ニ依リ卒業スルヲ得サル見込ノ者ハ本年一年志願兵身體検査前ニ於テ志願兵取消願ヲ提出シ更ニ徵集猶豫願ヲ本年徵兵検査前ニ提出シ引續キ在學スル以上ハ徵集猶豫可相成趣ニ有之候條爲念此段及内牒候也

退テ徵兵令第十三條第一項ノ學校ヲ卒業シ一年志願兵ヲ出願シタル者ニシテ高等學校等へ入學スルカ爲右願ヲ取消サントスル場合モ一旦出願シタルトキハ之ヲ取消スニ於テハ普通兵ニ編入セラルヘク候條是等ノ場合ニ於テハ徵兵令上特典アル學校ニ入學シ本文ニ準シテ身體検査前ニ於テ志願兵願ヲ取消シ更ニ猶豫願ヲ徵兵検査前ニ提出スルヨリ外途無之カト被存候條爲念此段申添候也

○一年志願兵認定證書ヲ得タル者ニシテ其資格ヲ失ヒタル二十歳及二十歳以上ノ者ノ徵集方

【問】 一年志願兵認定證書ヲ得タル者正當ノ事由ナクシテ其年十二月一日ニ入隊セサルトキハ一年志願兵タルノ資格ヲ失フヘキコトハ陸軍一年志願兵條例第三十四條ニ依リ判明致居候得共右資格ヲ失ヒタル其年己ニ二十歳以上ナル場合ニ於テハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ其年直ニ徵集セラルヘキ儀ニ可有之候哉將又次年廻シトナリ翌年壯丁ノ検査期ニ於テ一般ノ壯丁ト同様検査ヲ施行シ徵集相成候儀ニ可有之候哉其邊ノ取扱手續判然致兼候處豫メ陸軍省ニ於ケル取扱手續承知致置度(明治三五・一一・六・廣高師庶一一二號廣島高等師範學校問答)

【答】 一、一年志願兵トシテ採用ニ決シタルノ故ヲ以テ徵兵検査未済ノ者(二十歳ニ限ル)ニ在テハ次年一般壯丁ト同一ノ検査ヲ受ケ抽籤ノ法ニ依リ徵集セラル 二、右二十一歳以上ノ者ニ在テハ次年身體検査ノ上抽籤ノ法ニ依ラス徵集セラル、モノトス(明治三五・一一・二八・學一四六號普通學務局問答)

○第一臨時教員養成所徵兵令上ノ資格

(明治三六・二・二一 靜岡縣議會) (明治三六・二・二四 普通學務局問答) (三第六一二號ノ三 靜岡縣議會)

【問】 目下東京帝國大學内ニ於テ開設中ノ第一臨時教員養成所ハ徵兵令第十三條ノ認可學校ト同一ノ效力アルモノニ有之候哉承知致度差掛リ候儀モ有之候間電報ヲ以テ御回答ヲ得度此段及照會候也

【答】 第一臨時教員養成所ハ徵兵令第十三條ノ官立學校ニ屬ス(電信)

○學生生徒徵兵猶豫中ノ者ニシテ卒業前一年志願兵志願者徵兵猶豫ノ關係

(明治三六・五・五 直轄學校へ通牒) (卯專甲五三七號)

本年三月陸軍省令第七號ヲ以テ徵兵事務條例施行細則中改正相成候ニ付テハ自今學校生徒タルノ故ヲ以テ徵兵猶豫中ノ者ニシテ一年志願兵條例第九條ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ左ノ通ト御了知相成度爲御參考此段及通知候也

- 一、學生生徒タルノ故ヲ以テ徵兵猶豫中ニ屬スル者一年志願兵條例第九條ニ依リ一年志願兵ヲ志願スルモ特ニ徵兵猶豫ノ取扱手續ヲ爲サ、ル以上ハ徵兵猶豫ハ依然存続ス 前段ノ者ノ徵兵猶豫ハ一年志願兵採用ニ決シタルトキ消滅ス
- 二、前項前段ノ者卒業ノ時期ニ至リ卒業セサルトキハ一方ニ於ケル徵兵猶豫ハ依然存続ス

○文部省直轄學校學生生徒徵集猶豫ニ關スル取締方

(明治三七・一・九 文部次官通牒) (辰普甲三八號)

徵兵令上ノ特典ヲ有スル學校ノ取締ニ關シ日本省訓令第一號ヲ以テ地方長官ニ訓令相成候條貴校ニ於テモ右ノ趣旨ニヨリ御取締相成度依命此段及通牒候也

○一年志願兵ハ三十九年以後入營期ニ於テ滿二十八年ヲ越ユル者ハ服役不許可方

(明治三七・四・三 地方廳へ通牒) (辰發普五八號)

從來一年志願兵服役出願者ニシテ其年齡滿二十八歳以上ナルモ入營期(十二月一日)ニ於テ滿二十九歳ニ達セサル者ハ其願許可相成居候處來三十九年ヨリハ入營期ニ於テ滿二十八歳ヲ超ユル者ハ服役ヲ許可セザルコト、可相成由陸軍省ヨリ通牒有之候ニ付貴校ニ於テモ徵集猶豫ノ特典ヲ有スル生徒(又ハ學生)ニ對シ右ノ旨御注意相成候様致度此段及通牒候也

○徵兵令上中學校ト同等以上ト認定ノ學校ニ就キテハ陸軍省ヨリモ吏員派遣方

(大正九・六・一七 各地方廳へ通牒) (發普二五九號)

徵兵令中改正セラレ同令第十三條ニ依ル中學校ト同等以上ノ學校認定ハ陸軍大臣及文部大臣ニ於テ爲スコトニナリマシタノテ、今後右ノ認定學校ニハ陸軍省ヨリモ吏員ヲ派シ觀察セラル、事カアル管テアリマスカラ、御了知ノ上豫メ貴管内ノ該各學校ニ其旨御通達置キ相成ル様命ニ依ツテ通牒シマス

○兵役法第四十一條ノ規定ニ依ル徵兵延期ノ許否ニ關スル疑義

兵役法第四十一條ノ規定ニ依ル徵集延期ノ許否ニ關スル長野縣ノ照會ニ對シ本月二十四日陸軍省第一二〇五號ヲ以テ陸軍省

官ヨリ「兵役法第四十六條第二項又ハ同第四十七條第一項等ノ規定ニ依リ更ニ徵兵検査ヲ受クヘキ者ニ付テハ兵役法施行令第四百十條ノ規定ニ依リ同令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前ニ爲シタル兵役上ノ處分ハ其ノ効力ヲ失フモノナルヲ以テ若シ此等ノ者ニシテ前ニ嘗テ兵役法第四十一條ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレ其ノ事由止ミテ徵集セラレタル者ナルニ於テハ延期ノ事由中斷スルコトト爲ルヲ以テ更ニ同條ニ依ル延期ヲ許可スヘキ限リニ在ラスト雖モ此等ノ者カ初メテ同條ノ規定ニ依ル徵集延期ヲ願出ツル者ナルニ於テハ之ヲ許可スルコトヲ妨ケサル」旨回答セリ

○兵役法第六十七條第一項第二號ノ「小學校ノ教職」中ニ代用教員ノ取扱方

本件ニ關スル島根縣兵事官ヨリ照會ニ對シ本月二十六日陸普第二三〇一號ヲ以テ右ハ一ノ學校ヨリ他ノ學校ニ轉職スル等ノ際ニ於テ大正十二年ノ「文官又ハ官吏待遇者ニシテ自己ノ都合又ハ病氣ニ因リ退官若ハ退職シ又ハ事務ノ都合ニ依リ休職ヲ命セラレタル者ハ爾後三ヶ月以上經過スルニ非サレハ之ヲ採用セサル」旨ノ閣議決定ノ制限ヲ受ケ再就職マテ一時代用教員ノ職ニ就クノ止ムヲ得サル者ニ限り特ニ教職ニ在ル者トシテ取扱フコトニ定メラレアル旨回答セリ

○在學徵集延期者ノ海外渡航ニ關スル處置方

(昭和十一年二月二十普通學務局移譯)  
官普三〇九號

今回標記ノ件ニ關シ陸軍省ヨリ別紙ノ通牒有之タルニ付御了知相成度

兵役法第四十一條ニ依ル在學徵集延期者ニシテ海外ニ渡航セントスル者ハ夏季其他ノ休暇ヲ利用シ當該休暇間渡航スル場合又ハ文部大臣ノ承認ヲ得テ國際運動競技參加ノ爲渡航スル場合ヲ除キテハ總テ在籍學校長ノ承認ト本籍地聯隊區徵兵官ノ承認トヲ得テ出願スルカ又ハ徵兵検査ヲ受ケタル後ニ旅券ヲ發給スルコトニ今般外務省ニ於テ決定セラレシ處本件ノ者ニ對スル兵役法施行規則第三百二十三條ノ適用ニ付テハ左記ニ依ラレ度依命通牒ス

一、夏季其他ノ休暇ヲ利用シ當該休暇間渡航スル場合又ハ文部大臣ノ承認ヲ得テ國際運動競技參加ノ爲渡航スル場合ニハ修學ノ實アルモノトス

二、修學ノ目的又ハ己ムヲ得サル家事上ノ事情ニ依リ在籍學校長ノ承認ヲ得テ概ネ六ヶ月ヲ超エサル期間渡航スル場合ニ於テハ修學ノ實ヲ失ハサルモノトシ本籍地聯隊區徵兵官ニ於テ承認ヲ與フルコト

○公立學校職員ニシテ戰時事變ニ際シ召集セラレタル場合ノ取扱方ニ關スル件 (昭和一二・八・二三文部次官通牒) 發普一一五號

公立學校職員及市町村立小學校正教員カ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキハ法令上當然休職ト爲ルノ定メナリシモ今般一層之カ優遇ヲ圖ル爲勅令第四百四十八號及文部省令第二十九號ヲ以テ公立學校職員分限令並ニ小學校令施行規則中ニ改正ヲ加ヘラレタル次第ニ付自今北支事變ニ關シ軍隊ニ召集セラレタル者ニ對シテハ右改正ノ趣旨ヲ體シ現職ノ儘應召セシムル様御配意相成度尙左記事項ニ關シ御留意相成度依命此段通牒ス

一、教職員應召シタル爲教育上特ニ補缺ノ必要アルトキハ應召者ノ事故止ミタル際ノ措置及地方ノ財政上ノ關係ヲ考慮シ適當ノ處置ヲ講スルコト

二、市町村立小學校准教員及代用教員ニ付テモ八月七日發普一〇七號通牒ノ趣旨ニ依リ可然處置スルコト

三、私立學校ニ於テモ其ノ職員ニシテ召集セラレタル者ニ對シテハ公立學校職員ノ例ニ準シ取扱フヘキ様可然指示スルコト

○文官ニシテ今回ノ北支ニ於ケル事變ニ關シ軍隊ニ召集セラレタル場合ノ取扱方 (昭和一二・七・二二通牒) 內閣甲一五三號

文官ニシテ今回ノ北支ニ於ケル事變ニ關シ軍隊ニ召集セラレタル場合ニ於テハ、事務上差支アリテ補缺ノ必要アラハ己ムヲ得サルモ可成現職ノ儘應召セシムルコト

履備人ニ付テハ各省經費ノ都合モアルコトナレハ一樣ニ定メ難キモ適宜出來得ル限り優遇スルコト

○公立學校職員及地方待遇職員支那再變ニ關シ軍隊ニ召集セラレタル者ノ取扱方 (昭和一二・七・二六文部次官通牒) 秘三二九號

公立學校職員(公立圖書館職員、市町村立小學校教員ヲ含ム)及地方待遇職員ニシテ今回ノ北支ニ於ケル事變ニ關シ軍隊ニ召

集セラレタル者ニ對シテハ特ニ左記ノ通取扱相成様致度依命此段通牒ス

- 一、召集セラレタル爲法令ノ規定ニ依リ當然休職ト爲リタル者ニ對シテハ其ノ事故止ミタルトキ可成速ニ復職セシメ又ハ前職ト同等以上ノ職ニ轉任セシムルコト
  - 二、召集ニ依リ當然休職ト爲ラサル者ニ付テハ可成現職ノ儘應召セシムルコト但シ補缺ノ必要其ノ他己ムテ得サル事由ニ依リ休職又ハ退職ヲ命シタル者ニ對シテハ事止ミタルトキ前項休職者ニ準シ就職方取計フコト
  - 三、市町村立小學校教員ニシテ休職ト爲リタル者ニハ小學校令施行規則第一百五十三條但書ノ規定ヲ適用セヌ休職給ヲ支給スルコト
  - 四、奏任官待遇以上ノ職員ニシテ召集ニ依リ當然休職ト爲リタル者及其ノ者ノ事故止ミタルトキハ遲滞ナク報告スルコト
- 尙私立學校ニ於テモ其ノ職員ニシテ召集セラレタル者ニ對シテハ公立學校職員ノ例ニ準シ取扱フヘキ様可然指示スルコト

○市町村立小學校准教員及代用教員ノ進退ニ關スル件

(昭和一二・八・七 普通學務局長通牒) 發番一〇七號

市町村立小學校准教員及代用教員ノ進退ニ關スル規程ハ小學校令施行規則第三十條及第六十八條ノ規定ニ依リ府縣知事ニ於テ之ヲ定ムルコトト相成居ルヲ以テ地方ニ在リテハ是等教員ニシテ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキハ當然退職者トスル旨ノ規定ヲ設ケ正教員ノ場合ト取扱フ異ニシ居ル向有之處右ハ去ル七月二十六日秘三三九號通牒ノ趣旨ニ鑑ミ之ヲ正教員ト同様ニ取扱フヲ適當ノ儀ト存セラルルニ付之ニ關スル規定ヲ速ニ御改正相成様致度此段通牒ス

(二) 師 範 學 校

○師範學校卒業者タル在外指定學校在職ノ小學校教員ニ徵兵令適用方ニ關スル疑義

【問】 府縣立師範學校ヲ卒業シ市町村立小學校ノ教職ニ就キ六週間陸軍現役ニ服シタル後滿二十八歳ニ至ラサル前小學校令施行規則第二百一十二條第五號ニ依リ休職トナリ休職期間中大正六年八月十五日付外務文部兩大臣指定セラレタル南支

那廣東日本人小學校へ休職訓導ノ肩書ヲ以テ在廣東總領事ヨリ同校長兼訓導ニ任セラレ引續キ在職中ノ者アリ本校カ私立小學校ナルニ於テハ同人ハ徵兵令第十三條第五項ニ該當シ二箇年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役モ服セシムヘク認ムルモ該校ノ在外指定學校トシテ指定セラレ又在外指定學校職員ノ職務並服務及俸給ニ關スル規程等關東都督府令ヲ以テ發布セラレアルモノ等ヨリ見ルトキハ官公立或ハ之ニ準スヘキ小學校トシテ取扱フヘキモノナルヤ從テ徵兵令第十三條第五項ヲ適用スヘキヤ否判明致サス候ニ付何分ノ御指揮相煩度(大正八・九五・茨城縣照會)

【答】 右第十三條第五項トハ改正前ノモノヲ指サレ候モノト存候處右ハ大正七年法律第二十四號附則第九項ニ該當スル者ニ就テハ官公立小學校ニ準シ御取扱相成可然ト存候此段及回答候也(大正九・一二七・普通學務局長回符)

○一年現役兵タルヘキ者ニ入營延期證書附與方並師範學校卒業届差出方疑義

【問】 一年現役兵條例施行細則第二十九條第三號ノ入營延期證書ハ徵兵令第十四條該當者ニ對シ作製シ同細則第三十條ノ順序ニ依リ交付スルコトニ相成居候處徵兵事務條例施行細則第六十五條ノ二第一號ニ依リ徵兵適齡年ニ當ル者其ノ一年現役兵ノ身體検査期日(二月上旬)後ニ於テ師範學校ニ入學シ甲種ニ合格シタルモノノ中翌年入營期日前卒業スヘキ者ニ對シ尙證書作製ノ向アルモ右ハ卒業期日四月一日以降ニ在ルモノニ對スル處置ニシテ本縣師範學校第二部生ノ如キ其ノ年四月入學翌年三月三十一日迄ニ當然卒業スヘキ者ニ付テハ之ヲ適用スヘキ限ニアラス從テ一年現役兵條例施行細則第四條ノ師範學校卒業届出ノ必要モ無之モノト認メラレ候モ師團ニヨリ意見一致セサル傾アリ事務取扱上差支有之候條何分御指示相成度(福岡縣照會)

【答】 右ハ一年現役兵入營延期證書ヲ附與シ隨テ一年現役兵條例施行細則第四條ヲ適用スヘキ義ト承知相成度候也(陸軍副官回符)

○師範學校專攻科生徒一年現役兵ニ關スル取扱方

(大正一五・二・一七 普通學務局長通牒) 發番三三號

師範學校本科卒業後引續キ專攻科ニ就學スル者ニ付テハ徵兵令第十四條各項ヲ適用シ其入營延期ノ手續ニ付テハ一年現役兵條例施行細則第四條ノ規定ヲ適用シテ差支ナシ(後略)

○師範學校講習科修了者ノ在營年限

(昭和二・二・一七三重縣照會)

(昭和三・二・一六六文部次官通牒)

【問】 本縣師範學校ニ於ケル尋常小學校本科正教員講習科ノ教練ハ大正十四年四月陸軍現役將校學校配屬令施行以來本科ニ準シ實施致來候處右修了者ニ對スル在營年限短縮ノ特典ハ如何ニ御取扱可相成御見込ニ候哉

【答】 短期現役兵トシテ服役セシムヘキ者ナリ

○師範學校講習科ノ教練並在營年限

(昭和三・二・二四各地方長官ヘ文部次官通牒)

修業年限二年以上ノ師範學校講習科卒業者ノ在營年限ニ關シテハ昭和二年十二月陸普第五、五三二號陸軍次官通牒ニ基キ短期現役兵トシテ服役セシムルコトニ相成タルニ付テハ右講習科生徒ニ對スル教練ハ爾今師範學校本科第四學年及第五學年ニ準シ課スルニ非サレハ兵役法第十條第一項ノ適用ヲ認メ難キニ付右了知ノ上教練教授要目ヲ定メ之ニ依リ實施セシメラレ度

○短期現役兵ニ關スル疑義

(昭和四・四・一陸軍省副官照會)

(昭和四・九・三普通學務局回答)

【問】 左記ノ如キ規定ニ基キ講習科修了證書又ハ講習證書ヲ授與セラル、モノハ假令之ニ依リ尋常本科正教員トシテノ資格ニ付師範學校規程第七十條第二項ノ講習科修了者ト同様ニ取扱ハル、場合ニ於テモ師範學校ヲ卒業セサルモノナルコト明ナルヲ以テ兵役法第十條ノ規定ニ照シ短期現役兵トシテ服役セシムヘキ限ニ在ラスト見解致候カ右ニ對スル貴省ノ御意見承リ度  
慶兒島縣師範學校學則第十二條 本科第一部第三學年以上ノ課程ヲ修了シタル者ニシテ特別ノ事情アリテ本科ヲ卒業スルコト能ハスト認ムル者ニハ小學校教員養成科ノ規定ニ照シ不足ノ學科目ヲ學習セシメ小學校教員養成講習科修了證書ヲ授與スルコトアルシ(以下略)

【答】 四月二日陸普第一三九九號ヲ以テ御照會ノ標記ノ件右ハ御見解ノ通ト被存ニ付御了知相成度

第十五 授業料入學料試驗料寄宿料及貸付料等

(二) 總 規

○増加恩給受給者及戰死者遺族ノ子弟ニ對スル中等學校授業料減免取扱方

(大正一二・六・三〇文部次官通牒)

別紙寫ノ通り陸軍次官並海軍次官ヨリ照會ノ處軍人増加恩給受給者及戰死者遺族ノ中ニハ同情ニ値スヘキ境遇ノ者モアルヘキニ付其ノ子弟等ニシテ中等諸學校ニ在學スル者ニ對シテハ資産ノ狀態等ヲ參酌シ授業料等減免取扱方然ルヘク御配慮相成様致シタシ

(別紙寫) 増加恩給受給者並戰死者遺族ノ待遇改善ノ爲右ノ子弟ニシテ中等學校入學ノ者ニ對シ月謝免除ノ件ニ付テハ今年亦諸會ヘ請願ノ次第モ有之候處陸軍關係ノモノニ在リテハ陸軍幼年學校入學者ニ對シテハ夫々在學中ノ納金ノ全部又ハ半部ヲ免除スルコトニ致居候カ右ハ貴省御主管ノ事項ト存候間何分ノ御研究煩シ度此段得貴意候也  
追テ右ハ全般ニ亘リ月謝免除ノ如キハ如何カトハ存候モ其ノ資産ノ狀態等ニ基キ相當願意ニ副フ如ク御配慮煩シ度

○學校ニ於ケル證明手数料徴收ハ適當ナラス

(昭和三・八・二一奈良縣照會)

(昭和四・一・七普通學務局回答)

【問】 學校ニ於テ卒業者又ハ生徒ノ爲ニ諸種ノ證明ヲ爲スニ當リ手数料ヲ徴收スルコトハ差支無之且ツ中學校令施行規則第十六條及高等女學校令施行規則第十七條ニ依リ認可ヲ要スルモノト存シ候ヘ共爲念御意見承知致度

【答】 中學校及高等女學校ニ於テ生徒並卒業生カ學校ニ對シ證明ヲ請求スルハ主トシテ在學證明書、卒業證明書若クハ成績

證明書等ナル可ク而シテ右ノ如キハ當該學校當然ノ事務トシテ取扱ヒ可然モノト思ハルルニ付證明手数料ヲ徴收スルハ適當ナラサルモノト御了知相成度

○戦公傷病死者、公務従軍者及下士官以下軍人ノ公務傷病死者等ノ子弟ニ對スル授業料等減免方

今般文部省令第十二號ヲ以テ小學校令施行規則中ニ改正ヲ加ヘ戦公傷病死者、公務従軍者及下士官以下軍人ノ公務傷病死者等ノ子及弟妹ニ對スル市町村立小學校ノ授業料減免ニ關シ規定相成リタル處右ハ是等君國ノ爲ニ一身ノ利害ヲ顧ミス忠誠ヲ盡シ其ノ犠牲トナレル者ニ對スル待遇改善ノ一方法タラシムル旨趣ニ有之就テハ市町村立小學校以外ノ小學校並公私立ノ各中等學校ニ於テモ右規定ノ旨趣ニ準シ戰爭又ハ戰爭ニ準スヘキ事變ニ際シ公務ニ依リ從軍シタル者ニシテ公務ノ爲死亡シタル者及一月以上生死分明ナラサル者又ハ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ノ子及弟妹ニ對シテハ固ヨリ下士官以下ノ軍人ニシテ戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲死亡シタル者及一月以上生死分明ナラサル者又ハ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者並戰爭又ハ戰爭ニ準スヘキ事變ニ際シ公務ニ依リ從軍シタル者ノ子及弟妹ニ對シテモ授業料ハ勿論入學料、入學金等ヲ免除シ又ハ減額シ是等遺族家族ノ教育ニ關シ力メテ負擔ノ輕減ヲ圖ルヘキ様適宜御措置相成度(昭和八・五・二五・文部次官通牒)

(二) 小 學 校

○市町村立小學校授業料ニ關スル注意

(明治三〇・二・一五内訓)  
(西普甲一九六號)

今般勅令第二號ヲ以テ市町村立小學校教員俸給ニ關スル件ヲ公布セラレタルニ就テハ自然市町村ノ負擔増加スヘキヲ以テ其ノ増加課稅ヲ避ケンカ爲授業料額ヲ引上クルカ如キ事アリテハ兒童就學上勸カラサル影響ヲ及ホスヘキニ付豫メ注意スルコトヲ要ス右内訓ス

○高等小學校授業料生徒獎勵等ノ爲メ減免ハ監督官廳ノ認可不要方(明治三五・一・二〇・岡山縣照會)

【問】 高等小學校ノ授業料ヲ徴收スルトキハ小學校令施行規則第七十五條ニ依リ其金額ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ義ニ付兒童ノ學業操行等佳良ナル者ヲ獎勵スル爲メ特ニ斯ノ如キ兒童ニ對シテハ授業料ヲ免除スルコトヲ規定シ認可ヲ請フトキハ監督官廳ニ於テ認可シ差支無之候哉疑義生シ候ニ付至急御回報相成度此段及照會候也

【答】 右ハ授業料額ニ就キテハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘキモ獎勵等ノ爲メ特ニ授業料ノ減免ヲナス場合ニ於テハ認可ヲ受クルヲ要セサル儀ト存候(明治三五・二・二一・普通學務局回答)

○市町村立小學校制限外授業料徴收申請ノ場合具申事項

(明治四一・七・三 各地方廳へ普通學務局通牒)  
(申發普二三二號)

特別ノ事情アルカ爲メ市町村立小學校ニ於テ制限外授業料ヲ徴收セントスルニ當リ小學校令施行規則第七十六條後段ニ依リ申請セラル、場合ニ於テハ左記ノ事項ヲ具セシメ候様致度此段及通牒候也

- 一、特別ノ事情
- 二、期限
- 三、當該年度及其ノ前年度ニ於ケル賦課率並其ノ收支豫算
- 四、授業料制限外徴收ニ關スル市町村又ハ町村學校組合會議決要領

○他ノ小學校設置負擔區域ヨリ入學スル兒童ノ授業料徵集方疑義

(大正一一・五・一二 福島縣照會)  
(大正一一・九・一四 普通學務局回答)  
(十一學第二、六一八號)

【問】 小學校令施行規則第七十九條ニ「他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ第七十四條及第七十五條ノ制限以內ニ於テ授業料額ヲ増スコトヲ得」トアルハ

- 一、自他ノ授業料額ノ差等ヲ限定シタルモノト解シ制限外授業料徵集ノ場合ニモ自他ノ間ニ前二條ノ制限以內ノ差等ヲ設ケ得ルモノト解スヘキヤ
- 二、或ハ制限外徴收ヲ爲ス場合ノ「ニ差等ヲ附スル意味ニ解シ制限外徴收ノ場合ニハ自他ノ授業料額ヲ設クルコト能ハサルモノト解スヘキヤ
- 三、或ハ又同第七十六條ニ依ル場合ニハ自他ノ差額ニ關ラス所謂制限外ヲ超エテ特別事情アル限リ適當ノ差額ヲ設ケ得ヘキヤ
- 四、小學校令施行規則第七十九條ニ

兒童教育事務委託シタル場合以外ニ於テ他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル尋常小學校兒童ニ就キテノ授業料ニ關スル規定アレ共法規上右ノ如ク他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ通學スル如キ「尋常科」ノ兒童アリ得ヘカラスト解スルモ百七十九條ニハ百七十四條及百七十五條トアルハ如何ナル場合ヲ指スモノナリヤ御指示相煩度

【答】 一、小學校令施行規則第七十九條ニ依リ他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ對シ授業料額ヲ増加シ得ル場合ハ第七十六條ニ該當セス

一、小學校令施行規則第七十九條ニ所謂他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童トハ兒童教育事務ヲ委託シタル場合以外ニ於テ尋常小學校ノ兒童ニシテ通學便宜上等ヨリ特ニ區域外ヨリ通學スルモノヲ云フ

○小學校設置負擔區域外ノ兒童ノ授業料徴收方疑義(大正一・九・二七 福島縣照會) (大正一・一・二二 普通學務局回答)

【問】 一、小學校令施行規則第七十九條ニ依リ他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ對シ授業料額ヲ増ス場合第百七十六條ニ該當セサルモノトセハ第七十六條ニ依リ例ヘハ自町村尋常科兒童ヨリ三十錢ヲ徴收スル場合他町村ヨリ五十錢ヲ徴收スルカ如キハ不可能ト解シ可然哉

【答】 一、小學校令施行規則第七十九條ニ依リ他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ對シ授業料額ヲ増ス場合ハ前回答ノ通り第七十六條ニ該當セサルニ付第七十六條ニ依リ自町村尋常科兒童ヨリ三十錢ヲ徴收スル場合他町村ヨリ五十錢ヲ徴收スルカ如キハ然ル可カラス

○一市町村二以上ノ小學校設置ノ場合ノ授業料不均一徴收支障ナシ

(大正一・三・二二 長野縣照會) (大正一・三・二二 普通學務局回答)

【問】 市町村併合ノ爲メ在來小學校ヲ其儘存置シ一市町村ニ二以上ノ小學校ヲ設置シタル場合右二以上ノ小學校ハ其事情ヲ異ニスルヲ以テ同一市町村ノ小學校ナルモ學校ニ依リ授業料額ニ差等ヲ設クルハ支障無之様被認候モ一應御意見承知

致度此段及照會候也

【答】 右ハ御意見ノ通御取計相成差支無之ニ付御了知相成度

○他ノ小學校設置負擔區域ヨリ入學スル兒童ニ對シ制限外授業料徴收ノ場合差等設クヘカラス

【問】 小學校令施行規則第七十六條ニ依リ特別ノ事情アル町村ニ對シ制限外ノ授業料徴收認可ノ場合ニ當リ第七十九條ノ他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ對シモ第七十五條ノ制限ヲ受クル事ト存セラレ候ヘ共偶々管内二三町村ヨリ自他町村兒童ニ對シ其制限以上(例ヘハ自町村五十錢他町村壹圓)ノ差等ヲ設ケ認可稟請有之候處現今町村ノ情勢ヲ察スルニ年々就學兒童ノ増加ニ伴ヒ校舍ノ設備狹隘ヲ訴フル場合ニ於テ他町村兒童ニ對シ第七十五條ノ制限以上ノ徴收モ充分忍ビ得ル場合モ有之町村財政上ヨリ觀ルモ負擔ノ權衡上聊カ考慮ノ餘地可有之ト被存候條此際止ムヲ得サルモノニ限り特別ノ詮議ヲ以テ第七十六條ヲ適用シ認可致度見込ニ候ヘ共右御意見相伺度(大正一・三・五・一三 栃木縣照會)

【答】 本件ニ關シテハ大正十一年九月福音第六五號通牒ノ次第モ有之制限外授業料徴收ノ場合ニハ自他町村兒童ニ對シ授業料額ニ差等ヲ設クヘカラス御了知相成度(大正一・三・八・二九 普通學務局回答)

(三) 中學校高等女學校

○中學校生徒入學料及試験料徴收方

(明治三三・六・一八 長野縣照會) (明治三三・六・二六 普通學務局回答)

【問】 中學校生徒募集ニ際シ高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒リタル入學志願者募集人員ニ超過シ試験ニ依リ入學者ヲ選拔スル場合ニハ入學料ヲ一般入學志願者ヨリ徴收スルコトヲ得ヘキカ若シ入學料ハ入學者ニ限り徴收シ得ルモノニシテ入學ノ許否未確定ナル入學志願者ヨリ徴收スヘキモノニ非ストセハ試験料トシテ相當ノ金額ヲ徴收スルモ差支無之哉



【答】 入學料ハ選抜試験ヲ行フ場合ト否トヲ問ハス入學ノ許可ヲ受ケタル者ヨリ之ヲ徴收スルコトヲ得試験料ハ試験ヲ行フ場合ニノミ一般入學志望者ヨリ徴收スルヲ得ル者ニ有之候

○中學校高等女學校授業料ニ關スル規則中減免不徴收ノ規定設定方

(明治三四・五・二九普通學務局通牒)

中學校令第十六條及高等女學校令第十七條ニ依リ地方長官ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ定メラルヘキ授業料等ニ關スル規則中授業料ヲ減免スル場合若ハ特待生等ニ對シ之ヲ徴收セサルノ規定ナキトキハ直ニ學則ヲ以テ其減免若ハ不徴收ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得サル等ニ候條爲念此段及御通牒候也

○中學校高等女學校寄宿舍費徴收方

(昭和二・三・二四岡山縣照會) (昭和二・四・七普通學務局回答)

【問】 中學校及高等女學校ニ於ケル寄宿舍費ノ徴收ニ關シテハ中學校令第十六條第二項及高等女學校令第十七條第二項ノ規定ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケルヲ要スル義ニ有之候處二月十四日付岡普九二號ヲ以テ入浴料電燈料等ノ如キハ其實費ヲ分賦スヘキモノニシテ寄宿舍費トシテ徴收スルハ適當ナラサル旨御通牒相成候ニ付テハ將來ノ取扱上寄宿舍費トシテ徴收シ得ルモノノ範圍承知致度

【答】 右ハ寄宿舍ノ使用料トシテ徴收スヘキモノナルヲ以テ入浴料又ハ電燈料等箇々ニ金額ヲ定ムヘキモノニ無之

○中學校高等女學校校費教室費等不設置方

(昭和三・一・一六各府縣へ普通學務局通牒)

從來中學校高等女學校ニ於テ授業料ノ外ニ校費又ハ教室費等ト稱シ徴收シ來リタル向有之タル處右ハ元來授業料ニ包含セラシテ改メテ申請セシメラルル様致度 追テ爾今校費又ハ教室費等ノ如キ費目ヲ設ケシメサル様御取計相成度

(四) 師範學校

○附屬小學校ノ授業料徴收方ハ地方ノ情況ニ依ル

(明治三三・九・二〇愛知縣照會) (明治三三・十・十普通學務局回答)

【問】 市町村立尋常小學校ニ於テハ來三十四年度ヨリ授業料ヲ徴收セサルヲ本體ト定メラレ候處附屬小學校ニ於テハ依然授業料徴收ヲ本體トスル儀ニ候哉

【答】 授業料ヲ徴收スルト否トハ地方ノ情況ニ依ル儀ト御承知相成可然候

○師範學校生徒入學手数料不徴收方

(明治三六・一・六大分縣照會) (明治三六・一・二二普通學務局回答)

【問】 師範學校生徒入學手数料ハ徴收シ差支ナキヤ(電信)

【答】 師範學校生徒入學料ヲ徴收スルハ然ルヘカラス(電信)

○師範學校自費生授業費辨償不可然

(明治三八愛媛縣照會) (明治三八・四・六普通學務局回答)

【問】 師範學校自費生不都合ニ依リ退學シタルトキ又同卒業生服務義務ニ反シタルトキハ授業費トシテ辨償ヲ命シ差支ナキヤ(電信)

【答】 師範學校自費生ニ授業費辨償ヲ命スル件ハ然ルヘカラス(電信)

第十六 學務委員

○東京市内ノ區學務委員數

(明治三三・八・二八東京府問合) (明治三三・八・三一普通學務局回答)

【問】 本年文部省令第十四號小學校令施行規則第八十二條ヲ以テ市町村村學校組合並區學務委員ノ員數ヲ定メラレ候處同條但書ニ東京市ニ在リテハ十五人マテ増スコトヲ得ト有之右ハ東京市内ノ區モ包含スヘキ義ト存候得共爲念御意見承知致度此段及御問合候也

【答】 右ハ區ハ包含セサルモノト存候

○町村學校組合及該組合内町村ニ於テ學務委員設置方(明治三四・五・一長野縣照會) (明治三四・十・一八普通學務局照會)

【問】 組合立尋常小學校ニ於テハ小學校令第六十二條第一項及第二項ニヨリ町村及町村學校組合ニ學務委員ヲ置クヘキ義ニ候哉果シテ二重ニ置クトキハ町村ハ同條第五項ニヨリ町村學校組合長ノ管理ニ屬スル教員ニ任命スルノ不都合ヲ生シサリトテ町村學校組合ノミニ置クトキハ兒童就學督勵等ニ關シ同組合カ撰出若ハ任命シタル學務委員カ町村長ノ就學事務ヲ補助執行スルノ點ニ不都合有之候得共單ニ町村學校組合ノミニ學務委員ヲ置キ便宜町村長ノ事務ヲ補助執行セシメ差支ナキヤ聊カ優義ヲ生シ候條至急何分ノ御意見御回示相成度此段及照會候也

【答】 右ハ前段御見解ノ如ク町村學校組合及該組合内ノ町村ハ各學務委員ヲ置クヘク且教員ヨリ加フヘキ學務委員ハ共ニ組合立小學校男教員ニ就キ組合長及町村長ニ於テ之ヲ任免スヘキ儀ト存候此段及回答候也

○學務委員タル市町村立小學校教員休職ノ場合ハ學務委員資格喪失(大正六・五・一六愛知縣照會)

【問】 市町村立小學校男教員ニシテ其市町村ノ學務委員タル者ヲ小學校令施行規則第二百二十二條第二號ニ依リ休職ヲ命シタルトキハ休職ヲ以テ直ニ學務委員タル資格要件ヲ失ヒタルモノト解シ可然哉疑義ニ有之候條至急何分ノ御指示相成度候

【答】 右ハ御意見ノ通ニ候條御了知相度此段及回答候也(大正六・八・四普通學務局照會)

○學務委員ノ定數及公民中ヨリ選舉セラレタル學務委員ノ任期ニ關スル疑義(大正十・二・一六新潟縣照會)

【問】 學務委員ノ定數及公民中ヨリ選舉セラレタル學務委員ノ任期ニ關シテハ小學校令施行規則第八十二條同第八十四條ノ規定アリト雖モ市町村ハ第八十二條ノ制限内ニ於テ定數ヲ適宜増減シ得ルモ之レカ選舉ノ時期及任期ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ右ハ總選舉ヲ行フ際ニアラサレハ増減シ得サル儀ト存シ候得共聊疑義相生シ候ニ付至急何分ノ御回示相煩度 追而總選舉ヲ待タスシテ増員シ得ルトセハ此ノ場合ニ於ケル任期ノ計算併テ御回示相成度申添候

【答】 右ハ市町村條例ヲ設ケラレタル上適宜處理ラセルルハ差支ナキ儀ト御了知相成度(大正十四・四・五普通學務局回答)

○學務委員設置ニ關スル疑義(大正一四・八・一奈良縣照會) (大正一四・九・一六普通學務局回答)

【問】 小學校令第六十二條第三項ニヨリ學區ニ學務委員ヲ置キタル場合ト雖モ同令第六十二條第一項ニヨリ尙ホ市町村ニ學務委員ヲ設置スヘキモノト存シ候得共一面學區ノ學務委員ト雖モ其ノ市町村ノ委員ナルヲ以テ學區ニ之ヲ設置シタル以上ハ必スシモ其ノ市町村ニ設置スルノ要ナキモノト被存聊カ疑義有之候條何分ノ義御回示相煩度

【答】 小學校令第六十二條第三項ニ依リ學區ニ學務委員ヲ置キタル場合ト雖モ同令第六十二條第一項ニ依リ尙ホ市町村ニ學務委員ヲ置クヘキモノト御承知相成度

○學區會議員選舉ニ關スル疑義(大正一五・七・二二京都府照會) (大正一五・八・二九警保局回答)

當市七十三學區中十二箇學區ノ學區會議員總選舉ハ本年九月十、十一ノ兩日ニ亘リ施行ノ筈ナルカ之カ選舉ニ付テハ地方學事通則第一條第二項ノ規定ニ依リ市制第四百六十六條第二項ノ規定カ準用セラレ同項ハ更ニ市會議員ニ關スル規定ヲ準用セルヲ以テ京都市ノ學區會議員ノ選舉ニ付テハ京都市會議員ニ關スル規定ヲ準用スヘキ筋合トナリ京都市會議員ノ選舉ニ付テハ改正市制第三十九條ノ二ノ規定ニ依リ同條所定ノ府縣制ノ規定並改正市制第三十九條ノ三第一項ノ規定ノ準用ヲ受クヘキニ依リ當市學區會議員ノ選舉ニ付テモ前記ノ諸規定ヲ準用スヘキモノナリト論アルモ市制第四百六十六條第二項ニ所謂市會議員トハ一般ノ市ノ市會議員ヲ指稱シ改正市制第三十九條ノ二ニ規定スルカ如キ特殊ノ市ノ市會議員ヲ指セルモノニ非ス從テ當市ノ學區會議員選舉ニ付テハ一般ノ市ノ市會議員ノ選舉ニ關スル規定即チ改正市制第三十九條ノ三第二項ノ規定ヲ準用シ可然モノト思料候ヘ共聊カ疑義有之候條御意見至急承知致度此段及稟候也

【答】 京都市ノ學區ノ區會議員ノ選舉ニ付テハ貴見ノ通市制第三十九條ノ三第二項ノ規定ノ準用アルモノト存ス 右經伺ノ

# 第十七 學校認定

## (一) 總 規

### ○徵兵令文官任用令上ノ認定及陸軍補充條例上ノ指定効力發生期

(明治三三・七・二五 教育總督部照會)  
(甲 六 五 九 號)

【問】 文官任用令第三條第三及陸軍補充條例第七條第二ニ該ル資格ハ認定若ハ指定日附以前當該學校卒業者ニ對シテハ適用セラルヘキ限リニ無之ト解釋候得共別ニ明文モ無之様被存候間爲念御省議承知致度

【答】 右ハ認定若クハ指定ニ關シ何等ノ條件ヲ附セラレサル限リ認定若ハ指定以後ノ卒業者ニ限リ効力ヲ有スル義ニ候  
本案裁定ノ上ハ徵兵令ニ依リ認定ノ學校モ同様取扱可然乎(明治三三・十五・子普甲二一二三號普通學務局回答、何定)

### ○公立私立學校認定ニ關スル規則ニ依リ認定申請ハ自今地方視學官ヲシテ觀察セシメ復命書添付意見ヲ具シ進達方

(大正二・八・一二 兵普一・一七號 各地方廳へ專門、普通學務局通牒)

明治三十二年文部省令第三十四號公立私立學校認定ニ關スル規則ニ依ル認定申請書御進達ノ際ハ同規則第九條第二項ニ依リ當該學校ノ實況等御精査ノ上意見ヲ副ヘラルヘキ規定ニ有之候處自今右申請有之候場合ニハ一應視學官等ヲシテ該學校ヲ觀察セシメ其ノ復命書寫添付ノ上貴官ノ意見ヲ具セラレ御進達相成度尙左記ノ事項ニ就テハ右觀察ノ際特ニ留意セシメラレ度  
一、明治三十二年文部省令第三十四號第二條ニ關スル事項 二、當該學校ニ關スル法令ニ規定ノ教員配置ノ狀況及其ノ授業ノ狀況 三、生徒學力ノ程度 四、訓育ノ狀況 五、生徒入學退學轉學及出席缺席ノ狀況

## (二) 徵兵令上認定

### ○公立私立學校認定ニ關スル規則第二條第一號ニ關シ徵兵令上ノ特典ヲ受クヘキ者ノ取扱方

本年文部省令第三十四號公立私立學校認定ニ關スル規則第二條第一號中ニ記載セル入學試驗之義ハ當該學校ニ於テ施行スル試驗ニ限リ候ニ付左記資格ノ者ハ總テ徵兵令上ノ特典ヲ受クル者ノ中ニ算入セシメサル儀ニ有之候

第一 官立學校若クハ徵兵令第十三條ノ認定ヲ受ケタル公私立專門學校ニ於テ中學校ノ各學科ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ施行シタル入學試驗ニ及第シテ其學校ニ入校シタル者該學校卒業後又ハ中途退學シテ更ニ徵兵令第十三條ノ認定ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ專門學校ニ入學スル場合ニ於テ乙學校ハ甲學校ノ施行シタル入學試驗ヲ是認シ別ニ試驗ヲ施サスシテ入學ヲ許可シタル者又ハ甲學校ヨリ乙學校ニ入學試驗ヲ受ケスシテ轉學シタル者

第二 中學校ノ卒業生ニアラスシテ高等師範學校ニ入學シ卒業ノ後入學試驗ヲ受ケスシテ更ニ徵兵令上ノ認定ヲ受ケタル專門學校ニ入學シタル者(明治三二・十一・二十・亥專甲二四四號通牒)

### ○實業學校卒業生ノ研究補習ニ關スル規程ニ依ル在學生徒ニハ徵兵令上認定ノ効力ヲ及ボサス

今般文部省令第二號ヲ以テ實業學校卒業生ノ專攻又ハ補習ニ關スル規定發布相成候處(中略)將又本令ニ依リ在學スル生徒ニ對シテハ徵兵令第十三條ニ依ル認定ノ効力ヲ及ボササル省議ニ有之候(明治四十・一・十四・實業學務局通牒)

### ○實業學校第二部ノ徵集延期ニ關スル疑義

(昭和六・六・十九 發實三三五號 各地方廳へ實業學務局通牒)

【問】 實業學校ノ第二部ハ工業學校規程、農業學校規程、商業學校規程及水產學校規程中ニ夫々規定セラレ兵役法第四十一條第一項ノ規定ニ依ル中學校ノ學科課程ト同等以上ニシテ徵集延期ノ特典ヲ附與セラルルモノト認メラレ候處何分ノ御回示相成度此段及照會候也(某縣何)

【答】 右ハ貴見ノ通年齢二十二年迄徵集延期ノ資格アル儀ト承知相成度候

## (三) 文官任用令上認定

○帝國大學撰科修業生ノ文官任用令ニ關スル資格

(明治三一・八 臺灣總督府照會)

(明治三一・十二・十五 專門學務局回答)

【問】 帝國大學撰科生トシテ一科又ハ數科ヲ修業セシモノハ文官任用令第二條第三項ニ該當スルヤ(電信)

○公私立實業學校卒業者ハ文官任用令上認定ヲ要セス

(大正十三・三・二十 各地方廳、實業學務局通牒)

今般文部省告示第九號ヲ以テ專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ男子實業學校卒業者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定相成タルニ付テハ右ノ卒業者ハ大正七年文部省令第三號「高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件」第一條第二號ニ該當シ文官任用令第六條第二號ノ資格ヲ有スルヲ以テ爾今右ノ實業學校ニ關シテハ標記ノ認定ヲ要セサル次第ト御了知相成度

○在外指定學校ノ文官任用令上ノ資格

(昭和九・一・九 外務次官ヘ文部次官通牒)

客年三月五日文化一機密第一九〇號ヲ以テ御回付ノ青島學院實業學校ノ指定及認定ニ關スル件中在外指定學校ニ關シテハ客年三月二十二日指定セラレタル處文官任用令第六條第一號ノ認定ニ關シテハ本校カ在外指定學校トシテ指定セラレタル上ハ其ノ卒業者ハ昭和三年三月文部省令第三號ニ依リ實業學校令ニ依リ設置シタル實業學校ノ卒業者ト同一ノ取扱ヲ受クルヲ以テ文官任用令第六條第二號ニ該當スルモノナルニ依リ特ニ同令第六條第一號ノ認定ヲ受クルヲ要セサルニ付此旨申請者ニ御承達相煩度

第十八 教員檢定

(一) 小學校及幼稚園

○小學校教員檢定委員等組織中ニ地方視學包含

(明治三十・八・十四 大分縣照會)

(明治三十・八・二八 普通學務局回答)

【問】 地方視學ハ小學校教員檢定委員組織中ノ府縣官吏及小學校教員銓衡委員組織中ノ判任官トアル内ニ包含スルモノトシ右孰レモ委員ニ加ヘ得ル義ニ候哉疑義相生候ニ付何分ノ御回報ヲ煩シ度此段及照會候也

【答】 御意見ノ通

○小學校教員檢定委員中師範學校教員ニハ囑託教員包含方

【問】 小學校教員檢定規則第一條ノ教員ニハ免許狀ヲ有セサル囑託教員ヲモ含ムヤ(電信)

【答】 小學校教員檢定等ニ關スル規則第一條中教員ノ件ハ御見解ノ通(電信)

○高等女學校技藝專修科卒業生小學校教員無試驗檢定方

(明治三五・六・三 愛媛縣問合)

【問】 高等女學校技藝專修科卒業生ハ小學校令施行規則第七條第五號ニ依リテ無試驗檢定施行致候而差支無之哉

【答】 差支無之(明治三五・六・十一 實普甲二〇四〇號 普通學務局回答)

○小學校教員檢定出願者ニ對シ檢定ヲ行ハサルヘカラサルモ免許狀授與セサルハ差支ナシ

【問】 小學校教員檢定ニ關シテハ小學校令施行規則第四條ニ規定セラレタルモノ、外ハ學力ノミニ就キ之ヲ行フコトニ相成居候處同條ニ該當セサルモノニシテ往々其品行等教員トシテ不適當ト認メラル、モノ有之是等ニ對シ教員タルノ資格ヲ授與スルトキハ多數ノ私立學校ヲ有スル東京市ノ如キニ在リテハ自然其設立者ニ於テ教員ノ撰擇ヲ誤ル等ノ虞有

之本府教育上弊害不尠候ト被存候ニ就テハ自今右等ノ如キ教員トシテ不適當ト認メラル、モノニ對シテハ檢定ヲ行ハサルコト、教度此段相伺候也(明治四十二・二十九・東京府伺)(明治四十・七・一・普通學務局通牒)

○禁錮ノ處刑ニ依リ小學校教員免許狀失效刑ノ執行猶豫期間滿了者ハ檢定ノ上免許狀授與  
【問】 小學校教員ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ小學校令第四十九條ニヨリ小學校教員免許狀ノ效力ヲ失ヒタルモノ有之候處刑ノ執行ヲ猶豫サレ其猶豫期間滿了ニ付刑法第二十七條ニ依リ刑ノ言渡ハ其效力ヲ失ヒ候ニ付テハ其免許狀ハ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ヒタルト共ニ效力ヲ生スヘキモノナルヤ又ハ小學校令施行規則第四百條ニ抵觸セサルモノトシテ檢定之上更ニ免許狀ヲ授與スヘキモノナルヤ聊疑義ニ涉リ候ニ付御意見承り度  
【答】 右ハ後段御見解ノ通(明治四三・二・二四・京都府照會)(明治四三・四・十五・普通學務局同答)

○尋常小學校准教員養成期間六箇月ノモノニ無試驗檢定ニテ教員免許狀授與スヘカラス  
本年二月十日學第六二六號ヲ以テ貴縣令第十一號尋常小學校准教員養成所ニ關スル規程御申報相成候處右規程第四條養成期間六箇月ノモノニ對シ無試驗檢定ニテ尋常小學校准教員ノ免許狀ヲ授與セラレ候ハ明治四十年四月文部省令第十二號師範學校規程第七十條ニ照シ期間短キニ失シ候ニ付相當御變更相成度(明治四三・四・十五・三重縣へ普通學務局通牒)

○小學校教員檢定上身體檢査ハ不得止場合ニハ便宜地方ノ確實ナル醫師ヲ囑託檢査報告ニ依リ施行差支ナシ  
【問】 本年六月九日發文四〇號ヲ以テ小學校教員ニ關スル肺結核患者防遏ノ御訓令モ有之候處小學校教員無試驗檢定出願者ニ對シテ隨時實地檢定ヲ施行スルモノトセハ其繁ニ不堪ノミナラス遠隔ノ地ニ在ル者ノ如キハ一々召集セサルヘカラス

【問】 本年六月九日發文四〇號ヲ以テ小學校教員ニ關スル肺結核患者防遏ノ御訓令モ有之候處小學校教員無試驗檢定出願者ニ對シテ隨時實地檢定ヲ施行スルモノトセハ其繁ニ不堪ノミナラス遠隔ノ地ニ在ル者ノ如キハ一々召集セサルヘカラス  
【答】 然哉尙キ試驗檢定ニ於テモ事務ノ簡捷上前段ノ取扱致度候條御詮議ノ上御回示ヲ煩シ度候也  
檢定出願者ヨリ差出候醫師ノ身體檢査書ニ依リ檢定セララルハ昨年六月九日發文四〇號訓令ニ照シ穩當ナラサルモノト被認候然シ不得止場合ニ於テハ貴官ヨリ便宜地方ノ確實ナル醫師ヲ囑託シ檢定出願者ニ對シ身體檢査ヲ行ハシメ其ノ結果ヲ直接報告セシメラレ以テ身體檢定相成候ハ差支無之候條御了知相成度此段及回答候也

○小學校教員試驗檢定上某學科目成績優良證明書ノ授與ニ代フルニ告示ヲ以テスルハ然ルヘカラス  
【問】 小學校令施行規則第一百四條ニ依レハ小學校教員試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ學科ノ成績優良ナルモノニハ證明書ヲ授與シ更ニ試驗檢定ヲ出願スルトキハ其證明書ニ記載シタル學科ノ試驗ヲ缺クコトヲ得候處右ハ事務簡捷ヲ計ル爲メ其學科及氏名ヲ告示(縣公文)シテ證明書ニ代ヘ更ニ試驗檢定ヲ出願スルトキハ其科目ノ試驗ヲ缺クカ如キハ敢テ差支ナキ義ニ候哉他縣ニ於テハ其例モ有之候ニ付此段及照會候也(大正三・四・二二・熊本縣照會)

【答】 右ノ場合ニ於テ告示ヲ以テ證明書ニ代フルハ然ルヘカラサル儀ニ有之候(大正三・六・六・普通學務局同答)

○師範學校第二部卒業生ヲ農業科加設ノ小學校教員ニ採用上學力檢定ヲ要セス農業教員養成所へ入學ハ師範學校在學中農業科ヲ修メタル者ニ限ル  
【問】 師範學校第二部卒業生ヨリ小學校專科(農業科)正教員檢定出願ノ處同部ノ教科目中ニハ農業科無之該科加設ノ小學校教員ニ採用上農業科ニ關スル學力ヲ檢定スルノ必要ヲ認メ候得共明治三十七年十一月二十九日辰東普二四六號ヲ以テ東京府ニ御通牒ノ次第モ有之詮議スヘキ限リニ無之ト被存候得共聊カ疑義ニ涉リ候條至念何分ノ御回示相煩度此段及照會候也 追テ師範學校第二部卒業生ニ農業科專科正教員ノ免許狀ヲ授與スルヲ得ルトセハ該免許狀ヲ有スル者ハ農業教員養成所入學ニ於テ農業科ヲ修メタル者ニ準シ入學差許サルヘキ儀ニ候哉併セテ御回答相煩度候也

(大正三・八・八岩手縣照會) (大正三・八・十五普通學務局同答)  
(岩學發六五號) (岩普六・一號普通學務局同答)

【答】 御意見ノ通 追テ農業教員養成所ニ入學スヘキ者ハ師範學校在學中農業科ヲ修メタルモノニ限ル

○小學校教員試驗檢定上他府縣ニ於テ證明科目ハ試驗省略差支ナシ

(大正四・二・十二 回答及各地方廳へ普通學務局通牒) (北 普 二) 號

【問】 小學校令施行規則第十四條ノ證明科目ノ效力ハ全國ニ通シ有效ナリヤ(北海道廳照會)

【答】 今般小學校教員免許狀ニ關シ規定ノ改正モ有之候ニ付小學校教員試驗檢定ノ際ハ他府縣ニ於テ證明シタル科目ハ御見込ニ依リ之カ試驗ヲ省略相成候トモ差支無之候

○小學校教員檢定上專門學校入學者檢定規程第三條ノ試驗檢定合格者並同第八條ニ依リ指定セラレタル者ヲ中學校及高等女學校卒業者ト同様取扱ハ現行規程上不可然

(大正八・十二・三 兵 普 一六〇 號 兵庫縣照會)

【問】 小學校教員試驗及無試驗檢定ニ關シテハ小學校令施行規則第七條及第一百三十三條ニ規定ノ次第モ有之候處專門學校入學者檢定規程第三條ニヨル試驗檢定合格者及同第八條第一號ニヨリ一般ノ專門學校入學ニ關シ中學校又ハ高等女學校卒業者ト同等以上ト指定サレタル學校卒業者ニ對シ檢定ヲ行フ場合ハ中學校又ハ高等女學校卒業者ト同様取扱可然哉

【答】 右ハ現行規則ニ照シ不可然(普通學務局回答)

○殖民地ニ於ケル師範學校、公立中學校、高等女學校等卒業者ヲ内地小學校教員檢定取扱内地同種學校ニ準シ取扱方

(大正十一・二・二 發 普 二・三 號 各地方廳、殖民地官廳へ普通學務局通牒)

自今小學校教員ノ檢定取扱上ニ關シ臺灣總督府、朝鮮總督府、樺太廳、關東廳管内師範學校(特科ヲ除ク)官公立中學校、高等女學校卒業者並青島守備軍司令官ノ設置セル青島中學校及青島高等女學校卒業者ニ對シテハ小學校令施行規則第七條第一項第四號同第一百三十三條第六號第七號ノ中學校及高等女學校ノ卒業者ニ準シ取扱相成差支ナキコトニ省議決定致候

○朝鮮ニ於ケル臨時教員養成所並師範學校演習科卒業者ニ對シ教員檢定規程上小學校本科正教員免許狀所有者ニ準シ取扱方

(大正十・五・十二 折 殖 局 經 由 朝 鮮 總 督 府 照 會) (大正十・七・一五 普通學務局折殖局へ回答) (學 第 二・二・三 號)

【問】 京城中學校附屬臨時小學校教員養成所及京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部卒業者ノ明治四十一年文部省令第三十二號教員檢定ニ關スル規程第九條ノ試驗檢定取扱方ニ關シテハ教育大意ノ試驗ヲ省略セラルコトニ御省議決定ノ趣大正四年五月學第八一九號當府照會ニ對シ同年六月卯官普一〇九號御回答ノ次第モ有之候處本年三月文部省令第十四號ヲ以テ同條中改正セラレタルニ就テハ同條但書ニ依リ小學校本科正教員ニ對シテ省略セラルヘキ國民道德要領ハ教育大意同様京城中學校附屬臨時小學校教員養成所及京城高等普通學校附設臨時教員養成所卒業者ニ就テハ御省略相成候様致シ度及照會候也

【答】 右ハ省略スル様省議決定相成リシニ付其旨御傳達テ乞フ

○幼稚園保攝試驗ニ關スル疑義

(大正十五・六・二 愛 知 縣 照 會) (大正十五・七・十 普通學務局回答)

【問】 幼稚園令施行規則第十二條ニ依レハ高等女學校卒業者等ノ保攝試驗檢定ハ少クトモ修身、教育、保育、圖畫、手工、音樂、體操ノ七科目ヲ受験セサルヘカラス然ルニ本縣其ノ他ノ各府縣ニ於テハ高等女學校卒業者ノ尋常小學校本科正教員試驗檢定ハ教育一科目ヲ受験ヲ以テ足ル因テ高等女學校卒業者ニシテ教育一科目ヲ受験シ尋常小學校本科正教員免許狀ヲ取得シ幼稚園令施行規則第十條第一號ニ依リ無試驗檢定ヲ出願スルニ至レハ規程第十二條ニ據ルモノ無キニ至ルナキヤ、コレカ取扱ハ如何ニ致スヘキヤ

【答】 小學校教員ト幼稚園保攝トハ其ノ任務ヲ異ニスル點アルニ付其ノ檢定手續上多少ノ相異アルハ免レサル處ナリ、然レトモ待遇等ノ關係上兩者ノ檢定手續ニ於テ均衡ヲ保ツハ又必要ナルコトト認ムルニ付其ノ科目ニ於テ甚シキ相異アル場合ニハ其科目ノ程度等ニ適宜斟酌ヲ加ヘラルル様御取計相成度

○幼稚園令實施ニ關スル疑義

(大正十五・七・十六 福岡縣照會) (普通學務局回答)

二二六

【問】 一、私立幼稚園長ノ採用ニ關シテハ私立學校令第三條及第十六條ニ依リ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケシムヘキモノト存セラレ候得共幼稚園令施行規則第十四條及第十六條ニ依リ小學校令施行規則第三百二十二條ヲ適用スレハ設立者ニ於テ採用ノ上府縣知事ニ届出テシムヘキモノトモ存セラレ候ニ付テハ其ノ何レニ依據スヘキモノナリヤ  
二、保婦ノ試験檢定ハ幼稚園令施行規則第十一條ニ依リ尋常小學校本科正教員ノ試験檢定ノ程度ニ於テ施行スヘキノ處左ノ證明書又ハ免許狀ヲ有スル者ニ保婦ノ試験檢定ヲ爲ストキ當該證明書又ハ免許狀記載ノ學科目カ保婦檢定ノ程度ト同等若ハ同等以上ニ於テ行ハレタルモノト認メタル場合ハ該學科目ノ檢定ヲ缺クモ差支ナキヤ

【答】 一、尋常小學校本科正教員小學校准教員又ハ小學校本科正教員ノ試験檢定ニ於テ某學科目ニ關シ成績佳良ノ證明書ヲ有スル者 2、小學校專科正教員ノ免許狀ヲ有スル者 3、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ヲ受ケ幼稚園令施行規則第十二條規定以外ノ學科目ニツキ合格證明書ヲ有スル者

○保婦免許狀取得者ノ無試験檢定ニ關スル年數通算方疑義

【問】 從前ノ規程ニ依リ保婦免許狀ヲ取得シ三年以上幼稚園ニ於テ幼兒保育ニ從事シタルモノハ幼稚園令施行規則第十條第四號ニ依リ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル規程ナルモ右三年以上幼稚園ニ於テ從事シタルモノノ中ニハ甲縣ニ於テ授與シタル免許狀ヲ所有シ乙縣(乙縣免許狀ヲ有セス)ノ分ト前後通算シテ三年以上ニ達シタルモノヨリ乙縣ニ無試験檢定ヲ出願シタル場合乙縣ニ於テ右取扱可然哉(昭和二十・三・一・東京府伺)

(昭和四・六・六 高知縣照會) (昭和四・十二・一 普通學務局回答)

(高普一九號)

○教員免許令第十條適用ニ關スル疑義

【問】 一、教員免許令第五條第二號前段ノ復權セサル者トハ破産法第三百六十七條ノ復權ノ申立ヲ爲シ之ニ關スル消極ノ決定アリ之カ確定シタル場合ニ於テノミ復權セサル者トイフモノナリヤ若シ然リトセハ如斯申立ヲ遷延スルニ於テハ復權ノ有無不確定ナル爲確定ノ復權セサル者トシテ取扱フ事ヲ得サルヘシ從テ教員免許令第十條ノ適用ナシトスヘキヤ  
二、或ハ又復權ノ申立ヲ爲サストモ復權セサル者トイヒ得ルヤ  
三、又ハ破産宣告ニ對シテハ破産法第一百二條ノ抗告ヲ爲シ之ニ對スル決定確定セサル間ハ復權セサル者トセスシテ取扱ヒ得ルヤ

(一) 師範學校中學校高等女學校

○師範學校尋常中學校高等女學校教員檢定願書添付身體檢查書ニ關スル注意

(明治三一・十一・二四 文書課通牒)

師範學校外二校教員檢定願書ニ添付スヘキ身體檢查書ハ本年十月文部省令第二十一號ヲ以テ改定相成候處往々學校醫ノ設置アル地ニシテ他ノ醫師ノ檢查書ヲ添付シ又ハ檢查醫ノ學位若クハ資格ヲ記載セサル向有之候得共自今學校醫ノ設置アル市町村ヨリ右檢定ヲ出願スル者ハ必ス學校醫ノ身體檢查書ヲ添付シ其他ニアリテハ檢查醫ノ資格ヲ明記セシメラレ度

○癩右上位者ハ地理及歴史科教員トシテ差支ナシ

(明治四一・三・九 深川致隆問合) (明治四一・三・十六 普通學務局回答)

【問】 拜啓私儀今般中學校教員檢定試驗ニ應シ度候處左ノ件不明ニ付何分ノ御回答ヲ得度

全身頗ル強壯ナリ然レトモ次ノ如キ失格ヲ有スル體格ニテ受驗ノ資格アリヤ否ヤ 日露戰役ニ從軍シ右肩胛關節部ニ貫通銃創ヲ受ケ爲ニ現今正中、擔骨兩神經麻痺症ヲ貽シ右手指ノ掌握屈伸ノ作用ヲ廢ス

但志望學科ハ地理及歴史科ニシテ答按ハ左手ニテ充分書ク事ヲ得

【答】 地理及歴史科ニ就キテハ教員トシテ差支ナシト存候

○師範學校中學校高等女學校教員檢定試驗出願者中原籍又ハ寄留地以外ノ地方廳ニ於テ豫備試驗受験者願書  
八本籍地市區町村長證明書添付セシメ受理方  
(明治四一・四十三 各地方廳へ普通學務局通牒)  
(申雜普一〇九號)

本年度以降施行ノ師範學校中學校高等女學校教員試驗檢定出願者ニ對シテハ彙ニ當該豫備試驗ノ受験地ハ變更許可相成ラサル旨及通牒置候處右出願者中貴道廳(府縣)ニ原籍又ハ寄留籍ヲ有セサル者ニシテ願書ヲ差出候者有之候際ニハ教員免許令第五條各號ニ該當セサルヤ否ニ就キテハ其本籍地ノ市區町村長ヨリ證明書ヲ徵シ願書ニ添付セシメラレ候上受理相成等可成便宜ヲ與ヘラレ候様致度佐命此段及通牒候也

○師範學校中學校高等女學校教員試驗檢定願書火災ノ爲燒失再願書ハ知照證明セハ檢定料再貼ヲ要セス

【問】 本公施行可相成師範學校中學校高等女學校教員試驗檢定出願者中左記ノ者ノ檢定願書ハ客月十月當廳舍火災ノ際燒失候ニ付再提出セシメ候處右再提出ノ檢定願書ニ對シテハ手数料トシテ納付スヘキ收入印紙ハ之ヲ再貼セス進達致度候  
ニ付御差支ノ有無至急御回答ヲ煩シ度此段及照會候也(左記略)(明治四一・六・十一・長野縣照會)

【答】 右ハ貴官ニ於テ事實ヲ御證明相成候ハ、再貼ヲ要セス (明治四一・六・十五 普通學務局回答)

○教員試驗檢定願書不備ノ爲返送中紛失再願書ニ手数料不貼納聞置 (明治四二・六・二九・山形縣通申)

【問】 日東史學科受験者中本年五月提出セル青井法善願書不備ノ康有之一先返戻候處其後願書提出無之ニ付督促候處願書受納セサル旨申出ニ付郵便局ニモ照會候處不明ノ旨回答有之然ルニ本人最初出願セル書類ニハ印紙貼用ノ上消印セシモノニ有之候ニ付印紙貼用セス願書進達候條特別ノ御詮議ヲ以テ試驗檢定相成候様致度此段申添候也  
【答】 既ニ消印済ノ者ニモ有之聞置カレ候(明治四二・七・八・普通學務局通牒)

○化學實驗ノ際左手五指及右手拇指喪失者ハ答案作製並出願學科ノ授業上差支ナケレハ數學科受験許可セラ  
ルヘキ見込

【問】 私儀數學教員志望ノ處身體ハ強壯ナレトモ化學實驗ノ際負傷シ左手五指及右手拇指ヲ缺如ス然レトモ日常生活ニ毫モ他人ヲ煩ハスコトナキハ勿論自己志望ノ學科ノ授業及机上一切ノ事務ニハ差支ナキコトヲ自認ス(嘗テ海軍省艦政本部ニ採用セラレ一年以上ノ後身上ノ都合ニヨリ依願免職トナリ在學中モ他生徒同様筆記及答案ノ記載ニ毫モ不便ヲ感セス)右體格ニテ試驗出願御許可相成モノニ候哉御示教相成度願上候(大正四・一一・二九・受験者問合)

【答】 數學科ニ就キテハ受験許可セラレヘキ見込ニ有之候(大正四・一一・二八・普通學務局回答)

○朝鮮臺灣關東州樺太等ノ中學校高等女學校卒業者ヲ教員檢定受験資格上内地同學校卒業者ト看做シ取扱方  
(大正五・七・二四 普通學務局何定)  
(發普二七七號)

中學校令高等女學校令ニ依ラサル朝鮮臺灣關東州樺太等ニ於ケル中學校高等女學校ニシテ既ニ其ノ生徒及卒業者ノ入轉學關係上前記各勅令ニ依リ設置シタル學校ノ生徒及卒業者ト同一ノ取扱ヲ受ケタル學校ノ卒業者ハ教員檢定ニ關スル規程第五條ノ中學校高等女學校各卒業者ト看做シ取扱可然

### 第十九 免 許 狀

○小學校本科正教員免許狀所有者ニハ專科正教員免許狀不授與方

(明治三七・三十一・二九 東京府へ普通學務局通牒)  
(辰東普二四六號)

本年十一月二十一日三甲第七五九八號ヲ以テ小學校教員免許狀授與ノ件御稟申相成本日認可相成候處某ハ彙ニ貴府ニ於テ授與相成タル小學校本科正教員免許狀ヲ有スル者ニ有之而シテ檢定ニ際シ小學校令施行規則第八條但書ニ依リ某科目ノ檢定ヲ關キタリトスルモ同但書ハ單ニ檢定ニ缺クコトヲ得ヘキ科目ヲ規定シタルニ止レハ免許狀ノ效力ハ檢定ヲ缺キタル科目ニ



モ及フヘキ儀ニ有之從テ特ニ本人ニ對シ商業科ノ免許狀ヲ授與スルニ及ハサルモノト認メラレ認可不相成

○尋常小學校教員無試驗檢定ニ依リ小學校本科正教員免許狀授與稟申ニ關スル注意

(明治四十一年十二月九日各地方廳へ普通學務局通牒) 未發普四三一號

小學校令ノ改正ニ伴ヒ尋常小學校教員ノ學力ヲ補習スル爲メ何レノ地方モ盛ニ講習會ヲ開設シ改正令實施ノ準備中ナルニ拘ラス地方ニヨリテハ補習ノ經歷不十分ナル尋常小學校正教員ニ對シ無試驗檢定ニ依リ小學校本科正教員ノ免許狀ヲ授與セントシテ稟申相成候向モ有之候處目下ノ最大急務ハ學力ノ充實ニ在リテ資格ノ昇進ニ存セサルハ勿論ノ儀ニ候ヘハ特ニ拔群ノ者ニ對シ上申相成候場合ニ於テモ本年六月發普第二〇三號通牒ノ講習程度ニ比準シ資格相當ノ補習經歷ヲ有スル者ニ就キ教育上ノ成績ヲモ考ヘ一層嚴密ナル調査ヲ遂ケラレ候様致度依命此段及通牒候也

○家資分散ノ宣告ヲ受ケ抗告ノ結果該宣告ヲ取消サレタル者ハ小學校教員免許狀ノ效力ヲ失ハス

(明治四十四年五月二十二日秋田縣照會) (明治四十四年五月二十九日普通學務局照會)

【問】 小學校ノ教員ニシテ家資分散ノ宣告ヲ受ケ抗告ノ結果宣告ヲ取消サレタル者アリ免許狀失效ナリヤ(信文)

【答】 本月二十二日付電報照會ノ小學校教員免許狀ニ關スル件ハ其ノ效力ヲ失ハサルモノト認ム

○小學校教員免許狀失效ノ時期ハ判決又ハ宣告ニ對シテハ其確定ノ時トス

【問】 一、小學校令第四十九條第一項第一號ニ所謂「刑ニ處セラレタルトキ」第二號ニ「宣告ヲ受ケタルトキ」トアルハ其判決又ハ宣告ノ確定シタルトキト解スヘキヤ將又單ニ判決ノ言渡若ハ宣告ノアリタルヲ以テ充分ナリトスヘキヤ  
二、前項後段ノ通りナリトスレハ判決又ハ宣告カ復審ノ結果取消サレタル場合ニ於テハ免許狀ノ效力ハ當初ニ題及シテ復活スルモノト解スヘキヤ否ヤ (大正六年十月十千葉縣照會)

【答】 右ハ判決又ハ宣告ノ確定シタルトキト解スヘキ儀ト存候 (大正六年十二月三日普通學務局回答)

○懲役刑ニ依リ刑ノ執行猶豫滿了者ノ小學校教員免許狀ノ效力ニ關スル疑義

【問】 小學校教員ニシテ懲役ノ言渡ヲ受ケ二ケ年間其ノ執行ヲ猶豫サレ猶豫期間滿了シタルモノニ對スル小學校教員免許狀ノ件ニ關シテ明治四十三年京都府照會ニ對シ「更ニ檢定ノ上免許狀ヲ授與スヘキ旨」又大正六年千葉縣照會ニ對シ免許狀失效ノ時期ハ「判決又ハ宣告ノ確定シタルトキト解スヘキ旨」御回答ノ次第モ有之候處小學校令第四十九條第一項第一號ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ免許狀ハ效力ヲ失フ旨ノ規定ニ有之刑ノ執行ヲ猶豫セラレ猶豫期間滿了シタル者ハ刑ノ言渡ヲ受ケ判決ハ確定シタルモノナレトモ所謂「刑ニ處セラレタルトキ」ニアラサルヲ以テ免許狀ハ失效スヘキモノニ無之ト存セラレ候ヘ共前通牒ノ次第モ有之聊カ疑義ニ涉リ候ニ付御意見承知致度此段及照會候也  
追テ小學校令第四十九條第一項第一號該當者トシテ免許狀ノ效力ヲ失フモノナラハ小學校令施行規則第四百條第一號ニモ該當スルヲ以テ檢定受檢資格モ無之儀ト存候ニ付申添候 (大正九年七月八日兵庫縣照會)

【答】 本年七月八日學第二二四五號テ小學校教員ニシテ懲役刑ノ言渡ヲ受ケ二ケ年間其ノ執行ヲ猶豫サレ猶豫期間滿了シタル者ニ對スル小學校教員免許狀ノ件ニ關シ御照會ニナリマシタカ右ハ刑ノ執行猶豫ヲセラレタルモノナリト雖刑ニ處セラレタルコトハ明カテスカラ通牒ノ通ト御了知下サイ

追テ處刑後刑法第二十七條ノ猶豫期間滿了シタルトキハ刑ノ言渡ハ其ノ效力ヲ失フニヨリ小學校令施行規則第四百條第一號ニ該當セサルモノトシテ取扱フヘキ筋ト存シマスカラ申添マス (大正九年八月二日普通學務局回答)

○小學校教員免許狀授與ニ關スル疑義

(昭和四年十月二十二日各地方廳へ普通學務局通牒) 岐普三三號

【問】 客年十二月二十六日二學第一九五二號及二學第二四四八號ヲ以テ標記ノ件報告候處客月二十四日岐普四六號ヲ以テ免許狀授與シ難キ旨通牒有之候因ヨリ大正十年八月發普三二〇號通牒了知候處大正十五年五月二十七日發普九六號師範教育改善補助ニ關スル通牒ニヨリ尋常小學校本科正教員講習實施要項ニ依リ講習終了者中成績佳良ナル者ニ對シテハ

當然免許狀授與スヘキ儀ト存候然ルニ客月二十四日岐普四六號通牒ニ依ルトキハ客月五月發普九六號通牒ノ御主旨ニ反シ候尙今後右講習生募集スルモ希望者無之儀ト存セラレ候處客年五月發普九六號通牒ニ基キ免許狀授與スヘキニ就テハ如何ナル方法ニ依ルヘキ儀ニ候哉何分ノ御指示相成度此段伺上候

【答】 小學校令施行規則第七條第六號ニ依リ小學校教員免許狀ヲ授與セララルル場合ハ總テ大正十年發普三二〇號通牒ノ調査標準ニ依ルヘキ筋ニ有之大正十五年發普九六號師範教育改善補助ニ關スル通牒ニ依ル尋常小學校本科正教員講習實施要項第四項第二號中「其ノ成績ヲ考查シ」ノ趣旨ハ大正十年發普三二〇號通牒調査標準ニ依リ其ノ成績ヲ考查スヘキ儀ニ付御了知相成度

### 第二十 教員資格

#### (一) 小學校

○小學校專科正教員ヲ置ク場合其ノ人ヲ得サルトキハ代用教員採用差支ナシ

(大正三・十二・七 東京府へ普通學務局通牒) 雜普四七二號

客月二十八日付ヲ以テ第十七回東京府聯合教育會議長子爵岡部長職ヨリ本省大臣へ建議相成候事項中「小學校專科正教員ニ代用教員モ採用シ得ル様セラレタキ事」ト題スルモノ有之候處小學校專科正教員ヲ置クヘキ場合ニ於テ其ノ人ヲ得サルトキハ代用教員ヲ採用セララル、モ差支無之儀ニ有之候條右ノ趣建議者へ御傳達相成度此段及通牒候也  
追テ本件ニ就テハ明治三十三年文部省例規類纂御參照相成度爲念申添候也

○外國人ヲ代用教員ニ採用ハ高等小學校ニ於テ外國語ヲ教授スル場合ニ限り差支ナシ

【問】 小學校ノ英語科ヲ教授セシムル爲メ本邦語ヲ充分ニ理解シ且教授法ニモ熟達セル外國人ヲ代用教員トシテ採用致度候

處右ハ差支無之候哉差懸リタル事實モ有之候ニ付至急何分ノ儀御回示相成度(大正八・五・三・兵庫縣伺)

【答】 右ハ高等小學校ニ於テ外國語ヲ教授スル場合ニ限り差支無之候 追テ代用教員人選方ニ就テハ明治四十三年十月成發普三九七號通牒ノ次第モ有之候ニ付特ニ本文ノ如キ外國人採用ノ場合ニ於テハ一層其ノ人選ニ御留意相成度爲念此段申添候也(大正八・六・四・普通學務局回答)

○小學校教員無試驗檢定取扱方疑義

(昭和七・六・二七 朝鮮總督府照會)

(昭和七・七・九 各地方廳へ普通學務局通牒) 新普二一號

【問】 小學校教員無試驗檢定ニ關シ左記經歷ノ者ハ小學校令施行規則第七條第一項第四號該當者ニ準シ取扱フヘキコトト大正十一年二月二日發普二三號ノ御通牒有之候處尙同條第二項該當者トシテ取扱差支ナキヤ又ハ府縣内ノ小學校教育ニ二十年以上從事セサレハ出願資格ナキ者トシテ取扱フヘキヤ

- 一、大正十四年三月 京城公立第二高等女學校卒業
- 一、大正十五年三月 官立京城師範學校演習科卒業
- 一、自大正十五年三月至昭和七年三月 朝鮮公立普通學校訓導就職

【答】 右ハ小學校令施行規則第七條第二項前段ノ該當者トシテ取扱ヒ差支無之

#### (二) 師範學校中學校及高等女學校

○實業學校及高等女學校教員資格中小學校教員免許狀所有者ニハ他府縣免許狀包含

一、明治四十年文部省告示第二百四十八號中公立實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者ノ指定中實業學校ノ豫科ノ學科目ヲ擔任スル教員及甲種程度ノ實業學校ヨリ低度ノ實業學校ノ教員タルコトヲ得ヘキ者中小學校本科正教員、小學校專科正教員又ハ小學校准教員免許狀ヲ有スル者ニハ採用府縣以外ノ免許狀ヲ有スル者ヲ包含ス(後略)(明治・四一・十二・十二 實業學務局伺定)

○中學校ニ於テ體操科ニテ擊劍及柔術ヲ受持ヘキ教員ハ教諭助教諭ト稱スルコトヲ得ス當分ノ内有資格無資

格ノ關係上何レニモ屬セサルモノトシテ取扱フ

(明治四五・一・二四 各地方廳へ普通學務局通牒) 發普一・一二號

客年文部省令第二十六號ヲ以テ中學校令施行規則中改正ヲ加ヘラレ來學年ヨリ體操科ニ於テ擊劍及柔術ヲ授クルコトヲ得ルコト、相成候ニ就テハ自然右受持教員採用ノ向モ可有之ト存候處何等教員免許狀ヲ有セスシテ專ラ擊劍及柔術ヲ受持ツヘキ教員明治三十三年文部省令第十五號第三條ノ關係ニ於テハ教諭助教諭ト稱スルコトヲ得サルハ勿論ニ候へ共第四條ノ關係ニ於テハ當分ノ内有資格無資格何レニモ屬セサルモノトシテ御取扱相成度依命此段及通牒候也

○手藝ノ内染色機織ノ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ノミヲ有スル者ニシテ中學校ニ奉職セントスル場合ニ於ケル教諭任用ニ關スル疑義

(大正十五・七・八 岐阜縣照會) 十五學第二〇一〇號

(大正十五・八・四 普通學務局回答) 岐普四六號

〔問〕 農業科ノ免許狀ヲ有スル者農業科ノ設置ナキ中等學校ニ奉職スル場合ハ教諭トシテ任用差支無之旨鹿兒島高等農林學校伺出ニ對シ大正十一年五月十九日御回答相成居候處中學校學科目中ニ無キ手藝科ノ免許狀ノミヲ有スル者ヲ中學校教諭ニ任用スヘキ筋ニ無之様被認候へ共或ハ手藝科ヲ中學校令施行規則第一條ノ學科目中ノ實業(工業)科ト看做シテ任用シテ差支無キカトモ考ヘラレ聊カ疑義ニ亘リ候條任用上差支ノ有無至急御回示相煩度此段及御照會候

〔答〕 右ハ公立中學校ノ教諭ニ任用シ得サル儀ニ付御了知相成度

○教員檢定ニ關スル規程第七條第五號改正ニ付檢定願書ニ調査書添付方

(昭和四・八・十三 普通學務局通牒) 發普一八七號

從來師範學校官立公立ノ中學校女學校及之ト同等以上ノ官立公立ノ學校ニ於テ五箇年以上檢定ヲ受ケントスル學科目ノ教授ヲ擔任セシ者ハ無試驗檢定ヲ出願スルコトヲ得ル規定ナリシカ本年六月二十四日文部省令第三十五號ヲ以テ私立學校教員ニ對シテモ同様無試驗檢定ノ出願ヲ認メラレタルニ依リ爾今檢定願書御進達ノ際ハ公私立學校教員共貴廳ニ係ル事項ニ付別紙様式ニ依ル調査書添付相成度

就職年月日	年 月 日	就 職
轉退職年月日	年 月 日	轉 退 職
各年次別擔任學年、學科目、並每週授業時數		學 校
出願學科目ノ研究ト學力向上ニ努メタル事績		縣 府
教授、訓練ノ成績		
勤 務 情 況		
師範學校中學校高等女學校教員免許狀、實業學校教員免許狀ノ有無並學科目		
視察者ノ意見		

記載上ノ注意

一、各年次別擔任學年、學科目並每週授業時數ノ欄ハ左記ノ如ク表示スルコト

年次	擔任學年	第 何 學 年	第 何 學 年
何 年 度	擔任學科目(每週授業時數)	擔任學科目(每週授業時數)	

右表中出願學科ノ每週授業時數ハ當該學科ノ各分科ニ付キ其ノ授業時數ヲ示サレタシ、例セバ「國語」ハ講讀、文法、作文、文學史ニ「英語」ハ講讀、文法、作文、會話ニ「歴史」ハ日本史、東洋史、西洋史ニ「數學」ハ算術、代數、幾何、三角法ニ「體操」ハ體操、教練、遊戲、競技等ニ分チテ記載スルカ如シ

一、出願學科目ノ研究ト學力向上ニ努メタル事績ノ欄ニハ具體的ノ研究事項、講習ノ出席等ヲ詳記シ、又師範學校外ニ校教員試驗檢定ヲ受験セルモノニ付テハ受験年月日ヲ記載スルコト 一、教授、訓練ノ成績ノ欄ニハ教授ノ能力及擔任學科ノ成績向上ヲ證明スルニ足ルヘキ具體的事項其ノ他感化影響等ヲ記載スルコト 一、勤務情況ノ欄ニハ勤惰ノ詳細、校務分掌ノ情況、學級擔任ノ成績、舍監事務ノ成績等ヲ記載スルコト 一、視察者ノ意見ノ欄ニハ府縣視學官ニシテ出願者ノ教授其ノ他ヲ視察セルモノアラハ其ノ氏名、年月、及所感ヲ記載セラレタシ

### (三) 實業學校

#### ○公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程中改正ニ付注意方

(大正十三年二月五日 發實四四號 各地方廳へ實業學務局通牒)

大正九年十二月十八日文部省令第三十四號ヲ以テ標記ノ件改正ニ付左記ノ事項御了知相成度

- 一、規程第二條ノ二ノ精神ハ實業補習學校ノ實業科目擔任教員ヲ總テ第二條該當者ノミニ求ムルハ土地ノ情況ニ依リ困難ナ場合モアリ又科目ニ依テハ第二條ノ資格ヲ有セサルモ特殊ノ技能アル者ニ之ヲ受持タシムルヲ適當トスルコトモアルヘキニ依リ實業ニ關シ特別ノ知識經驗ヲ有スル者ニハ特ニ其ノ資格ヲ認ムルコトトナツタ次第アリマスカラ之カ認可ニ就テハ十分慎重ニ審査セラレヘキコト
- 二、實業學校令並公立學校職員制改正ノ結果公立實業補習學校ノ教員ハ他ノ實業學校ノ教員ト同様教諭又ハ助教諭ト稱スルコト、ナリマシタカ規程第四條ノ二中第三號及第四號ニ該當スル者ヲ教諭ト爲ス場合ハ單ニ其ノ在職年數ノミニ依ラス既往ノ成績等ヲモ參酌シ慎重ニ銓衡セラレヘキコト

三、附則第四項ニ依リ相當斟酌シ得ル助教諭ノ在職年數ニ關シテハ既往ノ在職年數ノ凡ソ二分ノ一マテヲ加算スルコト

四、實業補習學校教員養成所ニ準スヘキ施設ニシテ附則第五項ニ依リ文部大臣ノ指定ヲ受ケントスルコトキハ左記ノ事項ヲ具シ申請スルコト

- 一、名稱 二、位置 三、沿革 四、規則 (創立以來規則ニ變更アリタルトキハ變更前ノ規則ヲモ添付スルコト)
- 五、生徒定員及生徒數 六、最近年度ノ經常費豫算 七、職員ノ氏名、資格、學業經歷、擔任學科目及專任兼任ノ別 八、創立以來毎年度卒業者ノ員數及卒業者現在ノ情況

#### ○實業學校教員資格ニ關スル疑義

(大正十一年二月二日 發實二六八號 各地方廳へ實業學務局通牒)

大正九年文部省令第三十四號施行ノ際大正八年文部省告示第九十二號公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定第二號各項ノ一ニ該當シ實業學校ノ教諭又ハ助教諭ノ職ニ在リタル者ニシテ標記ノ資格認可ニ關シ往々願出ノ向モ有之處右ハ同令附則第二項ニ依リ認可ヲ受ケサルモ當然有資格教員ニ有之別段指令不相成ニ付御了知相成度 追テ彙ニ御進達相成タル申請中右ニ該當スル者ニ對シテハ其ノ旨御傳達相成度

#### ○公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程中家事又ハ裁縫モ實業學科目トシテ取扱方

(大正十一年七月八日 發實一七六號 各地方廳へ實業學務局通牒)

【問】 大正九年十二月文部省令第三十四號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程中第二條ノ二ノ精神ニ關シテハ大正十年三月二十五日發實第四十四號御通牒ノ次第モ有之候處家事及裁縫兩科目ハ大正九年十二月文部省令第三十二號實業補習學校規程第五條並第八條ノ規定ヲ參案スレハ所謂職業學科中ニハ包含セサル儀ト思料候得共前記第二條ノ二ノ實業ニ關スル科目トハ認メ得ヘキカ聊カ疑義ノ點モ有之候ニ付何分ノ御意見承知致度 (長崎縣何)

【答】 家事又ハ裁縫ハ職業ニ關スル學科目トシテ課スル場合モ有之ヘキニ付是等學科目ハ公立私立實業學校教員資格ニ關ス

ル規程第二條ノ二ニ所謂實業中ニ包含セラルル所ニ有之從テ右學科目ニ關シ特別ノ知識經驗ヲ有ル者ニ對シテモ同規程第二條ノ二ヲ適用シ得ル義ト御了知相成度

## 第二十一 學校衛生

### (一) 總 規

#### ○學校ニ於ケル「トラホーム」患者治療上學校醫ヨリ點眼ニ關スル技術練習職員點眼差支ナシ

【問】 學校點眼ニ就テハ往々醫師規則違反等ノ議論アリト雖モ先年來之レカ實施ノ結果ニ由レハ其功果ハ鮮少ナラスト相認ムルヲ以テ以後益之レテ獎勵シ彼ノ頑固ニシテ實ニ恐ルヘキ疾病ヲ根絶センコトヲ期シ度就テハ大要別紙本縣師範學校附屬小學校ニ於ケル施設ノ如キモノヲ一般ニ實施セシメ度思考候得共爲念右ニ關シ御意見ノ在ル處ヲ承知致シ度

【答】 右ハ御規定ノ如ク學校醫ヨリ其技術ヲ練習セル一定ノ職員ヲシテ學校醫ノ指揮ノ下ニ點眼ニ從事セシムル儀ハ差支無之(明治四〇・一二・一四・德島縣照會) 普通學務局回答 (明治四一・三・六・各地方長官へ文部次官通牒)

#### ○學校傳染病種類中疫病ハ赤痢ノ疑似トシテ取扱方

先般發布相成候學校傳染病豫防規定ニ掲ケラレタル傳染病ノ種類中ニハ疫病ヲ含ムヤ否ヤニ付問合ノ向モ有之候處右ハ同規定第一條第二項ニヨリ赤痢ノ疑似症トシテ取扱フヘキ儀ニ有之候條此段爲念及通牒候也

#### ○學校衛生事務ニ關スル注意

近來全國一般ニ學校衛生振興ノ機運カ起ツテ來マシタカ教育ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニハ將來益々其ノ向上ヲ計ラナケレハナリマセヌ、昨年來學校衛生ニ關スル規程ヲ作り又ハ訓令ヲ發セラレ近ク學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程カ制定セラレタ

(大正九・四・九各地方長官へ文部次官通牒)  
發普一九五號

(大正八・一・一九各地方長官へ普通學務局通牒)  
發普八四九號

ノモ畢竟此ノ趣旨ニ外ナラナイヲアリマス就テハ此際特ニ左ノ諸點ニ關シテ遺憾ナキ措置ヲ採ラレル様、命ニ依テ通牒致シマス

- 一、校地ノ選定、校舎、寄宿舎等ノ建築及其ノ他衛生上顧慮ヲ要スル事項ニ就テハ必ス豫メ學校醫若ハ他ノ適當ナル醫師ノ意見ヲ徵スル様取計ハレルコト
- 二、學校衛生ハ學校教員ト學校醫トノ協力ニ待タナケレハナラナイノハ勿論テアルカ、時世ノ進運ニ伴ヒ、愈々兩者ノ聯絡ヲ親密ナラシメテ其ノ實績ヲ學ケル様、相當ノ手段ヲ講セラレルコト
- 三、過般發布セラレタ學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程ニ依テ、學校醫ノ資格カ醫師法ニ依ル醫師全般ニ及フ譯テアルカラ、學校醫ヲ囑託スル場合ニハ一層其ノ人選ニ注意スル様取計ハレルコト
- 四、前記ノ規程ノ實施ニ伴ツテ、學校醫ノ職務カ益々繁多ニナルニ就テハ、此ノ際學校醫ノ手當ヲ増額スル様取計ハレルコト
- 五、一般ノ學校醫ニ能ク新規程ヲ會得シテ職務ニ勵精サセ、學校衛生振興ノ目的ニ副ハセル様督勵セラレルコト

#### ○學校傳染病豫防規程第六條ノ學校閉鎖ハ他ノ學校關係法規ニ閉鎖若ハ臨時休業ヲ行フ別段ノ規定ナキ場合

##### ニ適用方

學校傳染病豫防規程第六條ノ學校閉鎖ニ關シテ往々疑義ヲ挿ム向モ有之様テアリマスカ本條ニ依リ學校長ニ於テ閉鎖ヲ行フハ他ノ學校關係法規ニ閉鎖若ハ臨時休業ヲ行フヘキ別段ノ規定ナキ場合テアリマスカラ御了知相成度

(大正九・六・二六各地方長官各直轄學校長へ文部次官通牒)  
集普六號

#### ○學生生徒兒童身體檢查規程改正ニ關スル注意事項

(大正九・一・二五各地方長官へ普通學務局通牒)  
發普五九三號

學生々徒兒童身體檢查規程ハ大正九年七月二十七日ヲ以テ改正發布セラレ大正十年四月一日ヨリ之ヲ實施セラル、コトニナリマシタカ舊規程ニ比シテ大分變更カアリマスカラ若シ間違ナト生スルキハ全國ノ成績ヲ統合スルコト不可能トナリ甚タ遺憾ノ事ト思ハレマス是レニ就キ貴官ニ於テモ已ニ御配慮ヲ煩ハサレテ居ルコト、ハ存シマスカ此ノ際豫メ學校醫並ニ學校職員等ニ適當ノ方法(召集或ハ印刷物ノ配布等)ヲ以テ同規程ヲ充分理解セシムル様一層御盡力ニ預リ度ク尙左ノ諸項ハ

特ニ注意セシムル様御取計ラヒ相成度シ

一、検査ニ要スル用具ハ時日切迫シテ全國一時ニ之ヲ注文スルトキハ製造者カ往々粗製品ヲ供給シ或ハ供給ニ不足ヲ生スルノ虞カアリマスカラ可成早クヨリ準備シ置クコト

一、發育概評決定早見表ノ使用法ヲ能ク理解セサル向モアルヤニ聞キ及ヒマスカハ同表備考ニアル通り身長實測數カ早見表ノ數ニ該當セサルモノニ就テハ其身長ト近似ノ身長トノ差ヲ係數(身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商)ニ乘テ其積ヲ相當近似ノ體重ニ加ヘ若クハ減シテ其ノ限界ヲ定ムル方便利ナルコト

例 十二年男身長四尺一寸七分ノモノアリトセハ早見表第一表十二年欄ニ之ニ相當スルモノナシ此ノ際

身長4.17—近似身長4.15=0.02 係數1.61×0.02=0.0322 相當近似ノ體重6.698+0.0322=6.7302

ヲ見、乃チ實測身長四尺一寸七分ニ對スル乙ノ下ノ界ニ相當スル體重ハ六、七三〇ナルヲ知ル

### ○トラホーム豫防法及結核豫防法中施行ニ關スル疑義

(大正一〇・八・二二 官學第一號 學校衛生課通牒)

一、「トラホーム」豫防法第四條第一項第一號及結核豫防法第四條第一項第一號第二號ノ事項ニ付テハ現ニ行政官廳官公立ノ學校製造所等ノ管理權ニ服シツ、アル者ニ對シ其權限ヲ及ホシ得サルモノトス

二、「トラホーム」豫防法上必要アル場合ニ於テハ「トラホーム」疑似症ハ「トラホーム」豫防法第四條第三號第五條第六條第七條第八條ノ規定ニ依リ取扱フコトヲ得ルモノトス

### ○女教員ノ産前産後ニ於ケル休養實施ニ關スル取扱方

(大正一一・一〇・一三 發學第一〇〇八號 文部次官通牒)

一、大正十一年文部省訓令第十八號ニ據リ教員ニ産前産後ノ休養ヲ爲サシムル場合ハ賜暇ニ準シ取扱ハレ度

一、該休養ヲ爲ス教員ノ擔任セル授業ノ補充ニ關シテハ教授上ノ支障ヲ來ササル様豫メ補充ノ教員ヲ置ク等適宜ノ方法ヲ講セラレ度

一、從來私立學校ニ在リテハ其ノ教員産前産後ノ休養ヲ爲ス場合ニ教授上支障ヲ來ス等ノ理由ニヨリ解職セララル向モ有之ヤニ聞キ及フ所ナルカスハ該休養ノ趣旨ニ添ハサルモノナレハ爾今此點ニ關シ適宜ノ方法ヲ講セラレ度

### ○全國體育デー實施促進並普及方

(大正一三・九・二二 雜學二六號 各地方長官ヘ文部次官通牒)

體育ニ關スル充分ナル理解並其ノ實行ノ普及ニ關シテハ既ニ御配慮ニ依リ漸次良好ノ域ニ向ヒツツアルハ同慶ノ至ニ存セラ

ルル處今般帝國學校衛生會長ヨリ別紙寫ノ通稟請有之タルニ就テハ地方ノ實情ニ鑑ミ其ノ普及方可然御配慮相煩度

#### 全國體育デー實施要項

- 一、體育ノ普及發達ヲ圖ル爲メ體育デーヲ設ク
- 二、體育デーハ十一月三日全國一齊ニ之ヲ行フモノトス 土地ノ狀況ニ依リ二乃至三日間之レヲ行フコトアルヘシ
- 三、全國體育デーハ學校、學校衛生會、教育會其他教育ニ關係アル團體ニ於テ主催スルヲ便トスヘシ
- 四、實施ニ際シテハ豫メ左ノ準備ヲ行フ
  - イ、生徒兒童及家庭ニ對シ體育デーノ趣旨ヲ周知セシムルコト
  - ロ、體育デーノ行事日程ヲ作製スルコト
- 五、實施事項ハ大要左ノ項目ニシテ學校内外ニ互リ適宜之レヲ行フモノトス
  - イ、學校長、學校醫其他體育ニ關係アル者ノ講話
  - ロ、體育ニ關スル調査研究ノ發表
  - ハ、校舎、校具、運動場等ノ清潔ニ關スルコト
  - ニ、體育運動ニ關スルコト
  - ホ、活動寫眞、ボスター、展覽會ニ依ル宣傳
  - ヘ、體育ニ關

スル保護者會 ト、兒童ノ衛生訓練並衛生検査 チ、體育デーノ趣旨宣傳ノ爲メ當日花又ハマーク等社會ノ注目ヲ惹クヘキ物ヲ公衆ニ配布スルコト リ、其他體育ニ關スルコト

○女教員産後休養取扱方疑義

(大正一五・一・二〇 各地方廳へ學校衛生課通牒)  
玉學第七號

【問】 母體ノ疾病ノ爲缺勤中其ノ疾病治療ノ必要上人工妊娠中絶ヲ爲シタル場合此手術施行後ヲ産後休養トスヘキヤ或ハ病氣缺勤トシテ取扱フヘキヤ

【答】 人工妊娠中絶ヲ爲シタル場合ト雖醫師ニ於テ妊娠第二十八週以後ナルコトヲ證明セル者ニツキテハ大正十一年九月文部省訓令第十八號ニ依リ産後休養トシテ取扱ハル可キモノト御了知相成度

○女教員産前産後ニ於ケル休養實施方

(大正一五・六・一六 各地方廳へ文部次官通牒)  
發學第六一號

女教員産前産後ニ於ケル休養ニ關シテハ(中略)實際ニ於テハ往々規定ノ休養ヲ爲サシテ登校スル向モ尠ナカラサルノ趣スノ如キハ其ノ間種々ノ事情之レアラランモ母體、胎兒並嬰兒保護ノ上ニ遺憾ノ點尠ナカラスト存セラル、ニ付貴管下各學校ヲシテ右訓令ノ趣意ヲ會得セシメ所定ノ期間充分休養セシメラル、ヤウ可然御取計相成度

○學校清潔方法ニ關スル訓令ノ趣旨實施方

(昭和二・一・三一 各地方長官、直轄學校長大學長へ文部次官通牒)  
發學第六〇號

大正十五年十二月七日文部省訓令第二十六號ヲ以テ學校清潔方法ニ關スル訓令改正相成タルニ付テハ貴管下學校關係者ニ周知セシメラルル様適宜ノ措置ヲ講セラレ度就中清潔保持ニ必要ナル諸設備ノ改善並塗油法ノ實施ニ關シテハ地方ノ狀況ニ應シ特ニ御留意相成様致度

○女教員産前産後ニ關スル取扱方

(昭和二・二・一六 各地方廳へ學校衛生課通牒)  
分學五號

【問】 女教員妊娠三ヶ月ニシテ流産シタルトキト雖モ大正十一年九月十八日貴省訓令第十八號第一項「イ」ニ基キ取扱可然

哉 母體健康保持上ノ精神ヨリスレハ右「イ」ニヨリ支障ナキモノノ如クナルモ「イ」ハ分娩トアリ流産ハ分娩ト

ハ認メ難ク聊カ疑義相生シ候條何分ノ御回示相煩度此段及照會候也

【答】 右ハ大正十一年九月文部省訓令第十八號第一項「イ」ニ該當セサル儀ニ付御了知相成度

追テ妊娠第二十八週以前ニ於ケル流産、失産、人工妊娠中絶等ハ總テ本件ノ通御取扱可然ニ付爲念申添フ

○學生生徒兒童身體検査規程中並同上發育概評決定標準中改正ニ付實施上留意事項

(昭和二・三・一四 各地方廳、公立大學、私立大學、高等學校、專門學校直轄學校へ學校衛生課通牒)  
發學三二號

今般文部省令第三號並文部省訓令第二號ヲ以テ學生生徒兒童身體検査規程中並同上發育概評決定標準中改正相成タル處右實施ニ關シテハ左記ニ留意セシメラルル様致度

一、被檢者ノ身長及體重ノ表記ニハ四捨五入法ヲ用フルモノナルモ發育概評決定ノ際ニ於ケル被檢者ノ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ハ、其ノ算出ニ四捨五入法ヲ用ヒサルモノナルヲ以テ小數第四位ニ於テ五以上ノ數ヲ有シ四捨五入法ニ依レハ標準數ニ達スルカ如キ場合ニ於テモ之ヲ標準ニ充タサルモノト判定スヘキコト

一、發育概評ノ決定ニ際シ早見表ヲ使用スル場合ニハ今般改正セラレタル標準ニ依リ作製シタルモノニ依ルヘク其ノ作製ニハ訓令改正ノ趣旨ニ從ヒ充分正確ヲ期シ從來使用シタル尺貫法ノ早見表ヲ單ニメートル法ニ換算シタルモノニ依ラサルコト

一、今般ノ訓令發布以前ニ改正發育概評決定標準ナリトシテ世上ニ傳ヘラレタルモノノ中ニハ數字等ニ相違ノ點少ナカラサルヲ以テ之カ爲メ發育概評ノ決定、早見表ノ作製等ニ際シテハ誤ヲ來ササル様注意スルコト

一、學生生徒兒童身體検査統計表紙ハ從來使用セルモノモ其ノ大サ新規程ノモノト大差ナキ限り殘部ハ之ヲ使用スルモ差支ナキコト

○學校醫囑託任期ハ地方長官限り專行ニ委ス

(昭和三・一・七) 各地方廳(體育課通牒) 發 體 五 四 號

今般某縣ヨリ學校醫囑託ニ關シ其ノ任期ヲ設ケ度件照會アリタルニ對シ右ハ地方長官限適當ニ取計可然旨回答致シタルニ付 參考ノ爲通牒ス

○冷害凶作地ニ於ケル學校兒童ノ衛生養護ニ關スル留意事項

(昭和九・二・二) 各地方廳(體育課通牒) 發 體 九 八 號

本年冷害各地ニ於ケル凶作被害ニ伴ヒ學校兒童中榮養ノ欠陥又ハ健康ノ障害ヲ有スルモノ漸次其ノ數ヲ増加セントスルノ傾向ナルニ就テハ既ニ貴官ニ於テモ之カ對策ニ關シ夫々御配慮ノコトト存スルモコノ際左記事項御了承ノ上管内關係者ヲシテ現ニ實施中ノ給食施設ヲ初メ一般學童ノ保健養護ニ關シ十分留意セシメラレ學校衛生上遺憾ナキヲ期セラレ度依命及通牒

記

- 一、學校給食ニ關シテハ洽ク要給食兒童ニ之ヲ及ホサンコトヲ期シ地方ノ實情ニ應シテ實施ニ必要ナル食器鍋釜類ノ調達、獻立ノ作製等ニツキ適切ナル指導ヲ加ヘ之カ實務ニ關シテハ學校職員外保護者會女子青年團等ノ協力ヲ求メ必要ニ應シ炊事人ノ雇入ニツキテモ十分考慮ヲ拂ハシムルコト
- 二、榮養不良兒童虛弱兒童等ニ對シテハ欠食ト否トニ拘ラス成ルヘク榮養ノ補給ヲ策シ病弱兒童ニ對シテハ適切ナル治療養護ノ方法ヲ講セシムルコト
- 三、防寒施設トシテ暖房設備ノ助成、防寒用衣服、足袋、手袋、シャツ、ゴム靴、雨具、外套等ノ配給ニ關シ適當ナル考慮ヲ拂フコト
- 四、學校醫學校齒科醫等ノ活動ヲ促シ健康相談等ニヨリ兒童ノ衛生養護ニ注意セシメ特ニ感冒、凍傷、呼吸器疾患等寒冷ニ因ル疾病ノ豫防治療ヲ講セシメ尙ホ冬季ニ必要ナル救急藥品ノ配給、學校看護婦ノ派遣等ニ關シ考慮スルコト

○水害地ニ於ケル學校ノ衛生養護ニ關スル留意事項

(昭和一〇・七・一六) 各地方廳(體育課通牒) 發 體 四 四 號

- 一、浸水ヲ被リタル校地、校舍、寄宿舎並建具、床板、校具等ハ學校清潔方法ニ準據シ適切ナル措置ヲ講セシムルハ勿論必

要ニ應シ消毒方法ヲ實施セシムルコト

二、學校醫、學校衛生婦ノ活動ヲ促シ臨時身體檢查、健康相談等ニ依リ兒童生徒ノ保健養護ニ留意セシメ特ニ傳染病ノ豫防並早期發見ニ力メシムルコト

三、衛生講話等ノ方法ニ依リ兒童並其ノ保護者ニ對シ衛生上ノ注意ヲ喚起セシムルト共ニ榮養ノ缺陷アル兒童ニ對シテハ學校給食等ニ依リ榮養ノ補給ヲ圖ラシメ病弱兒童ニ對シテハ適切ナル治療養護ノ方法ヲ講セシムルコト

○學校齒科醫職務規程第二條ノ解釋

(昭和十・七・二七) 各地方廳(體育課通牒) 地 體 四 號

- 一、學校齒科醫職務規程第二條ノ豫防上必要ナル處置ノ範圍ハ概ネ齒牙ノ清掃、鍍銀法、乳齒ノ拔去、初期齲蝕ノ處置及充填(材料ハセメント及アマalgam)等眞ニ豫防上必要ナル程度ノモノタルコト
- 二、學校内ニ於テ齒科衛生ニ關スル施設ヲ爲ス場合診療所屈出等ノ手續ヲ要スルヤ否ヤニ關シテハ實施ノ狀況ニ依リ地方長官ニ於テ適宜ノ措置ヲ講セラレタキコト

○學校醫及幼稚園醫令中ノ學校ニ關スル疑義

(昭和一一・三・三一) 各地方廳(體育課通牒) 地 體 一 八 六 號

【問】 昭和四年勅令第九號學校醫及幼稚園醫令中ノ「學校」ニハ青年學校教員養成所ヲモ包含スルモノニ候哉若シ然リトセハ其ノ職名ハ青年學校教員養成所醫ト稱スヘキモノニ候哉聊疑義ニ相涉リ候ニ付御意見承知致度 (某縣何)

【答】 十一月二十二日學第六六六一號ヲ以テ御照會ノ標記ノ件ハ御意見ノ通ト御了知相成度

○學校身體檢查規程ノ實施ニ關スル件通牒

(昭和一二・三・一) 各地方廳(文部次官通牒) 發 體 五 七 號

今般文部省令第二號ヲ以テ學校身體檢查規程改正公布セラレタル處右ハ現下國民體位ノ情勢ニ鑑ミ學生生徒兒童ノ身體ヲ精密ニ檢查シ其ノ結果ニ基キテ養護鍛鍊ノ方法ヲ適切ナラシメ以テ身體強健ニシテ資質優秀ナル國民ヲ育成セントスル趣旨ナルニ就テハ貴管下各關係者ヲシテ新規程ノ各條ニ就キ十分改正ノ要旨ヲ了得セシメラルルハ勿論左記事項ニ留意シ身體檢查ノ實施ヲ一層意義アラシメ以テ體育尊重ノ實ヲ舉テ兒童生徒ノ體位向上ニ資セシムルヤウ致度依命通牒ニ及フ



- 一、學校當事者ハ身體検査ノ施行ニ際シ検査場ノ設備、検査用器械器具ノ整備、適當ナル補助者ノ選定等必要ナル諸準備ニ關シ遺漏ナキヲ期スルコト
- 二、學校醫、學校齒科醫ハ身體検査規程ノ各條ニ從ヒ出來得ル限リ検査ノ精確ヲ期シ、且ツ結果ノ綜合考察ニ十分意ヲ用ヒ「要養護」者ノ發見ニ力ムルコト
- 三、身體検査ノ施行ノ方法ニ關シテハ規程第五條ノ各號ニ記載スルノ外左記各項ニ留意スルコト
  - (イ) 榮養狀態ノ判定ニ際シ必要アル場合ニハ適當ナル榮養指數、其ノ他ノ判定標準ヲ參考トシテ使用スルモ之ヲ妨ケサルコト
  - (ロ) 脊柱ノ「カリエス」ノ診査ニ際シテハ其ノ可動性、壓痛點等ニ注意スルコト
  - (ハ) 屈折異常ノ検査ニ際シテハ少クトモ檢眼「レンズ」等ヲ使用シ、就中近視ニ就テハ裸眼視力一・〇ニ達セサルモノニ就キ之ヲ行フコト
  - (ニ) 聽力ハ靜カナル室ニ於テ成ルヘク叫語法ヲ用ヒ左右各別ニ検査スルコト
- 四、身體検査ヲ終了シタルトキハ左記各項ニ留意シ、検査ノ結果ヲ有效ニ利用スルコト
  - (イ) 検査ノ結果ハ之ヲ集計整理シ統計的觀察ヲナスト共ニ本人ニ對シ十分自己ノ健康ノ特徵ヲ自覺セシメ、進ンテ健康ニ關スル生活ノ指導ニ依リ自發的ニ體位ノ向上ニ力メシムルコト
  - (ロ) 検査ノ結果ヲ本人又ハ保護者ニ通知スル場合ニハ身長・體重・胸圍・坐高・比體重・比胸圍・比坐高ハ夫々全國又ハ各道府縣等ノ平均數等ト比較對照シテ參考ニ資セシメ、又疾病及異常ヲ有スル者ニ就テハ治療矯正ノ要否、榮養ノ改善、運動實施上ノ注意等成ルヘク具體的事項ニ就キ注意スルコト
  - (ハ) 學校ニ於テハ必要ニ應ジ健康相談、豫防處置等ノ施設ヲ實施スルノ外養護學級、養護聚落、學校給食、其ノ他必要ナル保健養護ノ施設ヲ行フコト
- 五、臨時身體検査ハ傳染病、地方病、結核其ノ他諸疾患ノ調査、養護施設、運動競技會、修學旅行等ニ關シ參加者ノ健康調査其ノ他必要ト認ムル場合等ニ際シ適當ナル項目ニ就キ之ヲ行フコト、尙卒業時ニ際シテ行フ臨時身體検査ハ特ニ進學、選職等ニ關シ必要ナル項目ニ就キ之ヲ行フコト

- 六、就學、入學ニ關スル身體検査ニ際シテハ左記各項ニ留意スルコト
  - (イ) 小學校ノ就學ニ關スル身體検査ハ概ネ(一)既往症、(二)發育竝ニ榮養、(三)疾病及異常特ニ傳染性疾患ノ有無等ニ就キ検査シ、其ノ狀態ニ依リ榮養ノ改善、疾病及異常ノ治療矯正、就學猶豫、就學免除等ニ關スル注意ヲ與フルコト
  - (ロ) 中等學校ノ入學ニ關スル身體検査ハ發育竝ニ健康狀態ニ就キ検査スルト共ニ必要ニ依リ運動能力ヲ考查シ當該學校ノ修學ニ不適當ト認ムル者ノ發見ニ力ムルコト
- 七、規程附則第三項ノ適用ハ青年學校ニノミ限定スルコト此ノ場合ニ於ケル身長、體重、胸圍及坐高ノ測定ニ限リ九月中ニ施行シ年齡ノ計算ハ九月一日ノ計算ニ依リ滿十二年一日以上滿十三年迄ノ者ヲ十三年トシ其ノ他之ニ準スルコト

(二) 學校醫

○縣立病院ニ縣立學校醫ノ職務取扱ハシメ方

(明治三二・一・一〇鳥取縣稟申) (明治三二・一・二三指令) 發乙三第三號

【問】 客年勅令第二號第一條ノ學校醫ハ同年貴省令第七號第一條若クハ第二條ニ該當スル者ニ囑託致スヘキ儀ニ有之候處本縣ニ於テハ右ニ該當スル者稀ニシテ適任者ヲ得ルコト甚タ困難ニ有之適々病院在職ノ醫師ニハ資格ヲ有スル者アルモ其一人ニ對シ囑託スルトキハ職務上双方差支ヲ生シ候場合モ有之ニ付縣立學校ニ限リ縣立病院ニ學校醫ノ職務取扱ヲ命シ便宜該病院ノ醫員中資格ヲ有スル者ニ其職務ヲ行ハシメ候様致度候條特ニ御開置相成度御指令相成度此段稟申候

【答】 一月十日伺學校醫之件開屈ケ難シ(電報)

○學校醫ハ學校職員中ニ不包官方

(明治三六・三・五栃木縣照會) (明治三六・三・一二學校衛生課回答) 卯甲學第二三六號

【問】 學校醫職務ノ性質ハ地方長官ノ命ヲ受ケ其ノ職務ニ從事シ生徒ノ入學等ニ際シテ生徒身體ヲ検査スルモ學校長ノ請求ニ依ルヘキモノニ有之候ニ付學校長ノ統督スル所屬職員中ニハ包含セサル如ク被考候就テハ學校醫ハ學校職員ト稱ス

ルヲ得サル儀ニ候哉聊疑義ニ涉リ候條至念何分ノ御回示相煩度此段及照會候也

【答】 右ハ學校職員ト稱セサル義ニ有之候條御了知相成度此段及回答候也

○併地ニ於テ學校醫ノ事務ヲ教員又ハ學校醫ノ資格ナキ醫師ニ取扱ハシメサル方 (明治三八・六・二・長崎縣照會)

【問】 學校醫資格ノ義ニ付テハ明治三十一年貴省令第七號號以テ規定相成候處本縣ニ於テハ幾多遠隔ノ離島有之僻在ノ地ニ在テハ相當資格者無之爲學校醫設置上困難ヲ極メ居現ニ縣下小學校中學校醫ヲ設置セサルモノ尙多數有之且將來ニ於テモ相當資格ヲ有スル學校醫ヲ得ヘキ見込甚覺東ナク隨テ學校衛生ニ關シテ遺憾尠カラス就テハ別紙寫ノ如キ免狀及經歷ヲ有スル者有之地方ニ於テハ十分信用アル開業醫ニ有之是等ノ者ニ學校醫事務取扱等適宜ノ名稱ヲ付シ特ニ學校醫ノ事務取扱ハセ候ハ、單ニ教員ニ一任シ置クニ優ルコト萬々ト被存候間右様取扱度ト存候ニ付御意見承知致度明治三十二年二月二十四日亥普甲一三六號御通牒ノ次第モ有之候ヘトモ爲念此段及照會候也(別紙略)

【答】 右ハ御陳述ノ事情モ可有之候得共學校醫ノ事務ヲ教員ニ一任スヘカラサルハ勿論何等ノ名稱ヲ付スルモ明治三十一年當省令第七號ニ該當セサル醫師ニ學校醫ノ事務ヲ取扱ハシムル儀ハ不可然(明治三八・六・二六・文書課回答)

### 第二十二 學校基本財産及樹栽

#### (一) 學校基本財産

○市町村ニ於テ學校基本財産蓄積ノ爲メ尋常小學校授業料ヲ徵收然ルヘカラス

【問】 市町村ニ於テ學校基本財産蓄積ノ爲メ尋常小學校授業料ヲ徵收スルモ差支無之哉(明治三四・一・二三・滋賀縣照會)

【答】 然ルヘラス 明治三四・一・二三・普通學務局回答)

○小學校基本財産設置ノ爲メ國有林野拂受獎勵方

(明治三七・六・一六 各地方長官ヘ文部次官通牒)  
飯發普一三二號

國有林野ノ賣拂ヲ受ケ小學校基本財産設置勸誘方ニ付去ル三十四年十月普甲第三三六四號ヲ以テ及通牒置候ニ付テハ夫々御勸誘相成候儀ト存候處明治三十六年度ニ於テ賣却セラレタル國有不要存置林野ハ其段別二萬八千九百餘町步價額二百二十四萬四千餘圓ニシテ其中小學校基本財産ノ爲メ賣拂ヲ受ケタルモノハ僅々段別七百六十七町餘價額六萬九千餘圓ニ過キ其割合頗フル僅少ニ有之右ハ曩ニモ及通牒候通一旦他ノ所有ニ屬スルトキハ容易ニ收得スヘカラサル儀ニシテ誠ニ遺憾ニ存セラレ候條一層ノ御配慮ヲ以テ時機ヲ逸セス精々賣拂ヲ受ケ基本財産ヲ設置候條御勸誘相成度特ニ時局ニ際シ或縣ニ於テ實行致候如ク紀念林等ヲ造成シテ基本財産ヲ設定スルハ頗フル時宜ニ適セルノ學タルヘク斯ノ如キハ獨リ基本財産ノ基礎ヲ強固ナラシムルノミナラス將來兒童教養上效果尠ナカラサル儀ト存候條此際一層御獎勵相成度

○目的ヲ定メサル寄附金等ヲ以テ學校基本財産設置及基本財産ノ賣買貸付等許可申請方

【問】 一、基本財産ノ設置ニ就テハ第九條第三項ニ於テ許可ヲ要スルノ規定有之候得共使用ノ目的ヲ定メサル教育ニ關スル寄附金等ハ第十條第一項ニ於テ當然基本財産トナスヘキ旨規定有之候ニ付右寄附金等ハ設置ノ許可ヲ受ケス直ニ基本財産トナシ可然ヤ 二、第九條ノ基本財産ノ處分トハ之ヲ消費スルカ如ク基本財産タル性質ヲ失ハシムル處分ニシテ基本財産管理ノ目的ヲ以テスル不動産又ハ有價證券等ノ賣買公債應募其他貸付預入等ハ許可ヲ要セサル趣旨ナルヤ將タ右處分トハ民法上ノ處分ト同一意義ニシテ前段ノ不動産又ハ有價證券ノ賣買ハ許可ヲ要スルモ財産ノ保存利殖ヲ目的トスル公債應募及貸付預入等ハ許可ヲ要セスト解釋シ可然ヤ(明治三八・九・二三・大阪府照會)

【答】 一、目的ヲ定メサル教育ニ關スル寄附金等ヲ以テ新ニ學校基本財産ヲ設置セントスル場合ニハ許可ヲ要スル儀ニ有之儀尤既ニ設置セル基本財産ニ編入スル場合ニハ別ニ許可ヲ要セス 二、御申越ノ諸行爲ハ總テ處分トシテ許可ヲ要スル儀ニ有之儀尤既ニ許可ヲ經タル規程ニ依リ右等諸行爲ヲナスニハ別ニ許可ヲ要セス(明治三八・十・一九・普通學務局回答)

(二) 樹栽

○小學校等ニ於ケル樹栽ノ爲官有地ノ貸下拂下方

(明治三〇・五・二八各地方廳へ普通、專門、兩學務局通牒)  
(西普甲一〇〇七號)

市町村立小學校及其他ノ公立學校ニ於テ期日ヲ定メ生徒ヲシテ樹栽ヲ行ハシムルノ趣旨ハ專ラ樹木ノ種類效用等ヲ會得シ森林ヲ愛護スヘキ思想ヲ養成スルニアリテ間接ニハ樹栽地ヨリ生スル收入ヲ以テ學校ノ基本ヲ増加シ且原野禿山等ヲ變シテ森林トナシ水源ヲ涵養シ氣候地質ヲ改良スルニ於テ國家經濟上亦利益不少儀ニ付學校生徒ヲシテ樹栽セシムル爲メ官有森林原野ノ貸下又ハ拂下ヲ望ム向有之候ハ、國有トシテ存置ヲ要セサル個所ニ於テ制規ノ許ス限リ便利ヲ與ヘラレ且貸下方法ハ部分木仕付條例ニ據ラシムルモ差支ナキ筈ニ候條右御舍ノ上適宜御獎勵相成度 追テ本件ニ付テハ農商務省へ協議濟ニ候

○樹栽ノ爲官有林野貸下等ヲ得ル學校ノ範圍

〔問〕 本年五月二十八日付西普甲一〇〇七號ヲ以テ學校樹栽ノ爲メ官有森林原野貸下拂下ノ件御通牒相成候處其「市町村立小學校及其他公立學校ニ於テ」云々トアル公立學校トハ市町村立(即チ公立)ナル小學校外ノ諸學校ヲ指サレタル義ニ

候哉又府縣郡立等一般ノ公立學校ヲ指サレタル義ニ候哉 (後略) (明治三〇・一・二九・山口縣問合)  
〔答〕 右ハ一般ノ公立學校ヲ指シタル儀ニ有之候 (明治三〇・一・二八・普通、高等、兩學務局 實業教育局回答)

○學校生徒樹栽ニ要スル反別

(明治三一・一・二九內務省照會) (明治三二・一・一四專門普通兩學務局回答)  
(西普甲一九三號) (西普甲二七號)

〔問〕 市町村立小學校及其他ノ公立學校生徒ヲシテ樹栽ヲ行ハシムル義ニ付昨年五月中各地方廳へ通牒相成リタル次第モ有之趣ニ候處昨今右樹栽地ニ充ツルカ爲官有地ノ拂下ヲ請フモノ比々有之其中頗ル多大ノ地所請求ノ向モ有之候處右ハ凡ソ一定ノ標準ヲ設ケ置クヲ必要トスト存候尤モ其所要反別ノ義ハ生徒ノ員數及課業方法等ニモ依ルコト、ハ被存候得共一學校ニ付凡ソ何程ノ地所有之候ハ、差支ナキ御見込ニ可有之哉

〔答〕 右ハ別記ノ地積有之候ハ、相當ト存候條其御舍ヲ以テ成ルヘク願意被開屆候様御取計相成度此段及回答候也

小學校生徒一人ニ付三十坪以上五十坪以内 中學校一校ニ付十町步乃至三十町步  
師範學校中學校ニ同シ 農學校一校ニ付三十町步乃至五十町步  
山林學校一校ニ付五十町步乃至百町步 實業補習學校一校ニ付二十町步以内

第二十三 社會教育

○少年職業紹介ニ關シ施設方

(大正一四・七・八・社發二部第二七五號 中央職業紹介事務局、地方廳へ社會局第二部、普通學務局 通牒)

少年ノ職業紹介ニ關シテハ特ニ其ノ性質及能力ニ最モ適應スヘキ職業ニ就カシムルコトハ職業指導上極メテ緊要ノ事ニ有之且將來失業ノ機會ヲ少カラシムル上ニ於テモ其ノ效果尠カラサルモノト認メラレ候ニ就テハ小學校卒業後直ニ求職セムトスル者ニ對シテハ各自ノ性質及能力ニ付最モ精通スル小學校ト職業ノ狀況ニ通スル職業紹介所ト相互聯絡ヲ保チ提携協力シ以テ適當ナル職業ヲ選擇指導セシムル様致度大體左記ノ如キ施設ヲ講スル等相當御配慮相成度

- 一、少年ノ職業選擇指導ノ爲小學校教員、職業紹介所職員、醫師其ノ他ト密接ナル聯絡ヲ圖リ必要ナル場合ニハ之等ノ者ヨリ組織スル委員會ヲ設置スルコト
- 二、小學校ハ小學校卒業後職業ニ從事セムトスル者ニ付必要アルトキハ卒業前本人ノ學業、體格、性質、其ノ他參考トナルヘキ事項ハ職業紹介所ニ通報スルコト
- 三、職業紹介所ハ各職業別ニ依ル勞務需給ノ狀況及求人人口ヲ小學校ニ通報スルコト
- 四、求職少年ノ父兄會等ヲ開催シ本人ノ性質能力ニ適スル職業ノ選擇ニ付指導誘掖スルコト
- 五、職業選擇ニ付指導シタル結果其ノ職業ニ就職シタル者ニ關シ職業紹介所ハ時々其ノ就職後ノ狀況ヲ調査シ之ヲ關係小學校ニ通報スルコト

○財團法人日本青年館ヲ一般學生生徒修學旅行等ニ際シ利用方

(大正一三・十・一三普通、實業兩學務局通牒)  
(西普五九五號)

今般財團法人日本青年館新築落成致シ十月十日ヨリ宿泊部等ヲモ開設シ一般學生生徒ニ對シテモ便宜取計フヘキ旨理事者ヨリ申出アリタルニ付爾今學生生徒ニシテ修學旅行等ノ際ニハ勉メテ利用スル様致度ニ付貴管内各學校ニ對シテモ可然御示達御成度

○女子青年團體施設要項

(大正一五・一一・一一 各地方長官へ社會局長官通牒) 發番四五三三號 文部次官

今般女子青年團體ニ關シ内務文部兩大臣ヨリ訓令アリタル處右ハ女子青年團體ノ本旨ヲ明カニスルト共ニ其ノ普及ヲ促進セシメ既設ノ團體ニ對シテハ益々健全ナル發達ヲ遂ケシムル趣旨ニ有之其ノ指導誘掖ニ就テハ地方ノ實情ニ考ヘ特ニ左記事項御留意ノ上適當ニ御措置相成度此段通牒ス

一、團體ノ設置 女子青年團體ハ土地ノ情況ヲ參酌シ市町村、小學校通學區域等ヲ單位トシテ之ヲ設置シ必要ニ應ジ支部ヲ設ケ又ハ聯合會ヲ組織スルコト 工場、商店等ニ對シテモ女子青年團體ノ設置ヲ獎勵スルコト

一、團體員ノ年齢 女子青年團體ハ概ネ義務教育終了ヨリ結婚ニ至ル迄又ハ年齢二十五歳ニ至ル迄ノ青年女子ヲ以テ組織スルヲ常例トスルコト

一、團體ノ指導者 女子青年團體ノ指導ニハ學校長、市町村長其ノ他學識徳望アル者ノ中ニ就キ適當ト認メタル者ヲシテ之ニ當ラシメ殊ニ學校職員、篤志ノ婦人等ヲシテ協力セシムルコト

一、團體ノ施設 女子青年團體ノ施設ハ土地ノ情況、團體員ノ年齢、境遇等ヲ參酌シ特ニ左ノ諸點ニ留意スルコト

(一) 家事職業ニ關スル智徳ヲ涵養スルト共ニ公共生活ニ必須ナル素養ヲ與ヘ特ニ實業補習學校ノ就學ヲ獎勵シ其ノ徹底ヲ期スルコト (二) 學校、圖書館其ノ他ノ教育施設及婦人會等ノ團體ト連繫ヲ密接ニスルコト (三) 適切ナル講演會講習會娛樂會等ヲ開催スルト共ニ健全ナル讀物ノ選擇ニ關シ適當ナル指導ヲ與フルコト (四) 體操競技等ハ特ニ女子ニ適切ナルモノヲ選定スルト共ニ保健衛生思想ノ涵養ニ努ムルコト (五) 地方ノ良風美俗ノ維持發達ヲ圖ルト共

ニ生活ノ改善ヲ期スルコト

一、團體ノ維持 女子青年團體ニ要スル經費ハ成ルヘク會費、團體員ノ勤勞ニ依ル收入等ヲ以テ之ヲ支辨スルコト

一、退會者トノ聯絡 結婚等ニ依リ退會シタル者ト雖引續キ團體トノ連繫ヲ持續セシムルト共ニ其ノ援助ニ力ヲ竭サシムルコト

○教化事業振興方

(大正一五・一二・一六 各地方長官へ文部次官通知) 發番二七二二號

客月十、十一兩日教化團體聯合會主催ノ下ニ第三回教化事業代表者大會ヲ開催セシカ同大會ニ於テハ左記内務文部兩大臣ノ諮問事項及教化團體聯合會提出ニ係ル協議事項ニ付審議シ別紙ノ通り答申及決議ヲナセリ從來各府縣ニ於テモ教化事業ノ促進ニ就テハ盡瘁セララル所ナルモ我邦現下ノ情勢ヲ鑑ミ其ノ振興ヲ企圖スルコト愈緊切ナルモノアルヲ以テ右答申並決議ノ趣旨ヲ參案ニ供シ斯事業ノ振興方ニ關シ今後一層御配意相成度此段通知ス

内務文部兩大臣諮問事項 一、國民ノ協調融和ニ關シ教化團體ノ留意スヘキ事項如何 協議事項 一、各府縣教化團體聯合會ノ組織ヲ促進スル方法ニ關スル件

答 申

我國現下ノ社會情態ヲ見ルニ勞資問題、小作問題、融和問題、内鮮融和問題等幾多憂慮スヘキ事例ノ存スルハ眞ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ。之カ解決ノ方途素ヨリ多岐ナルヘシト雖モ協調融和ノ精神ヲ高調シ國民偕和ノ實ヲ擧クルヲ第一義トナス。仍テ教化事業關係者ニ於テハ特ニ左記事項ニ留意スルノ要アリト認ム。

- 一、立國ノ大義ニ則リ日本國民トシテノ世界的使命ヲ自覺セシムルコト
- 一、共存共榮ノ本義ニ立脚シテ相互親愛ノ觀念ヲ涵養シ其ノ實行ヲ勸奨スルコト
- 一、以上ノ趣旨ヲ徹底セシムルヲ左記事項ノ實行ヲ期スルコト

イ、教化團體ニ於テハ協調融和ニ關スル問題ヲ調査研究シ其ノ解決ニ力ヲ致スコト  
 ロ、講習會、懇親會、懇談會等ノ開催ニ依リ相互ノ意志疎通ヲ計ルコト  
 ハ、講演會ノ開催並バンフレッツト、ボスター其ノ他ノ文書ノ刊行、活動寫眞映畫等ニヨリ趣旨ノ普及宣傳ヲ爲スコト、尙每年十一月十日ヲ期シ教化團體ニ於テ一齊ニ國民ノ自覺ヲ促ス運動ヲ起スコト  
 ニ、均等待遇ノ實現ニ對シ一層懇切ナル指導後援ヲ與フルコト  
 ホ、差別ヲ表ハス言語、動作、容姿、態度等ヲ絕對ニナササルノ風ヲ興スニ努ムルコト

決議

各府縣教化團體聯合會ノ組織ヲ促進スルニハ左記事項ニ留意スルヲ以テ最モ適切ナル方法ト認ム

一、其ノ名稱ニ拘束セラレサルコト  
 昨年十月開催ニ係ル第二回教化團體代表者大會ニ於ケル決議中ニハ「道廳及各府縣ニ教化團體聯合會ヲ設立シ云々」トアリ爾來本會並各地方教化事業關係者ニアリテハ此ノ決議ニ基キ其ノ組織ノ促進ヲ期シ來リシカ所謂教化團體聯合會トハ教化ヲ目的トスル團體ノ聯合ニ外ナラサルヲ以テ團體ニ加ハラサル其ノ他ノ教化事業關係者ニアリテハ此ノ聯合ニ加盟スル資格ナキコトトナル、斯クノ如キハ普ク各府縣ニ教化團體聯合會ノ組織ヲ實現スルニ多大ナル支障ヲ及ホスヘキヲ以テ其ノ意ヲ廣義ニ採リ教化網布設ノ趣旨ヲ徹底セシムヘク普ク加盟者ヲ團體ニ限局セサルノミナラス此ノ際府縣內教化事業關係者全般ニ涉リテ其ノ團體タルト個人タルトヲ問ハス之ニ加盟セシムル大同團結ヲ作ルヲ以テ急務トス。故ニ其ノ名稱ニ於テハ必シモ教化團體聯合會ト云ハス之ヲ例ヘハ教化事業協會ト云ヒ精神作與會ト稱ヘ、教化事業聯盟ト稱スル等其ノ他適宜ノ名稱ヲ用フルモ可ナルヘシ。

二、民間教化事業關係者ハ率先シテ之カ組織計劃ヲススルコト  
 府縣聯合會ノ組織並設立後ノ施設等ニツキテハ府縣當局者ト民間當事者トノ一致協力ニヨルハ勿論ナルモ其ノ組織ニ當リテハ府縣當局者ノ計劃ニ一任シテ其ノ發議ヲ俟ツカ如キコトナク先ツ民間教化事業關係者ニ於テ互ニ相倚リ相扶ケ率先之ヲ計劃シテ其ノ事ニ當リ府縣當局者ヲ惹起シテ之カ助勢ヲナサシムルカ如キ意氣ヲ以テ其實現ヲ期セサルヘカラス。

三、既設教化團體ノ活動ヲ旺盛ナラシムルコト  
 抑教化事業統制機關ノ設置ヲ急務トスル所以ノモノハ之ヲ要スルニ相互ノ聯絡提携ヲ密接ニシ共同一致スル團結ノ力ヲ以テ一層斯業ノ進展ヲ圖ラントスルノ趣旨ニ外ナラス、然ルニ之等聯合ヲ構成スヘキ個々ノ團體ニシテ萎微、沈頓、何等其ノ事業ニ見ルヘキモノアラザランカ、進ンテ聯絡共同ノ實ヲ舉ゲ得サルハ自ラ明ラカナルヘシ。之ヲ以テ既設ノ各團體ニアリテハ此際一層ノ努力ヲ加ヘ事業ヲ振興シ其ノ設立ノ本旨ニ精進シテ常ニ民衆ノ指針トナリ時代ノ先驅タルノ本分ヲ發揮スルニ努ムヘシ

○家庭教育振興方

(昭和五・一・二・二三 各地方長官ヘ文部次官通牒)  
 (發社三〇一號)

今般家庭教育振興ニ關シ文部大臣ヨリ訓令アリタルトコロ右ハ家庭教育ノ本旨ヲ明カニスルト共ニ其ノ普及充實ヲ圖ルノ趣旨ニ有之之カ策勵方ニ就テハ教育教化ニ關係アル諸機關並諸團體特ニ婦人團體ノ活動ヲ促ス要アリ其ノ實際施設ニ至リテハ地方ノ實情ニ精ヘ左記事項御留意ノ上適切ナル御措置相成度此段依命通牒ス

一、教育機關ノ活動ニ就テハ學校ニ於ケル保護者會、父兄會、母姊會並同窓會等ヲ中心トシテ家庭教育ノ指導ニ關シ夫々適切ナル具體的方法ヲ講セシムルコト  
 二、社會教化ニ關係アル諸團體ヲシテ家庭教育振興ニ關スル施設ヲ講セシムルコト  
 三、婦人團體ノ普及ヲ獎勵シ之ヲシテ家庭教育指導ノ中心機關タラシムルコト  
 尙婦人團體ノ設置及活動ニ關シテハ左ノ事項御留意相成度

(一) 婦人團體ノ設置  
 婦人團體(母ノ會、婦人會、主婦會、母姊會並同窓會等)ハ土地ノ情況ヲ參酌シ市町村又ハ部落ヲ單位トシ若ハ學校ヲ中心トシテ之ヲ設置シ必要ニ應シ聯合ヲ組織スルコト

(二) 團體ノ事業  
 一、婦人ノ智徳ヲ涵養スルト共ニ公共生活ニ必須ナル教養ヲ與フルコト  
 ロ、家庭ニ於ケル子女ノ看護教養等ニ就テ實際ノ指導ヲ施スコト  
 ハ、家庭生活ノ改善趣味ノ向上ヲ期スルト共ニ良風美俗ノ維持發達

ヲ圖ルコト 二、教育教化並社會事業等ニ關係アル諸機關ト密接ナル連繫ヲ保チ家庭教育ノ振興ニ努ムルコト

### ○青年記念日實施方

(昭和五・一・一五 各地方長官へ文部次官通牒)  
發社第二五八號

來ル十一月二十二日ハ令旨奉戴ノ日ニ相當スルヲ以テ爾今當日ヲ青年記念日ト定メ男女青年團體、青年訓練所及實業補習學校等ヲシテ土地ノ情況ニ依リ適宜記念スヘキ施設ヲ行ハシムル様致度殊ニ本年ハ令旨奉戴滿十年ニ當リ且茲ニ全國男女青年諸團體代表者御親臨ノ光榮ニ浴シタル次第モ有之カ實施ニ就テハ特ニ御配意相成度

追テ當日記念式等ヲ行フ場合ニハ右趣旨ニ依リ左記ヲ參酌シテ適當ニ舉行セシメラル様致度

- 一、「君が代」合唱 一、令旨奉讀 一、令旨奉答ノ歌唱 一、調話
- 備考 遙拜、國旗掲揚等ヲ行フ場合ハ適宜右次第中ニ加フルコト

### ○兒童生徒ニ對スル校外生活指導ニ關スル留意事項

(昭和七・二・一七 各地方長官へ文部次官通牒)  
發社二四〇號

本日文部省訓令第二十二號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ訓令相成タル處右ニ就キテハ特ニ左記事項御留意相成様致度此段依命通牒ス

- 一、兒童生徒ノ校外生活指導ハ訓令ノ趣旨ニ基キ敬神崇祖、社會奉仕、協同互助、規律節制、勤勞愛好、健康増進等ノ要目ニ準據シ地方ノ情況ニ應ジテ適切ナル施設ヲ講スルコト
- 二、本指導ハ主トシテ小學校兒童ニ對シテ之ヲ行ヒ中等學校低學年生徒ヲシテ適宜之ニ參加セシムルコト 但シ中等學校低學年生徒ヲ單位トシテ之ヲ行フモ可ナルコト 小學校ニ在リテハ尋常小學校第三學年以上ノ兒童ヲ標準トスルコト
- 三、本指導ハ成ルヘク學校又ハ一定ノ地域ヲ單位トシテ之ヲ行ヒ必要ニ應ジテ團體ヲ組織シ更ニ聯合團體ヲ組織スルモ可ナルコト
- 四、既設ノ少年團體ニ關シテハ之カ向上振作ノ方途ヲ講セシムルコト
- 五、本指導ハ大體學校當事者ヲ中心トシ教育教化關係者男女青年團幹部等ヲシテ之ニ協力セシムルコト

### ○國際聯盟脫退ニ關スル詔書ノ趣旨貫徹方ノ訓令ニ對スル指導要項並實施要項

(昭和八・四・一 文部次官通牒)  
發社七〇號

昭和八年三月三十日文部省訓令第三號並ニ第四號ヲ以テ現下ノ非常時ニ處スヘキ國民ノ覺悟ニ關シ訓令相成タルニ付テハ特ニ左記指導要項並ニ實施要項御留意ノ上貴管下學校、青年訓練所、社會教育關係諸團體、宗教團體等ヲ督勵セラレ或ハ直轄學校ト連繫ヲ保チ訓令ノ趣旨徹底方ニ關シ萬意漏無キヲ期セラレ度此段依命通牒ス

#### 一、指導要項

- イ、時局ノ真相ヲ明ニシ正義ニ立脚セル國民的信念ノ透徹ヲ圖ルコト
- ロ、中正ナル思想ヲ堅持シ各其ノ分ニ勵ミテ奉公ノ誠ヲ竭サシムルコト
- ハ、社會ノ現状ニ鑑ミ相戒メテ風教ノ肅正ニ努メシムルコト
- ニ、堅忍持久ノ精神ヲ養ヒ克己ノ生活ニ耐ヘシムルコト

#### 二、實施要項

- イ、敬神崇祖ノ思想ノ徹底
- ロ、國旗掲揚ノ獎勵
- ハ、時局ニ關スル訓話
- ニ、體育ノ獎勵
- ホ、團體的行動ノ訓練
- ヘ、公共的運動ニ對スル協力ノ獎勵
- ト、風紀ノ肅正並ニ生活ノ緊張ニ關スル協同的行動ノ獎勵
- チ、困苦缺乏ニ耐フル訓練
- リ、警備並ニ防空ノ訓練
- ス、銃後活動ニ關スル訓練

### ○青年學校令及青年學校規程ノ運用事項

(昭和十・四・一 各地方長官へ社會教育局通牒)  
發社八六號

今般制定相成タル青年學校令及青年學校規程ノ運用ニ就テハ左記各事項御了知ノ上御取扱相成度此段依命通牒ス

#### 一 道府縣ニ於ケル青年學校ノ事務ニ關スル事項

青年學校ハ實務ニ從事スル男女青年ヲ對象トシ通常ノ學校ニ比シ極メテ簡易自由ナル組織ヲ有スル社會教育的機關ナルヲ以テ道府縣ニ於ケル青年學校ニ關スル事務ハ之ヲ社會教育ニ關スル事務トシテ取扱フコト但シ青年學校ハ小學校其ノ他ノ學校ト密接ナル關係ヲ有スヘキヲ以テ青年學校ニ對スル指導監督ト小學校其ノ他ノ學校ニ對スル指導監督トハ十分聯繫ヲ保チ其

ノ指導監督ノ事務ニ從事スル者ハ相互ニ之ヲ兼ネシムル等ノ方法ヲ講スルコト

二 學校ノ名稱ニ關スル事項

- (一) 青年學校令ニ依ル學校ハ必ス「青年學校」ノ文字ヲ附スルコト (二) 公立青年學校ニ在リテハ其ノ設置者名ヲ、私立青年學校ニ在リテハ「私立」ノ文字ヲ冠スルコト (三) 名稱ノ例 何市町村立(又ハ何市町村)農、工、商業青年學校 何市町村立(何)青年學校 何市町村立(何)女子青年學校 公立青年學校何市町村商工專修學校 公立青年學校何市町村實務女學校 私立何青年學校

三 學校ノ設置等ニ關スル事項

- (一) 青年學校ヲ設置スルコトヲ得ル私人ハ個人及營利ヲ目的トセサル私法人(社團又ハ財團)トスルコト (二) 學校ノ設置ニ關スル認可ノ申請ニハ市町村學校組合、町村學校組合又ハ町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル之ニ準スヘキモノノ設置ニ係ルモノニ在リテハ組合規約ヲ、商工會議所、農會其ノ他之ニ準スヘキ公共團體(水産會等)ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ定款又ハ會則等ヲ、私人ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ履歷書、定款又ハ寄附行爲ヲ添付セシムルコト學校ノ設置者ノ變更ノ場合モ亦前項ニ準シテ之ヲ取扱フコト

四 分教場ニ關スル事項

- (一) 分教場ハ交通、職業等ノ關係上必要アル場合ニ之ヲ設クルコト
- (二) 分教場ヲ設ケタルトキ又ハ之ヲ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ監督官廳ニ開申スルコト

五 課程ノ編制ニ關スル事項

- (一) 一ノ學校ニ於テ本科又ハ研究科ニ就キ教授及訓練期間ヲ異ニスル二以上ノ科ヲ併置スルヲ得ルコト
- (二) 一ノ科ノ課程ヲ教授及訓練時數、職業科ノ種別等ヲ異ニスル二以上ノ部ニ區分スルヲ得ルコト

六 專修科ニ關スル事項

- (一) 專修科ノ教授及訓練期間ハ概ネ三月以上一年以内トスルコト (二) 專修項目ハ珠算、簿記、速記、タイプライター、英語、製圖、家具、塗工、園藝、養蠶、手藝、洗染、割烹其ノ他主トシテ職業ニ關スル特別ノ事項トスルコト
- (三) 普通科、本科又ハ研究科ノ生徒ハ同時ニ專修科ノ課程ヲ兼修スルヲ得ルコト

七 入學ノ取扱ニ關スル事項

- (一) 普通科及本科ノ第一年ニ入學スルコトヲ得ル者ノ年齡ハ其ノ年三月三十一日ニ於テ普通科ニ在リテハ十二年以上、本科ニ在リテハ十四年以上トスルコト (二) 普通科第二年並ニ本科及研究科ノ第二年以上ノ入學ニ關シテハ年齡ヲ基準トシ其ノ素養ヲ斟酌シテ之ヲ相當年ニ編入スルヲ常例トスルコト (三) 男子ニ就キ中學校、尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限五年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ヲ青年學校ノ本科及研究科ニ入學セシムル場合ニハ學校長ニ於テ左ノ例ヲ標準トシ其ノ年齡及素養ヲ斟酌シテ適宜之ヲ相當年ニ編入スルヲ得ルコト (イ) 年齡十四年以上十五年未滿ノ者ニシテ第二學年ヲ修了シタルモノハ本科第二年 (ロ) 年齡十五年以上十六年未滿ノ者ニシテ第三學年(高等小學校卒業程度)ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第一學年)ヲ修了シタルモノハ本科ノ第三年又ハ第四年(ハ) 年齡十六年以上十七年未滿ノ者ニシテ第四學年(高等小學校卒業程度)ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第二學年)ヲ修了シタルモノハ本科ノ第四年又ハ第五年 (ニ) 學校ヲ卒業シタル者ハ研究科第一年 前項以外ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ニ關シテモ其ノ課程ノ程度ニ應シ前項ノ例ニ準スルヲ得ルコト (四) 女子ニ就キ高等女學校、尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限四年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ヲ青年學校ノ本科及研究科ニ入學セシムル場合ニハ學校長ニ於テ左ノ例ヲ標準トシ其ノ年齡及素養ヲ斟酌シテ適宜之ヲ相當年ニ編入スルヲ得ルコト(イ) 年齡十四年以上十五年未滿ノ者ニシテ第二學年ヲ修了シタルモノハ本科第二年 (ロ) 年齡十五年以上十六年未滿ノ者ニシテ第三學年(高等小學校卒業程度)ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第一學年)ヲ修了シタルモノハ本科第三年又ハ研究科第一年 前項以外ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ニ關シテモ其ノ課程ノ程度ニ應シ前項ノ例ニ準スルヲ得ル事

八 轉學ノ取扱ニ關スル事項

(一) 居所移轉等特別ノ事由ニ依リ他ノ青年學校ニ轉學ヲ志望スル生徒アルトキハ學校長ハ其ノ生徒ノ學籍簿ノ寫ヲ移轉先學校ニ送付スルコト 移轉先學校ニ於テハ特別ノ事情アル場合ノ外之ヲ許可スルコト (二) 轉學ノ場合ニハ相當科ノ相當年ニ編入スルヲ常例トスルモ課程ノ程度ノ相違等ノ事情ニ依リ編入ノ年ニ就キ斟酌ヲ加フルヲ得ルコト

九 教授及訓練ノ委託ノ取扱ニ關スル事項

(一) 青年學校ニ於ケル教授及訓練ノ委託ハ生徒ニシテ生業其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ他ノ一定地方ニ概ネ一月以上三月迄ノ期間ニ互リ滯留セントスルモノアル場合ニ之ヲ爲スコト (二) 學校長ハ委託ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ滯留地ノ青年學校ノ學校長ニ送付シ且當該生徒ノ青年學校手帳ニ出席情況其ノ他必要ナル事項ヲ記入證明スルコト (三) 滯留地ノ青年學校ノ學校長ハ特別ノ事情アル場合ノ外承諾ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ在籍學校ノ學校長ニ送付シ當該生徒ニ對シテ適宜教授及訓練ヲ爲シ委託期間終了シタルトキハ在籍學校ニ生徒ノ出席情況其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ送付シ且當該生徒ノ青年學校手帳ニ出席時數其ノ他必要ナル事項ヲ記入證明スルコト (四) 在籍學校ノ學校長ハ滯留地ノ學校ニ於テ當該生徒ニ爲シタル教授及訓練ヲ以テ其ノ學校ニ於テ爲シタルモノト看做スコト

十 課程ノ修了及卒業ノ認定等ニ關スル事項

(一) 普通科ノ修了及本科ノ卒業ノ認定ハ全課程ニ就キ出席時數其ノ他平素ノ學修情況ヲ標準トシテ之ヲ爲スコト (二) 普通科又ハ本科ノ各教授及訓練科目ノ出席時數ニ就キ青年學校規程第八條ノ第一號表乃至第四號表ニ示ス各教授及訓練科目ノ教授及訓練時數ノ當該科ニ於ケル總時數(男子本科ニ在リテハ普通學科及職業科ノ時數ハ之ヲ通算ス)ノ概ネ八割ニ達セタル者ニ對シテハ修了又ハ卒業ヲ認メサルコト 前項ノ場合中途入學者及轉學者ニ關シテハ入學シタル時期ヲ基準トシ其ノ以後ニ配當シタル時數ニ依ルコト (三) 病氣其ノ他已ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ教授及訓練ヲ受クルコト能ハサル者ニ對シテハ適切ナル時期ニ於テ之ヲ補充スルコト

十一 教科書ノ使用ニ關スル事項

(一) 青年學校ニ於テ教科書ヲ使用スル場合ニハ學校長ヲシテ豫メ地方長官ニ開申セシムルコト (二) 地方長官ニ於テ必要ト認ムルトキハ教科書ノ使用ヲ認可シ又ハ適當ナル教科書ヲ認定スル等ノ方法ヲ講スルコト

十二 講習ニ關スル事項

(一) 青年學校ニ於ケル講習ハ青年學校ノ修了者又ハ卒業者ヲ始メ一般公衆ヲ對象トシテ之ヲ行フコト (二) 講師ハ當該學校ノ教員ノ外學校長ニ於テ囑託シタル者トスルコト (三) 講習ノ期間ハ三月以内トスルコト

十三 專任教員ニ關スル事項

青年學校ノ專任教員ハ左ニ掲クル者ヲ謂フコト (イ) 公立青年學校ノ專任ノ教諭又ハ助教諭タル者 (ロ) 公立青年學校ノ專任ノ學校長ニシテ當該學校ノ教諭又ハ助教諭ニ兼任セラレタル者 (ハ) 前二號以外ノ公立私立青年學校教員タル者ニシテ當該學校ノ教員タルコトヲ本務トシ且手當又ハ給料月額四十圓以上ヲ受クル者

十四 公立青年學校ノ指導員等ニ關スル事項

(一) 公立青年學校ノ指導員タル教員ハ地方長官ニ於テ青年學校教員資格規程ニ依リ適當ト認ムル者ニ之ヲ囑託スルコト (二) 教練科ヲ擔任セシムル爲ニ在郷軍人ニ指導員ヲ囑託スル場合ニハ成ルヘク其ノ在營期間長ク且教育程度高キ者ヨリ之ヲ選定スルコト (三) 指導員ノ外特別ノ必要アルトキハ地方長官ハ青年學校教員資格規程ニ依リ適當ト認ムル者ニ公立青年學校ノ教授及訓練ヲ囑託スルヲ得ルコト 前項ノ教員ハ之ヲ講師ト稱スルコト

十五 私立青年學校ノ學校長及教員ニ關スル事項

(一) 私立青年學校ニ於テハ學校長ヲ定メテ地方長官ノ認可ヲ受クヘキコト(私立學校令第三條) (二) 私立青年學校ニ於テ青年學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有スル者ヲ採用スル場合ニハ地方長官ニ之ヲ開申セシムルコト 私立青年學校ニ於テ青年學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有セサル者ヲ教員トシテ採用スル場合ニハ地方長官ノ認可ヲ受ケシムルコト



(青年學校教員資格規程第四條) 前項ノ認可ハ當該學校在職間有效ナルコト

(三) 私立青年學校ノ教員ノ名稱ハ公立

青年學校ニ準シ教諭、助教諭、指導員等ノ名稱ヲ使用セシムルコト

十六 學校醫ニ關スル事項

青年學校ニハ特別ノ事情アル場合ノ外學校醫ヲ置キ學校衛生ニ關スル職務ニ從事セシメ特ニ每年生徒ノ身體檢査ヲ行ハシムルコト

十七 修了證及卒業證ノ様式ニ關スル事項

普通科ノ修了證ハ第一號様式、本科ノ卒業證ハ第二號様式ニ依ラシムルコト(略)

十八 學籍簿及出席簿ノ取扱ニ關スル事項

(一) 學籍簿ハ文部省告示ヲ以テ定メタル様式ニ從ヒテ之ヲ調製セシメ出席簿ハ適宜之ヲ調製セシムルコト

(二) 學籍簿及出席簿ハ爾後修了、卒業等ノ證明又ハ在營期間短縮ニ必要ナル課程ノ修得ノ程度ノ證明等ニ關スル原簿トシテ重要ナルヲ以テ相當ノ期間之ヲ保存セシムルコト

青年學校ヲ廢止シタル場合ニ於ケル學籍簿及出席簿ノ保存ニ關シテハ地方長官ニ於テ適宜之ヲ定ムルコト

十九 青年學校手帳ニ關スル事項

青年學校手帳ハ文部省告示ヲ以テ定メタル様式ニ從ヒテ各地方官廳、市町村役場又ハ青年學校等ニ於テ適宜ノ方法ニ依リ調製交付ノ便ヲ圖ルコト

二十 私立青年學校ヨリ地方長官ニ提出スル文書ノ取扱ニ關スル事項

私立青年學校ヨリ地方長官ニ提出スヘキ書類ハ當該學校所在地ノ市町村長ヲ經由セシムルコト

### ○公立青年學校ノ囑託教員中指導員及講師採用上區別方

(昭和十・九・二一各地方廳へ社會教育局通牒)  
發社二三五號

標記ニ關シテハ本年四月一日發社八六號青年學校ニ關スル件通牒中ニ之カ取扱方ヲ指示致シタル處地方長官ノ囑託ニ依ル公立青年學校教員中教諭及助教諭ニ準シ勤務ヲ爲サシムヘキ者ハ指導員、一定ノ時間ヲ限リテ特定事項ノ教授及訓練ニ從事セシムヘキ者ハ講師トシテ之ヲ御採用相成度此段依命通牒ス

### ○青年學校ノ普通科、本科又ハ研究科生徒ノ專修科兼修ノ場合ニ於ケル修身及公民科ノ取扱方

標記ニ關シテハ本年四月一日發社八六號通牒中ニ於テ青年學校ノ普通科、本科又ハ研究科ノ生徒ハ同時ニ專修科ノ課程ヲ兼修スルヲ得ルコトヲ指示致シタル處右ノ場合當該生徒ニ對シテ普通科、本科又ハ研究科ニ於テ課スル修身及公民科ヲ以テ專修科ニ於テ課スヘキ修身及公民科ニ充ツルコトハ差支無之(昭和十・九・二七社會教育局通牒)

### ○青年學校手帳ノ取扱ニ關スル留意事項

(昭和十・一・二二各地方廳へ社會教育局通牒)  
官社九三號

今般文部省告示第三百二十五號ヲ以テ青年學校手帳ノ様式相定メラレタル處本件ハ青年學校規程第十九條ノ規定ニ基クモノニ有之其ノ趣旨ハ昭和十年文部省訓令第二號十二中ニ之ヲ指示相成タルモ更ニ陸軍省ト協議ノ上兵役法施行規則第五十二條ノ三ニ規定スル在營期間短縮ニ關スル證明書ニモ充ツルコトニ決定相成タル次第ニ有之又當分ノ内從前ノ青年訓練手帳ヲ所持スル者ニ就テハ當該手帳ヲ以テ適宜青年學校手帳ニ代用セシムルモ差支無之尙本手帳ノ取扱ニ關シテハ左記事項御了知ノ上御措置相成度此段依命通牒ス 追テ本手帳ニ記入ノ事項ハ將來本人ノ身分等ヲ證明スル資料タルヘキヲ以テ卒業又ハ修了後ニ於テモ之ヲ保存セシメ現居住所及職業ノ異動ハ引續キ之ヲ記入セシムル様努メテ御獎勵相成度

一、學校長ニ於テ記入スヘキ各欄ノ文字ハ之ヲ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ各其ノ總字數ヲ卷末備考欄ニ記載セシメ學校長ヲシテ認印セシムルコト 二、兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依リ陸軍大臣ノ定メタル程度ヲ修得シタル者ニ對シテハ學校長ヲシテ卷末ノ證明書ニ必要ナル事項ヲ記入證明セシムルコト 三、從前ノ實業補習學校ニ在學シ又ハ青年訓練所ノ訓練ヲ受ケタル者ニ就テハ出席時數欄ニハ其ノ者ノ青年學校(青年學校令附則第四項ノ青年學校ヲ含ム)ニ

編入セラレタル以後ニ於テ修メタル時數ヲ記入セシムルコト  
 四、從前ノ青年訓練手帳ヲ所持スル者ノ在營期間短縮ニ關スル證明書ハ當該手帳ト青年學校手帳卷末ノ證明書ノ様式ニ準スル證明書(半紙半截大)トヲ以テ之ニ充ツルヲ得ルコト(青年訓練手帳ノ外青年學校手帳ヲ所持スル者ニ在リテハ青年訓練手帳及青年學校手帳トスルコト)  
 五、昭和十年六月十日陸軍省告示第二十七號ニ依リ課程修得ノ程度ヲ輕減セラレタル者ニ對シテハ學校長ヲシテ青年學校手帳卷末ノ證明書(從前ノ青年訓練手帳ヲ所持スル者ニ就テハ青年學校手帳卷末ノ證明書ノ様式ニ準スル證明書)ノ一隅ニ當該告示該當條項等(昭和十年陸軍省告示第二十七號第二號第二項ニ依リ修身及公民科何時、普通學科及職業科何時、教練科何時免除等)ヲ記入セシムルコト

### ○青年學校視學委員要項

(昭和一一・一・二〇 各地方長官ハ文部次官通牒)

青年學校教育ノ振興ヲ圖ルニハ青年學校ノ實情ヲ視察シテ之ニ適切ナル指導ヲ加フルノ必要アルニ付今般本省ニ於テハ別紙要項ニ依リ青年學校視學委員ヲ設ケテ青年學校ノ視察機關ヲ補助セシメ以テ青年學校ノ視察指導ノ徹底ヲ期スルコトト相成タルニ就テハ本施設ノ趣旨ニ依リ其ノ運用ニ萬遺憾ナキヲ期セラルル様致度此段依命通牒ス

- 一、青年學校視學委員ハ道府縣内ノ青年學校ノ教育情況ヲ視察スルモノナルコト
- 二、青年學校視學委員ハ地方長官ノ内申ニ基キ文部大臣之ヲ委囑スルコト
- 三、青年學校視學委員ハ左ニ掲クル者ノ中ヨリ之ヲ選フコト
  - イ、直轄學校並ニ公立ノ大學、高等學校及專門學校ノ長及教員
  - ロ、青年學校教員養成所ノ所長及教員
  - ハ、師範學校並ニ公立ノ中學校、高等女學校及實業學校ノ學校長及教員
  - ニ、其ノ他學識經驗アル者
- 四、青年學校視學委員ノ委囑豫定期間ハ概ネ三年トスルコト 必要アルトキハ前項ノ期間中ト雖モ地方長官ノ内申ニ基キ解囑ヲ爲スコトアルヘキコト

五、青年學校視學委員ニハ地方長官ノ内申ニ基キ手當ヲ給スルコト 手當額ハ青年學校視學委員ノ出張シタル旅程等ヲ參酌シテ定ムルコト

六、地方長官ハ毎年度豫メ青年學校視學委員ノ視察計畫ヲ定メ四月末日迄ニ之ヲ文部大臣ニ開申スルト共ニ各青年學校視學委員ニ通知スルコト 視察計畫ニハ視察ノ要領並ニ各青年學校視學委員ノ視察スヘキ學校及視察ノ時期等ヲ定ムルコト

七、青年學校視學委員ハ概ネ左ノ事項ニ就キ視察ヲ爲スコト  
 イ、教授及訓練ノ情況  
 ロ、施設經營ノ一般情況  
 ハ、當該學校ト地方トノ關係

八、青年學校視學委員青年學校ノ視察ヲ爲シタルトキハ學校長及教員ニ對シ意見ヲ開示スルヲ得ルコト

九、青年學校視學委員視察ヲ終リタルトキハ視察報告書ヲ地方長官ニ提出スルコト  
 一〇 視察報告書ニハ概ネ左ノ事項ニ就キ記載スルコト  
 イ、視察シタル事項ノ概要  
 ロ、意見ヲ開示シタルトキハ其ノ要領  
 ハ、其ノ他必要ト認ムル事項  
 一一 地方長官ハ前年度ニ於ケル青年學校視學委員ノ視察報告書中ヨリ最重要ト認ムル事項ヲ毎年六月末日迄ニ文部大臣ニ報告スルコト

一二 地方長官ハ毎年少クトモ一回青年學校視學委員協議會ヲ開催スルコト

### ○青年學校視學委員取扱方

(昭和一一・五・二六 各地方長官ハ社會教育局通牒)

昭和十一年一月二十日發社二八〇號通牒ニ依リ設ケラレタル青年學校視學委員ノ取扱ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成度

- 一、官公立學校職員タル者ヲ青年學校視學委員ニ委囑スル場合ハ辭令面ニ其ノ官職(例、何高等農林學校教授、公立實業學校長、何高等女學校教諭等)ヲ肩書セラル、ニ付委囑發令後當該官職ニ變更ヲ生シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ青年學校視學委員タルノ身分ハ自然消滅スルモノナルコト 前項ニ依リ青年學校視學委員タル身分ノ自然消滅シタル者ニ就キ青年學校

視學委員要項三ニ依リ更ニ青年學校視學委員ノ委囑方ヲ内申スルヲ妨ケサルコト 一、公立學校職員ニシテ青年學校視學委員ニ委囑セラレタル者其ノ辭令面ニ肩書セラレタル官職ニハ變更ナクシテ他ノ道府縣ノ學校ニ轉補セラレタルトキ(例、辭令面ノ肩書ニハ公立實業學校長トアル者カ他ノ道府縣ノ公立實業學校長ニ轉補セラレタルトキ)ハ委囑方内申シタル地方長官ニ於テ其ノ年月日ヲ具シ青年學校視學委員ノ解囑方ヲ内申スルコト但シ本人ノ解職願ヲ必要トセサルコト 三、官公立學校職員ニシテ青年學校視學委員ニ委囑セラレタル者休職ヲ命セラレタルトキハ直ニ青年學校視學委員ノ解囑方ヲ内申スルコト 四、青年學校視學委員ニシテ一ニ依リ其ノ身分ノ自然消滅シタル者、死亡シタル者又ハ改姓改名シタル者アルトキハ其ノ年月日ヲ具シ直ニ之ヲ報告スルコト

## 第二十四 法 人

### ○教育會附屬圖書館ヲ法人ト認メ方

(明治三一・十六 官時縣照會)

(明治三一・十四 普通學務局回答)

【問】 本縣ニ於テ從來存立セル私立日州教育會ハ附屬圖書館ヲ設置シ若干ノ圖書ト敷地家屋ヲ所有スルモノニ有之候處其財產ニ關シテハ未タ何等ノ規定ヲ設ケス隨テ純全タル獨立ノ財產トハ認メ難ク且ツ其會ハ之ヲ法人トナスノ希望ナキ場合ニ於テモ尙之ヲ民法施行規則第十九條ニ該當スルモノト認メ本年九月御省令第十九號ニ依リ認可ヲ乞ハシムヘキ儀ナリヤ聊カ疑義ニ涉リ候條電報ヲ以テ御回示ニ預リ度此段及御照會候也

【答】 一箇人又ハ數人ノ所有スル財產ト認メ得ヘキモノハ格別教育會トシテ獨立ノ財產ヲ有スルニ於テハ民法施行法第十九條ニ該當スト存ス

### ○宗教ニ關スル法人取扱方

(大正一一・五・三〇 各地方廳へ宗教局通牒)

從來宗教ニ關スル法人ニ付テハ教育ニ關スル法人ト其ノ取扱ヲ異ニセルコトモアリシトコロ明治三十二年八月文部省令第三

十九號ハ宗教法人ニモ之ヲ適用スルコトニ決定セルヲ以テ右御了知ノ上然ルヘク御取扱相成度 追テ貴管内ニ主タル事務所ヲ有スル宗教法人ニシテ從來事業報告ヲ差出ササリシモノニ付テハ將來差出方夫々御指示相成度

### ○財團法人ノ資産總額變動ハ主務官廳ノ許可ヲ要セス登記シ得

(大正一三・八・一三 新潟縣へ普通學務局通牒)

本年三月十九日學收第二、〇八〇號ヲ以テ御再申相成タル貴管下南魚沼郡教育財團ニ係ル標記ノ件ニ關シ司法省民事局長ニ對シ爲念左記申號ノ通照會致シタル處乙號ノ通照會ノ次第モ有之認可ヲ要セサル儀ニ付此旨御示達相成度書類返戻ス  
(甲號) 新潟縣南魚沼郡教育財團理事ヨリ資産總額變更ニ關シ登記申請ノ處資産總額變更ニ關シテハ主務官廳ノ認可無之限リ同申請ヲ受理シ難キ旨區裁判所ヨリ申渡サレタル趣ヲ以テ同法人資産總額變更方申請有之タルモ同法人ハ左記ノ通り設立當時ニ於ケル資産ヲ規定シタルモノニテ寄附行爲ノ趣旨ニ依リ設立後資産ノ増減スヘキハ當然ノ事ニ屬スルヲ以テ主務官廳ノ認可ヲ要セスシテ資産總額變更ノ登記ヲ爲シ得ルモノト被存ニ付貴省ニ於テ御同意ノ場合ハ夫々通知方相當御手配ノ上何分ノ御回答相煩シ度此段照會ス

第五條 本財産團資産ハ左ニ掲クルモノヲ以テ之ニ充ツ

- 一、郡寄附金
- 二、本財團ノ目的ヲ翼賛スルモノヨリ受入レタル寄附金
- 三、其ノ他ノ收入本財團設立ノ日ニ於ケル資産ハ金貳萬八千八百四拾參圓五拾錢トス

(乙號) 右ハ貴見ノ通ト思考致候 追テ本文回答ハ登記所へ通達方取計フヘク管轄地方裁判所へ通牒致置候此段申添候也

### ○東京市ノ境界變更ニ伴フ法人事務所々在地改稱ノ場合ノ取扱方

(昭和七・九・二九 東京府知事へ文部次官通牒)

來ル十月一日ヲ以テ東京市ニ併合セラレヘキ近接八十二ヶ町村内ニ事務所ヲ有スル當省主管ノ法人ニシテ右併合ノ結果其ノ事務所々在地ノ表示ニ變更ヲ生スルコトト相成モ之ニ基ク定款又ハ寄附行爲ノ變更ニ付テハ認可申請ノ手續ヲ省略シ便宜費應ヲ經由ノ上文部大臣ニ届出ツルヲ以テ處理スルコトニ決定相成タルニ付右ノ次第至急理事者ニ御示達相成度

○同窓會法人設立許可ノ標準

(昭和十・四・十普通學務局同定) 發售三五號

近來各種ノ學校ノ同窓會又ハ學友會ニシテ法人組織ニ改メントスルモノ漸ク増加スルノ傾向アリ今ニシテ一定ノ標準ヲ設ケ其ノ法人設立ニ統制ヲ加フルコト無クンハ公益團體トシテ形式ノミ整備シテ其ノ內容實質ノ之ニ伴ハサルモノヲ生スルノ虞アリ依リテ今後同窓會法人設立許可ノ際ニハ左記ノ標準ニ依リ詮議相成可然哉

- 一、單ニ會員ノ親睦團體ニ過キサル同窓會又ハ學友會ハ原則トシテ其ノ法人設立ヲ許可セサルコト
- 二、相當ノ資産ヲ有シ社會的活動ヲ目的トスル同窓會ハ其ノ法人設立ヲ許可スルコト

○皇族ヲ公益法人等ノ總裁ニ奉戴スル場合宮内省ヘ協議方

(昭和一一・一一・五 官文 一七一・一五 本省各局部課ヘ文書課移譯)

各省ノ監督ニ屬スル公益法人ニシテ皇族ヲ總裁ニ奉戴セントスル趣旨ノ定款又ハ寄附行爲ノ作成又ハ變更ヲ申請スルモノアル場合ニ於テハ許可又ハ認可ノ以前ニ於テ豫メ各省ヨリ當省ニ協議相成様御取計ヲ得度此段得貴意候 追テ奉讀會博覽會其他營利ヲ目的トセサル各種ノ團體又ハ諸會ニシテ同趣旨ノ意嚮ヲ有スルコト各省ニ於テ事前ニ判明スル向ニ就テモ同様豫メ當省ニ協議有之様御取計ヲ得度併セテ申添候

○文部大臣ノ主管ニ屬スル法人ノ設立及監督ニ關スル規程第五條ノ指定基本財産ノ處分監督方

(昭和一一・一一・二三 文部次官訓諭)

標記ニ關シテハ十二月一日文部省告示第三百六十號ヲ以テ指定告示相成タル處右基本財産ノ處分ニ付テハ爾今同條所定ノ手續ニ依ラシムル様十分御監督相成度 追而右告示中校地校舍ノ處分ニ付テハ左ノ事項ニ御留意相成度

- 一、他ノ法令ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受クヘキ事項ニ付テハ本規程第五條ノ承認ハ認可中ニ併セテ詮議セラルヘキニ付特ニ之ヲ要セス
- 二、學校法令ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クヘキ事項中財産權ノ變動ヲ伴フモノハ其ノ認可前ニ文部大臣ノ承認ヲ受ケシムヘキモノトス右承認願進達ニ當リテハ地方長官ハ認可ノ見込意見ヲ具スルコトヲ要ス

第二十五 褒 賞

○外國人寄附ニ關スル賞與方

(明治三〇・三・三 普通學務局照會) (明治三〇・三・四 賞勳局同答) 普通甲第七五〇號 送第一四八號

【問】 別紙寫ノ通北海道廳長官ヨリ上申有之候處右ハ該長官限行賞可然モノト被存候得共前例モ無之ニ付一應御見込致承知度此段及御照會候也(別紙略)

【答】 亞米利加合衆國マサツチユセツト州アマスト大學教授ダビト、トツドヨリ北海道枝幸郡公立枝幸尋常小學校ヘ圖書(價格五百圓未滿)寄附候ニ付賞與取扱方御問合ノ趣了承右ハ御見込ノ通りニテ可然ト存候此段及回答候也

○神社名ヲ以テ學校等ヘ寄附者賞與方

(明治三〇・一・一九 普通學務局照會) (明治三〇・一・二〇 賞勳局同答) 普通甲第八一號 送第二二二號

【問】 神社名ヲ以テ學校等ヘ寄附シタルモノニ對シテハ賞與ノ詮議可相成哉

○學校ヘ額面竝遊廊事務所ノ名稱ヲ以テ寄附行賞方

(明治三二・一・二五 賞勳局照會) 送二二八號

別紙祕甲二二九號申牒中寄附物件事項ニ額面云々トアリ右額面ハ學校教育上ニ對シ行賞ノ必要ヲ認メ難ク將又祕申二二六號申牒中ニ新町遊廊事務所ノ名稱ハ行賞上穩當ナラサル文字ニ付可然改稱ノ上更ニ申牒有之度依テ申牒書類二件共一ト先及御返戻候此段及照會候也

○小學校ニ雨傘寄附者行賞方

(明治三二・二・二八 山口縣照會) (明治三二・三・二 祕書課同答) 二・二八 賞一七四號

【問】 小學校兒童ヘ貸與ノ目的ヲ以テ雨傘又ハ其調製費ヲ小學校ニ寄附スル者問々有之右行賞方ニ關シ明治二十三年二月三

日內務省庶務局長へ照會候處學校必用ノ備品ニモ無之ニ付賞與スルニ及ハサル旨回答有之候所雨傘貸與ノ義ハ山村部落小學校ニ於テハ不時ノ需要ニ應スル爲メ極メテ必要ノ品ニシテ殆ント當然校品トシテ設備スヘキ價値アル物件ニ有之候所往々右様ノ寄附ヲ爲スモノ有之候ニ付明治十六年(一月)太政官布告第一號ニ依リ公益ノ爲メニ金穀財産ヲ寄附シタルモノニ準シ行賞致度何分御意見御回示相成度此段及照會候也

【答】 右ハ當然校品トシテ設備スヘキ價値アル物件ニ限リ太政官布告ニ準シ行賞相成可然此段及回答候也

○學校生徒運動費中競技賞與費寄附者賞與方 (明治三四・一二・九・賞勳局へ人事課照會) (明治三四・一二・十・賞勳局回答)

【問】 學校生徒運動費中競技賞與費トシテ金員ヲ寄附シタル者アルトキハ明治十六年太政官達第十七號ニ依リ相當賞與可相成ハ勿論ノ儀ト存候得共一應御意見承知致度右ハ目下某縣知事ヨリ稟請ニ接シ居リ候ニ付折返シ煩御回答度

【答】 右ハ小學校令第三條ニ掲クル教科目以外ノモノニシテ國庫費ヲ以テ賞賜スル限リニ無之ト認メ候此段及覆照候也

○海軍公債證書寄附者行賞方

(明治三五・六・二一・賞勳局通牒) (明治三五・六・二三・兵庫縣へ通牒)

【問】 別紙兵庫縣平民何某ヨリ海軍公債證書額面五百圓寄附ノ爲メ行賞方貴省大臣ヨリ申牒相成候處右ハ單ニ額面五百圓トノミ有之候得ハ其實價即チ賣買ノ價格ニ準據セハ勿論五百圓未滿ニ相當スルモノト被認候間本書類一ト先及返戻候也

【答】 右ハ別紙賞勳局通知寫之通寄附物件價格五百圓未滿ノモノト認メラレ從テ同局ニ於テ行賞ノ限ニアラサルモノト被存候ニ付彙ニ御上申ノ書類相添及御返戻候也

○開校式費又ハ運動會費官公立學校へ寄附者不行賞方

(明治三六・四・七・賞勳局へ人事課照會)

【問】 開校式費又ハ運動會費トシテ官公立學校へ寄付セシモノ、如キハ何レモ明治十六年太政官達第十七號ニ依リ相當賞與可相成儀ト存候へ共聊カ疑義ニ涉リ候條一應御意見承知致度此段及御照會候也

【答】 右ハ從來行賞セサル例ニ有之候此段及回答候也 (明治三六・四・八・賞勳局回答)

○内地ニ現住セサル内外國人ノ寄附賞與ハ受寄者所在地地方廳へ通知方

(明治三七・五・一七・文部次官通牒)

明治十六年太政官布告第一號及同年太政官達第十七號ニ據ル寄附者賞與方ノ儀ニ付テハ從來本人所在ノ地方廳ニ於テ處理成居候處内地ニ現住セサル内外國人ノ寄附ニ關シテハ各廳ノ取扱方區々ニ互リ居候様被認候右ハ自今受寄者所在ノ地方廳ニ於テ夫々處理相成可然命ニ依リ此段及通牒候也

金穀物件寄附者賞與方ノ儀ニ付テハ明治二十四年五月十一日付通達ニ基キ本人現住地ノ地方廳へ通知相成居候處内地ニ現住セサル内外國人ノ寄附ニ關シテハ各部ノ取扱方區々ニ互リ居候様被認候右ハ自今受寄者所在ノ地方廳へ通知可相成候此段及通達候也

○寄附者賞與方上申及寄附取調表雛形

(明治三八・二・七・文部次官通牒)

從來寄附者賞與方上申ニ付テハ寄附取調表書式區々ニ涉リ間々不備ノモノモ有之取扱上手數ヲ要スル少カラサルノミナラス賞勳局ヨリノ注意モ有之候條爾今別紙雛形ニ依リ調製ノ上御上申有之度此段及通牒候也

別表ノ通寄附候ニ付相當御賞與相成度此段及上申候也

官職氏名殿

官職氏名印

寄附取調表(雛形)

寄附受領ノ年月日	寄附ノ目的	寄附物件(又ハ金員)	價	格	單	價	現住所及本籍身分	官職位勳功
明治何年何月何日	何府縣何郡市何	何物何物何物	六、九三〇	〇〇〇	一〇〇〇	〇〇〇	何府縣何郡市何町何村何番地何市何郡何地何華士	何學校長何位何某

(注意)

- 一、木杯賜與ニ係ル分ト金銀杯賜與ニ係ル分トハ別紙ニ調表スヘシ
- 二、金額ヲ示スニハ取調表(雛形)ノ如キ記載例ニ依リ千位ニハ「コンマ」ヲ付シ數字中一二三ハ壹貳參ノ字ヲ用ユヘシ
- 三、寄附物件ニシテ金員ナルトキハ價格、單價欄ノ如ク圓位ニ横線ヲ劃シ圓ノ字ヲ記シ價格及單價欄ヲ朱抹スヘシ
- 四、寄附物件ハ其種目數量等ヲ詳記スヘシ數字中一二三ハ壹貳參ノ字ヲ用キ又物件多キトキハ別紙ニ其明細書ヲ調製シ一物件毎ニ價格及單價ヲ記載スヘシ
- 五、價格及單價欄内ニハ寄附受領當時ノ時價ヲ記載スヘシ公債其他ノ有價證券亦同シ
- 六、公私法人ノ寄附ニ係ルトキハ其法人名ノミヲ記シ代表者ヲ記スルニ及ハス其他ノ團體ノ寄附ニ係ルトキハ必ス代表者ノ右肩ニ何々代表者又ハ總代ト明記スヘシ(此注意ニ反スルトキハ假令組長、社長其他何等ノ名稱ヲ付スルモ單ニ一個人ノ職業ト看做シ取扱ハルルコトアルヘシ
- 七、水災火災等ノ如キ非常事變ノ際ニ於ケル寄附ニ付テハ必ス其罹災ノ年月日ヲ備考トシテ記載スヘシ
- 八、右ノ外必要ナル事項ニシテ表中ニ記載スル能ハサルモノハ總テ備考中ニ記載スヘシ

○寄附者賞與上申寄附取調表中金額ノ數字等記載方法注意

(明治四二・五・三一 賞勳局照會) 送第一、四九五號

從來當該長官ヨリ貴省大臣へ上申ニ係ル寄附取調表中往々金額ノ數字(一二三)ノ字體明瞭ヲ缺キ或ハ「コンマ」ノ打テ處ノ間違モナキニアラス其他圓位ノ傍ラ圓ノ字ノ記入ヲ脱シ又横線ヲ略スル等檢閲上手數ヲ要スル事尠カラズ依テ今後ハ萬千百拾圓拾錢厘ノ位置ヲ整正シ及ヒ壹貳參ノ文字ヲ用キテ金額等ヲ明瞭ナル様致度此段及照會候也

○府縣都市區町村及市ノ區並町村内ノ部落又ハ水利組合居留民團等ヨリ國又ハ公共團體へ土地若クハ金品寄附行賞廢止

(明治四五・七・四 賞勳局通牒) 發第九八號

府縣都市區町村及市ノ區並町村内ノ部落又ハ水利組合居留民團等ヨリ國又ハ公共團體へ土地若クハ金品ヲ寄附シタルモノニ對スル行賞ハ自今廢止セラレ候條此段及通牒候也

○寄附者賞與方上申ニ對スル取扱方

(昭和五・一・一五 各地方廳へ秘書課通牒) 發秘七號

褒賞條例ニ依ル寄附者行賞ノ上申ニ關シ取扱上必要有之ニ付將來左記御了知ノ上可然御處理相成度

一、上申書ハ必ス明治三十八年二月七日付巳賞秘八號通牒ノ雛形ニ依ルヘキモ尙左記事項御注意相成度

- 1. 一件書類ハ總テ二通提出スルコト
- 2. 同一ノ寄附ニシテ數次ニ分納シタルモノニ在リテハ寄附申込年月日、毎回ノ分納年月日及其ノ金額ヲ記載スルコト
- 3. 金員寄附ニシテ金額ニ端數アルモノニ付テハ端數ヲ生シタル理由ヲ記載スルコト
- 4. 公債其ノ他有價證券ノ寄附ニ在リテハ其ノ種類、發行年月、證書ノ記號番號ヲ記載シ其他ノ物件寄附ニシテ例ヘハ「ビ」等ノ如キ型式多種アルモノニ付テハ其ノ製造所名、購入店名及型式、記號番號ヲ明記シ尙「カタログ」ヲ添付スルコト
- 5. 寄附者個人ノ場合ハ本籍ト現住所ト各別ニ分明スル様記載シ法人其ノ他團體ノ場合ハ其ノ所在地ヲ記入シ法人其ノ他團體ノ支社又ハ支部等ヨリノ寄附ニ在リテハ本社又ハ本部ノ所在地ヲ併記スルコト又地名ハ地番マテ詳記スルコト
- 6. 二人(又ハ二團體)以上ノ共同寄附ノ場合ニ於テ各人(又ハ各團體)ノ平均額千圓未満ノ場合ハ何某(又ハ何團體)外何名(又ハ何個團體)ト記載スルコト
- 7. 遺族追賞ノ上申書ニハ故人ノ寄附申込年月日及死亡年月日並寄附ハ生前寄附ナルカ遺言寄附ナルカ、又ハ死亡前ノ寄附申込ナルモ納入前死亡ノ爲遺族ニ於テ納入セルモノナルカノ別ヲ明記スルコト
- 8. 位階勲等又ハ褒章ヲ有スル寄附者ニシテ位階勲等又ハ褒章ヲ授與セラレタル後氏名改稱ヲナセル者ハ其ノ舊氏名並位階勲等又ハ褒章ヲ授與セラレタル年月日ヲ記載スルコト

二、物件寄附ニ在リテハ左記書類ヲ添付スルコト

- 1. 受納團體ニ於テ寄附物件ノ評價ヲナスニ充分ナル資格ヲ有スル者ヲシテ作成セシメタル價格評價書 右價格評價書

ハ左記ニ依リ調製スルコト

イ、各品毎ニ評價々格ヲ記載スルコト

ロ、總括シテ評價々格ヲ記載スルコト

ハ、價格算定ノ基礎（土地ノ寄附ニ在リテハ當該寄附地附近ニ於ケル賣買ノ實例附記ノコト）ヲ詳記スルコト

ニ、評價書ニハ受納團體ノ責任者及評價者ノ肩書、氏名ヲ記シ捺印スルコト

2. 寄附採納團體（府縣市町村會等）ニ於テ採納ニ關スル議決ヲ要スヘキコトヲ定メタルモノニ付テハ其議決書謄本

3. 建設物ニ在リテハ其ノ工事内譯明細書及設計圖面（平面圖並正面及側面等ヨリ其ノ形式ヲ知ルニ足ルヘキ立體圖）

三、紺綬褒章又ハ同章ニ附スヘキ飾版下賜方上申ノ際ハ從來ノ如キ素行調書ノ添付ヲ止メ左記事項ヲ記載セル身分調書ヲ添

付スヘキコト

1. 本籍、現住所、戸主又ハ其ノ續柄、職業、氏名、生年月日

2. 略 歴

3. 處刑ノ有無

4. 位、勳、功、爵等ノ有無

5. 嘗テ褒章條例ニ依リ表彰セラレシコトアルモノハ其ノ事項

四、一旦表彰方上申セラレタル者ニシテ表彰發表前項ニ掲クル身分上ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキ又ハ死亡シタルトキハ

速ニ其ノ旨報告相成ル可キコト但シ死亡報告ハ處理上ノ都合アルニ由リ必ス電信ニ依ラルヘキコト

## 第二十六 職員名稱待遇

### (一) 小 學 校

○小學校長委任待遇上其ノ勤務年數ニ師範學校訓導ノ在職年數ヲ俸給額ニ年功加俸ハ何レモ加算ノ限ニアラス

【問】 市町村立小學校長委任待遇師範學校訓導勤務年數及市町村立小學校教員年功加俸ヲ加算スルヲ得ルカ返電待フ（電報）

【答】 何レモ加算ノ限ニアラス（明治四四・一二・二・石川縣照會）（明治四四・一二・九・普通學務局回答）

○同等級内ノ小學校教員席次ハ現俸給額ノ支給年月ノ前後ニ依リ取極メ差支ナシ

【問】 小學校教員ニ先ニ任用サレシ甲ト後ニ任用サレシ乙トノ二訓導アリ同等級ナルモ乙ハ甲ヨリ俸給額多キカ故ニ上席ナ

リシカ後日甲増俸ノ結果乙ト同俸ヲ受クルコトトナレリ此ノ場合ニ於ケル席次ハ單ニ俸給額同シキトキハ任補ノ前後

ニ依リトアル廉ヲ以テ甲ヲ上席タラシムルハ甚タ穩當ヲ缺ク嫌アル様思料セラレ候處任補ノ意義ヲ現俸給額ノ支給ヲ

受ケタル年月ノ前後ノ義ニ解シ席次ヲ取極メ差支無之哉（大正三・七・九・新潟縣問合）

【答】 右ハ御意見ノ通ニテ差支無之、大正三・七・二九・普通學務局回答）

○小學校教員待遇等級ハ公私立學校職員待遇官等等級令中ニ包含ス

（大正一三・三・六各地方廳へ普通學務局通牒）  
和普一〇二號

【問】 小學校教員待遇等級ニ就テハ大正六年一月勅令第七號公立學校職員待遇官等等級令ニ依ルモノナリヤ或ハ明治四十三

年六月勅令第二六七號文武判任官等級令ニ依ルモノナリヤ又ハ明治二十四年勅令第二一八號ニ依リ單ニ判任官待遇ヲ

受クルニ止マリ別ニ等級ノ定メナキモノナリヤ過般恩給主任官會議ノ際恩給局ヨリ小學校教員増加恩給更正ニ關シ小學校教員ノ待遇等級ニ就テハ別段ノ規定ナキモノニ付キ施行令第二十七條第一項第一號ニ依リ最下位ノ等級ニヨリ取扱フヘキ旨説明有之疑義相生シ候處目下小學校教員増加恩給更正ニ就キ差懸リ必要有之候條至急何分ノ御回示相煩度

【答】 右ハ大正六年一月勅令第七號公私立學校職員待遇官等等級令中ニ包含セラレ居ル義ト御了知相成度

(二) 實業學校

○徒弟學校職員ノ名稱待遇ハ一般實業學校ノ例ニ依據方

(明治三二・三二・兵庫縣問合) (明治三二・三二・一六・專門學務局回答)

【問】 徒弟學校職員ノ名稱待遇ハ明治十九年閣令第三十五號ニヨリ小學校ノ等位ト見做シ可然哉將明治二十四年勅令第二百四十四號ニヨリ一般實業學校ノ例ニ依ルヘキモノナルヤ

【答】 徒弟學校ノ名稱待遇ハ明治二十四年勅令第二百四十四號ニ依リ一般實業學校ノ例ニ依ルヘキモノトス

○徒弟學校職員委任待遇方

(明治三三・八・一五・山形縣照會) (明治三三・九・一七・人事課回答)

【問】 實業學校令ヲ以テ徒弟學校ハ工業學校ノ種類ト定メラレ候ニ付テハ其職員ハ明治二十四年勅令第二百四十四號第二條但書ニ依ルコトヲ得ヘキヤ且同但書ニ學校ノ等位種類ニ依リ云々トアリ右ハ實業補習學校等ヲ除クノ外ハ總テ但書ニ依ルコトヲ得ヘキ義ニ候哉至急何分ノ御回答ヲ煩シ度此段及御照會候也

【答】 右ハ實業補習學校ハ勿論徒弟學校ト雖モ其等位ノ低キモノハ明治二十四年勅令第二百四十四號第二條但書ニ依ルコトヲ得サル義ト存候

○公立實業補習學校職員中ニ代用教員ハ含有セス

(明治三六・一・九・長野縣照會) (明治三六・二・二七・實業學務局回答)

【問】 實業學校令第十二條ニ依ルトキハ公立實業補習學校ノ職員名稱待遇ハ公立小學校ノ例ニ依ルトアリ故ニ職員中ニハ學校長、訓導、準訓導ノミナラス代用教員ヲモ含有スル儀ト心得可然哉

【答】 公立實業補習學校職員中ニハ代用教員ヲ含有セサル義ニ有之候

(三) 各種學校

○幼稚園長保母及盲啞學校各種學校校長教員職務等ニ關スル規程設定並盲啞學校及各種學校教員名稱待遇方

【問】 一、小學校令及同施行規則中幼稚園長保母及盲啞學校小學校ニ類スル各種學校校長教員ノ職務服務、懲戒處分、俸給、諸給與等ニ關シテハ何等ノ規程ナシ右ハ是迄ノ如ク府縣知事ニ於テ適宜之レカ規定ヲ設ケ差支ナキカ

二、同上盲啞學校各種學校教員ノ名稱待遇ニ關シテハ何等ノ規程ナシ

右ハ市町村立ニ係ル學校ノ教員ニ對シテハ市町村立小學校教員ノ例ニ準シ訓導又ハ准訓導ノ名稱ヲ用フルモ妨ケナキヤ但待遇ハ例外トス(明治三三・九・一九・岡山縣照會)

【答】 一、御見込ノ通ト存ス 二、十九年閣令第三十五號ニ依ルヘキ義ト御承知相成タシ(明治三三・三・十・普通學務局回答)

○小學校ニ類スル各種學校及幼稚園ニ於ケル相當資格ヲ有セザル教員及保母ノ名稱

【問】 小學校ニ類スル各種學校若クハ幼稚園ニ於テ相當資格アル教員又ハ保母ヲ得難キトキハ小學校ニ於ケル代用教員ノ例ニ準シ郡市長ヨリ各種學校ニ在リテハ代用教員幼稚園ニ在リテハ代用保母ノ名稱ヲ以テ辭令書交付可然哉明文モ無之目下差懸リタル儀有之候間至急何分御回示相成度此段及照會候也

【答】 右ハ御見込ノ通りニテ可然(明治三八・一二・四・靜岡縣照會) (明治三八・一二・二〇・普通學務局回答)



# 第二十七 任免及休職

## (一) 總 規

○縣立學校長缺員ノ際視學官校長事務取扱方 (明治三二・三三・佐賀縣問合)

【問】 縣立學校長缺員ノ際當分ノ間視學官ヲシテ校長ノ事務ヲ取扱ハシメ候モ差支無之哉

【答】 右ハ御意見之通ニテ差支無 (明治三二・三三・七・文部次官回答)

○公立學校職員論旨退職處分方 (明治三二・五・二〇・靜岡縣照會) (明治三二・六・五・秘書課回答)

【問】 公立學校ノ職員ニ付テハ明治二十七年勅令第四百一十一號ニ依リ休職ヲ命スルヲ得ル規定有之候モ學校ノ都合ニ依リ論旨退職ノ必要アル場合ニ於テハ從來判任文官ノ例ニ倣ヒ取扱來リ候處本年勅令第六十二號文官分限令發布アリシ今日ニ於テ從來ノ如ク論旨退職之取扱ヲ爲スモ敢テ差支無之候哉

【答】 該職員ハ文官分限令範圍外ノモノニ付必要ニ應シ從前ノ如ク論旨退職ノ取扱ヲ爲シ差支無之

○教育事務ニ從事スル休職文官ノ公立學校職員ニ轉任取扱方 (明治三三・七・一七・埼玉縣照會)

【問】 昨年十二月勅令第四百五十六號第一條中教育事務ニ從事スル文官ヲ奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ニ任用スル場合ハ轉任ト見做シ云々ト有之右ハ在職者ト休職者トヲ問ハス總テ公立學校職員ニ任用スルトキハ轉任ノ例ニ依リ休職ノ儘任用スルヲ得サル義ニ可有之哉疑義ニ涉リ候ニ付御意見承知致度此段及御照會候也

【答】 右教育事務ニ從事スル文官ヲ奏任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ニ任用スル場合ハ在職休職ノ別ニ拘ハラズ轉任ノ例ニ依ルヘキ義ト存候 (明治三三・八・一・文部總務長官回答)

○公立學校書記論旨退職並退隱料請求判定方

(明治三三・一・二・福島縣照會) (明治三三・一・二七) 人事、會計兩課回答

【問】 公立學校職員論旨退職ニ關シ本年六月二十五日職第一〇七〇號ヲ以テ公立學校職員ハ文官分限令範圍外ノモノニ付學校編制之變更等ノ場合ニハ論旨辭表ヲ提出セシムルヲ得ヘク又論旨ニ依リ辭表ヲ提出シ退職ヲ許サレタルモノハ校務ノ都合ニ基キタルモノニシテ自己ノ便宜ニ依リタル退職者トシテ取扱フヘキ者ニ無之趣御回答之次第有之候處學校經濟上其俸給ヲ支出シ難キニ至リタル場合又ハ准教員ト爲スヲ便宜トスル場合ハ公立學校書記ニ對シ論旨退職セシムルモ差支無之候哉又右論旨ニ應シ退職ヲ許可セラレタル書記ハ退隱料ヲ請求スルヲ得ル義ニ候哉疑義ニ涉リ候條至急御省議承知致度此段及照會候也

【答】 公立學校職員ハ校務ノ都合ニ依ルトキハ論旨退職セシムルヲ得而シテ其事由カ校務ノ伸縮ニ基因スルトキハ退隱料ヲ請求シ得ル儀ニ有之候故ニ御申越ノ場合ノ如キモノカ退隱料ヲ請求シ得ルト否トハ其事由ノ原因ニ依リ御判定相成度

○縣立學校職員ヨリ農事試驗場技手ニ轉任並退職給與金支給方 (明治三四・四・一五・佐賀縣照會)

【問】 縣立學校職員ヨリ農事試驗場技手ニ轉任ノ義ハ命シ得ラレ候哉若シ轉任シ得ラルモノトセハ前職ハ退職者ト見做シ

【答】 明治二十三年法律第九十一號公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第十條ニ依リ給與金支給シ得ラレ候哉

○召集解除ノ公立學校職員休職期間ハ解除ノ日ノ翌日ヨリ起算方 (明治三八・九・三〇・群馬縣照會)

【問】 明治二十七年八月勅令第四百一十一號第一條第三項中第二項ニ依リ休職ノ期限ハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月トストアリ右三箇月ノ計算ハ召集解除ノ日即チ事故止ミタル日ヨリ起算スヘキカ將タ召集解除ノ日ノ翌日ヨリ起算スヘキカ

【答】 右ハ後段御見解ノ通ニテ可然ト被存候條御了知相成度 (明治三八・十・十・普通學務局回答)

○委任判任待遇公立學校職員在職ノ儘外國政府ニ聘用セラレタル者ハ所屬學校廢止セララルルモ廢職トナラス

明治三十七年勅令第九十五號ニ依リ在官ノ儘外國政府ニ聘用セラレタル者ニ對シテハ官制廢止セララルモ依然廢官トナラサルコトニ決定相成候ニ就テハ奏任又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ニ對シテモ右ニ準シ所屬學校廢止セララルモ廢職トナラサル儀ニ有之候(明治三九・六・一・各地方廳へ秘書課通牒)

○公立學校職員ニシテ高等師範學校入學者ノ休職不認可

【問】 本縣立某中學校教諭何某東京高等師範學校研究科へ入學致候ニ付休職ヲ命シ度旨本月一日電信ニテ貴省大臣ノ御認可申請致候ニ對シ今日貴官ヨリ研究科へ入學ノ理由ニテハ認可難相成旨御通牒相成候處右ハ明治三十七年二月八日群馬縣稟申ニ對シ同月十二日普通學務局通牒同三十二年四月十一日新潟縣問合ニ對シ同月二十六日同局回答ノ旨趣ニ依リ御認可申請致シタル儀ニ有之候間御詮議相成度(明治四〇・五・九・長崎縣照會)

【答】 從來判任待遇者ニ就キテハ高等師範學校へ入學ノ理由ニ依リ休職ヲ認可セラレタル場合有之候得共奏任待遇者ニ就キテハ其例無之一昨三十八年五月本件ト同様ノ問題相生シ候際研究ノ結果明治二十七年勅令第四百一號中ニ上記ノ理由ニ依リ休職ヲ命スルノ規定ナク且先例ナキヲ以テ認可不相成コトニ決定候ニ付群馬縣稟申ニ對シ三十七年二月十二日普通學務局通牒及新潟縣問合ニ對シ三十二年四月二十六日同局ノ回答セル所ハ自然消滅ニ屬シタル義ニ有之候(明治四〇・六・七・同答及普通學務局通牒)

○奏任待遇公立學校職員ノ判任待遇公立學校職員ニ轉任ハ詮議相成ラス

(明治四一・一・四・秘書課通牒)  
職乙第四百六三號

奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ヨリ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ニ轉任ノ義ハ自今萬止ムヲ得サル特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外詮議不相成候追テ本文特別ノ事情アリテ轉任御内申ノ際ハ其事由詳記相成度

○學校職員退隱料法上病氣職務ニ不堪理由ニ依レル退職者ヲ學校職員等ニ任用ニ關スル注意

病氣職務ニ不堪理由ヲ以テ退職若ハ退官ヲ許セシ者ヲ直ニ再任用スルカ如キ向キ往々有之趣聞及候處右ハ常規ヲ逸シ得當ナ

ラサル取扱ト被存候夫ノ退隱料法上ニ所謂病氣職務ニ不堪理由ヲ以テ退職セシ者ノ如キハ決シテ直ニ任用シ得ルカ如キ程度ノ者ニアラサルヘキハ當然ノ儀ト被存候條學校職員等ノ任用方ニ付テハ自今右様不都合ノ取扱無之様御注意相成度(明治四一・三・二・各地方廳へ秘書、會計兩課通牒)

○奏任待遇公立學校職員ノ休職及其事故止ミタルトキ報告方

(明治四二・四・六・秘書課通牒)  
職乙第一六六號

奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ニシテ明治二十七年勅令第四百一號第一條第一項ニ依リ教員養成ヲ目的トスル學校へ入學ノ爲休職ヲ命セラレタル者其事故止ミタルトキ、同條第二項ニ依リ當然休職者トナリタルトキ及其事故止ミタルトキハ當省へ御報告相成度候

○公立學校職員分限令上教員養成ヲ目的トスル學校ノ解釋並高等師範學校研究科退職後休職繼續期間

【問】 一、公立學校職員ニシテ更ニ完全ナル中等學校教員タラントスル目的ヲ以テ帝國大學分科大學ニ入學スル者ハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號ニ該當スル者ト認ム 二、公立學校職員分限令第八條第一項第四號ニ因リ休職ヲ命セラレ高等師範學校研究科在學中ノ者半途退學ノ場合モ其退學事由ノ如何ニ係ラス凡テ同分限令第九條ノ「其事故止ミタル」モノニシテ退學後尙ホ三ヶ月休職期間繼續スルモノト認ム(大正四・二・二三・廣島高等師範學校照會)

【答】 一、帝國大學分科大學ニ入學スル者ハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號ニ該當スル者ト認ムルヲ得ス 二、御意見ノ通(大正四・五・三・普通學務局回答)

○公立學校校長教員及市町村立小學校教員無給任用相成難シ

(大正五・三・一三・秋田縣照會)(大正五・四・二六・普通學務局回答)  
秋二二三六號 秋三三五號

【問】 公立學校校長教員及市町村立小學校教員ヲ無給マテ任用スルハ違法ナリヤ  
【答】 右ハ無給ニテ任用相成難キ義ト被存候

○公立學校職員文部省直轄學校教員養成規程ニ依リ帝國大學學部ニ入學者休職方(大正九・一・一六普通學務局通牒)

今般公立學校職員ニシテ文部省直轄學校教員養成規程ニ依リ帝國大學學部ニ入學セントスル者ニ對シテハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命セラレ差支ナキ省議決定ニ付御了知相成度シ

○外國人教師備聘方心得 (大正一三・三・二六官專六九號文部次官通牒)

在本國外國人教師備聘ノ爲人選又ハ契約締結等ニ關シ御申出アリタル場合ハ當省ハ直ニ外務省ニ對シ在外本邦公館ニ依頼方照會スル次第ナルカ之ヲ既往ノ例ニ徵スルニ來任ヲ欲スル時期ノ切迫セルニ際シ御申出ノ向アルヲ以テ自然急速取扱ヲ要スル關係上外務省ト關係在外公館トノ間ノ通信ハ總テ電信ニ依ル外無之實狀ニ有之一面此ノ種ノ用務ハ數回ノ照覆ヲ重ヌルヲ常トシ且契約書ノ内容等ヲ詳細ニ電報スル場合モ有之少カラサル經費ト手續トヲ要スルノミナラス電送ノ途中ニ於テ過誤ヲ生シ爲ニ不測ノ不都合ヲ來スコトナキヲ保セス萬一豫定期間中ニ交渉纏ラス又着任間ニ合ハサル様ノ場合ニハ授業上ニモ支障ヲ生スル結果ト可相成ニ付今後ハ郵便通信ニ依ル書面ノ往復ヲ以テ假契約締結等ノ豫備手續ヲ了シ得ルコトトスレハ後ニ電信ニ依ル場合ニモ經費ト手續トヲ省キ得ルコトト相成相互便益ヲ受クルコト尠ナカラサルニ付爾今本件ニ關シテハ充分ノ餘裕ヲ見込ミテ御申出相成様致度外務省ヨリ特ニ申越ノ次第モ有之タルニ付通牒ニ及フ

○農業者ノ免狀ヲ有スル者ニシテ農業者ノ設置ナキ中等學校ニ委職スル場合ニ於ケル教諭任用ニ關スル疑義

【問】 當校農業者卒業生ハ農業者ノ中等教員免許狀ヲ受ケ得ルコトニ相成居候處其ノ受ケタルモノヲ農業者ノ加設ナキ府縣立中學校ニ於テ教諭ニ任命スルコトハ絕對的ニ不可能ニ候哉卒業生ヨリノ質議ノ次第モ有之又當校ニ於テモ卒業生推薦上確メ置ク必要有之候ニ付何分ノ議御回示相煩度(大正十・九・一二・鳳皇島高等農林學校總會)

【答】 右ハ教諭ニ任用シ得ル儀ト御了知相成度(大正一一・五・一九普通學務局回答)

○學校配屬將校ノ取扱方 (大正一四・七・二五官普二〇〇號文部次官通牒)

學校教練振作ノ爲各學校ニ配屬セラルル現役將校ノ任命ニ付テハ從來學校ニ奉職セル在郷將校ヨリ官等高キ者ヲ配屬スル様ニ願慮セラレタルモ他ニ配屬上願慮スヘキ各種ノ要件有之爲ニ學校ニ依リテハ其ノ官等關係相反スル者ヲ配屬セサルヘカラサルニ至リ其ノ結果當該學校長ニ於テ之カ取扱ニ關シ不便ヲ感スル向有之ヤモ不計モ右ニ關シテハ過般配屬將校ヲ召集セル際陸軍次官ヨリ學校配屬將校服務上ノ心得ニ付篤ト注意セル次第ナルニ依リ過日陸軍省ヨリ貴校宛直送相成タル「學校教練振作ノ指針」ノ内容等御参照ノ上配屬將校ト學校ニ奉職セル在郷將校トノ協調ニ關シテハ可然御配慮相煩度  
追テ教練實施ニ關シ本年四月十四日付ノ通牒事項第四中「事情妨ナキ限リ」ト加ヘタルハ從來學校ニ奉職セル在郷將校中ニハ配屬將校ヨリ官等上位ナル者アル等ノ事情ヲ願慮シタル次第ナルニ付其ノ旨御了知相成度

○公立學校圖書館地方測候所學校衛生並社會教育職員等ノ級位内申書式 (大正一五・五・一五各地方廳へ秘書課通牒)

奏任官待遇ノ公立學校、圖書館、地方測候所、學校衛生並社會教育職員等ニ對シ級位御内申ノ節ニハ自今別紙様式ニ依リ各人別ニ内申書御認メ相成度 尙取扱上左記各項ニ付注意セラレ度

- 一、文武官級位進階内則第六條ニ依ル初級位(高等官トシテ級位セラレタル履歷ノ者ト雖モ奏任官待遇者トシテ叙位ノ場合ニハ初叙ノ取扱ヲナス)並ニ有位者再就職ニ當リ待遇相當位ニ叙スル場合及進階滿年ニ依ル位階進級ハ必ス内申ヲ要スルコト
- 但奏任官待遇者ニシテ待遇階等ノ際初級位定限ニ達セルモノノ級位ハ特ニ當省ニ於テ取計ハルルニ付内申ヲ要セス
- 二、奏任官待遇者ニシテ待遇階等ノ場合待遇ニ伴フ位階進級ノ取扱ハ當省ニ於テ取計ハルルニ付内申ヲ要セス
- 三、身分ニ付他ニ内申ノ事項アラハ(例へハ敘勳待遇階等)其ノ旨必ス内申書ニ附記セラルルコト
- 四、判任官、判任官待遇ノ在職年數ハ奏任官待遇ノ在職年數ニ通算(減算ノ上)セラルルニ付年數計算上注意セラルルコト
- 五、在職年數ノ計算ハ日ヲ以テセラルルコト
- 六、内申書ニハ履歷書添付ヲ要セサルコト

様式(一)(初級内申の場合)

文部大臣宛 年月日 道長官府縣知事名 叙位ノ義ニ付内申

Table with 4 columns: 叙セラルヘキ階, 現官等 待遇, 在職年數, 職名(位) 勳功爵 氏 名. Includes a row for 何位 and a row for 年 月 日 (高等官〇等 待遇).

右文武官叙位進階内則第六條ニ依リ内申ス

記載方注意 一、現官等 待遇欄ニハ現在官等 待遇ニ叙セラレタル年月日並ニ其ノ官等ヲ記セラルルコト 二、在職年數欄ハ左記ニヨリ記セラルコト... (減算ノ上)ヲ通計シテ三年以上ノモノハ「判任官、判任官待遇在職年數」ニ判任官待遇在職年數

様式(二)(進級内申の場合)

文部大臣宛 年月日 道長官府縣知事名

位階進級ノ義ニ付内申

Table with 4 columns: 叙セラルヘキ階, 現位階, 現官等 待遇, 職名(位) 勳功爵 氏 名. Includes a row for 何位 and a row for 年 月 日 (高等官〇等 待遇).

右文武官叙位進階内則第六條ニ依リ内申ス

記載方注意 一、現位階欄ニハ現在ノ位階ニ叙セラレタル年月日並ニ位階ヲ記スルコト 二、經過年數欄ニハ現位ニ叙セラレタル日ヨリ起算シ經過シタル年數ヲ記スルコト 三、現官等 待遇欄ニハ現在官等 待遇ニ叙セラレタル年月日並ニ其ノ官等ヲ記スルコト

〇教員免許狀ヲ有セサル者ヲ教員ニ採用方ニ關スル疑義 (大正一五・六・一・茨城縣照會)(大正一五・八・六・普通學務局回答)

【問】 一、師範學校教員ニ就テハ教員免許狀ヲ有セサル者ノ員數ニ關スル制限無之哉 二、第四條ノ「教員免許狀ヲ有スル者」ニハ第二條ノ小學校本科正教員免許狀所有者ヲ含ムヤ若シ含ム場合ハ其ノ員數ニ付第二學年以下ノ學級數トノ關係無之哉 三、第四條ノ「教員免許狀ヲ有スル者」ニハ免許狀ヲ有シ講師、教諭心得等ノ名稱ニテ採用シアル者ヲ含ムヤ 四、第四條ノ「二分ノ一ヲ超過スル場合」トハ該當學校教員定數ノ三分ノ二ハ免許狀所有者ニシテ他ニ

定數以上教員ヲ置クカ爲免許狀ヲ所有セサル者ノ數右制限ヲ超ユルモノヲ含ム哉 五、他學校ニ本務ヲ有シ之ヲ兼任セシメタル者及ヒ講師等トシテ二職併有スル者ヲモ前記各號ノ各員數ニ算入スル哉 六、第四條第一項ノ認可ハ府縣知事カ之ヲ受クヘキモノナル哉

【答】 一、師範學校教員ニ就テハ教員免許狀ヲ有セサル者ノ員數ニ關スル制限無シ 二、第四條ノ「教員免許狀ヲ有スル

者」ニハ第二條ノ小學校本科正教員免許狀所有者ヲ含マズ尙此點ニ就テハ明治三十六年五月五日即普甲四一〇五號普通學務局長通牒ヲ參照スルコト  
 三、第四條ノ「教員免許狀ヲ有スル者」ニハ免許狀所有ナル以上ハ講師、教諭心得等其名稱ノ如何ヲ問ハス之ヲ包含ス  
 四、第四條ノ「二分ノ一ヲ超過スル場合」トハ當該學校ノ教員定數ノ如何ニ拘ラス無資格教員總數、有資格教員總數ノ二分ノ一ヲ超過スル場合ヲ云フ、從ツテ當該學校教員定數ノ三分ノ二ハ免許狀所有者ナリト雖定數以上教員ヲ採用スル爲ニ免許狀ヲ所有セサル者ノ數、教員免許狀ヲ有スル者ノ數ノ二分ノ一ヲ超過スル場合ヲモ含ム  
 五、他ノ學校ニ本務ヲ有スル者ヲ兼任セシメタル者及講師等トシテ二職以上併有スル者ヲモ前記各號ノ員數ニ算入ス  
 六、第四條第二項中「管理者」トハ道廳府縣立學校ニ在テハ地方長官、市町村立學校ニ在リテハ市町村長、組合立學校ニ在リテハ組合管理者ナルヲ以テ之等ノ者ニ於テ認可申請ヲナスヲ要ス

○配屬將校ニ兵式教練ニ關スル物品ノ監守者下命ハ陸軍省ノ同意ナシ (盛岡高等農林學校例)

【問】 本校ニ於テ從來物品監守ヲ命スルニハ責任アル職員ヲ以テ之ニ充テ居リ候處本年軍事教育施行以來相當物品ノ數モ増加候ノミナラス之カ監視上ニ於テモ直接其ノ衝ニ當ル配屬將校ヲシテ監守セシムルコトノ至便ナルヲ認メ候條同將校ヲ文部省直轄各部物品會計規程第七條ノ責任アル職員ト看做シ軍事教練ニ關スル物品ノ監守者タラシムルコト差支無之哉

【答】 直轄各部ノ責任アル職員ト看做シ經理上ノ責任ヲ負擔セシムルコトハ陸軍省ニ於テ同意無之ニ付管理上ノ援助ヲ爲サシムル程度ニ止メラレ度 (大正一五・五・二八・會計課通牒)

○學校配屬將校ニ生徒監又ハ舍監等ノ事務囑託差支ナシ

(大正一五・九・六 文部次官通牒 官普五〇三號)

學生生徒訓育上特ニ必要アル場合ニ於テハ配屬將校ノ本務ニ支障ナキ範圍ニ於テ配屬將校ト合意ノ上生徒監又ハ舍監等ノ事務ヲ囑託スルモ差支無之 追テ囑託發令ノ場合ニ於テハ直ニ本省並ニ陸軍省ニ夫々御報告相成度

○位階令並位階令施行細則ノ施行上注意方

(大正一五・一・九 秘書課通牒 官秘一三一號)

客月二十一日官報號外ヲ以テ公布セラレ候位階令並位階令施行細則本月十日ヨリ施行セラレ候ニ就テハ豫メ左記事項及貴廳關係事項ニ關シ特ニ御留意相成度依命此段及通牒候

一、位階令並位階令施行細則ノ施行上萬遺漏ノキヲ期スルコト殊ニ位階令施行細則ニ規定シタル諸報告等ノ事務ニ付テハ特ニ遺漏ナキ様注意セラレタキコト  
 二、位階令第七條ニ該當スル有位者アル場合ニ於テハ其ノ品位ヲ保ツコト能ハサル事情又ハ體面ヲ汚辱スル行爲ヲ詳細ニ具シ遲滯ナク内閣總理大臣ニ報告スルコト但シ有爵者又ハ爵ヲ襲クコトヲ得ヘキ相續人ナルトキハ之ヲ宮内大臣ニ報告スルコト

○併設ノ公立學校教員小學校教員兼務同手當支給差支ナシ (昭和二六・二〇・東京府例)

【問】 本府豊島師範學校併設豊島農業補習學校ハ土地ノ情況ニ依リ其ノ位置ヲ荏原郡松澤村ニ置キ同村松澤尋常高等小學校ノ校舍ヲ併用シツツアリ、故ニ教授上、管理上、將家庭トノ職務上兩校ノ首腦者ヲシテ同一人ヲ任命スルハ最も必要ニシテ且ツ適當ナルモノト思料セラレ候條豊島農業補習學校教諭ニシテ主事タル者ヲ荏原郡松澤尋常高等小學校訓導兼學校長ニ兼任セシメ度右ハ大正九年廣島縣例、同十一年島根縣例、同十一年島根縣例、同十一年島根縣例ニ對シ相當手當ヲ支給シ度右ハ明治四十四年宮城ヲ生シ候條至急御指揮相受度 追テ兼務タル小學校訓導兼學校長ニ對シ相當手當ヲ支給シ度右ハ明治四十四年宮城縣例同定大正十年島根縣例、同十一年島根縣例、同十一年島根縣例ヨリ類推シ差支ヘ無之ト被存候得共併セ御指示相成度尙本件豊島農業補習學校ハ男子部ハ夜間教授女子部ハ晝間教授ニシテ共ニ通年制ノモノニ付爲念申添候也

【答】 右ハ併設ノ場合ニシテ相當免許狀ヲ有シ兩校ノ教育並管理上支障ヲ來ササル限り差支無キモノト御了知相成度 追テ兼務手當支給ノ義モ御見込ノ通取計ヒ差支ナシ (昭和二・八・一六・普通學務局回答)

○縣視學ニ師範學校又ハ中學校ノ講師囑託ハ一時限り差支ナシ

〔問〕 縣視學ニ師範學校又ハ中學校ノ教諭囑託セシメ差支ナキヤ折返シ御回答アラレタシ

〔答〕 師範學校又ハ中學校ノ教育上止ムテ得サル必要アル場合ニ於テ一時限リ縣視學ニ講師ヲ囑託スルハ差支無シ

○公立學校職員任命内申手續上注意事項

(昭和四・一・二三 各地方廳へ秘書課通牒)

從來公立學校職員任命ニ際シ内申書及履歷事項ノ不整理並定員現員ノ關係不明瞭ノ爲徒ラニ照復ヲ重キ任命ノ遲引スル等處  
理上遺憾ノ點不尠特ニ年度末事務幅濶ノ時ニ際シ一層注意ヲ要スル義ニ付大正十五年六月十七日發秘二四八號通牒別冊記載  
ノ注意事項ニ御留意有之ヘキハ勿論特ニ左記事項ニ充分御留意ノ上御内申有之様致度  
追テ學年終始ノ時期ニ際シ三月末日或ハ四月早々發令ヲ要スル分ハ三月十五日迄ニ當省ニ到着ノ日取テ以テ御内申有之様致  
度尙日曜祭日等休日ニハ發令相成ラサルニ付御含ミ相成度

一、内申書ニツキ

イ、任免共學校種別毎ニ各別紙ニ認ムル事

ロ、内申書ニ記載ノ肩書ト履歷書ニ記載ノ現職ト符合セシムルコト

ハ、學級數ト定員現員トノ關係ヲ必ス内申書ニ表示スルコト

ニ、學校長ニ教諭ヲ兼任セシムル必要アル場合ニ於テハ學校長ト教諭トハ最高官等ヲ異ニスルヲ以テ學校長ヲ高等官四等  
待遇以上トシテ任用セントスル場合教諭ノ官等ニ(最高官等ハ高等官五等待遇タルコト)ニ注意セラルルコト

ホ、兼任者任用内申書ニハ專任者ヲ置カスシテ兼任トシテ任用ヲ要スル理由ヲ記入スルコト

ヘ、同一學校ニ於テ學校長兼教諭トセスシテ教諭兼學校長トシテ任用セントスル場合ニハ校長ヲ本職トシ任用シ得サル理  
由(特別ノ事情アル以外校長ヲ兼任トシ任用セサル趣旨ナリ)詳細記入スルコト

一、履歷書ニツキ

イ、紙質ハ強靱ナルモノヲ用ヒ楷書ヲ以テ墨書、複寫又ハタイプライターヲ使用スルコト

ロ、特ニ氏名ノ文字ハ確實ニ調査シ戸籍面ト一致スルヲ要ス且姓名ノ區分ヲ明カニシ必ス振假名ヲ附スルコト

ハ、記載形式ハ内閣提出用ニ準シ學業、資格、任免事項等履歷事項ハ通シテ發生年月日順ニ記入スルコト

ニ、教員免許狀ノ事項ハ學校種別學科目等免許狀面ノ通記入スルコト

ホ、俸給令改正、廢校退職、校名改稱等沿革事項ハ朱書ヲ以テ漏ナク記入スルコト

ヘ、任命ニ對スル俸給、手當等漏ナク記入スルコト

ト、初メテ學校長ニ任命スルモノニツキテハ現職奏任官待遇者ト雖履歷書一通必ス添付セラルルコト

チ、休職事項ニツキテハ其ノ理由ヲ必ス履歷事項ノ下ニ括弧シ記入スルコト

其ノ他

イ、附設(農、工、商)各教員養成所卒業者ト雖教員免許狀ヲ受得スルニアラサレハ實業學校教員以外有資格教員トシテ  
任用相成ラサルモノト御了知相成度コト

ロ、判任官待遇職員ノ任用ノ際ト雖再就職ニ就テハ大正十二年十一月十五日官秘五〇八號通牒ニヨル手續ヲ脱漏セサル様  
注意セラルルコト

ハ、實業補習學校ニ關スル奏任官待遇教員ノ任命ニ際シテハ大正十三年七月五日發秘一四四號通牒ニヨル報告書ヲ遺漏ナ  
ク添付セラルルコト

ニ、奏任官待遇小學校長ノ進退ニツキテハ必ス文部大臣ニ稟申ヲ要スル義ニ付手續ヲ誤ラサル様注意ノコト(明治四十五  
年三月四日職乙第七〇八號通牒ヲ參照セラルルコト)

ホ、同待遇職員間ニ於テハ兼任トシテ發令セラルヘキモ併任(例ヘハ「何々師範學校訓導ニ任ス 何級俸給與、何々高等

女學校教職ニ任ス 月俸何圓給與」ト發令スル如キハ不可トシテ發令スヘキ筋ニ無之ニ付留意セララルルコト  
 へ、退職願、醫師診斷書ハ可成本書ノ外寫ヲモ一通添付セララルルコト  
 ト、任免發令日附ニツキ特ニ希望アル向ハ該日附ヨリ少クトモ二週間前當省ニ到着ノ日取テ以テ發送セララルルコト  
 チ、上奏御裁可ノ手續ヲ經ヘキ任免發令日附ニツキテハ絕對週及發令ノ途ナキコトニ注意セララルルコト  
 リ、退職並轉任者及其ノ後任者トシテ同時ニ發令ヲ要スルモノニツキテハ夫々其ノ旨ヲ各内申書ニ附記セララルルコト  
 ス、公立學校學級數調ハ彙ノ通牒ニヨリ別表形式ニヨリ調製ノ上必ス毎年度初メニ當リ二通宛報告セララルルコト  
 (別表略)

○教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校入學者ニ對スル休職取扱方

(昭和四・十・九 各地方廳へ秘書課通牒)  
 (發令三二八號)

公立學校職員又ハ小學校教員等ニシテ公立學校職員分限令第八條第一項第四號又ハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號ニ依リ休職ヲ命セラレタル者引續キ他ノ教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學ノ場合其ノ休職方ニ付往々問合ノ向有之處右休職ハ繼續ノモノトシテ取扱可然コトニ省議決定セルニ付御了知相成度  
 追テ奏任待遇以上ノモノニシテ休職繼續ノ場合ハ旨ヲ具シテ上申相成度

○公立學校職員並小學校教員等文理科大學入學ニ對シ休職取扱方

(昭和四・二・二五 各地方長官へ文部次官通牒)  
 (發令二二八號)

今般公立學校職員又ハ小學校教員等ニシテ來ル四月ヨリ東京、廣島兩文理科大學ニ入學スル者ニ對シテハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號又ハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號ニ依リ休職ヲ命セラレ差支ナシ

○休職中ノ教員文理科大學卒業後引續キ同研究科ニ入學シタル時休職繼續差支ナシ

【問】 廣島文理科大學卒業後引續キ同研究科ニ入學シタルモノハ大正十三年四月二十三日東師普八二號通牒ニ準シ辭令ヲ用ヒス休職繼續ノコトニ取扱ヒ差支ナキヤ (電文) (昭和八・六・六・長崎縣照會)

【答】 右ハ休職繼續ノコトニ取扱ヒ差支ナシ (電文) (昭和八・六・九・普通學務局回答)

(二) 小學校及幼稚園

○小學校准教員諭旨退職ヲ拒ミタル者處分方

(明治三一・九・一二 新潟縣照會) (明治三一・九・二九 普通學務局回答)  
 (新潟縣學第四一號) (戊普甲一五一四號)

【問】 小學校准教員諭旨退職ノ件ニ付某縣ノ照會ニ對シ貴官ヨリ諭旨退職セシメ差支無之旨御回答相成リタル趣聞及候處若シ斯ル場合ニ於テ諭旨ヲ拒ミ辭表ヲ差出ササルトキ一般官吏ノ例ニ準シ懲戒處分ヲ以テ免職スルヲ得ル義ニ可有之哉  
 追テ本文果シテ懲戒處分ヲ以テ免職シ得ル場合ニハ小學校令第六十四條第一項中「職務上遵奉スヘキ指令ニ違背シ」云々ニ依リ處分スヘキハ勿論ノ義ト存候

【答】 右ハ彙ニ某縣ヨリ學級編制ノ變更又ハ正教員代勤トシテ採用期限中正教員ヲ得タル場合若クハ病氣缺勤多キモ本人ニ於テ退職願出テサル等ノ場合ニ於テハ准教員ニ對シ諭旨退職ヲ命シ差支無之哉ノ照會ニ對シ便宜處理相成可然旨及回答候儀ニ有之候得共必スシモ諭旨ヲ要スル儀ニハ無之且諭旨ニ從ハサル場合ニ於テモ其儘退職ヲ命スルヲ得ル儀ト存候ニ付諭旨ニ從ハサル廉ヲ以テ懲戒免職ニ處スルハ稍穩當ナラスト存候經省議此段及御回答候也

○尋常小學校本科正教員免許狀所有者尋常高等小學校校長兼任方

(明治三一・七・二五 普通學務局回答)

【問】 小學校校長及教員ノ任用解職其他進退ニ關スル規則第二條ニハ市町村立小學校校長ハ本科正教員中ニ就キ兼任スルヲ常例トスト有之候處右ハ尋常高等兩科併置ノ小學校ニ在リテハ尋常小學校本科正教員タルノモノ資格ヲ有スルモノヲシテ校長ヲ兼任セシムルハ不相成儀ト被存候カ聊カ疑義ニ涉候條御意見承知致度 (明治三一・七・三・青森縣照會)

【答】 右ハ尋常高等併置ノ小學校ニ於テハ小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有セサル者ニハ兼任セシメサル方可然

○小學校家事專科教員代用者採用方

(明治三一・七・一三 大阪府照會) (明治三一・八・二 普通學務局回答)  
 (三三四四二五號) (普通甲二〇四三號)

【問】 當府ニ於テハ明治二十五年十二月二十一日付經伺之上不得止場合ニ限リ六箇月以内ノ期限ニテ一時家事專科教員囑託

ノ義務可シ來リ候處右ハ不便尠ラス候ニ付相當經歷ヲ有スル者ニ限り期限ヲ定メス郡市長限リ採用セシメ度尤變例引直方ニ付テハ夫々施設中ニ有之候ニ付別段御差支無之候ハハ當分ノ内前記之通取扱方相改メ度候條此段及照會候也

○師範學校講習科卒業生タル小學校正教員退職處分

(明治三二・一・一四兵庫縣稟請) (明治三二・一・二二指令) (三 第四一九七號)

【問】 某ハ現役兵ニ徵募相成候旨ヲ以テ退職ノ儀願出候處本人儀ハ本縣師範學校講習科卒業生ニシテ未タ奉職義務年限中ノ者ニ有之候ニ付テハ退職ヲ許スヘカラサルモノニ付入營中休職ヲ命シ度此段稟請候 追テ本人儀ハ本年二月ニテ滿二十歳ニ達シタル者ニ有之又講習科卒業ハ本年三月十八日ニシテ同日免許狀交付セシモノニ有之候

【答】 本年十一月十四日三第四一九七號稟請小學校教員休職之件ハ退職ヲ命スヘキ儀ト心得ヘシ

○師範學校教諭訓導休職處分

(明治三二・四・一一新潟縣問合) (明治三二・四・二六普通學務局回答) (學 五 一 一 號)

【問】 師範學校教諭ニシテ高等師範學校研究科へ入學之許可ヲ得タルモノ又ハ同校訓導ニシテ知事ノ薦舉ニヨリ高等師範學校へ入學スルモノ若クハ同校訓導ニシテ知事ノ薦舉ニヨラス直接高等師範學校へ入學スルモノハ二十七年勅令第四百一十一號第一條第一項ニ掲ケアル事故中ニ包含スルモノト認メ休職ヲ命シ差支無之候哉

【答】 師範學校職員休職ノ件意見之通(電信)

○小學校正教員農業、商業教員養成所又ハ高等師範學校手工、體操專修科へ入學ノ者休職處分

【問】 小學校正教員ニシテ工業教員養成所等ニ入學シタルモノハ其間休職ヲ命スルコトヲ得ヘキ明文有之候得共農業商業教員養成所又ハ手工體操專修科へ入學シタルモノハ別ニ休職ヲ命スルコトヲ得ヘキ明文ハ無之候モ右ハ工業教員ヲ養成セラルルノ精神ト毫モ異ナラサル儀ト存候ニ付其入學ノ間ハ工業教員養成所入學者ト同様ニ取扱ヒ休職ヲ命シ候儀ハ敢テ差支無之候哉(明治三二・五・三一・靜岡縣問合)

【答】 右ハ休職ヲ命スヘキ必要アリト認メラルルニ於テハ二十四年文部省令第二十號第七條ニ依リ處分可相成モノニ付其氏名及休職期限ヲ具シ其都度御伺出相成可然(明治三二・六・八・普通學務局回答)

○小學校長設置方

(明治三三・九・一一山形縣照會) (明治三三・九・二七普通學務局回答) (發 三 三 一 三 〇 號)

【問】 改正小學校令ニハ學校長ヲ置クヘキ學級數ニ制限ナシト雖モ凡一校二學級以上又ハ教員二名以上アル場合ニハ學校長ヲ置カシメ可然カ

【答】 何レノ小學校ニモ學校長ヲ置クヲ要ス

○小學校裁縫科代用教員使用方

(明治三三・十・五宮崎縣照會) (明治三三・一・九普通學務局回答) (三 第一五一二號)

【問】 小學校令施行規則第三十七條ニ依リ專科正教員ヲ置クヘキ場合其人ヲ得サル場合ハ止ムヲ得ス一時准教員若クハ代用教員ヲ以テ代用補充シ置クモ差支ナキヤ

【答】 專科教員ノ教授スル學科ハ本科教員ニ於テモ教授シ得ヘキハ勿論ナレハ代用教員ヲ採用スルモ差支ナシ

○單級小學校訓導學校長兼任方

(明治三三・九・一宮城縣照會) (明治三三・九・一四普通學務局回答) (內 三 第三七二〇號)

【問】 教授細目ヲ定ムルコト證書ヲ授與スルコト及校務ノ整理等ハ學校長ノ職務ニ屬スルモノナレハ單級小學校訓導ニモ學校長ヲ兼ネシムル趣旨カ若然ラストセバ卒業證書ノ如キハ訓導ニテ授與スヘキカ

【答】 前段御意見ノ通

○尋常高等小學校高等科訓導兼校長ノ高等科廢止ノ場合ニ於ケル退職方

【問】 尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置セル小學校ニ於テ高等科ヲ廢止シタル場合ハ其高等科ニ勤務セル訓導ニシテ學校長ヲ兼務セルモノハ自然退職ト認ムヘキヤ(明治三三・七・三・埼玉縣照會)



【答】 右ハ御見込ノ通ト存候(明治三三・七・二四・普通學務局回答)

○小學校准教員休職制設定方

(明治三三年北海道廳照會)

(明治三三・九・一四・普通學務局回答)

【問】 小學校准教員ニ休職ノ制ヲ設ケ然ルヘキヤ電信ニテ回答アレ(電信)

【答】 小學校准教員ニ休職ノ制ヲ設クルハ差支ナシ(電信)

○小學校正教員私立日本體育會體操學校入學者休職處分方

(明治三四・一・一七・靜岡縣伺) (明治三四・二・六・指令)

【問】 某者日本體育會體操學校本科へ入學希望者ニシテ卒業ノ上ハ現任學校ノ教職ニ從事可致筈ニ有之目下體操科ニ關シ良

教員缺乏ノ折柄ニ付休職ヲ命シテ入學致サセ度尙休職期限ノ義ハ小學校令施行規則第二百二十二條第三號ノ例ニ準シ卒業後六拾日間ト致度右差支無之哉小學校令第二百二十七條ニ依リ御指揮相仰候也

【答】 本年一月十七日三第一一九號ノ一伺小學校教員何某休職ノ件伺ノ通り

○尋常小學校本科正教員尋常高等小學校校長兼任方

(明治三四・三・二六・岐阜縣照會) (明治三四・四・五・普通學務局回答)

【問】 尋常高等小學校長ニ小學校本科正教員ヲ得難キ場合ニ於テハ尋常小學校本科正教員ヲ以テ兼ネシメ差支無之哉

【答】 小學校長ニ關スル件御意見ノ通(電信)

○小學校教員村長ニ當選退職處分方

(明治三四・五・二八・秋田縣申請) (明治三四・七・二・指令)

【問】 本縣某郡某尋常小學校訓導兼校長何某村長ニ當選相成候趣ヲ以テ退職出願有之右ハ事實無餘儀事ト存候ニ付出願之

通退職爲致度候條至急御指揮相成度小學校令施行規則第二百二十七條ニ依リ此段申請候也

【答】 明治三十四年五月二十八日秋祕第一二五五號稟申小學校教員退職處分ノ件伺ノ通り

○小學校訓導ニシテ第一補充兵在籍者ノ教育ノ爲召集セラレタル場合ノ取扱方

【問】 市町村立小學校訓導ニシテ第一補充兵籍ニ在ル者徵兵令第十七條第二項ニ依リ召集セラレタル場合ハ小學校令施行規則第二百二十三條市町村立小學校正教員ニシテ陸海軍現役ニ服シタル者トスヘキ限ニ無之被存候得共聊疑義ニ相涉候條

至急何分ノ御指示相成度此段相伺候也(明治三四・六・二〇・愛知縣伺)

【答】 本件ハ別ニ指令ニ及ハレス依命此段及御通牒候也(明治三四・七・八・普通學務局通牒)

○尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置シタル場合教員ノ進退ニ關スル取扱方

【問】 一、尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置シタルトキハ從來其ノ尋常小學校ニ奉職セル教員ニハ更ニ尋常高等小學校教員ニ任用ノ辭令書ヲ交付スヘキヤ 二、前項ノ如クスヘキモノトスレハ尋常高等小學校併置ノ際辭令ヲ受ケサルモノハ學校ノ變更ニ依リ自然退職セルモノト認ムヘキヤ 三、尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置セサル以前ニ休職ヲ命セラレ居ル教員ハ其際自然退職者ト認ムヘキヤ(明治三四・九・一八・岡山縣照會)

【答】 本件ノ場合ハ學校編制ノ變更トシテ御取扱相成可然(明治三四・十・一八・普通學務局照會)

○小學校正教員陸軍士官候補生等ニ採用ノ場合ノ取扱方

(明治三四・一・二七・岐阜縣照會) (明治三四・一・二九・普通學務局回答)

【問】 市町村立小學校正教員ニシテ陸軍士官候補生又ハ下士候補生ニ採用相成入管スルモノハ小學校令施行規則第二百二十三條ニ該當スルモノニ有之候哉疑義ニ涉リ候條至急御回答ヲ煩度此段及照會候也

【答】 右ハ施行規則第二百二十三條ニ依ルヘキ限ニ無之ト存候此段及御回答候也

○町村長ニ當選ノ小學校教員退職處分方

(明治三十五年新潟縣照會) (明治三五・五・七・普通學務局回答)

【問】 市町村立小學校教員町村長ニ當選シ退職ヲ出願シタルトキハ自己ノ便宜ト看做スヘキカ將タ自己ノ便宜ト看做サス小

學校令施行規則第二百二十七條ニ依ルヘキカ差急ク必要ニ付直チニ返電待ツ(電信)

【答】 小學校教員退職ノ件小學校令施行規則第二百二十七條ニ依リ然ルヘシ

但師範學校卒業生ナラハ師範學校卒業生服務規則第一條ノ義務ヲ終ラサル間ハ然ルヘカラス(電信)

○精神ニ異狀ヲ來シ時々危險ノ舉動アル小學校教員休職處分方

【問】 某ハ單級學校ノ教員ト有之候處本年三月以來精神ニ異狀ヲ來タシ時々危險ノ舉動有之授業上差支不尠辭表提出ヲ勸誘

スルモノアルモ頑トシテ之ニ應セス仍テ六ヶ月間休職相命度候條御許可相成度(明治三五・五・二三・千葉縣上申)

【答】 右ハ施行規則第二百二十二條第一號ニ依リ貴官限リ處分セラレ可然(明治三五・五・三〇・普通學務局通牒)

○尋常小學校ニ高等小學校ノ教科併置廢止ノ場合校長及教員進退取扱方

【問】 一、尋常小學校ニ高等小學校ヲ併置シタル場合ハ其尋常小學校長ハ當然尋常高等小學校長トナリタルモノト見做スヘキカ

二、尋常小學校ノ教員ハ當然尋常高等小學校尋常科ノ教員トナリタルモノト見做スヘキカ

三、一旦併置シタル高等科ヲ廢止シタル場合ニアツテハ高等科ノ教員ニ限リ小學校令施行規則第二百二十二條第二號ニ據リ休職ヲ命

スルヲ得ヘキモノナルカ

四、前項ノ如ク高等科ノ教員ニ限リ休職ヲ命スヘキモノトセハ高等科訓導ニシテ學校長

ヲ兼ヌルモノハ學校長ニ訓導ノ職ニ伴ヒ休職トナルヘキモ若シ尋常科ノ訓導ニシテ尋常高等小學校長ヲ兼ヌタル場合

ハ當然特置尋常小學校長ト見做スヘキヤ(明治三五・八・一・新潟縣照會)

【答】 一、御意見ノ通り

二、尋常小學校ノ教員ハ當然尋常高等小學校ノ教員ト見做スヘキモ尋常科ノ教員ト見做スヘキ筋ニアラス

三、編制ノ變更ヨリ生シタル過員ハ總テ休職ヲ命スルコトヲ得

四、前項ニ依リ御了知アリタシ

○小學校長又ハ教員同校附設圖書館職員兼任方

(明治三六・四・二四 北海道廳照會)

(明治三六・五・六 普通學務局回答)

【問】 本道區町村ニ於テ圖書館設立ノ計畫ヲナスモノ段々有之此種ノ施設ハ教育普及上ノ一方法ニ付可成獎勵致居候處設立

當初ニ在テハ其規模概ネ小ニシテ事務ニ於テモ特ニ專務ノ館長又ハ書記ヲ置ク程ノ必要モ無之尙又經費ノ都合モ有之

候ヘハ公立小學校ニ附設シタルモノニ付テハ其ノ學校ノ編制教員數等ヲ取調ヘ實際校務差支ナキ限リ右等ノ場合ニハ

其校長又ハ教員ヲ館長又ハ書記ニ兼任セシメ度右ハ法規上別ニ差支ナキ義ト存候モ小學校職員ハ其事務分配及時間ノ

關係等特別ノモノモ有之一應御省議承知致度此段及照會候也

【答】 右ハ御申越ノ如ク校務ニ妨ナキ限リハ差支無之省議ニ候條御了知相成度此段及回答候也

○小學校教員退職特別處分伺ノ際慎重調査且職務略歴添付方

(明治三六・十・九 普通學務局通牒)

永年教育ニ從事シ功勞アル小學校教員ニ對シ已ムヲ得サル事情ノ爲小學校令施行規則第二百二十七條ニ依リ特別處分トシテ退

職ヲ命セラル、場合ニ於テ其ノ事由カ明治二十三年法律第九十號第二條各號及同二十九年法律第十三號第二條ノ事項ニ該當

セサルトキハ其ノ在職年數ハ十五年以上ニ涉ルモ退隱料ヲ受クルヲ得サルコトト相成教員優遇ノ趣旨ニ反スルノミナラス自

然法律第九十號ノ精神ニモ相戻リ候儀ニ付自今右退職ニ關シ御伺出ノ際ハ特ニ慎重御調査相成且本人ノ職務ノ略歴(勤務年

數、現俸、賞罰等)添付相成候様致度依命此段及通牒候也

○小學校教員召集令狀ヲ受ケ病氣ノ爲メ廳召セサリシ者休職不取扱方

【問】 戰時ノ爲メ召集令狀ヲ受ケタルモ病氣ニテ召集ニ應セサリシ小學校教員ノ休職期限ハ何時召集ノ事故止ミタルモノト

シテ起算スヘキヤ電信ニテ回答アレ(電信) (明治三七・三・一八・新潟縣問合)

【答】 召集令狀ヲ受ケタルモ病氣ニテ召集ニ應セサリシ者ハ當然休職者ニアラス(電信) (明治三七・三・二四・普通學務局回答)

○休職中ノ小學校正教員戰時事變ニ際シ應召シタル場合ノ休職期間

【問】 休職中ノ小學校正教員ニシテ戰時事變ニ際シ召集セラレタル場合ハ前キニ休職ヲ命シタル期間後モ小學校令施行規則

第二百二十三條ノ規定ニ依リ在職者カ召集ニ應シタル場合ノ如ク當然其事故ノ止ミタル後尙三ヶ月ヲテ休職期間繼續スルモノト看做シテ可然哉將又休職當時ノ事件ニ伴ヒ一定ノ期間ヲ經過スレハ當然退職トナルヘキヤ

【答】 右ハ後段御見解ノ通ニ有之候(明治三七・二・一七・岩手縣照會)(明治三七・二・二〇・普通學務局回答)

○尋常小學校二部教授施行若ハ學級減少ノ場合過員ノ教員休職處分方

【問】 四學級ニシテ現在職員俸給訓導十八圓一人十六圓一人十四圓一人及准訓導八圓一人計五十六圓而シテ其俸給平均額十圓ナル尋常小學校アリ今回一部ノ二部教授施行若クハ學級ヲ減シタルカ爲メ教員一人冗員ヲ生スヘキ場合但シ其村ニ於テハ教員俸給平均額増加ニハ不同意ナリ此ノ場合ニ於テ小學校令施行規則第二百二十二條第二號ヲ適用シ正教員一名ニ對シ休職ヲ命スルコトヲ得ルヤ若シ右ノ場合ニ於テ正教員ニ對シ小學校令施行規則第二百二十二條第二號ヲ適用シ難シトセハ(施行規則第三十五條)准訓導ニ對シ退職ヲ命スルノ外ナシサスレハ俸給平均額ニ超過ヲ來タス然ルニ町村ニ於テ之レニ不同意ナル場合ハ監督官廳ハ町村制第二百二十二條ニ依リ措置スルコトヲ得ルヤ(略)

【答】 前段御見解ノ通(明治三七・三・二〇・兵庫縣照會)(明治三七・三・二三・普通學務局回答)

○市町村立小學校正教員戰時ノ爲召集ニ應シタルモ疾病ノ爲歸郷ヲ命セラレタル者ハ當然休職者トシテ取扱

方

【問】 市町村立小學校正教員ニシテ戰時ノ爲召集セラレ所屬部隊マテ召集ニ應シタルモ疾病ノ爲戰役ニ堪ヘサル者ト認メ歸郷ヲ命セラレタル者アリ右ハ一旦召集ニ應シタル者ナレトモ服役セサル者ナレハ小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ當然休職者ト看做スヘキ限リニアラスト存セラレ候得共疑義ニ涉リ候條至急煩御回示度此段及照會候也

【答】 右ハ一旦召集ニ應シタル以上ハ當然休職者タルヘキ儀ト存候此段及回答候也

○小學校長ノ同校附設幼稚園長兼任方

(明治三八・一・二・九香川縣照會) (明治三八・一・二・三普通學務局回答)  
(明治三八・一・二・九香川縣照會) (明治三八・一・二・三普通學務局回答)

【問】 小學校令施行規則第三十五條第一項第二項及第二百十三條ノ教員ニハ他校ヲ兼務セシメサル御省議ノ旨客年八月五日付辰香普三八號ヲ以テ御回答ノ次第モ有之候處右小學校長ヲシテ同一構内若クハ其學校隣接ノ幼稚園長ヲ兼任セシムルハ教育的連絡上裨益不尠相認候條是等ノ場合ニ於ケル兼任ハ強テ差支無之義ニ候哉

【答】 右ハ當該小學校ニ附設シタル場合ノ外ハ然ルヘカラサル儀ト存候

○中學校高等女學校等教員ノ師範學校又ハ小學校訓導兼務廢止方

(明治三九・九・二九文部次官通牒)  
(午發普三七五號)

中學校高等女學校等教員ノ師範學校又ハ小學校ノ訓導兼務方ニ關シテハ本年四月二十三日發普一二三號ヲ以テ本省普通學務局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候處是等諸學校ノ教職ニアル者ヲシテ六週間現役ノ資格アル教職ヲ兼務セシメ之カ爲六週間現役ニ服セシムル事ハ不穩當ト被認候ニ付右ニ該當スル者有之候ハハ來ル四十年三月迄ニ該兼務者ヲ廢止候様御取計相成度

(備考) 明治三十九年四月二十三日午發一二三號通牒ハ中學校高等女學校等ノ教員師範學校小學校訓導兼務ノ場合ハ兼務學校ニ於テモ相當執務ニ關シ注意方ナリ

○町村立小學校開校前職員任用差支ナシ

(明治四一・二・二七佐賀縣照會) (明治四一・三・九普通學務局回答)  
(發佐學第七九號) (申佐普三三三號)

【問】 來ル四月一日ヨリ開校スヘキ町村立尋常小學校ノ校數並位置ヲ客年十一月二十二日付ヲ以テ指定セシモノ有之候處其ノ内容整理其ノ他設備上急施ヲ要シ候ニ付本月末日同校訓導兼校長ヲ任用可然乎

【答】 開校前ト雖モソノ設置ヲ認メラレタル上ハ職員任用差支ナシ(電信)

○尋常小學校及高等小學校ノ教科併置小學校高等科廢止ノ場合訓導及學校長兼務者ハ學校編制ノ變更トシテ

取扱フ

(明治四一・三・二〇熊本縣照會) (明治四一・三・二七普通學務局回答)  
(學第一一〇五號) (申熊普四一號)

【問】 一、尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科ト併置セル小學校ニ於テ高等科ヲ廢止シタル場合ハ其ノ高等科又ハ尋常

科ニ勤務セル訓導ハ小學校令施行規則第二百二十二條第二號ニ依リ學校編制ノ變更トシテ取扱フヘキヤ又ハ自然退職トナルヘキヤ

【答】 市町村立小學校教員進退ニ關スル件學校編制ノ變更トシテ取扱ハレ然ルヘシ(電信)

○官公立小學校教員居留民國立ニアラサル在外指定小學校教員ニ轉任相成難シ

【問】 官公立小學校在職ノ教員ハ明治三十八年十一月勅令第二百三十號在外指定學校職員名稱待遇及任用解職ニ關スル規定ニ依リ居留民國ノ設立ニ係ル在外指定學校ノ教員ニ轉任スルヲ得ル義ニ有之候處居留民國以外ノ設立ニ係ル在外指定學校ノ教員ニ對シテハ別ニ依據スヘキ明文無之右ハ居留民國ノ設立ニ係ル學校へ轉任ノ場合ト同様轉任差支ナキ義ニ可有之哉(明治四二・五・一八・南滿洲鐵道株式會社問合)(明治四二・五・二九普通學務局回答)

【答】 右ハ待遇ノ點ニ於テ相異有之ニ付居留民國立ノ學校ニ轉任ノ場合ト同様ノ取扱相成リ難キ儀ト御了知有之度

○小學校准教員、代用教員ハ本科正教員指導及代用教員ノ人選並學校長主席訓導等ノ授業及專科正教員ノ學級擔任ニ關スル注意

(明治四三・十・二四 各地方廳へ普通學務局通牒) 戊辰普三九七號

小學校ニ於ケル准教員及代用教員ハ本科正教員ノ職務ヲ助クヘキモノニシテ單獨ニ兒童ノ教育ヲ擔任スヘキモノニアラサルハ勿論ノ儀ニ有之候處近時數學級ニ對シテ正教員ト准教員又ハ代用教員ヲ配置スル場合ニ在リテモ往々獨立シテ一學級ヲ擔任セシムル向モ有之趣ニ有之教育上遺憾不助候ニ付准教員及代用教員ハ自今必ス本科正教員ヲシテ指導セシムル様特ニ御注意相成度又代用教員ノ人選方ニ就テハ從來相當御注意相成居候儀ト被存候ヘトモ此際一層其人人物ニ留意シ志操堅實ニシテ品行方正ナル者ヲ選擇セシメラレ候様御配慮相成度 追而學校長主席訓導等ニシテ學級ヲ擔任スルニ拘ハラス實際授業ヲ爲サス又專科正教員ヲシテ學級ヲ擔任セシムル向モ有之候哉ニ相聞ヘ候間是亦相當監督方御注意相成度候也

○師範學校ト代用附屬小學校トノ間ニ在リテハ相互訓導ヲ兼務セシメ差支ナシ

【問】 小學校本科正教員ノ他ノ小學校本科正教員兼務方ノ儀ニ關シテハ三十三年十一月子普甲第二九一二號ヲ以テ宮崎縣ニ御回答ノ趣モ有之小學校令施行規則第三十五條ノ本科正教員ハ兼務相成ラサル様被存候處市町村立小學校ヲ附屬小學校ニ代用スル場合ニ於テハ師範學校訓導及代用附屬小學校ノ訓導中相互兼務セシメ候方事務執行上便宜ニ存セラレ候得共此場合ノ如キモ右通牒ノ御主旨ニ依リ相互兼務相成ラサル儀ニ有之候哉尤モ俸給ノ儀ハ勿論分割支給ニ無之候

【答】 右ハ差支無之候(明治四五・一・一五・岩手縣照會)(明治四五・一・一八・普通學務局回答)

○小學校長又ハ訓導ヲシテ附設學校等ノ校長又ハ訓導ヲ兼任セシムルハ差支ナシ

【問】 小學校長又ハ訓導ニシテ他ノ小學校長又ハ訓導ヲ兼任セシムル義ハ不相成旨豫テ御通牒ノ次第モ有之候處小學校長又ハ正教科ヲ受持ツ訓導ニシテ小學校令第十七條ニ依リ該小學校ニ附設セル裁縫學校等ノ校長又ハ訓導ヲ兼任セシムル事ハ教授上ニ支障ナキ限り兼任セシメ候テモ差支無之哉 追テ正教科受持ノ小學校正教員ニシテ同一構内ニアル幼稚園保姆兼任ノ義モ差支無之候哉(明治四四・八・二三・福井縣照會)

【答】 小學校ニ附設シタル場合ハ差支ナシ(明治四四・一二・二七・普通學務局回答)

○幼稚園長及保姆ノ休職ハ小學校教員ノ例ニ依リ差支ナシ

【問】 一、小學校令施行規則第二百五條中幼稚園長及保姆休職ニ關シ何等規定無之候ヘ共小學校教員ノ例ニ依リ休職ヲ命シ差支無之哉尙其期間ハ疾病ハ當然一ケ年トシ差支無之哉(大正元・一二・五・大阪府照會)

【答】 右ハ何レモ差支無之候(大正元・一二・十・普通學務局回答)

○小學校教員一年志願兵トシテ入營ノ場合ハ小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ處理方

(大正二・一・一七 各地方廳へ普通學務局通牒) 學甲三六八八號

小學校教員カ一年志願兵トシテ入營ノ場合ニ於テ某縣ヨリ小學校令施行規則第二十七條ニ依リ休職ヲ命シ度趣本省へ上申ノ處右ニ對シ今般小學校令第二百二十三條ノ規定ニ依リ處理スル方可然旨通牒致置候條御了知相成度

○小學校教員海軍志願兵トシテ現役ニ服スル場合ニ小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ處理差支ナシ

(大正三・一・一四 普通學務局回答) (口普一四六號)

【問】 小學校教員カ一年志願兵トシテ入營スル者ハ小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ處理ノ件本月一日大普一三三號ヲ以テ御通牒相成候處明治二十八年九月十八日發普二四三號通牒ハ自然消滅ト認メ海軍志願兵トシテ入團スルモ同様處理可然義ニ候哉承知致度此段及照會候也

【答】 右ハ海軍志願兵トシテ現役ニ服スル場合ニ於テモ同様御處理相成可然儀ト存候條御了知相成度此段及回答候也

○小學校令施行規則上小學校教員ノ休職期間延長ハ其ノ當初タルト期間満了ノ時タルト問ハス

【問】 小學校令施行規則第二百二十二條第五號後段ノ休職期間ハ同第二百二十四條ニ「一箇年トシ…」府縣知事ハ其期間ヲ延長スルコトヲ得」ト規定有之候處右解釋上ニハ左記三様可有之疑義相生シ候條御省議承知致度

- 甲、府縣知事ノ期間延長ハ初メ休職ヲ命スルニ當リ一ヶ年ノ期間ヲ相當期間ニ延長スルコトヲ得ルノ義ナリヤ
- 乙、又ハ一ヶ年ノ休職ヲ命シタル後其期間ノ満了ニ方リ更ニ相當期間ヲ延長スルコトヲ得ルノ義ナリヤ
- 丙、甲、乙、何レモ含ム義ナリヤ(大正三・九・一五・廣島縣照會)

【答】 右ハ丙說ノ通りニ有之候(大正三・九・二九・普通學務局回答)

○市町村立小學校教員婚姻ノ爲夫ト同居ノ事由ニ依リ退職出願ハ自己ノ便宜トシテ處分方

本月二十三日付學第五二一三號ヲ以テ市町村立小學校女教員ニシテ婚姻ノ結果夫ト同居セサルヘカヲサレ事情ヲ生シタル者ニ對スル退職處分ノ件ニ付キ御照會相成候處右ハ本人ヨリ退職ヲ出願シタルトキハ御意見ノ通り小學校令施行規則第二百二十

六條第二號後段ニ依リ處分スヘキ儀ニ有之候條御了知相成度 追テ師範學校本科卒業者タル教員ノ退職ニ關シテハ師範學校規程第六十六條及第六十七條ニ依リ義務ノ免除、學資及授業費ノ償還等ニ關スル處分ヲ爲スコトヲ要スルハ勿論ノ儀ニ有之候條御了知相成度(大正三・十・二七・福岡縣へ普通學務局回答)

○小學校教員休職期間ハ陸軍軍人服務令ニ依リ歸休兵ニ就キテハ歸休除隊ノ翌日ヨリ起算方

【問】 明治二十二年一月法律第一號徵兵令第三條ニ「現役ハ陸軍ハ三ヶ年」ト規定シ「明治四十四年十二月勅令第二百八十五號陸軍軍人服務令第六十條ニ現役步兵科兵卒(中略)ニシテ勤務ニ習得シタル者ハ服役二年ノ終ニ於テ之ヲ歸休セシム」ト有之候處勅令第二百八十五號第六十條該當者ノ事故止ミタル日ハ歸休除隊ノ翌日ヨリ起算スルキカ將タ現役三ヶ年ヲ終リタル日ノ翌日ヨリ起算スヘキカ(大正五・四・二九・群馬縣照會)

【答】 右事故止ミタル日ハ歸休除隊ノ翌日ヨリ起算スヘキ儀ト被存候(大正五・五・二二・普通學務局回答)

○小學校令施行規則ニ依ル陸海軍現役中ニハ憲兵再役者ヲ包含セス

【問】 小學校教員ニシテ陸海軍ノ現役ニ服シタルトキハ小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ當然休職者トナルヘキノ處右ニ該當者ニシテ現役満期ニ近ツキ更ニ憲兵ヲ志願シ現役繼續シタル場合ニ於テハ同則第二百二十四條ノ事故止ミタル時期ハ前者ノ服役終了ニ依ルヘキカ又ハ後者ノ退役ニ依ルヘキ哉(大正五・一・二一・愛知縣照會)

【答】 小學校令施行規則第二百二十三條ニ所謂陸海軍現役中ニ包含セサル儀ニ有之候(大正五・一・二一・普通學務局回答)

○小學校本科正教員他校補習學校兼務ハ教授ニ支障ナキ限りハ差支ナシ

【問】 季節ノ實業補習學校ニシテ夜間教授ヲナス場合ニ其ノ學校所在地又ハ隣接地ニ居住スル他ノ小學校訓導ヲシテ兼務セシムルモ何等本務校ノ教授ニ差支フルコトナキ場合ニハ該教員ヲ兼任セシメ差支無之ト思料セラレ候ヘ共四十四年十一月并普九三號ヲ以テ福井縣ヘノ回答ノ次第モ有之候コトトテ前記ノ場合ニ於ケル兼任ハ強テ差支無之哉

【答】 遺テ通年ノ補習學校ニアリテモ本務校ノ教授ニ差支アルコトナキ場合ハ他ノ學校職員兼任ノ儀差支無之候哉  
 右ハ季節タルト通年タルトテ間ハス實業補習學校ニシテ夜間教授ヲ爲ス場合本務校ノ教授ニ差支無キ限リ他校本科正  
 教員ヲシテ兼任セシムル儀ハ差支無之(大正八・六・四・普通學務局回答)

○小學校教員ヲシテ校務ニ妨ケナキ限リ當該市町村立圖書館ノ事務ヲ一時囑託スルハ差支ナシ

【問】 首題ノ件ニ關シテハ明治三十六年四月北海道廳ヨリ伺出ニ對シ御回答ノ次第モ有之候處本縣ニ於テハ各町村ニ對シ圖  
 書館設置ヲ獎勵ノ結果近時弗々之レカ設置ヲ見ルニ至リシカ右北海道廳伺出ニ對スル御回答ニ依ルトキハ公立小學校  
 ニ附設セラレタルモノハ校務ニ差支ナキ限リ其學校教員ヲシテ館員ヲ兼任セシム候モ妨ケ無之趣ニ候ヘ共縣下各町村  
 ニ於テ設置セル圖書館中ニハ土曜日及日曜日ノミ開館スルモノ有之從テ之等館員ヲ他ヨリ招聘スル事ハ適當ノ人材ヲ  
 得ルニ至難ナルノミナラス町村ニ於テ其經費支出上ニ不尠支障有之候ニ就テハ同一町村内ニ設置セラレタル公立圖書  
 館員ハ其町村ノ小學校教員ヲシテ距離及時間ノ關係上妨ケナキモノニ限リ兼任致サシメ度差支無之哉  
 【答】 右ハ市町村立小學校教員ニ其ノ小學校附設以外ノ圖書館ノ職員ヲ兼任セシムルハ不可然候ヘ共御申出ノ如キ場合ニ於  
 テハ公務ニ妨ケナキ限リ當該市町村立ノ圖書館事務ヲ一時囑託スルモ差支無之候(大正八・十・一五・新潟縣照會)(大正  
 八・一二・五・普通學務局回答)

○小學校ニ實科高等女學校併設ノ場合高等女學校長ヲシテ小學校訓導兼校長兼務差支ナシ

【問】 市町村立高等小學校ニ實科高等女學校ヲ併設スル場合ニ於テ高等師範學校本科卒業者ニシテ相當免許狀ヲ有スル者ハ  
 高等女學校長ヲ本務トシ小學校訓導兼校長ヲ兼ネシムルモ差支無之哉(大正九・二・九・廣島縣照會)  
 【答】 右ハ併設ノ場合ニ有之候ニ付兩校ノ教育並管理上支障ヲ來ササル限リ差支無之(大正九・二・八・普通學務局回答)

○休職小學校教員再服役志願者ハ小學校令第二百二十四條ニ依リ現役終了後三ヶ月經過ノモノハ自然退職者ト

シテ處理差支ナシ

(大正九・五・七・新潟縣照會) (大正九・六・二二・普通學務局回答)  
 (學收秘第一八〇〇號) (新普七・五・五號)

【問】 休職訓導某ハ大正五年十二月一日付小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ休職ヲ命シタル者ニ有之大正八年十一月三  
 十日除隊スヘキ處再服役ヲ志願シ現在服務中ニシテ引續キ休職ナルニ於テハ教員配置上ノ都合モ有之ニ付退職ヲ命セ  
 ラレ度候條何分ノ御指揮仰度此段及申請候也

【答】 右再服役志願者ハ小學校令施行規則第二百二十四條ニ依リ徵兵令第三條ノ現役終リタル後三ヶ月經過ト共ニ自然退職者  
 トシテ御處理差支ナキモノニ付仰了知相成ル様回答致シマス

○小學校ニ併設ノ農業補習學校專任教員ヲ該小學校ノ專科訓導兼務ハ差支ナシ

【問】 小學校ニ併設シタル農業補習學校ノ專任訓導ヲシテ其ノ小學校ノ農業科專科訓導ヲ兼任セシムルハ法規上差支無之哉  
 【答】 右ハ差支無之(大正十・六・二四・石川縣照會)(大正十・二・二四・文部次官回答)

○實業補習學校教諭助教諭ヲ同校ニ併設ノ小學校訓導兼務差支ナシ

【問】 小學校本科正教員同專科正教員ニシテ同一校ニ併設ノ實業補習學校教諭助教諭ニ兼務セシムルコトハ本務學校ノ教授  
 ニ差支ナキ限認ラレ候ヘ共之ト略趣ヲ同クスル實業補習學校教諭助教諭ヨリ同一校ニ併設ノ小學校訓導(專科教員  
 勤務)兼務セシムルモ事實ニ於テ差支無之哉(大正十・六・一五・鳥根縣照會)

【答】 右ハ併設ノ場合ニシテ小學校專科正教員ヲ兼務セシムルハ差支無之(大正一一・二・七・普通・實業兩學務局回答)

○休職小學校教員高等師範學校卒業後休職期間内同校各科入學者ハ在學中休職繼續トシ取扱方

(大正一三・四・二三・各地方廳へ普通學務局通牒)  
 自今小學校教員ニシテ高等師範學校本科及他ノ各科ニ入學ノ爲メ小學校令施行規則第二百二十二條第一項第三號ニ依リ休職ヲ  
 命セラレタル者卒業後休職期間内ニ高等師範學校ノ各科ニ入學スル場合ニ限リ其ノ在學中休職繼續ノコトニ御取扱相成度追

而明治四十四年十月愛普九四號大正元年十月口普一三五號通牒ハ自然消滅ノ義ト御了知相成度

○小學校教員進退取扱ニ關シ小學校令施行規則中疑義

(大正一三・六・七普通學務局通牒  
英普四六號)

【問】 小學校令施行規則第三百三十一條ニ依リ知事ハ小學校教員ノ疾病退職、休職ノ場合府縣恩給顧問醫ノ意見ヲ聞クノ必要有之モ大正十年勅令第九號市町村立小學校教員恩給審査規程ハ恩給法施行ノ結果自然消滅ストノ内閣恩給局ノ解釋(岩手縣知事照會)ナリ依テ恩給顧問醫ハ當然廢職トナリタルヲ以テ之カ意見ヲ徵スルノ必要ナキモノト解スルモ爲念一應及御照會候(茨城縣照會)

【答】 御意見ノ通

○委任官待遇小學校長ノ叙位標準並其ノ異動報告方

(大正一三・三・三一 各地方廳へ秘書課通牒)  
秘九二二號

一、委任官待遇小學校長ハ文武官叙位進階内則第六條ニ依リ左記ノ標準ヲ以テ俸給相當ノ叙位議議可相成ニ付該當者有之場合ニハ文部大臣宛御内申相成度

正七位	俸給年額	千九百貳拾圓以上
從七位	同	千參百貳拾圓以上
正八位	同	千參百貳拾圓未滿
正七位	同	同千九百貳拾圓未滿

二、委任官待遇小學校長ノ叙位ニ關シ別途通牒ノ處右ハ俸給額ニ依リ位階配當セラルルモノニ付俸給ノ異動ニ付テハ其都度運滞ナク報告セラルル様特ニ御注意相成度

○小學校長若ハ訓導ヲシテ他ノ學校ノ校長又ハ訓導ハ兼務差支ナシ

(大正一四・六・八千葉縣伺)  
秘乙第三八五號

【問】 小學校長又ハ訓導ニシテ同一構内若クハ其ノ學校隣接ノ補習學校長又ハ教員ヲ兼務セシムルハ教育的連絡上裨益不尠

【答】 相認候條他ニ適當ノ者ヲ得ルコト困難ナル場合ニ於テハ小學校ノ教授ニ支障ナキ限り是等ノ兼務ハ差支無之儀ニ候哉  
右ハ本務學校ノ教授ニ支障ナキ限り差支ナシ(大正一四・七・三一 普通學務局回答)

○小學校教員ノ休職期間ニ關スル疑義

(昭和八・十・一 埼玉縣照會)  
八學教第二三八〇〇號 玉普二九號 普通學務局回答

【問】 小學校教員ニシテ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ニ入學ノ爲昭和五年三月三十一日小學校令施行規則第二百一十二條第三號ニ依リ休職ヲ命セラレタル者昭和八年三月二十七日同養成所卒業後更ニ同年六月二十六日同養成所研究科ニ入學同年七月三十一日退學シタル場合之カ休職期間ハ昭和八年三月二十七日ノ卒業ヲ以テ休職ノ事故止ミタルモノトシ其ノ後三ヶ月即チ昭和八年六月二十六日ヲ以テ休職滿期ト解スヘキヤ或ハ昭和八年七月三十一日研究科退學迄ハ休職事故繼續スルモノト見テ退學ノ日ヨリ尙三ヶ月即チ昭和八年十月三十日ヲ以テ休職滿期ト解スヘキヤ明治四十四年七月十四日學發第一八四號愛知縣照會ニ對スル同年十月十八日愛普九四號貴局御回答ノ趣旨ヨリスレハ前段ノ如ク解スルヲ正當ト認ラレ候ヘ共聊カ疑義ニ亘リ候條何分ノ御回答相煩度

【答】 右ハ休職期間中研究科ニ入學シタル者ナルニ於テハ其ノ研究科退學迄ハ休職事故繼續スルモノト御了知相成度

○小學校教員休職特別處分方

(昭和九・二・二〇 東京府伺)  
戊學一〇二九九號 東普六二四號 普通學務局通牒

【問】 公立小學校訓導某ニ係ル標記ノ件本月十一日付本號ヲ以テ稟申候處本月十四日付東普六二四號ヲ以テ小學校令施行規則第二百二十二條第一號又ハ第二百二十六條第一號ニ依リ處分方御通牒有之候得共右ハ左記事由ニ依リ同條ニ據リ難ク候條義ニ稟伺之通措置致度此段重ネテ稟伺候也

一、本人ヲ本年八月ゼームス坂病院ニ入院セシムル迄ノ行動、並其ノ後郷里高知縣ニ歸省療養中、學校長、學務課長、知事、文部大臣等ニ發シタル文書ニ照シ本人カ精神異常者タルハ之ヲ認定シ得ルモ本人ハ九月三日歸郷以來未タニ歸任セス、且醫師ノ健康診斷書ヲ送付シ病氣恢復セリト稱シ、而モ目下知事、文部大臣ニ訴願中ニ付其ノ裁決マテ進退

ヲ左右セスト豪語シ、其ノ言動常軌ヲ逸スルコト甚タシ 一、然レトモ本人遠隔ノ地ニ在リテ醫學的診斷ヲ爲スコトヲ得ス依ツテ小學校令施行規則第二百二十二條第一號乃至第二百二十六條第一號ニ據リ處斷スルハ當テ得スト認ム、而モ退職ヲ促スモ肯セス、歸任ヲ求ムルモ應セス、職務ヲ在再放棄スルコト四ヶ月ニ亘レリ 一、然リト雖モ本人ノ言動ヨリ推シテ本人ノ精神狀態カ常態ニ非スト認ムル以上懲戒處分ヲ爲スコト亦當テ得ス、以上ノ理由ニ依リ第二百二十七條ニ依リ特別處分ヲ爲スノ外ナシト認ム

【答】 右ハ醫學的診斷ヲ爲スコト能ハサルモノニアリテモ本人ノ態度行動等諸種ノ情況ニ依リ小學校令施行規則第二百二十二條第一號又ハ第二百二十六條第一號ニ該當スル者ト認メタルトキハ貴官ニ於テ直ニ休職若ハ退職ヲ命セラレ差支無之

○小學校併設實科高等女學校校長ノ小學校訓導兼校長職務方 (昭和十・三・一六・高知縣會)

【問】 小學校ニ實科高等女學校併設ノ場合高等女學校校長ヲシテ小學校訓導兼校長ヲ兼務セシムル件ニ關シテハ大正九年二月九日付廣島縣ノ照會ニ對シ大正九年二月二十八日付普三五號ヲ以テ御回答有之候處高等師範學校本科卒業者ニアラスシテ相當免許狀ヲ有スル者モ高等女學校校長ヲ本務トシ小學校訓導兼校長ヲ兼ネシムルコト差支無之候哉

【答】 之ニ類似セル先例アルモ小學校教育ノ性質上望マシキ儀ニ非サルヲ以テ可成小學校訓導兼校長ヲ本務トシ實科高等女學校長ヲ兼ネシムル様ニ致度 (昭和十・三・二六・普通學務局回答)

○休職准訓導師學校卒業ノ上訓導ト爲リタルトキ其ノ休職期間ハ在職年ニ通算方 (茨城縣照會(昭和十・八・二九・各地方廳へ秘書課通牒))

【問】 准訓導カ師範學校入學ノ爲休職トナリ同校卒業ノ上訓導ニ就職シタル場合ハ恩給法第四十二條第一項第四號ニ所謂「準教育職員引續キ教育職員ト爲リタルトキハ云々」ノ引續キト看テ休職年月數ヲモ通算スヘキモノナリヤ或ハ休職前ノ准訓導在職年月數ノミヲ後ノ訓導在職年ニ通算スルモノナリヤ聊疑義有之候ニ付至急御指示相成度

【答】 右ノ場合ハ恩給法第四十二條第一項第四號中ノ「準教育職員引續キ教育職員ト爲リタルトキ」ニ該當シ准訓導休職中

ノ期間ト雖モ右規定ノ適用ニヨリ在職年ニ通算セラル尙該休職期間ニシテ改正恩給法施行後ニ屬スルモノニ付テハ同法第四十三條第二項ニ依リ更ニ同法第四十條ノ二ノ規定ノ適用アルモノト被解

(三) 中學校及高等女學校

○高等女學校教員採用認可申請ノ場合ニ於ケル教員免許狀ヲ有セサル者及有スル者中ニハ小學校本科正教員免許狀ヲ有スル採用者不包否方 (明治三六・五・五 各地方廳へ普通學務局通牒) (卯普甲四一〇五號)

明治三十三年文部省令第十五號第四條ノ規定中「教員免許狀ヲ有セサル者」及「教員免許狀ヲ有スル者」ノ中ニハ同令第二一條ニ依リ採用セラレタル者ヲ含マサル儀ニ付御承知相成度依命此段及通牒候也

○中學校教諭又ハ舍監ト縣社以下神社神職ト交互兼務方

【問】 中學校教諭又ハ舍監ト縣社以下神社神職ト交互兼務ノ儀ニ付テハ從來何等例規無之様被存候處右ハ其祖先カ當該神社ヲ創始シテ代々自ラ之ニ奉仕シ且今ニ至ルマテ其神社ノ經費及營繕費等總テ其一家ヨリ支辨スルカ如キ特殊ノ事情アルモノニシテ勤務上相妨ケサルモノニ在リテハ特ニ神職ト兼務ヲ許シ差支無之哉 (明治三七・一・一八 普通學務局回答) (社甲三三三號)

【答】 右ハ御見込ノ通り御取扱相成差支無之候經伺ノ上此段及回答候也

○高等女學校校長ヲシテ實業補習學校校長ヲ兼務セシムルハ差支ナシ

【問】 吳市立吳高等女學校校長(奏任待遇)ヲシテ同市立工業補習學校校長ヲ兼務セシメ候ハハ便宜ノ義モ有之候處差支無哉 (昭和六・九・三 大阪府照會) (大普六三三號 普通學務局回答)

○高等女學校高等科教員任用ニ關スル疑義

【答】 右ハ差支無之 (明治四四・十・一・廣島縣照會) (明治四四・十・二〇 普通學務局回答) (昭和六・九・三 大阪府照會) (大普六三三號 普通學務局回答)



【問】尋常小學校本科正教員又ハ小學校專科正教員免許狀ヲ有シ且ツ中等學校ニ於テ多年實地教授ノ經歷アル者ニシテ學力充分ナリト認メラルル者ヲ高等女學校(高等科)ノ助教授ニ任用差支ナキヤ何分ノ御示教相仰度

【答】標記ノ件御來旨ノ如キ者ヲ高等女學校高等科助教授トスルコトハ然ルヘカラス義ニ付御了知相成度

(四) 師範學校

○發音矯正ノ一方法トシテ師範學校教員ノ如キハ比較的發音ノ正シキ他地方ノ者採用方

(明治三七・一一・宮城、福島、岩手、青森、山形、秋田縣へ普通學務局通牒)

發音ノ矯正ハ教育上必要ノ事ニ有之從テ是マテ右矯正方法ニ關シテハ夫々御注意相成居候コト、ハ存候ヘトモ或ハ教員ノ發音正シカチサル爲實際矯正ノ實ヲ學ケ難キ儀モ可有之歟ト被存候就テハ師範學校ノ教員ノ如キハ比較的發音ノ正シキ他地方ノ者ヲ採用スルコト一般發音矯正ノ一方法ト存候條新ニ教員御任用ノ節ハ可成右御含ニテ御考慮相成度

○師範學校教諭縣立幼稚園保母兼務差支ナキモ俸給分割不支給方

(明治三九・三・三三・鹿兒島縣問合)

【問】師範學校教諭ニ縣立幼稚園保母ヲ兼務セシメ其俸給ヲ分割支給シ差支ナキヤ折返シ返事アリタシ(電信)

【答】右ハ本職ニ妨ケナキトキハ差支ナキモ俸給分割支給ハ然ルヘカラス(電信)(明治三九・三・二九・普通學務局回答)

○師範學校名譽舍監不設置方

(明治三九・秋田縣問合)(明治三九・四・五・普通學務局回答)

【問】師範學校舍監ヲ一旦解職シ多年舍監トシテ教育事務ニ盡力セシ功勞ニ對シ更ニ名譽舍監ヲ囑託スルハ差支ナキヤ

【答】師範學校ニ名譽舍監ヲ置クハ然ルヘカラス(電信)

○師範學校教員ノ附屬小學校訓導兼務ハ現役ニ關係ナキ者ニ限ル

(明治四〇・二・二〇・普通學務局通牒)

師範學校教員ノ當該附屬小學校訓導兼務方ニ就テハ客年十一月二十七日發普四〇六號ヲ以テ通牒ノ次第モ有之候處右兼務ノ必要アルトハ可成現役ニ關係ナキ者ヲ以テ之ニ充テ其之ヲ得難キ場合ニ限り現役ニ關係アル者ヲシテ兼務セシメ候様御取計

相成度

○一年志願兵ニ服スル師範學校教員ノ休職ハ公立學校職員休職ニ關スル規定第一條第一項適用

【問】師範學校判任待遇教諭ヲ一年志願兵入營ノ場合ニ於テ二七年勅令第一四一號第一條ニヨリ休職ヲ命シ差支ナキヤ折返シ返事アリタシ(電報)(明治四四・一一・三〇・三重縣問合)

【答】一年志願兵ニ服スル師範學校教員休職ノ件ハ御見解ノ通(明治四四・一一・三〇・普通學務局回答)

(五) 實業學校

○實業學校教員採用ニ關スル注意方

(明治三七・一一・一七・各地方廳へ實業學務局通牒)

教育ノ效果ノ學否ハ生徒教養ノ主腦者タル教員其ノ人ヲ得ルト得サルトニ基因スル次第ニ有之候ニ付從來教員採用ノ際ニハ十分此點ニ關シ御注意相成居候儀トハ存候得共實業學校教員ノ現況ヲ視ルニ學歷不十分ナル者尠カラサルノミナラス普通學科ノ教員ノ如キ一般ニ之ヲ輕視スルノ嫌アルハ斯種教育發達上甚タ遺憾トスル處ニ有之候條教員ノ人選ニハ更ニ一層ノ注意ヲ加ヘラレ實業學科ノ教員ニ在リテハ專ラ適當ノ素養アル者ヲ採用シ普通學科ノ教員ニ在リテモ相當ノ學歷アル者ヲ選定セラレ特ニ中等程度ノ實業學校ニ於テハ可成師範學校、中學校ノ教員免許狀ヲ有スル者ヲ採用セラレ斯種教育ノ完全ナル效果ヲ期スル上ニ於テ遺憾無之様御施設相成度依命此段及通牒候也

○實業學校長ノ選任ニ關シ留意方

(昭和六・五・二二・各地方長官へ文部次官通牒)

實業學校長ノ選任ニ關シテハ學校長トシテノ人格才能アル外實業ニ關スル識見アリ且地方産業並當業者指導ノ手腕ヲ有スル者ヲ選任スルハ從來ノ實績ニ徴シ極メテ肝要ト認メラルルニ付將來右ニ關シ特ニ御留意相煩度此段依命通牒候也

○農業教員養成所研究科ハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號ノ範圍内トシテ取扱フ

【問】東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ハ公立學校職員分限令第八條第一項第四號ニ該當スヘキモノニ有之候處同養

成所研究科ハ大正三年十一月二日佐專五三號通牒東京高等工業學校附設工業教員養成所研究科ト同様右ノ範圍内トシテ取扱ヒ差支無之哉(昭和八・二・二・佐賀縣照會)

【答】 貴見ノ通取扱差支無之(昭和八・三・三〇・普通學務局回答)

(六) 各種學校

○裁縫學校ヲ町村立小學校ニ附設ノ場合當該小學校長教員業務方 (明治三四・滋賀縣照會) (普通學務局回答)

【問】 裁縫學校ヲ町村立小學校ニ附設シタル場合當該小學校長ヲシテ兼務セシメ差支ナキヤ

【答】 御意見ノ通り

第二十八 職務 服務

(一) 總 規

○學術講話會ニ關スル取締方

(明治三〇・九・二五 第二高等學校照會) (明治三〇・十・四 專門學務局回答) (西專甲九八九號)

【問】 文部省直轄學校教官ニシテ教育會等ノ依頼ニ應シ學術上ノ講演ヲナスハ別ニ制限無之義ト存候處教官互ニ申合セ公衆ヲ集メ學術ノ講話致シ候義ニ關シテハ會テ文部大臣ヨリ帝國大學及第一高等中學校ヘ訓令相成候次第有之然ルニ東北地方ハ學術特ニ科學ノ思想ニ乏シキ感有之候ニ付時々學術講話會相開キ度考モ有之尤モ政務ニ關スル事項ヲ講演セサルハ勿論政務ニ關スル講演ヲナス者ト共ニ開會不致純然タル學術上ノ講話ヲ爲シ度義ニ候條右ハ差支無之哉

【答】 右ハ明治十九年十二月文部大臣訓令第一高等中學校教諭公開演說ニ於ケル取締方ニ據リ開設相成候儀ハ差支無之

○公立學校長及首座教員等上京等ノ際届出方

(明治三〇・九・八 各地方廳ヘ專門、普通、兩學務局通牒) (丙專第二八號)

公立學校長及首座教員等(小學校ヲ除ク)ニシテ上京ノ際職務上ニ就キ親シク協議ヲ遂ケ候テ便宜尠カラサル場合有之候ニ付テハ右着京ノ際ニハ府下ノ宿所歸任ノ際ニハ其趣當該局ヘ申出候様豫テ夫々ヘ御通達相成度此段申進候也

○官公立學校教員ノ職ニ在ル豫備後備將校並ニ在郷下士等ノ制服着用方 (明治三四・一・一五 陸軍省ヘ照會) (陸軍省回答) (普通 丙一二四號)

【問】 本年九月十三日貴省訓令乙第二號ヲ以テ豫備後備將校ノ制服着用ニ關スル件ニ付別記ノ如ク訓令相成候趣ニ有之候處右ハ豫備後備將校タル者ニシテ官公立學校教員ノ職ニ在リテ其職務ニ從事スル際制服ヲ着用スルハ生徒ノ訓練上及教員ノ威嚴ヲ保ツ上ニ於テ頗ル必要ニ有之殊ニ體操科教授ニ於テ最モ必要ヲ認メ候是等ノ場合ニ於テハ制服ヲ着用スルモ差支無之趣旨トハ被存候得共一應御省議承知致度此段及照會候也(別記略)

追テ在郷下士等ニシテ官公立學校教員ノ職ニ在ル者モ其職務ニ從事スル際ハ本文同様必要ヲ認メ候處本年九月貴省訓令甲第二號ノ次第モ有之候得共是又右職務ニ從事スル際ハ制服ヲ着用スルモ差支無之儀ニ候哉併テ承知致度候

【答】 右ハ差支無之 追テ在郷下士等ニシテ官公立學校教員ノ職ニ在ル者モ其職務ニ從事スル際ハ制服着用差支無之

○勤任待遇及變任待遇ノ向參賀參拜其他官中ノ祝典等ニテ參内ノ場合大禮服着用ニ御治定  
自今勤任待遇並奏任待遇ノ向參賀參拜其他官中ノ祝典等ニテ參内ノ場合ニハ其官ノ大禮服着用ノ事ニ御治定相成候間夫々御達可有之但本文ノ内有爵者ハ爵服有位者ハ位階相當ノ大禮服ヲ着用スルモ妨ナシ(明治四〇・六・一八・秘甲一三九號秘書課通牒)

(明治四〇・七・九 未發普二三九號 各地方長官ヘ文部次官通牒)

○學校教員ノ操行取締及風紀紊亂者處分方

學生生徒ノ風紀振肅ニ關シテハ客年中訓令ノ次第モ有之夫々御取締相成居候儀ト存候處之カ教養ノ任ニ當ルヘキ教員ノ素行如何ハ兒童生徒ノ風紀ニ直接ノ影響アルハ言テ俟タサル處ニ有之候就テハ是等教員ノ操行ニ關シテハ自今一層御取締相成苟モ風紀ヲ紊ルカ如キ者ニ對シテハ嚴重ニ御處分相成候様致度此段及通牒候也 追テ小學校教員中小學校令第四十八條及第四十九條ニ該當スル者ノ處分方ニ關シテハ本文ノ旨趣ニ依リ自今一層嚴重ニ御措置相成度此段申添候也

○師範學校長小學校教育視察實行並注意事項

(明治四一・六・一一 各地方廳へ普通學務局通牒) 申發者一九八號

師範學校長ノ小學教育視察ニ就テハ官制ノ規定モ有之小學教育及師範教育ノ改善ヲ圖ル上ニ於テ極メテ緊要ノ儀ト被存候處 往々旅費額ノ少ナキカ爲之ヲ實行スルコト能ハサル向モ有之教育上遺憾不勤候ニ付明年度ヨリ特ニ相當旅費ヲ豫算ニ計上シ 必ス適當ノ期間貴管内ノ學事ヲ視察セシメラレ候様御取計相成度 追テ左記事項特ニ御注意相成度

- 一、師範學校長ノ視察ハ其管内小學校教授訓練ノ狀況ヲ主トセシムルコト
- 二、視察ノ際ハ小學校長及教員ニ對シ批評誘導ノ任ニ膺ラシムルコト
- 三、視察ノ際ハ可成郡視學ト同行セシムルコト
- 四、視察ヲ了リタルトキハ復命書ヲ提出セシメ其寫ヲ當省ニ進達セララルコト
- 五、學務擔任ノ事務官並府縣視學ヲシテ師範學校長ト小學校ノ教授訓練ニ關スル打合セテ爲サシムルコト

○縣視學ニ師範學校教諭兼任然ルヘカラス

(大正六年兩縣照會) (大正六・五・一一 普通學務局回答) 四月十一日

【問】 縣視學ニ師範學校教諭ヲ兼任(無給)セシメ差支ヘナキヤ折返シ御回示ヲ請フ(電文)

【答】 縣視學ニ師範學校教諭ヲ兼任セシムルハ然ルヘカラス(電文)

○私立中等學校校長學校代表者及教員ハ認可ヲ受クルヲ要ス

(大正一四・四・二八 各地方長官へ文部次官通牒) 發者二一五號

從來私立ノ中學校、高等女學校(實科ヲ含ム)實業學校ノ校長若ハ學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スル者ハ貴官ニ於テ之ヲ認可シ 其ノ都度本省ニ報告スルコトトシ又其ノ教員ハ法定ノ資格ヲ有セサル者ト雖別ニ私立學校令第五條ニ依ル認可ヲ要セサルコ トニ取扱ハレ來リタル處自今右私立中等學校ノ校長若ハ學校代表者ノ認可ニ就テハ本省大臣ニ申請セシメ又此等學校及私立 高等學校尋常科ノ教員ニシテ法定ノ資格ヲ有セサル者ハ總テ私立學校令第五條ノ認可ヲ受クルヲ要スルコトニ省議決定相成 リタルニ付御了知ノ上關係者ニモ夫々御通達相成度 追テ現在右學校ノ校長ノ職ニ在リ又ハ教員ニ採用サレ居ル者ニ就テ

ハ別ニ手續ヲ要セサルニ付御含ミ相成度

○學校配屬將校ノ隊附勤務及演習參加實施方法 (大正一四・八・二九 文部次官通牒)

陸軍現役將校學校配屬令ノ規定ニ依ル學校配屬將校ヲシテ軍事ヲ研究セシムル爲左記要領ニ從ヒ隊附勤務及演習參加等ヲ實 施セシムルコトニ定メラレタルニ付其ノ旨御了知相成度

- 一、各部隊長ハ軍事研究ノ爲必要ト認メタル場合ニ於テハ學校ニ配屬セラレタル下將校ヲシテ隊附勤務又ハ演習參加等ヲ 實施セシムルヲ得ルコト
- 二、前項ノ場合ニ於テハ各部隊長ハ當該學校長ト協議ノ上學校ノ休暇中其ノ他教練ノ授業ニ差 支ナキ場合ニ於テ之ヲ實施スルコト
- 三、隊附勤務ハ毎年往復日數ヲ除キ三週間以內トシ通常配屬將校ノ所屬部隊ニ於テ 行フコト但シ特科將校及特殊ノ事由アル步兵科將校ハ其ノ學校最寄ノ步兵部隊ニ於テ行フヲ得ルコト
- 四、隊附勤務又ハ 演習參加ニ要スル經費ハ陸軍省ヨリ支出スルコト

○勳記領票及下級勳章還納方

(大正一五・六・一一 秘書課通牒) 官廳六〇號

勳章勳記傳達セラレタルトキハ敍勳者ハ直チニ領票ヲ提出シ以テ貴重ナル章飾ニ恥サランコトヲ誓フヘキ儀ニ候處往々之ヲ 怠ル向有之且ツ提出ニ際シテモ傳達官廳ヲ經由セサル等區々ニ抄リ執奏上支障不勤候條今後貴管下敍勳者ニ對シテハ便宜御 取纏メ御送付相成候様致度尙勳等進敍シ同種上級ノ勳章ヲ授與セラレタル者ハ其ノ下級勳章ハ之ヲ還納スヘキモノナルニ從 來手續ヲ等閑ニシ中ニハ之レカ爲不識ノ間ニ違式ノ佩用ヲ爲スニ至ル者モ有之候處右ハ一面還納手續ノ周知セラレサルニ起 因スルコト不勤ヘク甚タ遺憾ニ存候ニ付將來敍勳ノ場合右ニ該當スル者ニ對シテハ別紙書式ノ用紙ヲ交付スルコトト致候ニ 付勳記勳章傳達ノ際併テ之ヲ交付シ以テ下級勳章ノ還納ヲ怠ラシメサル様可然御配慮相煩度

下級勳章還納書

一 還納勳章種類

勳章

章

一 還納理由 大正 年 月 日 勳章ヲ賜ハリタルニ依ル

右勳章還納手續第二條ニ依リ及還納候也  
賞勳局宛 年 月 日 住所 氏名

勳賞還納ノ件 (明治二二・三・二一・勳令第三八號)

勳等進級シ同種ノ上級勳章ヲ受ケタル者ハ其下級ノ勳章ヲ賞勳局ヘ還納スヘシ但勳記ハ還納スルノ限リニアラス

勳章還納手續 (抄) (明治二二・三・二一・勳令第九號)

第二條 同種上級ノ勳章ヲ賞勳局ノ送達ニ依リ受領シタル者ハ直ニ其領票ト共ニ下級ノ勳章ヲ同局ニ差出スヘシ  
官廳ヲ經テ受領シタル者ハ其官廳ヘ差出シ官廳ハ之ヲ賞勳局ヘ送付スヘシ

○大喪中ノ喪章ハナル可ク有合品利用方

(昭和元・二・二六・文部次官通牒)  
發文第七九號

大喪中ノ喪章ニ關シテハ大正元年八月一日閣令第二號ヲ以テ定メラレ各學校ノ生徒兒童モ勿論之ニ依ルヘキ儀ニ有之處右喪章ハ和服ノ場合ニ於テハ或ハ布片ノ中央ヲ括リ或ハ之ヲ結フ等便宜ノ方法ニ依リ之ヲ作ラシメ且ツ總テ成ルヘク家庭ニ於ケル有合ノ品ヲ利用セシメ之カ爲テ經費ヲ支出シ父兄保護者ノ負擔ヲ増サシムルカ如キコトナカラシメラレ度要ハ率悼ノ誠意ヲ表セシムルノ義ニ有之ニ付此邊篤ト御注意相成度依命此段通牒ス

○外國勳章佩用出願方

(大正一五・七・三一・賞勳局書記官通牒)  
勳外發第三三號

外國勳章受領及佩用出願方ニ就テハ從來外國勳章佩用規則ニ基ク書式ニ依據シタルモノニ有之候處近時往々ニシテ受勳理由ヲ明記セス若クハ之ヲ缺如セルモノアルカ爲メ一括シテ上奏ヲナス場合ニ支障ヲ來スコト不勘候條爾今詳細ナル受勳理由書ヲ添付候様提出者ニ對シ示達相成度

○學校配屬將校生徒監督等服務ニ付手當支給ノ場合ノ經伺方

(昭和二・二・一・文部次官通牒)  
官普三三五號

今般標記ノ件ニ關シ別紙ノ通陸軍省ヨリ各軍部ニ通牒有之タルニ付其ノ旨御了知ノ上可然御措置相成度  
(別紙) 首題ノ件ニ關シ別紙ノ通各師團等ヘ通牒シタルニ付貴省關係ノ向ヘ可然通牒方相煩度  
學校配屬將校其ノ本務以外ニ於テ生徒監督等ヲ囑託セラレタル場合ニ於テ囑託者ヨリ之ニ對シ手當ヲ支給シ度向有之ヤニ聞及ヒアリ此ノ種ノ手當ハ成ルヘク之ヲ受ケサルヲ可トスルモ若シ特ニ之ヲ受クルヲ適當トスル場合ニ於テハ正規ノ手續

(官吏服務紀律及大正二年陸普第一、三五八號參照) ヲ經テ之ヲ受クルモ差支無之儀ニ付爲念通牒ス  
(參照) 陸軍ノ現職ニ在ルモノノ他ノ事業服務ニ關スル件(大正二・四・二八・陸普一・三五八)  
近來陸軍ノ現職ニ在ルモノニシテ許可ヲ得ス報酬ヲ得テ陸軍部外ノ教育其ノ他ノ事務ニ從事スルモノ有之哉ニ聞及候處右ハ自然官吏服務紀律ニ牴觸スルニ至ルノ虞有之候ニ就テハ本務ノ傍ヲ報酬ヲ得テ他ノ事務ニ從事セントスルモノハ官公立學校等ノ事務ニ在リテハ所定ノ手續ヲ履行シ私立學校其ノ他ニ在リテハ本人ヨリ順序ヲ經テ(陸軍大臣、參謀總長、教育總監所管ノ指示ヲ受クヘキモノニアリテハ所屬官衛學) 所管長官ノ許可ヲ受ケ所管長官ハ之ヲ陸軍大臣ニ報告若ハ通牒スル儀ト承知相成度候也 追テ右ノ事業ニ從事スルコトヲ止メタルトキモ右ニ準シ陸軍大臣ニ報告若ハ通牒スル儀ニ付申添候

○衆議院議員選舉法中疑義

(昭和二・一・三〇)  
島普三三號 內務省警保局ヘ普通學務局通牒

標記ノ件ニ付今般島根縣ヨリ次ノ通照會有之右ニ對シ左ノ通回答致シタルニ付御了知相成度

【問】 選舉法改正ノ趣旨ニ鑑ミ學校教員ハ本分ヲ認ラサル限り第三者トシテ推薦狀署名及演說ニ依ル選舉運動ヲナシ差支ナシト認メラル念ノ爲意見承リタシ又選舉運動員タルコトハ服務上支障アリト認メ然ルヘキヤ電信ニテ回答相成度シ

【答】 學校教員ニシテ演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ハ職務ヲ怠ラサル限り御見込ノ通又選舉運動員タルコトハ可成避ケシ

マラレタシ(電文)

○疾病者ノ義務猶豫ニ添付ノ診斷書ハ詳細ナルヲ要ス

(昭和三五・二九普通事務局通牒)  
發書一・二二號

從來高等師範學校卒業者ニシテ服務義務中ノ者病氣ノ爲メ其ノ義務猶豫ヲ出願スルニ際シ右願ニ添付スル診斷書中往々簡ニ失シ病狀並靜養期間等記入無之モノアリ處務上支障有之タルニ就テハ自今右御進達ノ際ハ一定期間服務義務ヲ猶豫スヘキ必要アルヲ認メ得ヘキ詳細ナル病狀ノ記載アル診斷書ヲ添付セシムル様致度

○大正十二年發文七七號委任事項自然消滅ニ依リ從前通措置方

(昭和五・一二・二七文部次官通牒)  
發文一〇四號

大正十二年九月十九日付發文七七號ヲ以テ通牒ニ及ヒ置キタル件ハ關東大震火災ニ因ル交通通信ノ狀態及廳務處理ノ狀況等ニ鑑ミ行政ノ敏活ヲ計リ機宜ノ處置ヲ誤ラサシムル趣旨ニ出テタル次第ナルモ其後諸般ノ施設ノ復舊ニ伴ヒ右通牒ハ自然消滅シ從前通り措置可相成モノナルモ今日尙關係事項ノ處理方ニ關シ問合ノ向モ有之ニ付テハ右通牒ハ自然消滅シタルモノト御了知相成度爲念此段及通牒候也

○公立學校職員ノ外國出張手續履行方

(昭和七・七七各地方廳へ秘書課通牒)  
發書三〇二號

公立學校職員ノ外國出張ニ關シテハ大正六年八月二十八日付發秘第一七〇號通牒(別紙參照)ニ依リ夫々御手續相成リ居ルコトト存セラルルモ近來動モスレハ其ノ手續ヲ了セス當該地方長官限り出張ヲ命セラレタルコト後日ニ至リテ發見セラレ爲ニ旅券ノ請求或ハ其ノ查證要求等ニ當リテモ行違ヲ生シ事務上支障ヲ來シタルコト尠シトセス如キハ洵ニ遺憾ノ儀ニ付今後遲滞ナク御手續相成様致度依命此段通牒ス 追テ本件ニ關スル上申書(判任官ノ待遇ヲ受クル者ニツイテハ履歷書暨通添付ノコト)ハ少クトモ三週間以前ニ當省到着ノ豫定ヲ以テ御進達相成度爲念申添フ 尙官吏同待遇者ノ海外出張ニ關スル閣議決定寫御參考ノ爲添付ス

(別紙) 公立學校、圖書館並地方測候所職員ノ外國出張ニ關シテハ高等官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ文部大臣ニ稟申可相成判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ文部大臣ニ伺出ノ上貴官ニ於テ出張可被命筋ニ有之候間御承知相成度尙右公立學校等職員ノ私費外國旅行ハ證議不相成儀ニ有之候處今般內閣告示ノ暑中賜暇ノ期間ニ限り文部大臣ニ出願許可ヲ受クレハ差支無キコトニ決定相成候條併テ御了知相成度依命此段及通牒候也

追テ本文出張又ハ旅行ニ關シテハ左記要項ヲ具申相成候様致度此段申添候  
一、出張又ハ旅行ノ目的 二、出張又ハ旅行地及其ノ日程大要 三、出張ニ在リテハ其ノ旅費ノ用途

官吏同待遇者ノ海外出張ニ關スル閣議決定寫

一、親任官ノ海外出張ハ主務大臣朝鮮總督臺灣總督並關東長官ノ奏請ニヨリ內閣ニ於テ之ヲ命スルコト 一、勅任官ノ海外出張ハ從前特ニ委任セラレタル場合ヲ除クノ外內閣總理大臣ノ認可ヲ經テ主務大臣朝鮮總督臺灣總督並關東長官ニ於テ之ヲ命スルコト 一、奏任官以下ノ海外出張ハ主務大臣朝鮮總督臺灣總督並關東長官ニ限り之ヲ命スルコト 一、官吏待遇者海外出張ハ各其ノ本官ノ例ニヨルコト 一、囑託雇員以下ノ海外出張ハ奏任官以下ノ例ニ依ルコト

○私立盲學校及聾啞學校ノ校長、學校代表者並ニ教員ノ認可申請手續履行方

(昭和一一・一・一四普通事務局通牒)  
發書一・五號

私立盲學校及聾啞學校ニ於テ校長若ハ學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スル者ヲ定メントスル時ハ私立學校令第三條ニ基キ設立者ヨリ又公立私立盲學校及聾啞學校規程第十條及第十一條ノ各號ニ該當セスシテ私立盲學校及聾啞學校ノ教員タラントスル者ハ私立學校令第五條ニ基キ本人ヨリ夫々本省大臣ニ認可ヲ申請スヘキ義ニ有之右ニ關シテハ既ニ大正十四年十月發普三四一號ヲ以テ通牒致シ置キタル處其ノ後往々ニシテ所要ノ手續キテ怠ル者アルヤニ見受ケラルルニ付貴管內關係者ニ此ノ旨御通達ノ上充分御監督相成度 追テ右申請書類ニハ私立學校令第四條ニ關スル身分證明書及當該學校ノ教員組織表(校長若ハ學校代表者ヲ定ムル場合ハ之ヲ要セス)ヲ添附セシメラレ度

(二) 小學校幼稚園及盲啞學校

○市町村立小學校訓導ノ無格神社社掌兼補經伺方

(明治二九・二二・二三 佐賀縣稟申) (明治三〇・二・九 通牒) (往三三五二二〇號 內務省佐甲第二號)

【問】 縣社以下神職ノ儀其人ヲ得スシテ小學校訓導奉職ノモノニ兼務セシムル場合ハ二十八年十月訓第七一七號御訓示ニ基キ其都度經伺ノ上補命致來候處其氏子區域内ニ於ル無格社々掌兼補ノ場合モ同様御指示ヲ待テ執行可致等ニ有之候得共縣下各無格社ハ社掌ヲ置カス其社所在地ノ氏神社即チ縣鄉村社ノ神職ヲシテ受持タシメ祭典其他諸般ノ社務奉仕致候ハ從來ノ慣例ニ有之候然ルニ去ル二十七年勅令第二十二號ヲ以テ何レモ社掌ヲ置クコトト相成候モ本縣ニ於テハ神職希望者ニ乏シク歷代奉仕ノ緣故アルモノヲ除キテハ到底其人ヲ難得總テ氏神社ノ神職ヲシテ兼務セシムルノ慣例ニシテ其實社掌ノ名稱ヲ付スルモ猶是迄受持タリシトキト同一ノモノニシテ他ニ專務ノモノヲ求ルハ望ム可ラサル實況ニ有之誠ニ不得止次第ニ有之候間今後經伺ノ上補命シタル訓導兼職ノ縣鄉村社々司社掌ニ限リ其氏子區域内無格社々掌ヲ兼務セシムル場合ハ其時々經伺ノ繁ヲ省キ便宜本官ニ於テ補命スルコトニ致度此段稟申候也

○小學校准訓導神職兼務處理方

(明治三十・五・十 靜岡縣へ普通學務局、內務省社寺局通牒) (普通甲第一三六二號)

本年四月二十九日三第一八三八號ノ二ヲ以テ小學校准訓導神職兼務ノ義ニ付伺出相成候處二十八年訓第七一七號內訓ハ准訓導ヲ包含セサルヲ以テ本件ハ貴官限處理相成可然伺書返戻依命此段及通牒候也

○神職又ハ寺院住職等ト小學校訓導ト交互兼務伺出ノ場合ニ於テ生徒數學級數教員配置數等具申方

明治二十八年十月十日付內務文部兩大臣ノ內訓ニ依リ神職又ハ寺院住職等ト小學校訓導ト交互兼務ノ件御伺出ノ節ハ本人在職學校ノ生徒數學級數教員配置數等併セテ具申相成度(明治三一・五・二〇 各地方廳へ通牒)

○小學校教員父母ノ祭日ニ休暇方

(明治三一・九・一四 三重縣問合) (明治三一・九・二九 普通學務局回答) (內三往甲第三九九號) (成普甲一五〇八號)

【問】 諸官員父母祭日ニハ休暇ヲ賜リ候旨明治六年九月第三百十八號公達有之候處小學校教員ニ對シテハ何等規定無之右ハ正教員ハ判任官同一ノ待遇ヲ受クルモノニ付諸官員同様休暇ヲ賜リ候儀ト被存候得共準教員ニ付テハ稍依準シ難キ哉ニ被存去地均シク教員ニシテ取扱二途ニ出テ候モ亦不穩當ナル哉ニ被存疑義ニ涉リ候間何分ノ御意見御回示ニ預度此段問合候也

【答】 右ハ正准教員トモ休暇ヲ與ヘラレ可然經伺ノ上此旨及御回答候也

○小學校教員商會社取締役ニ就任取扱方

(明治三二・九・一八 福岡縣問合) (明治三二・九・十 普通學務局回答) (三三五五六號 亥普甲一九六六號)

【問】 小學校教員ニシテ商業ヲ營マントスルトキハ二十四年貴省令第二十一號小學校長及教員職務及服務規則第七條ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受ケシムヘキ規定ニ候處度々營利會社ノ重役ニ選舉セラレ就任セントスルモノアリ右ハ商業ヲ營ムモノト認メラレサルヲ以テ許可ヲ受ケシムルニ及ハサルモノノ如シ然ルニ二十年勅令第三十九號官吏服務紀律第七條ニ官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ストアリ又同第十七條ニ本紀律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ストアルノミナラス十六年五月貴省號外達ニ官吏懲戒例竝ニ行政官吏服務紀律等ノ義ハ府縣立町村立學校長教員及府縣立學校書記ヘモ適用スヘキ旨示達相成候ニ付テハ小學校教員タル者ハ官吏服務紀律ノ支配ヲ受クルハ勿論タルヘク被認候果シテ然ラハ官吏服務紀律第十一條ニ規定アルモノヲ重テ小學校長教員職務及服務規則第七條ニ規定セラルルノ必要モ無之被考彼是疑岐ニ涉リ候條至急何分ノ御回報相煩シ度右小學校長及教員ノ職務及服務ニ關シテハ二十四年文部省令第二十一號ヲ以テ別段ノ規程ヲ定メラレタルニ就テハ官吏服務紀律及十六年文部省號外達ハ小學校長及教員ニハ適用スルノ限ニ無之又商會社ノ取締役ニ就任スルハ二十四年文部省令第二十一號小學校長及教員ノ職務及服務ニ關スル規則第七條ニ依リ許可ヲ受ケシムヘキ儀ト存候

○小學校長ノ任用及職務執行方

(明治三三・九・一八新潟縣照會) (普通甲四一四七號) (普通學務局回答)

【問】市町村立小學校ニハ必ス正教員ヲ配置シ學校長ヲ兼ネシムルハ本體ニ有之候處現今各府縣之狀態ニ依レハ正教員ノ數不足ノ爲メ悉ク之ヲ配當スルコト能ハサル等ノ事情ヨリ是迄一時准教員ヲ任用シ正教員ニ代リ教授セシメ來候モノ多數可有之然ルニ今回發布ノ小學校令施行規則ニハ右正教員代用ノ制被相廢候ニ付從來ノ正教員代用准教員ハ自然廢職ノ委ニ相成候間不得止直ニ準教員ニ任用シ教授上ノ差支ハ無之様取計候得共右等ノ學校ニ對シ悉ク正教員配當スルハ實際甚困難ニ有之故ニ當分正教員缺員ノ學校モ往々可有之ト存候處施行規則第二十八條ノ三大節儀式ノ如キ其他當然學校長ニ於テ可取扱職務ヲ一時準教員ニ爲取扱差支無之義ニ候哉又學校長ハ單級小學校ニ於テモ壹名ノ正教員ニ兼務相命スヘキモノニ有之候哉右兩件至急得意見承知致度此段及御照會候也

【答】右ハ兩件共御見解ノ通ニ有之候條御了知相成度此段及御回答候也

○小學校長及教員小學校教員養成所夜學會等ノ講師トナリ報酬謝儀ヲ受クル者ノ取扱方

【問】市町村立小學校長及教員ハ小學校令施行規則第三百三十八條ニヨリ府縣知事ノ認可ヲ經ルニアラサレハ給料ヲ受ケテ他ノ事務ヲ行フコトヲ得サル規程ニ有之候處報酬又ハ謝儀ヲ受ケテ小學校教員養成所又ハ夜學會等ノ講師トナリ本職服務時間中若ハ時間外ニ於テ教授ニ從事致候モノハ給料ト同視シ取扱差支無之候哉(明治三四・十・六・香川縣照會)

【答】右ハ御見込ノ通ト存候(明治三四・十・一九・普通學務局回答)

○甲小學校分教場ヲ設置シ正教科教授時間外教授ノ特別學級擔任ヲ乙小學校教員ニ兼務差支ナシ

【問】小學校令施行規則第三十五條ノ本科正教員ヲシテ他ノ小學校長又ハ學級擔任ノ教員ヲ兼務セシムル儀ハ不相成旨豫テ御通牒ノ次第モ有之候處二箇以上ノ小學校ヲ有スル市町村ニ於テ小學校令第三十三條第三項ニ依リ就學ノ猶豫免除ヲ必要トスル兒童ヲ猶就學セシムル爲メ通學ノ便ヲ圖リ甲小學校ニ分教場ヲ設置シテ之ニ教員ヲ住居セシメ小學校ノ教

授時間外ニ教授スル特別ノ學級ヲ編制シ小學校令施行規則第三十五條第二項ノ例ニ依リ之カ爲メ特別ノ教員ヲ配置セシメ現任指導ニ之カ教授ヲ擔任セシメントスル場合ニ於テ當該學校指導中ニ適當ノ者ヲ得難キタメ止ムナク之ニ最モ接近セル乙小學校ノ學級擔任教員中ニ於テ適任ト認メラル者ヲ當該學級ノ擔任教員若ハ補助正教員兼務ヲ命シ又ハ補助正教員ニ特別學級ノ擔任教員兼務ヲ命スルハ教授上ノ支障モ無之便宜ノ措置ト被認候モ尙御通牒ノ通兼務不相成儀ニ有之候哉(大正三・九・一一・鳥取縣照會)

【答】小學校令施行規則第三十五條第二項ノ規定ハ本校又ハ分教場ノミニ關スルモノニシテ本校及分教場ノ學級ヲ合ハセタルモノニ適用スヘキ限リニ無之候 追テ小學校令及同施行規則ノ規定ニ依ラサル特別學級ヲ設置セラレ候場合ハ其事由及教科目毎週教授時數修業年限各學級學年別兒童數等ヲ具シ豫メ御伺出相成度(大正三・一・二三・普通學務局回答)

○工業科員養成ノ卒シ小學校指導ニ他學校授業囑託ハ專科勤務者アレハ差支アシ

【問】中學校等ノ教員ニシテ已ニ六週間現役ヲ終リタル者ト雖モ小學校指導ヲ兼務セシムルコトハ許スヘキ限ニ無之旨明治三十九年十一月ノ御通牒モ有之候へ共右ハ小學校指導ニシテ他ノ學校ノ教員ヲ兼務スルコトヲ禁止セルモノニ無之ニ付小學校本科正教員ニ正教科教授時間中他ノ學校ノ教員ヲ兼務若ハ囑託等致候テモ差支無之哉

【答】右ハ專科勤務者ニシテ他ノ學校ノ授業ヲ囑託セララル儀ニ有之候ハハ別ニ差支無之(大正六・四・一八・普通學務局回答)

○小學校長兼務ハ省議上併設又ハ附設ノ外認メス

【問】小學校長ヲシテ勤務ニ差支無キ限リ該小學校ニ併設ニアラサルモ近接シタル實科高等女學校其ノ他ノ學校(例へハ徒弟學校ノ如キ)長ヲ兼務セシムルハ差支無之候哉至急何分ノ御回報相成度候也

【答】右ハ併設又ハ附設ニアラサル限リ認メサル省議ニ有之候條御了知相成度此段及回答候也

○私立盲學校及聾啞學校校長學校代表者及教員ハ認可ヲ受クルヲ要ス

〔其一〕 從來私立盲學校及聾啞學校ノ校長若ハ學校ヲ代表シ校務ヲ管理スル者ハ貴官ニ於テ之ヲ認可シ其ノ都度本省ニ報告スルコトニ相成居タル處自今盲學校及聾啞學校令ニ依リ設置セル私立學校ノ校長若ハ學校ヲ代表シ校務ヲ管理スル者ノ認可ニ就テハ本省大臣ニ申請セシムルコトニ省議決定相成タルニ付御了知相成度 追テ現在校長若ハ學校代表者ノ職ニ在ル者ニ就テハ別ニ手續ヲ要セサルニ付御相成度

〔其二〕 從來私立盲啞學校教員ニシテ相當ノ教員免許狀ヲ有セサル者ハ私立學校令第五條ニ依リ貴官ニ於テ之ヲ認可セラレタル處去ル大正十二年八月盲學校及聾啞學校令公布セラレタル結果公立私立盲學校及聾啞學校規程第十條並第十一條ノ各號ニ該當セサル者ハ私立學校令ニ依リ本省大臣ノ認可ヲ受クルヲ要スルニ付右御了知ノ上關係者ニ夫々御通達相成度

○小學校教員市町村會議員ニ就任ハ望マシカラス

〔昭和四・四〕 (大阪府照會) (昭和四・四・一) 普通學務局回答

〔問〕 小學校教員市町村會議員ニ當選シタルトキ地方長官ハ之ヲ認可スヘキヤ否ヤ疑義ニ付折返シ御指示ヲ乞フ (電文)

〔答〕 小學校教員現職ノマ、町村會議員ニ就任スルハ望マシカラス

○小學校教員ノ市會議員立候補ハ退職ヲ豫當トス

〔昭和四・四〕 (和普一八) 普通學務局回答

〔問〕 小學校教員ニシテ現職ノ儘或政黨ニ公認セラレ市會議員ニ立候補スルハ法規上差支ナキヤ至急御指揮ヲ乞フ (電文)

〔答〕 市會議員ニ政黨公認立候補スル小學校教員ハ退職セシムルヲ豫當ト認ム

○要任官待遇小學校長叙勳取扱方

〔熊本縣照會〕 (昭和七・八・二) 九回答及各地方廳へ普通學務局通達

〔問〕 現在本縣公立小學校訓導兼校長ニシテ八月一日高等官七等待遇トナリタルモノノ中判任待遇トシテ敘勳年限ニ達シタルモノ有之候處右ハ本職タル公立小學校訓導トシテ敘勳内申差支ナキヤ又ハ全然要任待遇トシテノ取扱ヲ爲スヘキモノナルヤ今後ノ取扱上ノ參考ニ資シ度候條何分ノ御指示相煩度此段及照會候也

〔答〕 右ハ本職タル公立小學校訓導トシテ敘勳内申差支無之ニ付御了知相成度

(三) 師範學校中學校高等女學校實業學校

○高等師範學校卒業生ニシテ服務義務ヲ有スル者ニ對シ退職ヲ命セラルル際ニハ先以テ猶豫又ハ免除ノ手續ヲ經シムルヲ要ス

〔明治四五・三・十四〕 各地方廳へ普通學務局通達

高等師範學校女子高等師範學校東京美術學校圖書師範科東京音樂學校甲種師範科等卒業生ニシテ服務年限中自己ノ便宜ニ依リ退職ヲ願出候者ニ對シ往々其ノ儘退職ヲ命セラレ候向モ有之候處右ハ服務義務ヲ履行セシムル上ニ支障不助候條爾今右様ノ者ニ就テハ夫々卒業生服務規則ノ定ムル所ニ從ヒ服務義務ノ猶豫又ハ免除ヲ出願セシメラレ許可ヲ得タル後御處置相成度

○師範學校卒業生服務義務期間ハ卒業ノ日ヨリ起算シ期間内休職退職ヲ命セシ場合ハ服務中斷ニシテ免除ニ

アラス

〔大正三・四・二九〕 新潟縣照會 (大正三・五・一) 普通學務局回答

〔學收第一六〇六號〕 新編縣照會 (新普四五) 普通學務局回答

〔問〕 師範學校規程第六十一條各號ノ期間ハ卒業生カ小學校教員トシテ實際教職ニ從事シタル年月ヲ以テ計算スヘキモノニ可有之哉又ハ單ニ卒業ノ日ヨリ起算シ各其期間内ハ知事ノ命ニ從ヒ教員ノ職ニ從事スル義務アリトスルニ止マル義ニ候哉若シ後段ノ如ク解スルトセハ右期間内ニ於テ病氣等ノ事由ニ依リ休職又ハ退職ヲ命シタルモノハ其休職又ハ退職後ノ殘期間ハ當然師範學校規程第六十六條ニ依リ服務義務ヲ免除シタルモノト看做シ取扱可然哉

〔答〕 右ハ後段御見解ノ通りニ有之又休職若ハ退職ヲ命セラレタル場合ノ殘期間ハ服務義務ヲ盡スコトヲ得サル情態ニアルモノニシテ義務ヲ免除セラレタルモノト解スヘキ筋ニ無之ト存候條御了知相成度此段及回答候也

○師範學校卒業生ノ一年現役兵トシテ服役シタル期間ハ服務義務期間ニ算入ス

〔問〕 師範學校卒業生ノ服務義務期間計算上一年現役兵トシテ服役シタル期間ハ休職者ノ場合ト同シク服務義務ヲ盡スコト



ヲ得サル情態ニアルモノニシテ其ノ義務ヲ盡シタルモノニアラサルヲ以テ除算スヘキモノト認メ候得共聊カ疑義有之候條御意見承知致度此段及照會候也(大正一五・一一・一八・奈良縣照會)(大正一五・一二・一七・普通學務局回答)

【答】 右ハ一年現役兵トシテ服役シタル期間ハ服務義務期間ニ算入スヘキモノニ付御了知相成度

○師範學校卒業生ニシテ一年現役又ハ五ヶ月現役ニ服シタル期間ヲ服務義務期間ニ算入方疑義

【問】 師範學校卒業生ニシテ一年現役ニ服シタル場合ノ期間ハ元師範學校規程第六十二條ノ二ヲ以テ服務義務期間ニ算入セ

サルコトニ定メラレ居候處現行規定ニハ之ヲ削除シ且ツ經過規定トシテモ何等之ニ及フ所無之ハ現行規定ニ依リ元認メラレサリシ一年現役服役中ノ期間ヲ初メ五ヶ月現役ニ服シタル期間ハ共ニ有効期間ニ算入セラルルコトナリタルモノト解シ可然哉差迫リ必要有之候條折返シ何分ノ御教示相成度(昭和二・九・一三・和歌山縣照會)  
【答】 右ハ御見解ノ通ニ付御了知相成度(昭和二・九・二一・普通學務局回答)

第二十九 懲 戒

(一) 總 規

○懲戒免官免職者懲戒免除方

(明治三〇・二・二七 內閣書記官通譯直轄各部へ通譯)

先般 皇太后陛下崩御ニ付一般罪囚ニ對シテ減刑ノ恩命ヲ下サレ臺灣住民ノ或ル罪囚ハ一併赦免セラレ定役ニ服スヘキ囚徒ハ一般ニ數日間ノ定役ヲ特免セラレ又陸海軍懲罰令ニ依リ懲罰施行中ノ者亦赦免ノ恩命ニ浴スルニ至レリ而シテ懲戒處分ニ依リ免官免職セラレタル者ニ對シテハ未タ何等恩典ノ及フモノナシ抑モ官吏ノ懲戒ニ依リ免官職セラレタル者ハ其ノ當然ノ結果トシテ恩給及退官賜金ヲ受クルノ資格竝ニ二箇年內ハ再ヒ官吏ニ任用セラル、資格ヲ失ヒ或ハ位記返上ヲ命セラレ或ハ各種ノ榮章等ヲ受クルヲ得サルカ如キ其ノ他軍人ニ對シテハ特殊ノ不能力ノ伴フアリテ憫諒スヘキ情狀少シトセス依テ憲法上文武官任免ノ大權ニ基キ此際勅令ヲ以テ右ノ者ノ懲戒ヲ免除セラレ可然ト思考ス而シテ右免除ノ效果中重要ナルモノニ就テハ左項ノ通豫ノ閣議決定セラレ可然ト認ム

- 一、恩給及退官賜金ヲ受クル資格ヲ復スルコト
- 二、何時ニテモ再ヒ任官スルノ資格ヲ復スルコト
- 三、勳記章等拜受ニ關スル不能力ヲ除去スルコト
- 四、官職ハ無論之ヲ復セサルコト
- 五、停職滿期ニ依リ豫備役ニ入りタル武官ハ本件免除ノ結果トシテハ現役ニ復セサルコト但滿期ニ至ラサル者ハ陸軍ニ在テハ休職トス海軍ニ在テハ待命トスルコト、停職中減給シタル俸給ハ之ヲ追給セサルコト、停職中ノ年月數ハ實役停年ニ通算セサルコト、陸軍下士上等兵看護手並樂手補ノ懲罰ニ依リ官職ヲ失ヒタルモノ六ヶ月ノ後ニ至レハ行政ノ處分ヲ以テ復任

シ得ルノ規定(懲罰令第十五條)ナルモ今回懲罰處分ヲ免セラル、上ハ六ヶ月ヲ待タスシテ直ニ復任スルコトヲ得ルコト  
六、返上シタル位記等ハ新ニ敘賜セラル、ハ格別免除ノ結果トシテハ之ヲ復セサルコト

○三十年勅令第十四號懲戒懲罰免除ノ解釋

(明治三〇・七・二四内閣通牒直轄各部へ通知)  
内閣 送 二 三 號

本年勅令第十四號ノ解釋ニ關シ左ノ通閣議決定セリ

- 一、勅令第十四條ハ既往ニ溯テ效力ヲ有ス故ニ懲戒懲罰ヲ免セラレタル者ハ各其當時ノ規程ニ依リ恩給退官賜金等ヲ受クルヲ得ヘシ從テ將來ニ向テノ懲戒ヲ免セラレタル大津及下ノ關事變關係ノ免官者ノ如キ亦右勅令ノ結果ニ依リ既往ニ溯リ恩給又ハ退官賜金ヲ受クル資格ヲ回復スルコト
- 二、本年一月十二日以前ノ懲戒懲罰免官職者ハ其後再任シタルト否トニ拘ハラズ恩給退官賜金等ヲ受クルヲ得ヘシ其再任後退官職シタル者ニ在テハ其前官職在職年數ヲ恩給ヲ受クヘキ年數ニ通算シ又ハ退官賜金ヲ受クヘキ年數トシテ計算シ其再任セサル者ニ在テハ免官職前ノ在職年數ヲ恩給又ハ退官賜金ヲ受クヘキ年數トシテ計算スヘシ但シ其恩給ニ付テハ官吏恩給法第十三條第二項ノ例ニ準シ支給スヘシ又軍人恩給モ亦同様ニ解釋支給スルコト
- 三、恩給權發生ノ時機ハ勅令第十四號公布ノ日トシ恩給支給ノ期ハ右勅令公布ノ翌月ヨリ始マルモノトス從テ恩給請求期間ハ同日ヨリ起算スルコト又會計法ノ滿期免除モ亦同日ヨリ起算スルコト
- 四、退官賜金(一時賜金滿年賜金亦同シ)モ前項ト同一ノ理由ニ依リ此際支給スルコト
- 五、懲戒懲罰ノ免官職ノ爲メ在職年數成規ノ年數ニ滿タサルヲ以テ退官賜金又ハ一時賜金ヲ受ケタル者其ノ免官職前ノ在職年數ヲ通算シテ成規ノ年限ニ達スルトキハ勅令ノ結果ニ依リ更ニ恩給ヲ受クルノ權アルコト  
右ノ場合ニ於テ一旦受ケタル退官賜金等ハ之ヲ返納セシムルヲ要セサルコト
- 六、懲戒懲罰免官職セラレタル者其在職年數ヲ除算シテ現ニ恩給ヲ受クル者ハ今回之ヲ通算シ恩給ヲ増給スルコト退官賜金等モ從前除算ノ分ヲ追加支給スルコト

等モ從前除算ノ分ヲ追加支給スルコト

- 七、巡查看守ノ給助金ハ即チ恩給ニ外ナラサレハ恩給同様之ヲ支給スルコト
- 八、懲戒懲罰免除前ニ死亡シタル者ノ遺族ハ扶助料又ハ扶助金ヲ受クルヲ得ス尤モ免除ニ依リ恩給ヲ受ケタル者ノ遺族ハ此ノ限ニアラス
- 九、懲戒懲罰免官職ニ係ル在職年數ヲ敘位敘勳ノ年數ニ算入スルコト 其他位階勳章記章ニ關シテハ懲戒懲罰處分ヲ受ケタル者トシテ詮議セラレヘキコト
- 十、勅令第十四條ハ懲戒懲罰ニ依レル免官職並ニ停職ノ場合ニ限ル故ニ罰俸譴責其他ノ處分ヲ含マサルコト
- 十一、罰俸譴責等ノ爲メ勤務年數ヲ除算スルノ規程敘位敘勳内則中ニ在リ右ハ免官職停職者トノ權衡ヲ得セシムル爲メ別ニ閣議決定ノ上勅裁ヲ經テ内規ノ除外の處分ニ出ルコト但シ右請議ハ各主務大臣ヨリ提出スルコト
- 十二、勅令第十四號ハ刑罰ニ依レル免官、舊刑律ノ罰俸謹慎等ニ關係ヲ及サス
- 十三、或ハ調査ノ途ナキ爲メ折角ノ恩典ニ漏ル、者ナキヲ保セス又勅令ノ爲メ懲戒懲罰處分ヲ受ケタル者ノ方却テ幸福ヲ得ルカ如キノ場合ナキヲ保セス(例之休職者ト懲戒懲罰者トノ關係ノ如シ)右ハ孰レモ不得止ノ事ニ屬スレトモ彼是ノ間可成遺漏又ハ不權衡ノ措置ナキ様留意スルコト

○出納官吏ノ辨償責任恩赦ニ關スル疑義

(大正元・一・一五内閣通牒)  
内閣 送 三 三 號

本年勅令第四十一號ニ關スル疑義ノ件ニ付別紙ノ通通信次官ヨリ照會有之次ノ通回答致置候間爲念及通牒候也

【問】 今回公布相成候勅令第四十一號出納官吏ノ辨償責任恩赦ノ件ニ付左ノ事項貴見承知致置度候

- 一、該勅令ニ所謂出納官吏ノ中ニハ明治三十三年十一月勅令第四百八號ニ所謂「出納員」ヲモ含ムモノト解シ可然ヤ
  - 二、同但書ニ所謂本人ノ債務トハ當該債務ハ本人限リニテ其承繼人ニハ及ハサルモノト解シ可然ヤ
- 【答】 一、大正元年勅令第四十一號ノ出納官吏中ニハ明治三十三年勅令第四百八號ノ出納員ヲ含ムモノト解シ可然

二、同但書ハ犯罪行為者タル出納官吏本人カ現ニ負擔スル債務ハ免除セサルモ其ノ承繼人ノ負擔スル債務ハ之ヲ免除スル趣意ナリ

○出納官吏ノ辨償責任免除ニ關スル取扱方

(大正元・一一・一九 會計検査院通牒) 送 第九三號

本月六日勅令第四十一號ヲ以テ出納官吏ノ辨償責任免除ノ件發布相成候ニ付テハ右ニ關シ本院取扱方左記ノ通一定致候條貴省へ委託ニ係ル計算ノ検査判決上ニ於テモ之ニ準シ御取扱相成度此段及通牒候也

一、検査判決ノ結果既往ニ於テ債務ヲ有スルモノニシテ本勅令第四十一號ニ依リ今回債務免除トナリタルモノニ對シテハ認可狀ヲ交付セス 二、將來計算検査上本勅令ノ免除ニ該當スルモノアルトキハ其實事ヲ判定シ之ヲ關係書類ニ記載シ置クニ止メ直ニ認可狀ヲ交付スルモノトス 三、會計規則第八十八條ニ據リ本勅令發布前辨償ヲ命セラレ既ニ辨償(一部ナルト全部ナルトヲ問ハス)ヲ了シタルモ出納官吏免責ノ理由アリトシ本院ノ判決ヲ求メタル事項ハ本勅令ノ免除ニ該當スルモノト雖モ之ニ對シ判決ヲ爲シ本廳長官ニ通牒スヘキモノトス 但其責任ノ場合ニ於テハ辨償判決ノ金額ハ既納辨償額ヲ限度トス 四、本月七月三十日以前ヨリ其以後ニ涉リ繼續セル事由ニ因リ債務ヲ負フヘキ場合ニ於テハ其前後ヲ區分シ七月三十日以前ノ事由ニ因ルコト明ナルモノヲ除キ其以後ニ屬スルモノニ對シテノミ判決スルモノトス

○恩赦及懲戒處分ノ效果ニ關スル疑義

(大正元・一一・一二 內閣へ照會) (大正二・九・一九 內閣通牒) 官會六二・九號 文甲二六號

【問】 本年十月勅令第三十號ヲ以テ官吏又ハ官吏待遇者ニシテ懲戒又ハ懲罰ヲ受ケタル者ニ對シ將來ニ向テ其懲戒又ハ懲罰ヲ免除スル件公布相成候處恩赦又ハ退隱料等ノ給與ニ關シテハ懲戒處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタル者ノ在官又ハ在職年月數ハ再官職ニ就キ適法ニ退官又ハ退職シタル場合ニハ其在官又ハ在職年月數ト通算シ恩赦又ハ退隱料等ヲ給與シ得ヘキ儀ト心得可然歟此段及照會候也

【答】 恩赦令及大正元年勅令第三十號ニ於テ恩赦又ハ免除ハ將來ニ向テ之ヲ行フコトヲ明記シ既成ノ效果ヲ變更スルコトナ

キ旨ヲ明示スルニ拘ラス尙右ノ效力ニ付照會ノ向モ有之候處其ノ疑義ノ諸點ニ關シテハ左記ノ通解釋スヘキモノニ候

- 一、恩給、退隱料、退官賜金、給助金又ハ退職給與金ヲ受ケル資格ハ恩赦又ハ免除ニ因リテ復活スルコトナシ
- 二、恩赦又ハ免除ヲ受ケタル者ノ遺族ニハ扶助料ヲ受ケルノ權利ヲ發生スルコトナシ
- 三、恩赦又ハ免除ヲ受ケタル者再任スルモ免官、免職、失官、失職以前ノ在官在職年月數ハ恩給又ハ退隱料ノ年數ニ通算セス
- 四、懲戒免官ニ處セラレタル者二年間官職ニ就クコトヲ得サルノ制限ハ免除ノ日ヨリ消滅ス
- 五、履歷書中ニハ刑事裁判、懲戒、懲罰ヲ受ケタルコト及恩赦、免除アリタル旨記載スヘキモノトス

(一) 小學校教師範學校

○明治三十年勅令第十四號ニ依リ小學校教員懲戒免除ノ範圍

(明治三〇・二・二六 奈良縣伺) 乾 第一九五號

【問】 本年勅令第十四號ヲ以テ懲戒懲罰免除ノ件御公布相成候處右ハ教員免許狀ヲ褫奪セラレタルモノニ適用スヘカラサルカ如シト雖是亦懲戒處分ニ外ナラサルヲ以テ等シク此恩典ニ浴セシメ更ニ甲種檢定ニ依リ免許狀ヲ授與シ差支無之儀ト被考候得共疑義ニ涉リ候間何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

【答】 右ハ免許狀ヲ褫奪セラレタル者ニ關シテハ職務罷免ニ伴ヒテ失ヒタル退隱料ヲ受ケル資格ヲ復スルノ外甲種檢定ニ依リ免許狀ヲ授與スルコトヲ得サル儀ト心得ヘシ(指令)(明治三〇・四・五 各地方廳へ通牒)

○手續書ヲ徵セス市町村立小學校教員懲戒免職方

(明治三〇・七・八 富山縣照會) (明治三〇・七・一五 普通學務局回答) 內發第一二六二號 普通甲第二二九號

【問】 現任小學校訓導ニシテ病氣缺勤中正當ノ手續ヲ經ス竊ニ他府縣へ轉任シタル者有之其顛末寄留地名古屋市長ヨリ本籍町長へノ通牒ニヨリ事績明瞭ニ付懲戒免職ノ處分ヲサントスルニ當リ明治二十四年十一月文部省令第二十二號第二條ニヨリ本人ヨリ手續書ヲ徵セントスルモ事ヲ左右ニ托シ應セサル場合ニ於テハ殊ニ手續書ヲ徵セサルモ事實明瞭ナ

ル上ハ一般教員取締上ノ關係モ有之儀ニ付直ニ處分致シ可然ト存候得共右懲戒ニ關スル御省ノ規則モ有之儀ニ付一應及御打合候條直ニ何分ノ儀御回報相成度此段及照會候也

【答】 右ハ御意見ノ通ニテ差支無之ト存候條此段及御回答候也

○小學校教員罰俸處分並徵收方

(明治三一・五・一二 和歌山縣照會) (明治三一・六・三〇 普通學務局回答)

【問】 小學校教員ニシテ懲戒處分ニ依リ罰俸ニ處シタルモノ、罰俸徵收方ニ關シ明治二十八年十一月當縣內三第六四二八號一照會ニ對シ同月十八日付(普通)甲第二〇八九號ヲ以テ御回答ノ次第有之候處尙左記疑義ニ涉リ候ニ付及照會候也

第一項 當縣ニ於テハ傷痍疾病等ニ依リ職務ヲ缺クコト六十日ヲ超ヘルトキハ俸給ノ支給ヲ停止スルノ規定ニ有之候處停給中ト雖モ懲戒處分ヲナスノ必要ニ依リテハ罰俸ニ處スルノ宣告ヲ爲シ得ヘキヤ

第二項 前項罰俸ノ宣告ヲ爲シ得ヘキモノトセハ其罰俸ノ徵收ハ他日復給シタルトキヨリ起算シテ徵收スヘキヤ將タ停給中ト雖モ懲戒宣告ノ時ヨリ起算シ停給中ニ屬スル分ハ之ヲ徵收セスシテ可ナルヤ

【答】 右第一項ハ御見解ノ通第二項ハ前段御見解ノ通ト存候此段及回答候也

○小學校教員刑事被告中懲戒處分取扱方

(明治三一・九・二七 秋田縣同) (明治三一・十・十 指會)

【問】 小學校教員ヲ懲戒處分セントスルニハ二十四年貴省令第二十二號第一條ニ依リ其處分スヘキ行爲ニ關スル手續書ヲ本人ヨリ徵スヘキ儀ニ有之候條其行爲ノ刑事ニ關スルモノ假令ハ恐喝取財又ハ賭博等ニテ警察官ノ偵知又ハ發見スル所トナリ檢事ニ送致セラレ又ハ拘留セラレタルモノ有之右様之者ハ一日モ教員ノ籍ニ列セシムル能ハサルモノニ付司法裁判ノ確定ヲ待タス懲戒免職ノ處分ヲ行ハントシ本人ヨリ手續書ヲ徵スルモ本來前條ノ如キ罪ヲ犯ス者固ヨリ其事實ヲ記載スヘキ様無之候ニ付テハ已上ノ如キハ教員タルノ體面ヲ汚辱スルモノトシ別ニ手續書ヲ徵セス直ニ處分致候テ差支無之候哉至急何分之御明示相成度此段相伺候也

【答】 右ハ一應手續書ヲ徵シ本人事實ヲ隱蔽シテ云ハサルモ事實相違ナキニ於テハ直ニ處分スヘシ

○罰俸ニ處セラレシ正教員恩給基金納付方

(明治三一・八・一三 鳥根縣照會) (明治三一・十・十 會計課同答)

【問】 正教員ハ給料額百分ノ一ニ當ル金額ヲ恩給基金トシテ納ムヘキ義ニ有之候處其職務上懲戒處分ヲ受ケ罰俸ヲ科セラレタルモノアランニ罰俸ハ奪取セラレタルモノニシテ本人ノ納ムルモノニアラサルヲ以テ其奪取セラレタル月ニ限り減俸セラレタルモノト齊シク隨テ恩給基金モ亦實收額ニ依リ計算シ納入可然存候處如何ヤ及照會候也

【答】 右ハ御意見ノ通り御取扱可然經省議此段及御回答候也

○小學校訓導賞與辭退等ノ爲懲戒處分方

(明治三二・一・二〇 鳥取縣開申) (明治三二・二・二〇 普通學務局何定)

某者縣下東伯郡久米高等小學校訓導在職ノ處本月十八日左記ノ通處分致候此段開申候也

【問】 明治三十一年二月八日ヲ以テ行タル賞與ヲ辭スルニ依リ懇篤辭退スヘカラサル旨ヲ示諭セシメタルモノ之ニ服セス更ニ辭退書ヲ提出シ暴慢詭罵以テ無禮ヲ極メタルハ職務上遵奉ス可キ指命ニ違背シタルモノニシテ不都合ニ付本職ヲ免ス

【答】 本件ハ訓導某ガ(一)賞與ヲ辭退シタルト(二)辭退書中敬禮ヲ缺キタル字句アルカ爲ニ小學校令ニ照シ懲戒免職ニ處シタルモノナリ仍テ審按スルニ(一)該賞與ハ知事カ法令ノ規定ニ依リ職務上特別ノ義務アル者ニ對シ贈與ヲ爲スモノナリ受贈者ニ於テ之ヲ受ケサルコトヲ得ルモ公法上ノ給與ハ命令ニ依リ職務上特別ノ義務アル者ニ對シ贈與ヲ爲スモノナルカ故ニ受給者ハ之ニ對シ辭退スヘカラサルモノトス從テ其辭令ヲ受領スルヲ肯ンセサルハ職務上遵奉ス可キ指命ニ違背シタルモノト見做サ、ルヲ得ス (二)辭退書中敬禮ヲ缺キタル字句ヲ用ヒタルハ小學校令第六十四條ニ該當スルモノトス(懲戒ノ輕重ニ關シテハ評願スヘキ限ニアラス)右ノ事由ニ依リ懲戒處分ハ適法ト認ム第一項ハ前例ニナキ事項ニ付故ニ其事實及理由ヲ具シ仰高裁

○罰俸處分未終了ノ小學校教員退職者ニ係ル罰俸徵收方

(明治三二・四・一七 秋田縣照會)

【問】 小學校教員ニシテ罰俸處分ヲ受ケ其全部之執行ヲ終ラサル内免許狀ノ有效期間滿了ノ爲自然退職トナリタル者有之候處右ニシテ他日再ヒ教職ニ就キタルトキハ其際ニ於テ殘部ヲ追奪シ得ヘキモノニ有之候哉將又退職ト同時ニ其處分消滅セルモノト心得可然哉聊カ疑岐ニ互リ候處右ハ差懸リタル儀ニ付電報ヲ以テ御回答相成度此段及照會候也

【答】 小學校教員退職者罰俸ノ件ハ免除セラレ然ルヘシ (電信) (明治三二・四・二七・普通學務局回答)

○小學校教員懲戒處分方

(明治三二・五・三 福島縣何) (明治三二・五・一六 普通學務局通牒) (學第七四一號) (支普甲八一九號)

【問】 小學校ニ於テ相當ノ資格アル教員ヲ滿タスコト能ハサル場合ニ於テハ不得已一時雇員ヲ使用セシメ其懲戒ハ明治九年六月八日付太政官番外達ニ依ルヘキモノト心得居候處本年勅令第六十三號ヲ以テ文官懲戒令ヲ改メラレタルニ付テハ右太政官番外達ハ廢止相成候ニ付該雇員ノ懲戒ハ文官懲戒令第三條及第六條ニ準シ本屬長官ニ於テ適宜處分可然儀ニ候哉相伺候條何分ノ御指揮相成度候也

【答】 右ハ文官懲戒令ニ依ルノ限ニアラサルニ付貴官限リ適宜御處分相成可然

○刑事被告事件ノ爲拘留中ノ小學校教員懲戒處分方 (明治三二・十・一九 大分縣照會)

【問】 小學校教員刑事被告事件ニテ拘留中ノモノニ懲戒處分ヲ要スルトキ手續書ヲ徵セントスルモ豫審判事之ヲ拒ム場合ニハ手續書ヲ徵セス懲戒處分ヲナシ差支ナキヤ (電信)

【答】 小學校教員懲戒處分ニ關スル件差支ナシ (電信) (明治三二・十・一九 普通學務局回答)

○小學校教員懲戒免職業務停止及免許狀視奪處分報告事項

(明治四三・十・二五 各地方廳へ普通學務局通牒) (戊辰普九七號)

小學校令施行規則第四百十六條ニ依ル報告方ニ關シテハ明治四十年十一月二十九日未發普四二〇號ヲ以テ通牒ノ次第モ有之候處爾今左記事項ヲモ併テ御報告相成度依命此段及通牒候也

一、本人ノ有セル小學校教員免許狀ノ種類 一、同上免許狀ヲ得タル出身學校 (師範學校第一部第二部中學校高等女學校

等) 又ハ檢定等ノ區別 三、同上卒業又ハ檢定ノ年月 四、學資及授業費償還ノ處分

○小學校教員免許狀全國共通ノ結果視奪者官報公告並報告方

(大正二・十・二 普通學務局何定並各地方廳へ同局通牒) (發普三〇六號)

過般小學校令中改正相成候結果小學校教員免許狀ハ全國ニ通シテ有效ト相成候ニ就テハ小學校令第四十九條第二項ニ依リ小學校教員免許狀ヲ褫奪シタル場合ハ自今本省ニ於テ官報ニテ公告可相成候條豫メ御了知置相成度此段及通牒候 追テ小學校教員免許狀褫奪ニ關シ御報告相成候際ハ明治四十三年十一月二十五日柄普九七號通牒事項ノ外本人ノ族籍及小學校教員免許狀ヲ授與シタル府縣名ヲモ併セテ御報告相成度尙他府縣ニ於テ授與シタル小學校教員免許狀ヲ褫奪セラレタル場合ハ其ノ免許狀ヲ當該府縣へ御返送相成度此段申添候也 (以上各地方廳へ通牒) (官報公告例略)

○傳達中ノ師範學校訓導ヲ小學校教員ニ轉任ヲ命シタル場合ハ其ノ懲戒ノ效力ハ消滅

【問】 本縣師範學校訓導半谷昨ハ大正十一年三月十九日擅ニ任地ヲ隨レテ上京シ其後同校長ヨリ數回歸校ヲ促シタルモ歸校セス七月六日ニ至リ漸ク歸校服務スルニ至リタルハ教員タルノ義務ニ違背シタル所爲ナリト認メ明治四十年五月勅令第七十七號ニ依リ文官懲戒委員會ノ審議ヲ經テ大正十一年八月分ヨリ六ヶ月間減俸ニ處シタリ 右ノ者市町村立小學校訓導ニ轉任ヲ命シタル場合減俸ノ效力ハ市町村立小學校訓導ニ轉任ノ後ト雖モ判任待遇者タル同一身分ノ存續スル間ハ右效力ハ繼續スルモノトシテ處理シ可然哉 (大正一一・九・一一 福岡縣照會)

【答】 右ハ轉任ヲ命シタルトキハ懲戒處分ノ效力ハ消滅スルモノトス但シ轉任ヲ命スルハ曩ニ懲戒シタル趣旨ニ反スルニ付考慮セラレタシ (口文) (大正一一・九・一一 普通學務局回答)

### 第三十 官等俸給旅費諸給與

#### (一) 總 規

##### ○學校職員ヨリ地方視學ニ轉任者旅費支給方

(明治三〇・八・一四 宮崎縣令) (明治三〇・八・二四) 指合  
發四第四五七號

〔問〕 學校職員待遇ニ付テハ明治二十四年御省訓令第六號ノ次第モ有之候得共右職員ヲ文官ニ任用ノトキハ通常文官ノ轉任ニ於ケル赴任旅費ヲ支給セス新任相當ノ旅費ヲ支給スル義ニ有之候處(明治二十五年七月愛媛縣知事ヨリ內務大臣ヘ伺同年八月六日內務書記官回答ニ依ル)地方視學ハ其資格ニ付特定ノ條件モ有之多ク學校職員ヨリ任用ヲ要スルモノニシテ通常文官ニ任用スルトハ關係自ラ相異ナリ候義ニ付右任用ノ場合ハ赴任旅費支給致シ可然哉此段相伺候也

##### ○公立學校教員兼務者ニ俸給等給與方

(明治三一・八・三〇 福岡縣令) (明治三一・十・一三 文部次官回答)  
丙第九三四號 戊若甲一三七七號

〔問〕 爰ニ公立學校教員ニシテ他ノ公立學校教員ヲ兼務スル者有之候處右ハ同一經濟ナルト否トニ拘ハラヌ兼務ノ學校經費ヨリ俸給若クハ手當ノ名義ヲ以テ相當ノ金員ヲ給與セシムル義ハ差支無之哉

##### ○府縣立學校教員俸給分割支給並兼務俸給支給方

(明治三一・十二・二五 各地方廳ヘ高等普通、實業學務局通達)  
戊若甲一五四二號

府縣立學校教員ニ他ノ府縣立學校教員ヲ兼務セシメ又訓導ニ同一學校ノ助教諭兼務ヲ命シタル等ノ場合ニ於テ其俸給ヲ分割支給シ又ハ兼務ニ對シ別ニ俸給ヲ支給スル儀ハ從來不相成例ニ有之候處右ハ實際必要ノ場合ニ於テハ其俸給ヲ分割支給シ又

##### ○休職者免官方並休職給及減俸給支給方

(明治三二・八・八 內閣通達直轄各都ヘ通知)  
職一三〇七號

ハ兼務ニ對シ別ニ俸給ヲ支給スルモ差支ナキコトニ更ニ省議決定相成候條爲御參考此段及御通達候也

第一、文官分限令ニ依リ休職ヲ命セラレタル者ハ同令第十七條及高等官官等俸給令第十六條ニ依リ當月分ノ俸給金額ヲ支給ス可キモノトス 第二、文官懲戒令ニ依リ減俸ニ處セラレタル者其期間内ニ於テ休職ヲ命セラレタルトキハ其減俸期間中殘額ノ三分ノ一ヲ休職給トシテ支給ス可キモノトス 第三、減俸處分ノ期間中俸給ニ増減アリタルトキハ處分當時ノ俸給ニ拘ラス總テ其現ニ受クル俸給額ニ依リ減俸スヘキモノトス 第四、休職者疾病ニ罹リ其職ニ堪ヘサルニ依リ免官ヲ出願シタル時ハ文官分限令第三條第一項第二號前段ニ準シ之ヲ許スコトヲ得

##### ○文官減俸及休職給計算方

(明治三二・二・二九 東京府照會) (明治三二・二・二五 會計課回答)  
五發一三八四號 地一七五二號

〔問〕 府視學中文官懲戒令第三條第二項ニ依リ本年十一月十一日付ヲ以テ月俸三分ノ一、一ヶ月間減俸ニ處シ同日休職ヲ命セシモノ有之右俸給計算方ノ義ハ高等官々等俸給令第十五條ニ依リ減俸ノ發令翌日即チ十二日ヨリ末日迄ヲ本官相當ノ俸ヲ減シ翌月一日ヨリ十一日迄ヲ休職俸給額ニ依リ三分ノ一ヲ減額シ可然哉

〔答〕 右ハ減俸發令ノ當月ハ御意見ノ通りニテ可然モ其翌月ハ日割ニテ本官相當ノ俸ヲ減シタル殘額ノ三分ノ一ヲ休職給トシテ支給相成可然存候此段及御回答候也

##### ○判任待遇ノ學校職員ヲ廳府縣郡視學及官立學校教官ニ任用スル場合ニ於ケル俸給支給方

判任待遇ノ學校職員ヲ廳府縣郡視學及官立學校教官ニ任用スル場合ニ於ケル俸給支給方ノ件別紙ノ通閣議決定相成候條此段及御通知候也

追テ判任待遇ヨリ判任官ヘ轉任ハ相成ラサル等ニ付本文任用ノ場合ハ一旦退職ノ手續ヲ要スル儀ニ有之候

判任待遇ノ學校職員ヲ廳府縣郡視學及官立學校教官ニ任用スル場合ニ於テハ判任官初任ノ例ニ依ラス三級俸以下ノ範圍内ニ

於テ其現ニ受クル俸給額以下ノ月俸ヲ給與スルコトヲ得 前項ノ場合ニ於テ小學校教員ノ年功加俸ハ俸給額ニ算入ス  
前二項ニ依リ俸給ヲ定ムルニ當リ其現俸給額判任官俸給額ニ一致セサルトキハ其現ニ受クル俸給額ニ最モ近キ上級ノ俸給以  
下ヲ給スルコトヲ得 (明治三二・三六・直轄學校、各地方廳へ秘書課通知)

○縣費支辨ノ休職判任官ノ學校教員ニ任用ノ場合ニ於ケル休職給支給方

(明治三二・三三〇兵庫縣問合)  
(五縣一四八三號)

【問】 一、左ノ場合ハ休職給ヲ停止スヘキ乎 第一項、縣制第七十五條ニヨル縣吏員(假ヘハ工手、工手補、財産管理書  
記ノ類)ニ任用セラレタルトキ 第二項、縣費支辨ノ巡查、監守、學校教員等ニ任用セラレタルトキ

二、左ノ場合ハ休職給ヲ停止ノ限リニアラサル乎 第一項、國費若クハ縣費支辨ノ雇員ニ任用セラレタルトキ

第二項、郡市町村制ニヨル有給吏員及市町村立小學校教員ニ任用セラレタルトキ

【答】 右ハ何レノ場合ト雖休職給ヲ停止スルキモノニ無之ト存候 (明治三三年一月内務省地方局回答)

○公立學校職員俸給令第十二條ハ官立學校ニ任ノ場合不包含方

(明治三六・四・一五・岐阜縣問合)

【問】 公立學校職員俸給令第十二條ハ官立學校ヨリ公立學校ニ轉任ノ場合モ含ムカ至急承知シタシ(電信)

【答】 公立學校職員俸給令第十二條ハ官立學校ヨリ轉任ノ場合ヲ含マス(電信) (明治三六・四・二七・回答)

○公立學校職員俸給令第十二條ニ依リ前職俸給ニ最近上級俸ヲ受ケタル者ノ增俸年數通算方

(人事課回答) (明治三六・五・二三・各地方廳へ通牒)

【問】 公立學校職員俸給令第十二條ニ依リ前職ノ俸給ニ近キ上級俸ヲ受ケタルモノ、増給ハ前職俸給授與ノ日ヨリ一ケ年ヲ  
過クレハ差支ナキヤ(電信) (明治三六・四・二三・靜岡縣問合)

【答】 右ハ現職俸給支給ノ日ヨリ起算スヘキ義ニ有之 追テ本文現職俸給支給ノ日ヨリ未タ一年ニ達セサル者特別ノ事情  
ニ依リ増俸ノ必要アルトキハ俸給令第十六條ニ依リ指揮ヲ請ハルル義ハ差支無之

○公立學校職員俸給令第十二條ニ依リ前職俸給ニ最近上級俸ヲ受ケタル者ノ增俸年數通算方

【問】 判任待遇教諭ヨリ同一ノ俸給額ニテ奏任待遇教諭ニ轉任シタル者ハ前後在職年數ヲ通算シ一年以上ナレハ昇級差支ナ  
キヤ電信ニテ回答アレ(電信) (明治三六・五・一五・佐賀縣問合)

【答】 右ハ前後通算スルヲ得サル義ニ有之候、尤公立學校職員俸給令實施前奏任待遇ト爲リタル者ニ就キテハ其奏任待遇ト爲  
リタル日ヨリ計算スルヲ得ル義ニ有之候經伺ノ上此段及回答候也 (明治三六・六・一三・人事課回答)

○公立學校舎監、主事ヲ兼ヌル教員加俸ハ陸軍給與令等ニ依リ俸給ヲ受ケル場合停止並其不足額支給ノトキ  
ハ俸給中ニ加俸加算方

(明治三六・六・一五・靜岡縣照會) (明治三六・六・一九・人事課回答)  
(三三三〇三〇號) (卯人甲五一〇號)

【問】 本年三月勅令第六十六號公立學校職員俸給令第七條ノ加俸ハ其ノ第十條ノ場合ニ於テハ俸給ト同ク支給ヲ停止スヘキ  
ヤ果シテ停止スヘキモノトスレハ同條但書ノ俸給中ニハ之ヲ加算スヘキヤ及照會候也

【答】 公立學校職員俸給令第七條ノ加俸ハ第十條ノ場合ニ於テ停止シ且加算ス

○公立學校職員俸給令第十條ハ休職者ニ適用方

(明治三七・三・一各地方廳へ秘書課通牒)  
(職乙第七九號)

【問】 公立學校職員俸給令第十條ハ俸給ヲ受クル休職者ニモ適用スヘキ儀ト心得然ルヘキヤ返電乞フ(電信)

【答】 公立學校職員俸給令第十條ハ休職者ニ適用セス(電信) (青森縣照會) (文部次官回答)

○高等師範學校女子高等師範學校臨時教員養成所實業教員養成所卒業生中私立學校就職者ノ俸給旅費支給等  
ニ關シ監督方

(明治三九・五・二一各地方廳へ普通實業兩學務局通牒)  
(午發普一二五號)

高等師範學校女子高等師範學校臨時教員養成所及實業教員養成所卒業生等ハ成ルヘク公立學校同様私立學校ヘモ配置致度方  
針ヲ以テ從來取扱候處私立學校中往々赴任旅費ヲ給セス俸給ノ支拂方不規則ニ流ルル等公立學校ト著シク權衡ヲ失シ又ハ

不都合ノ處置ヲナス向モ有之候哉ノ趣ニテ是等卒業生中私立學校ニ就職セル者モ自然他校ニ轉センコトヲ希望スルニ至リ遺體カラス候條右等卒業生ニシテ費管下私立學校ニ就職ノ場合ニハ右俸給旅費ノ支給方等ニ關シ相當御監督ノ上永ク其ノ職ニ安ンセシメ候様特ニ御配慮相成度依命此段及通牒候也

○公立學校職員死亡賜金八同一戸籍内ニ在ル甥姪等ニ支給差支ナシ

(明治四〇・一二・一一長野縣照會)  
學乙收第一三八一號

【問】 公立高等女學校正教員(判任官ト同一ノ待遇ヲ受クル者)ノ死亡ニ關シ公立學校職員俸給令第十七條ニ依リ給與金ヲ受クヘキ遺族ハ判任官俸給令準用ノ結果官吏遺族扶助法ニ於テ稱スル處ノ第四條乃至第六條及第十條第十一條ノ遺族ニ限ルヘキ義ナルカ將又市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助法第十二條中一時扶助金支給ニ關シテハ之ヲ受クヘキ遺族ノ範圍限定無之且明治二十七年十一月會甲一一七五號並ニ三十四年九月廿會甲三八〇號御通牒ノ趣旨モ有之候ニ付扶助料ヲ受クヘキ遺族以外ノ遺族ヲモ認メ扶助金ヲ支給スヘキ筈ナレハ官吏遺族扶助法第十七條ト市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助法第十二條トハ何レモ其ノ規定ノ形式同一ナルヲ以テ官吏遺族扶助法第十七條ノ遺族中ニモ亦扶助料ヲ受クヘキ遺族ノ外若クハ死者ノ同一戸籍内ニ在ル甥姪等ヲモ包含スル義ト被存候果シテ然リトセハ右等甥姪モ等シク官吏遺族扶助法中ノ遺族ナレハ判任官俸給令第五條但書中ノ遺族ト稱シ得ヘキニ付公立學校職員俸給令第十七條ニ依レル給與金ヲ支給スヘキ義ニ候哉

【答】 右ハ御見解ノ通同一戸籍内ニアル甥姪等ニハ給與スヘキ儀ト存候 明治四〇・一二・二五・會計課回答)

○官吏ノ待遇ヲ受クル學校職員在職ノ儘外國政府應聘中死亡ノ場合死亡賜金給與差支ナシ

【問】 官吏ノ待遇ヲ受クル在職者ニシテ外國政府ノ聘用ニ應シタル者ニ對スル俸給及其他ノ諸給ニ關シテハ明治三十七年勅令第二百三十七號ニ依リ同年勅令第九十五號ヲ準用スル筈ニ候處同令第三項ニハ俸給ハ之ヲ停止シ其他ノ給與ハ之ヲ支給セスト有之候ヘ共同規定ハ單ニ本人ニ對スル給與上ノ規定ニシテ遺族ニ對スル給與ノ規定ニアラサルヲ以テ本

文ノ如キ死亡者ニ對シテハ明治三十六年勅令第六十六號公立學校職員俸給令第十七條ニ依ル死亡賜金ノ如キハ其遺族ニ給與シ得ヘキ義ニ候哉 (明治四二・二〇・一一長野縣知事照會)

【答】 右ハ御見込ノ通ト存候 (明治四二・二〇・一五・文部次官回答)

○公立學校職員俸給令第十三條第二項在職一年中ニハ休職期間ヲ含マス

【問】 公立學校職員俸給令第十三條第二項ノ在職一年中ニハ全ク俸給ノ支給ヲ受ケサル休職ノ期間ヲモ含ムモノト認ム貴省ノ御意見如何差掛リ必要アリ電信ニテ回答アレ(電信) (明治四三・三・一六・廣島高等師範學校照會)

【答】 在職一年中ニハ休職ノ期間ヲ含マス(電信) (明治四三・三・二三・普通學務局回答)

○公立學校職員休職ニ際シ兼務ノ舍監、主事ヲ免セラレタル場合ハ其ノ加俸ヲ加算スヘカラス

【問】 今般勅令第二〇五號ヲ以テ公立學校職員俸給令改正ノ結果休職者ニハ其休職中俸給三分ノ一ヲ給スルコトト相成候處同第七條ニ依リ加俸ヲ受クル舍監主事等ニシテ本職休職ヲ命セラレ且ツ兼務タル舍監ヲ免セラレタル場合ハ其加俸ヲ加ヘタル額ノ三分ノ一ヲ休職給トシテ給與スヘキ儀ニ候哉 (大正三・一二・一六・島根縣照會)

【答】 右ノ場合ニ於テハ其加俸ヲ加算スヘカラス儀ト存候 (大正四・二・二〇・秘書課回答)

○女子師範學校及高等女學校併置ノ場合ニ於ケル教員俸給豫算編成上教員數計上方標準

女子師範學校及高等女學校併置ノ學校ニ於テ教員俸給豫算ノ編成ニ當リ教員數ノ計上方ニ關シ種々其ノ取扱ヲ異ニスルカ爲延イテ教育上ニ影響スル所モ尠カラサル様被認候ニ就キテハ自今當該學校ノ豫算ハ左記標準ニ依リ御編成相成度  
一、女子師範學校ト高等女學校トノ教員俸給豫算ヲ各別ニ編成スル場合ニ在リテハ其ノ教員數ハ少クトモ女子師範學校ノ分ハ師範學校規程第四十六條ノ規定ニ依リ算出シタル員數高等女學校ノ分ハ高等女學校令施行規則第三十條ノ規定ニ依リ算出シタル員數ヲ計上スルコト



二、女子師範學校ト高等女學校トノ教員俸給豫算ヲ合併シテ編成スル場合ニ在リテハ其ノ教員數ハ少クトモ女子師範學校ニ對シ師範學校規程第四十六條ノ規定ニ依リ算出シタル員數ト高等女學校ニ對シ高等女學校令施行規則第三十條ノ規定ニ依リ算出シタル員數トヲ合計シタル員數ヲ計上スルコト (大正七・一・二二各地方廳へ普通學務局通牒)

○公立學校職員俸給令改正附則ノ疑義

(大正九・九・四兵庫縣照會) (大正九・九・一五秘書課回答)

【問】 本年八月勅令第三百二十六號ヲ以テ公立學校職員俸給令改正相成候處左記事項ニ付疑義相生シ候條御指示相成度

一、附則第二項及第三項ノ解釋ニ就テ 大正九年七月三十一日現在ニ於テ休職中ノ者ノ新令ニ依ル本俸ハ其ノ在職最終ノ本俸額ノミヲ以テ定ムヘキヤ又ハ其ノ在職最終ノ本俸額ニ臨時手當ヲ加算シタル額ヲ以テ定ムヘキヤ 前記後段ノ解釋ニ從フトセハ臨時手當ハ在職最終ニ實際支給シタル臨時手當額ナリヤ又ハ在職最終ノ本俸ニ對スル大正九年七月分ノ臨時手當率ニヨリ算出シタル額ナリヤ

二、附則第六項中ノ字句ニ就テ 附則第六項中「最近キ上級ノ俸給」トアルハ「最近キ上級ノ級俸」ノ意ナリヤ

【答】 一、休職者ノ俸給額ニ就テハ後段御意見ノ通又臨時手當ハ大正九年七月分ノ臨時手當率ニ依ル 二、御意見ノ通

○內國旅費規則ニ依ル家族移轉料支給方疑義

(大正十・十・二五直轄各部へ會計課移牒)

【問】 內國旅費規則ニ關シ 一、夫ノ赴任後其妻出產シテ一ケ年以内ニ嬰兒ヲ伴ヒ夫ノ任地ニ移轉シタル場合ニ嬰兒ニ對スル家族移轉料ハ支給差支ナキヤ 二、甲地ヨリ乙地ニ轉任シタル者赴任後一ケ年內ニ甲地ヨリ妻ヲ娶リ任地ニ呼寄セタル場合ニ妻へ移轉料ヲ支給シ得ルヤ (農商務省照會)

【答】 右ハ支給シ得サル義ト御了知相成度此段及回答候也 (大藏省回答)

○公立學校職員ノ兼職ノ場合ニ手當支給方疑義

(大正十・一・一六鳥根縣照會) (大正十・一・二五秘書課回答)

【問】 公立學校職員カ他ノ公立學校職員ヲ兼ヌル場合及同一學校内他ノ職員ヲ兼ヌル場合ニ於テ其ノ報酬トシテ手當ヲ支給

シ差支ナキモノニ候哉至急省議御指示相煩シ度候也

【答】 一、公立學校職員カ他ノ公立學校職員ヲ兼任シタル場合ハ公立學校職員俸給令第九條ニ依リ俸給分割支給相成可然

二、同一學校ニ於テ舍監、主事等ヲ兼ヌタル場合ハ公立學校職員俸給令第七條ニ依リ加俸ヲ支給セラルル方可然其他ノ場合ハ手當ヲ給スルモ差支ナキモノト認ム

○公立學校、實業補習學校教員養成所相互間兼職者ノ俸給分割支給方

(大正十・一・二八各地方廳へ秘書課通牒)

公立學校、實業補習學校教員養成所ノ相互間職員ヲ相互兼任スル者ニハ公立學校職員俸給令第九條並實業補習學校教員養成所令第七條ノ趣旨ニ基キ關係各解ノ經費中ヨリ俸給分割支給差支ナキコトニ省議決定シタルニ付御了知相成度

○一年志願兵トシテ服役スル者ノ休職給支給方疑義

(大正一三・二・二二野 普 四 號各地方長官へ文部次官通牒)

【問】 一年志願兵トシテ服役ノ爲メ休職ヲ命セラレタル者ニ對シテハ明治二十三年三月勅令第六十二號ニ依リ俸給ヲ給スヘカラサル旨內務大臣秘書官ヨリ通牒有之候處公立學校職員及市町村立小學校教員ニシテ一年志願兵トシテ現役ニ服シ公立學校職員分限令第八條第二項又ハ小學校令施行規則第二百二十三條ニ依リ休職トナリタルモノニハ適用スヘキ限ニ無之哉 (某縣伺)

【答】 右ハ御意見ノ通りト御了知相成度

○試補及囑託員ニ官吏療治料支給差支ナシ

(大正一三・六・一五直轄各部へ會計課通牒)

【問】 試補及囑託員ニシテ其ノ職務ノ爲メ傷痕ヲ受ケタル場合ニ於テハ明治二十五年勅令第八十號ニ準シ實費ヲ以テ療治料ヲ支給シ差支無之候哉 追テ本文ノ件支出差支ナク候ハハ官吏療治料ノ費途ヨリ支出致度 (司法省ヨリ照會)

【答】 右ハ前例モ有之候條官吏ノ事務ニ從事スル者ニハ明治二十五年勅令第八十號ニ準シ療治料ヲ支給シ差支無之省議ヲ經此段及御回答候也 追而官吏療治料ノ費途ヨリ支出方是又差支ナキ儀ト存候 (大藏省回答)

○學校配屬將校ノ旅費支給方法

(大正一四・八・二九 文部次官通牒) 發普二五九號

陸軍現役將校學校配屬令ノ規定ニ依リ學校ニ配屬セラレタル現役將校ハ當該學校長ノ指揮監督ヲ承ケテ體操科中教練ヲ擔任スルモノニシテ學生生徒ノ教育ヲ掌ル點ニ於テハ學校ノ職員ト看做スヘキ者ナルニ付現役將校、學校教練ニ關スル事務ニ依リ旅行スル場合ニ於テハ當該事務ノ爲メニ出張ヲ囑託シ出張旅費ヲ支給スル様致度ニ付其ノ旨御了知ノ上自今可然御取計相成度

○在勤廳所在地ノ市町村内ノ出張ニシテ遠距離ニ涉ラサル場合ノ旅費支給方

(大正一五・二・二五 會計課通牒)

【問】 在勤廳所在地ノ市町村内ニシテ遠距離ニ涉ラサル地ニ出張シ引續キ臨檢搜查事務ニ從事中二日ニ涉リ九時間以上ニ達シタル場合ハ本年五月五日藏計第二八三號御回答ニ依リ日當一日分支給スヘキ筋合ニ候處右ハ前後兩日中何レノ日ノ日當トシテ支給スヘキモノナルヤ若シ翌日ニ屬スルモノトセハ同日一旦歸廳シ更ニ在勤廳所在地外へ出張シタル場合右二個ノ旅行ニ對スル日當如何ニ支給スヘキ哉又前日分トシテ支給スルモ前同様ノ場合生スヘク之ニ對スル貴省御意見至急承知致度 (司法省照會)

【答】

右ハ一日分ヲ支給スヘキ場合ニ於テハ用務地ニ到着シタル日ニ屬スル旅費トシテ御取扱相成同日中旅費ノ支給額ヲ異ニスル二回以上ノ出張ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ多キ額ヲ支給相成可然 (大藏省回答)

【問】

在勤廳所在地ノ市町村内ニシテ遠距離ニ涉ラサル地ニ出張シ引續キ臨檢搜查ノ事務ニ從事中二日ニ涉リ偶々六時間以上ニ達シタル場合ニ於テ其ノ日當ハ御協定濟日當ノ一日分ヲ支給スヘキヤ將タ二日分ヲ支給スヘキ義ナルヤ (司法省照會)

【答】

右ハ兩日ノ各從事時間カ六時間以上ニ達シタル場合ニ於テハ二日分ヲ支給シ可然 (大藏省回答)

○中等學校教員ノ死亡賜金ノ基礎タル俸給ニハ年功加俸ヲモ加算スヘシ

(大正一五・三・八 各地方廳へ通牒) 發普一五一號

【問】

標記死亡賜金ノ基礎タルヘキ俸給ニハ年功加俸ヲ加算スヘキモノニ候哉小學校教員死亡ノ場合俸給ニハ加俸ヲ加算スヘキヤ否ヤニ付明治三十五年二月五日本縣問合セニ對シ同月十五日實普甲三八〇號ヲ以テ加算スヘキ旨御回答ノ次第モ有之中等學校教員ニ付テモ同様年功加俸ハ加算スヘキモノト被存候得共明文無之疑義相生シ候條回報相顧度

【答】

右死亡賜金ノ基礎タルヘキ俸給ニハ年功加俸ヲ加算スヘキモノト御了知相成度

○官吏療治料ニ付職務ノ爲傷痕ヲ受ケタル者ノ解釋

(大正一五・七・六 直轄各部へ會計課通牒) 官會一三五號

【問】 官吏出張中汽車其他乗物ニ事故發生ノ爲メ傷痕ヲ受ケタル場合(自己ノ過失ニアラス)ハ明治二十五年勅令第八十號ニ所謂職務ノ爲メ傷痕ヲ受ケタルモノトシ療治料實費ヲ支給シ差支ナキヤ 尙右ハ出張往返中不慮ノ災厄ニ依リ受ケタル傷痕ト雖職務ノタメ傷痕ヲ受ケタルモノト看做シ差支ナキヤ (臺灣總督府照會)

【答】

右ハ公務出張中汽車其ノ他乗物ニ事故發生シ之カ爲傷痕ヲ受ケタル場合本人ニ重大ナル過失ナク且私用ニ非スシテ職務上ノ必要ニ依リ搭乘シタルコト明ナルトキハ療治料ヲ支給シ可然ト存候ヘ共其ノ他ノ出張滞在中又ハ往返中不慮ノ災厄ニ依リ傷痕ヲ受ケタル場合ニ於ケル療治料ノ給否ニ付テハ更ニ事實ヲ具シ得照會相成候様致度省議ヲ經此段及回答候也 追テ傷痕ノ事實ニ付テハ現認證明又ハ事實證明ヲ以テ之ヲ明瞭ナラシムルコトニ致度 (大藏省回答)

○内國旅費規則第十七條ノ第二項ノ解釋

(大正一五・十・一四 直轄各部へ會計課移牒) 官會二二三號

【問】 同一地ニ長期間出張ヲ被命タル者滞在中事務打合等ノ爲一時歸廳ノ場合ニ於テ其ノ旅費ハ内國旅費規則第十七條ノ第二項ニ依リ前後ノ滞在日數ヲ通算シテ定ムヘキ義ニ有之候哉 (内務省會計課長照會)

【答】

右ハ滞在中事務打合等ノ爲一時歸廳シタル場合ハ之ヲ包含スルモノニ有之候但シ適々前回ト同一地ニ更ニ出張ヲ命セラレタル如キ場合ハ此限ニ在ラサル義ニ候 (大藏省回答)

○現役武官旅費支給方ハ學校配屬將校ノ旅費支給ニ準シ本官相當額支給方

【問】生徒教練實地演習ノ爲配屬將校出張旅費支給上旅費法令適用方ニ關シ本年八月十七日及九月三十日ノ兩度ニ御照會致置候得共未タ御回答ニ接セス然ルニ右演習ハ九月十二日ヨリ十八日ニ亙リ京都府久世郡宇治町ニ於テ舉行指導教官トシテハ配屬將校及當校體操教員二名ノ外歩兵第八聯隊所屬歩兵中尉一名同軍曹二名ニ出張委囑致シ候關係モ有之成ルヘク速ニ旅費支給致度ニ付現役武官ニ學校ヨリ囑託ノ場合ノ旅費ハ文官旅費支給差支有無至急回答煩度

(大正一四・十・一九・大阪高等工業學校照會)

【答】右ハ大正十四年八月二十九日發普第二五九號通牒ニ依ル學校配屬將校ノ旅費支給方ニ準シ本官相當額支給相成度

(大正一四・十・二九・會計課回答)

○野外演習ノ際湯茶供給料支出方

(大正一四・七・二一・長岡高等工業學校照會)

【問】軍事教育實施ノ結果年數回野外演習實施ノ必要アリ過般當校ニ於テ校地數里ヲ離レタル地點ニ於テ野外演習ヲ實施シタリ其際陸軍給與令ニ依リ休憩及食事ノ際湯茶ヲ學生ニ給シタリ而シテ其代金ハ軍事教官ニ於テ立替拂ヲナシタルモ右湯茶供給代支出ノ儀左記ノ内何レニ依ルヘキヤ照會致シマス

一、野外演習ノ際湯茶供給料ハ其都度學生ヨリ出金セシムヘキヤ

二、校費ヲ以テ支辨スヘキモノトスレハ其支出科目ハ校館費ノ項雜費ノ目賄費ノ節ヨリ支出スヘキヤ

【答】野外演習實施ノ場合職員學生ニ給スル湯茶ノ代金ハ豫算ノ範圍内ニ於テ校費ヲ以テ支辨スルコトハ止ムヲ得サル儀ニ付校館費ノ項雜費ノ目賄費ノ節ヨリ支出相成度 (大正一四・十・一三・會計課回答)

○官吏職務ノ爲傷痍ヲ受ケタル場合療治料等支給差支ナシ

(大正一五・四・七直轄各支出官へ會計課通牒)

【問】本校劍道教師學生ニ指南中不可抗力ノ災厄ニ依リ公傷ノ處當地専門醫ノ勸告ニ依リ東京帝國大學醫學部附屬醫院ニ診療ヲ受クルコトト相成候ニ就キテハ之レカ療治料中ニハ當地ヨリ東京市ニ至ル本人相當ノ旅費實費(鐵道、賃宿泊料實費)モ包含スルモノナルヤ

【答】右ハ傷痍地又ハ在勤地ニ適當ノ病院ナク他ノ地ニ轉送スル場合ニ於テ其ノ往返旅行ニ必要ナル費用ヲ官吏療治料ノ費途ヨリ支出セラルルハ差支ナキ儀ト存候ヘ共當該費用ハ格別ノ事情ナキ限り本官相當ノ旅費額(定額アルモノハ其ノ定額)ヲ超エサル範圍内ニ於テ總テ實費ヲ精算シテ支給スルコトニ致度 (大藏省回答)

○退官賜金給與方疑義

(昭和二・三・十直轄各支出官へ會計課移牒)

【問】新恩給法施行前例ヘハ大正十一年一月任用ノモノ在職一年未滿ニテ退職シ同十二年一月再任シテ同年五月ニ退職シタルモノアルトキハ前後ノ在職月數ヲ通算セハ一年餘月トナルヲ以テ此ノ場合退官賜金令ニ依ル在官一年以上ト認メ賜金ヲ給與スヘキ哉 (内務省照會)

【答】右ハ在官一年未滿ニシテ退官シ爾後再任シタル者更ニ在官一年未滿ニシテ退官シ前後ノ在官年數ヲ通算シ滿一年以上トナルトキハ前後ノ退官カ同勅令ノ第四項ニ抵觸セサル限り第一項ノ所謂在官滿一年以上ニ該當スルモノトシ御取扱相成可然 (大藏省回答)

○赴任旅費年度區分方

(昭和二・六・一一直轄各部へ會計課通牒)

【問】兩年度ニ跨リテ赴任旅行ヲ爲シタル場合ノ赴任手當、移轉料及家族移轉料ハ新舊何レ年度所屬トスヘキ哉御意見承知致度 (内務省照會)

【答】右ハ赴任手當ハ後年度移轉料ハ前年度、家族移轉料ハ其ノ構成スル内容ニ付本人ニ對スル各種旅費ノ年度區分ト同様ノ方法ニ依リ區分セラレ可然 (大藏省回答)

○急行料金支給方

(昭和二・六・一三直轄各部へ會計課通牒)

【問】大正九年五月大藏省令第十六號第一條第四號ニ依ル急行料金支給方ニ付奏任官カ左記旅行ノ場合ニ於テ各區間相當級ノ急行料金ヲ支給シ差支ナキヤ若シ一個分ヲ支給スルトセハ以レノ等級ニ依リ支給スヘキヤ御意見承知致度

一、中村ヨリ福島迄ノ旅行ニ於テ中村岩沼間一等急行料金ヲ徴スル線路二十二哩五分岩沼福島間二等急行料金ヲ徴スル線路三十八哩二分

二、福島ヨリ小牛田迄ノ旅行ニ於テ福島岩沼間前項ノ通岩沼小牛田間一等急行料金ヲ徴スル線路三十八哩一分  
三、小倉ヨリ小郡迄ノ旅行ニ於テ小倉門司間七哩三分門司下關間一哩五分下關小郡間四十三哩五分

【答】 右ハ一ニ付テハ中村ヨリ福島迄ノ旅行ハ順路ニ依リ急行列車ニ乗車シ得サルヲ以テ其ノ二區間ニ對スル一等及二等急行料金、二ニ付テハ福島ヨリ小牛田迄ノ旅行ハ一急行料金ヲ以テ支給シ得ルヲ以テ仙臺ヨリ小牛田間ノ如キ前途五十哩未滿ノ上級急行料金、三ニ付テハ小倉ヨリ小郡迄ノ旅行中小倉門司間ハ乘車區間近距離ニシテ急行ノ要ナキヲ以テ其ノ區間ノ急行料金ハ孰レモ之ヲ支給セサルコトニ致度

○内國旅費規則第十七條ノ二ノ同一地ノ意義

(昭和二・八・二直轄各部(會計課通牒)官會一八五號)

【問】 内國旅費規則第十七條ノ二ニ所謂同一地トハ市町村ノ全區域ヲ指スモノナリヤ果シテ然リトセハ同一市町村内ニ滞在スルコト十日ヲ超ユル以上、北海道ニ於ケル町村ノ如ク其ノ區域非常ニ廣汎ニ涉リ旅行上日々宿泊場所ヲ異ニセサルヲ得サル場合ト雖モ定額ヲ減少セサル可ラサル次第ニシテ聊カ權衡ヲ失スルモノト被存候ニ付テハ貴省ノ御意見承知致度候

【答】 右ハ一市町村ト同様ノ趣旨ト解セラレ可然但シ一市町村内ト雖モ陸路三里、鐵道二十四哩又ハ水路十五海里以外ノ地出張シ鐵道貨船貨車馬賃ノ支給ヲ受ケ公務ノ都合ニ依リ異リタル場所ニ宿泊ヲ要シタル場合ノ如キハ之ヲ同一地トシテ取扱ハサルコトニ致度

○死亡手當支給方

(昭和二・二・二五直轄各部(會計課通牒)官會二七七號)

【問】 當省芝罘電信局在勤通信書記(月俸七十圓)須藤恒三郎ハ病氣ノ爲許可ヲ受ケ大連市ニ轉地シ同地滿鐵病院ニテ死亡セ

リ右ニ對シテハ別紙理由ニ依リ外國旅費規則ニ依ル死亡手當ヲ支給スヘキモノト認ムルモ貴局議一應承知致度候

理由 本轉地療養地ハ在勤地ニ非サルモ療養ノ實狀ヨリ見レハ在勤地ニ於テ療養スル場合ト異ナラサルニ付本死亡ハ在勤地ニ於テ死亡シタルモノト看做シ外國旅費規則第十六條ニ依リ死亡手當ヲ支給スヘキモノト認ム(逕信省照會)

【答】 右ハ外國旅費規則第三十六條ニ依リ死亡手當ヲ支給スヘキモノト被存候但其ノ額ニ付テハ一旦死體ヲ芝罘ニ移シ事態芝罘ニ於テ死亡シタルト同様ナルトキハ同條ニ依リ在勤地ニ付定メラレタル額ヲ支給シ可然モ單身在勤者ナルカ又ハ家族家財ヲ大連ニ移轉シアリタル等大連在勤者カ大連ニ於テ死亡シタルト同様ノ事情ナルトキハ死亡地タル大連ニ付南洋群島、關東州、南滿洲旅費規則第四十一條ニ依リ定メラレタル額迄減額支給スルモノト被存候(大藏省回答)

(昭和三・二・二九直轄各部(會計課移牒)官會四〇號)

○休職官吏幹部候補生トシテ入營ノ場合休職俸給ハ支給セス

【問】 從來當省ニ於テハ官吏ニシテ一年志願兵トシテ入營スル場合ハ休職ヲ命シ明治二十三年勅令第六十二號ニ依リ入營期間中俸給ヲ支給セザリシカ一年志願兵條例ハ昭和二年十一月勅令第三百三十號ヲ以テ之カ廢止セラレタルモ官吏ニシテ休職ヲ命セラレ幹部候補生トシテ其儘入營服務シタル場合ハ休職俸給ハ支給致ササルモ差支無之哉(農林省照會)

【答】 右ハ陸軍補充令ニ規定スル附則ノ趣旨ニ鑑ミ明治二十三年勅令第六十二號ノ規定ニ依リ休職俸給ハ之ヲ支給セサルモノニ有之(大藏省回答)

○學校配屬將校ニ係ル治療費負擔ニ關スル疑義

(昭和二・二・一五岩手縣照會)官會二・三・七號)

【問】 本縣立水澤農學校配屬將校佐藤中尉客年七月野外演習歸途馬ニ蹴ラレ負傷シ治療費金四百三拾圓ヲ第八師團ニ於テ支拂相成居候處今般右ハ文部省側ニ於テ支拂ハレタキ儀申越有之候モ右ハ陸軍文部兩省協議書第二項ノ學校勤務中ノ費用ト認ムヘキモノニ可有之哉又學校職員ノ校務負傷ニ對シ治療費支給ノ規程無之場合陸軍省ノ支給規程等ニ準據スヘキ儀ニ候ヤ

【答】 右ニシ開テハ陸軍給與令第五十九條並明治二十五年勅令第八〇號ノ次第モ有之本件經費ハ俸給等ト同シク身分ノ關係ニ依リ負擔スルヲ至當ト被存ニ付御了知相成度 (文部省回答)

○交通至難ノ場所ニ在勤スル職員ニ手當給與方

(昭和三・三・三一 沖繩縣照會 學第一〇六〇號)

【問】 本年四月ヨリ本縣立第二中學校官古分校ヲ官古郡平良町ニ設置致候ニ付同校在勤ノ職員ニ對シ離島手當ヲ明月分ヨリ給與致度候處大正九年勅令第四百五號ニ依リ其ノ細則ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムト有之ニ依リ右細則ヲ特別御證議ヲ以テ至急御制定相成候様致度此段及稟請也 追テ本年度給與スヘキ金額ハ月額教諭ニ拾圓書記ニ六圓ニ候處將來校長拾五圓教諭助教諭拾圓書記六圓給與ノ豫定ニ候

【答】 中學校職員ニ對スル離島手當給與ニ關シテハ大正九年勅令第四百五號ヲ適用セサルコトニ大藏省ト協議濟ニ付右御了知相成度 追テ公立學校職員俸給令第十八條ニ依リ貴官ニ於テ右給與ニ關スル規程制定ノ上ハ同規程ヲ添ヘ其旨御報告相成度 (昭和三・八・二四 普通學務局回答)

○學校配屬將校治療費負擔ニ關スル疑義

(昭和五・六・五 青森縣照會) (昭和五・六・三〇 普通學務局回答) (青森第一四號)

【問】 學校配屬將校カ學校ニ服務中公務ニ依リ傷病ニ罹リタル場合之カ治療費ハ本人ノ身分ヲ有スル陸軍ニ於テ負擔スヘキモノナルヤ當該學校ニ於テ負擔スヘキモノナルヤ

【答】 本件經費ハ俸給等ト同シク身分ノ關係ニ依リ負擔スルヲ至當ト被存ニ付御了知相成度

○明治三十年勅令第二號第二條第三項ノ俸給額ニ關スル疑義

【問】 明治三十年勅令第二號第二條第三項ノ其ノ俸給額トハ豫算編成當時ノ實支給月額ノ意ナリヤ又ハ前年度内最高支給月額ノ意ナリヤ町村豫算編成ニ關シ必要アリ至急電信ニテ回答ヲ乞フ (昭和六・三・三 佐賀縣照會)

【答】 右ハ既往支出額ノ最高月俸平均額ニ基ク金額ノ意ナリ (昭和六・三・六 普通學務局回答)

○學校職員俸給令改正ニ關スル疑義

(昭和六・六・二四 和歌山縣照會) (昭和六・六・三〇 普通學務局回答) (學第三〇〇七號) (和普一〇號)

【問】 一、昭和六年勅令第十五號公立學校職員俸給令改正ニ關シ該附則第七、八項ノ規定ハ左記例示ノ通從前ノ規定ニ依リ受クル俸給ノ級俸ハ改正規定ニ依リ如何ナル場合ニ於テモ變更セラルコトナキコトヲ定メタルモノト解シ可然哉

一級俸(月一六〇)ヲ受ケタルモノ改正規定ニ依リ月一四八圓(改正一級俸ヲ超ユ)トナリ一級俸ト稱ス  
一級俸(當分月俸一四四圓)——月一三五圓(改正二級俸相當)トナリ一級俸(當分月俸一三五圓)ト稱ス  
一級俸(當分月俸一四一圓)——月一三二圓(改正二級俸以下トナル)トナリ一級俸(當分月俸一三二圓)ト稱ス

二、小學校令施行規則改正(昭和六年文部省令第十七號) 中昭和六年勅令第十五號附則第七項及第八項ノ如キ規定ナキ以上小學校教員ニ付テハ左例ノ通改正級俸ニ順應シテ級俸ヲ定メシムル御意見ト存スルモ例示(1)(2)ノ場合ノ如キ今回ノ減俸ニ依リ却ツテ昇級スルノ結果トナリ聊カ疑義有之ニ付折返シ何分ノ御指示相成度

備 從前ノ規 定ニ依リ  
(1) 二級俸(月一四五圓) 一三六 即一級下俸當分月俸一三六圓  
ヲ受クルモノ改正規定ニヨリ  
(2) 二級俸(當分月俸一四四圓) 一三六 トナル  
(3) 二級上俸(當分月俸一三三圓)ヲ受クル者改正規定ニ依リ一二五圓即二級下俸トナル  
(4) 二級上俸(當分月俸一三一圓)——一二三圓即二級下俸當分月俸一二三圓トナル

三、前項果シテ例示ノ通トセハ從前ノ規定ニ依ル俸給ノ各級ニ於テ經過シタル在職年數ト之ヲ改正俸給ノ各級ニ於テ在職年數トノ通算關係ヲ如何ニ規定スルヲ適當ト認メラルヤ貴省ノ御意見承リ度

【答】 一、公立學校職員俸給令中今回ノ改正規定ハ從前ノ規定ニ依リ受クル俸給ノ級俸ヲ如何ナル場合ニ於テモ變更セサル旨ヲ定メタルモノニアラス (一)御意見ノ通一級俸ト看做ス(昭和六年勅令第十五號附則第七項ニ依ル) (二)一級

俸ト稱スヘカラス改正二級俸トス(同勅令第三項後段ニ依ル) (三)御意見ノ通一級俸ト看做ス(前示(一)號ト同理由)  
二、小學校教員ニ付テハ減額ニ係ル俸給カ改正級俸ニ相當セサルトキハ其ノ金額ノ俸給月額ヲ受クルモノトス小學校  
教員ニ付テハ増給等ニ關シ同等級俸在職年限ノ制限ナキヲ以テ昭和六年勅令第十五號附則第七項及第八項ノ如キ規  
定ヲ必要トセス

三、前項ニ依リ承知セラレ度但シ同等級俸ニ於ケル在職年數通算ヲ必要トセハ貴官ニ於テ適宜規定ヲ設ケラレ差支ナ  
シ

○學校職員ニシテ戰時事變應召者ノ俸給ニ關スル疑義

(昭和七・四・二一 各地方廳へ普通學務局通牒)  
板普九 號

【問】 小學校令施行規則第一百五條及公立學校職員俸給令第十條ニ於ケル「陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受ク  
ル職員ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ俸給(本職ノ)俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得」ノ  
(本職ノ)俸給中ニハ加俸(年功加俸)モ加算スヘキモノナルヤ

【答】 小學校令施行規則第一百五條及公立學校職員俸給令第十條ニ依ル俸給中ニハ加俸ヲモ加算スヘキ義ト御了知相成度  
【問】 小學校令施行規則第一百五條及公立學校職員俸給令第十條但書ニ依リ不足額ヲ給スルニ當リ本俸ト加俸トカ其ノ支  
給スル經濟ヲ異ニシ又ハ同一經濟ナルモ會計ヲ異ニスル場合ハ本俸額ト加俸額トノ割合ニ應シ支給セラルヘキモノナ  
リヤ (栃木縣照會)

○學校職員ニシテ戰時事變應召者ノ俸給支給方疑義

(昭和七・五・二三 各地方廳へ普通學務局通牒)  
岩普二二二 號

【問】 小學校令施行規則第一百五條及公立學校職員俸給令第十條但書ニ依リ不足額ヲ給スルニ當リ本俸ト加俸トカ其ノ支  
給スル經濟ヲ異ニシ又ハ同一經濟ナルモ會計ヲ異ニスル場合ハ本俸額ト加俸額トノ割合ニ應シ支給セラルヘキモノナ  
リヤ (栃木縣照會)

【答】 御見込ノ通

○學校職員ニシテ戰時事變應召者ノ俸給支給方疑義

(昭和七・八・十 各地方廳へ普通學務局通牒)  
茨普一七 號

【問】 公立學校職員ニシテ戰時事變ノ爲召集セラレタル者ハ公立學校職員分限令第八條第二項(小施一一三條)ニヨリ當然休

職ト相成從テ其ノ俸給ハ公立學校職員俸給令第十五條(小施一五三條)ニ依リ支給スヘキ儀ト存候處本年四月二十一日  
柄普九號通牒ニヨレハ(小施一五五條)ヲ適用スルコトヲ前提トシテノ御通牒ノ如ク解セラレ候得共右ハ明治三十七年  
三月一日職乙第七九號通牒並明治三十七年勅令第二百六號及巡査給與令第五條トノ均衡上ヨリ考フルモ戰時事變應召  
ノ爲休職トナリタル者ニ付テハ第十條(小施一五五條)ヲ適用スヘキモノニ無之第十五條(小施一五三條)ノミニ依リ休  
職給ノ全額ヲ支給スヘキヤ

【答】 公立學校職員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集サレ休職トナリタル者陸海軍ニ於テ俸給ヲ受ケサル場  
合ハ公立學校職員俸給令第十五條ノ規定ニ依リ休職俸給ノ全額ヲ支給シ得ルモ俸給ヲ受クル者ニ對シテハ同令第十條  
ノ規定ニ依リ其ノ俸給額カ休職俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルヲ得ルモノニシテ明治三十七年三月一  
日職乙第七九號通牒ハ當時ノ公立學校職員俸給令第十五條ノ規定ニ照シ適當ノ處置ト認メラルルモ其ノ後同條ノ規定  
改正セラレタル現今ニ於テハ右休職者ニハ公立學校職員俸給令第十條ヲ適用スヘキ義ニ付御了知相成度  
追テ小學校令施行規則第二百二十三條、第二百五十三條及第一百五十五條ニ付テモ右趣旨ニ依リ御取扱相成度尙明治三十七  
年三月一日職乙第七九號通牒ハ自然廢止トナリタルモノニ付申添フ

(二) 小學校、幼稚園

○市町村立小學校教員俸給豫算編制方

(明治三〇・一・一一 石川縣照會)  
丙三乙第三 號

(明治三〇・一・一四 普通學務局回答)  
普通甲第一一八 號

【問】 本年勅令第二號第一條ニ依レハ市町村會ニ於テハ小學校教員俸給額ニ對シ義務額ヨリ尠キ支出ヲ議決スル事ヲ得サル  
義ト認メ候得共本縣ノ如キ從來小學校教員俸給額ノ甚タ低キ地方ニアリテハ該勅令ノ結果ニ依リ豫算額上一時ニ非常  
ノ増加ヲ呈シ爲ニ甚シク困難ヲ感スル向モ不勸候ニ就テハ此際第五條ノ制限及現任教員ノ俸給額等ニ依リ相當ノ支出  
額ヲ見込ミ爾後教員任用上ノ必要ニ應シ隨時費用ヲ追加セシメ第二條ノ義務額迄ニ達セシムル事ニ取計候テモ差支無



停給中ト雖モ懲戒宣告ノ時ヨリ起算シ停給中ニ屬スル分ハ之ヲ徵收セスシテ可ナルヤ

【答】 右第一項ハ御見解ノ通第二項ハ前段御見解ノ通ト存候此段及回答候也

○罰俸處分未終了ノ小學校教員退職者ニ係ル罰俸徵收方

(明治三二・四・一七秋田縣照會)  
秋 秘 二〇 號

【問】 小學校教員ニシテ罰俸處分ヲ受ケ其全部之執行ヲ終ラサル内免狀ノ有効期限満了ノ爲自然退職トナリタル者有之候處右ニシテ他日再ヒ教職ニ就キタルトキハ其際ニ於テ殘部ヲ追奪シ得ヘキモノニ有之候哉將又退職ト同時ニ其處分消滅セルモノト心得可然哉聊カ疑岐ニ互リ候處右ハ差懸リタル儀ニ付電報ヲ以テ御回答相成度此段及照會候也

【答】 小學校教員退職者俸制ノ件ハ免除セラレ然ルヘシ(電信)(明治三二・四・二七・普通學務局回答)

○一定ノ季節ヲ撰ヒ教授ヲ擔任スル小學校教員ニ俸給支給方

(明治三四年長野縣報告)(三月六日)  
三月六日長野縣報告(丑普甲六八〇號局何定)

客年二月中長野縣稟請市町村立小學校教員ノ俸給額等諸給與支給規則中ニハ裁縫專修科ヲ擔任スル教員ニハ其教授ヲナス月ノミニ限リ俸給ヲ支給スルコトヲ得ルコトニ許可相成候處小學校令改正ト共ニ小學校ニ於ケル右裁縫專修科ハ認メラレサルコトニナリタレトモ尙從前ノ如ク本報告第百八條ニ同様ノ規定ヲナシタルヲ以テ照會シタルニ回答ニ依レハ補習科ニ適用セントスル精神ナル趣ニ候旁々事情必要ノコトト被存候ヘハ此儘差措カレ可然候哉相伺候也

【答】 (長野縣令第十四號抄錄) 第百八條 一定ノ季節ヲ撰ヒ教授ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ教授ヲ擔任スル教員ニハ教授ヲ爲ス月ニ限リ俸給ヲ給スルコトヲ得

○小學校教員死亡ノトキ其遺族ニ給スヘキ俸給月額中ニ加俸加算方

【問】 小學校令施行規則一五七條ノ俸給ニハ加俸ヲ加算スヘキヤ(電信)(明治三五・二・五・静岡縣問合)

【答】 小學校令施行規則第百五十七條ノ俸給ニハ加俸ヲ加算スヘシ(電信)(明治三五・二・一五・普通學務局回答)

○小學校尋常高等科ノ兒童ヲ合級編制ノ場合擔任教員ノ資格配置及俸給支給方

【問】 一、尋常高等ノ兒童ヲ合級編制シタル場合ハ其學級擔任教員ハ高等科 員タルノ資格アルモノニ限リ且俸給義務額ハ高等科ニヨルヘキヤ 二、尋常高等ノ兒童ヲ合級編制シ得ヘキモノトセハ小學校令施行規則第三十五條二項及同規則二百十三條第一項ノ教員配置方ハ尋常高等ノ學級數ヲ通算シテ配置スルコトヲ得ヘキヤ 三、尋常高等小學校ノ教員俸給ハ兩科ノ各義務額ヲ合算シ其金額ハ兩科共通支出スルヲ得ヘキヤ(明治三七・四・二〇・內三發第一八二號新潟縣照會)

【答】 一、御意見ノ通 二、御意見ノ通 三、尋常高等小學校ニ在リテハ流用セサルヲ本則トスルモ特別ノ場合ニ限リ相互流用スルハ差支ナシ(明治三七・五・一六・普通學務局回答各地方廳へ通牒)

○懲戒免職セラレタル小學校教員訴願ノ裁決ニ依リ處分ヲ取消サレタル場合ノ俸給支給方

【問】 懲戒免職ニ處セラレタル小學校教員ニシテ本人訴願之結果該處分ヲ取消サレタルモノニ對シ俸給支給計算方ハ懲戒當時ニ遡リ支給スヘキ儀ニ有之候哉將タ訴願裁決サレタル日ヨリ計算スヘキモノニ候哉將又本人裁決書受領ノ日ヨリ起算スヘキ儀ニ候乎(明治三七・三・一一・滋賀縣問)

【答】 右ハ處分ヲ取消サレタル日ヨリ計算セラレ然ルヘクト存候(明治三七・三・二四・普通學務局通牒)

○小學校長兼訓導他ノ小學校訓導兼校長兼務ノ場合俸給分割支給ハ兩校兼任禁止

【問】 小學校訓導兼校長ニシテ尙該學校ニ補助教員ヲ有シ他小學校ノ訓導兼校長ヲ兼務セシム場合ニ當リ其俸給支給方ニツキ別ニ規定無之ニヨリ本務學校ヨリ其金額ヲ支給スヘキハ當然ノ事ト被存候處客年勅令第六十六號第九條ニ依レハ他ノ公立學校ニ在リテハ此等ノ場合ハ分割支給シ得ヘキヲ以テ町村立小學校ニアリテモ同一事情ニ際シテハ其俸給ヲ分割シテ支給スル儀ハ強テ差支無之事ト被存候得共聊疑義ニ涉リ候條折返シ何分ノ御回示相成度

【答】 右小學校ニ於テハ專科正教員及補助教員ヲ除クノ外兩校ノ訓導又ハ校長ノ兼任ハ相成ラサル儀ニ有之候

(明治三七・四・一三・福岡縣照會)(明治三七・四・二五・普通學務局問合)

○小學校及實業補習學校教員交互兼任ノ場合俸給分割支給ハ然ルヘカラス



〔問〕 左記各項ノ場合ニ於テハ其俸給ヲ兩校ヨリ分割支給シ差支ナキヤ御省議ノアル處至急承知致度右及照會候也

一、小學校專科正教員ニシテ晝間授業ヲナス實業補習學校ノ教員ヲ兼ヌル場合

二、小學校本科正教員(本務ニ差支ナキ者)ニシテ晝間授業ヲナス附設ノ實業補習學校ノ教員ヲ兼ヌル場合

三、小學校教員(補助教員)ニシテ晝間授業ヲナス附設ノ實業補習學校教員ヲ兼ヌル場合

四、實業補習學校教員ヨリ小學校教員ヲ兼ヌル者 (明治四一・一六・滋賀縣照會)

〔答〕 各項共總テ然ルヘカラサル儀ト存候 (明治四一・一一・一二・普通學務局回答)

○小學校訓導ニシテ實業補習學校訓導兼任ノ場合ハ兼任相當ノ俸給ヲ支給セス手當ヲ支給スルハ差支ナシ

〔問〕 小學校訓導ニ實業補習學校訓導ヲ兼任セシメタル場合ニ兼任相當俸給ヲ支給シ差支ナキヤ返電待ツ (電文)

〔答〕 小學校訓導ニ實業補習學校訓導ヲ兼任セシメタル場合ニ兼任相當ノ俸給ヲ支給セラルルハ然ルヘカラサルモ手當ヲ給セラルルハ差支ナシ (明治四四・一一・宮城縣照會) (明治四四・一一・普通學務局回答)

○小學校本科正教員ヲ專科正教員ニ勤務替ヲ命スル場合俸給並加俸ハ專科正教員支給額ニ變更支給差支ナシ

(大正三・四・一五・福島縣照會) (大正三・四・三〇・普通學務局回答)

〔問〕 一、小學校本科正教員ノ資格ヲ有シ一旦市町村立小學校訓導ニ任セラレ本科勤務中ノモノ教員配置ノ都合ニ依リ專科ニ勤務替ヲ命セントスルトキ其俸給ハ(小學校令施行規則第六十六條ニ依リ本科專科ト俸給額ニ等級ヲ設ケタル場合)專科正教員ニ屬スル俸給ニ依リ支給スヘキ義ナリヤ

ロ、右ノ場合本科正教員トシテ支給セラレタル加俸ハ專科正教員ニ支給スヘキ額ニ變更スヘキ義ナリヤ

〔答〕 小學校本科正教員ノ專科正教員ニ勤務替ヲ命スル件ハ二項トモ御見解ノ通

○小學校教員休職俸給ハ義務額以外ノ負擔トシ支出ヲ強制スルコトヲ得

(大正三・一一・一・愛媛縣照會) (大正一・〇三・三)

〔問〕 小學校教員休職俸給ハ義務額以外ノ負擔ト解釋シ尙支出ヲ強制シ得ヘキヤ電信ニテ指令ヲ請フ (電文)

〔答〕 小學校教員休職中ノ俸給ニ關スル件御意見ノ通 (電文) (大正三・一一・二六・普通學務局回答)

○休職小學校教員ハ教員定數以外トシ其休職給ハ義務額外支出トシテ市町村ニ強制スルコトヲ得

〔問〕 一、休職小學校教員ハ小學校ニ於ケル教員定數以外ト見ルヘキカ

二、定數以外ノ場合ニハ其ノ休職給ハ明治三十年勅令第二號市町村立小學校教員俸給ニ關スル規定第一條ニヨル義務額以外ノ支出ナルヘキカ

三、若シ義務額以外ノ支出トセハ市町村ニ之カ支出ヲ強制スルコトヲ得ヘキカ

〔答〕 右ハ總テ御意見ノ通 (大正三・一一・二・福島縣照會) (大正四・四・二七・普通學務局回答)

○小學校教員休職給支給上特別ノ事情トハ非常災害等ニ依リ市町村財政上支給困難ナル場合ヲ指ス

(大正三・一一・三 各地方廳へ普通學務局通牒) (發 普 四七七號)

過般改正相成候小學校令施行規則第五十三條中「特別ノ事情アル場合」ノ意義ニ關シ某縣ヨリ本省へ照會有之右ニ對シ省議ヲ經左記ノ通回答致置候條御了知相成度爲念此段及通牒候也

客月二十三日教第六一四九號ヲ以テ小學校令施行規則第五十三條中特別ノ事情アル場合ノ意義ニ關シ御照會ノ處右ハ主トシテ市町村等ノ財政狀態ヲ顧慮セラレタルモノニシテ非常災害等ノ爲當該市町村等ニ於テ休職給ヲ支出スルヲ得サルカ如キ場合ヲ指シタル儀ト被存候條御了知相成度此段及回答候也

○陸海軍現役ニ服スル小學校教員休職給ハ非常災害等ニ依リ市町村財政上困難ナル場合不支給差支ナシ

〔問〕 小學校令施行規則第百貳拾參條前段ニ依リ休職者ニ休職給支給困難ナル町村アリ特別ノ事情ト認メ給セサルモ差支ナキヤ御指揮ヲ乞フ (電文) (大正三・一一・四・鹿兒島縣照會) (大正三・一一・七・普通學務局回答)

【答】 小學校教員休職給支給ニ關スル件本月三日發普四七七號通牒ノ事情アル場合ハ之ヲ給セサルモ差支ナシ(電文)

○小學校教員療治料金額ハ準則規定額ヲ下スコトヲ得ス (大正四・七・山形縣照會) (大正四・七・一七・普通學務局回答)

【問】 小學校教員療治料金額ハ特別ノ事情アル者ニ對シ準則第二條第三條ノ額ヲ下シ給與スルコトヲ得ヘキカ(電文)

【答】 小學校教員療治料金額ハ總テ準則規定ノ額ヲ下スコトヲ得サル儀ト御承知アリタシ(電文)

○公立小學校教員疾病療治料ハ小學校令ノ施行規則第二百二十六條第二號前段ニ依ル退職者ニモ支給

【問】 公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中ニ「兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病ニ罹リ退職ヲ命セラレタル者ニハ云々」トアルハ兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病ニ罹リタル者ニ對シ小學校令施行規則第二百二十六條第一號ニ依リ退職ヲ命シタル場合ニ限り療治料ヲ給スヘキ義ト被存候處尙同病ノ者ニシテ同條第二號前段ニ依リ退職ヲ命シタル場合ニモ同様疾病療治料ヲ支給スヘキ儀ニ有之候哉 (大正四・九・二一・宮城縣照會)

【答】 右ハ小學校令施行規則第二百二十六條第二號前段ニ依リ退職ヲ命セラレタル場合ニ於テハ疾病療治料ヲ支給スヘキ儀ニ有之候 (大正四・十・十一・普通學務局回答)

○市町村立小學校教員俸給旅費其他諸給與等ノ一部ヲ種々ノ名義ニテ寄附セシムルハ不可然ニ付嚴重監督方

(大正八・九・二七 各地方廳へ普通學務局通牒) 發普 六六五號

曩ニ勅令第三百四十號ノ公布ニ關シ七月十四日發普五〇九號ヲ以テ市町村立小學校教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與ノ件通牒爾來右趣旨徹底方ニ關シ着々御盡力ノ結果其ノ待遇漸次改善ヲ見ルニ至リ候處是等市町村ニシテ種々ノ名義ヲ以テ諸給與ノ一部ヲ寄附セシメ教員ノ實收入之ニ伴ハサル尙有之哉ニ聞及ヒ候斯ク如キハ固ヨリ稀有ノ事實トハ存シ候ヘ共當ニ優遇ノ趣旨ニ戻ルノミナラス事態不可然儀ト被認候ニ付嚴重御監督相成度依命此段及通牒候也

○一年現役小學校教員ニ對スル俸給ノ給與並増俸ニ關シ注意方 (大正十・一・二二 各地方廳へ普通學務局通牒) 發普 一五二號

一、一年現役兵ニシテ一年現役兵條例第四條及第六條ニ規定スル事故ニ依リ現役年期ノ起算日以後ニ入營シタル者アル場合

ニハ其ノ者ノ俸給ハ其ノ起算日ヨリ服役シタルモノトシテ取扱フコト

二、一年現役兵トシテ服役スル市町村立小學校正教員ニ對シ増俸ノ必要アル場合ハ成ルヘク入營前又ハ除隊後増俸スルコト

○小學校令施行規則第五十七條ニ依リ死亡賜金ヲ給與スヘキ遺族ノ解釋及順位

【問】 小學校令施行規則第五十七條第一項ノ遺族ノ解釋及順位ハ同條第二項ニ於テ判任官俸給令第十三條第二項及第三項ノ規定ヲ準用スト明記有之候處單身ニテ戶主ナル小學校教員日野孝之死亡シ其ノ死亡前遺言ニ依リ家督相續人ニ指定シタル如キ場合ニ於テモ之ヲ遺族トシテ死亡賜金給與差支無之候哉疑義相生シ候條至急何分ノ御回示相煩ハシ度

【答】 單身戶主小學校教員死亡ニ當リソノ死亡前遺言ニヨリ家督相續人ヲ指定シタル場合ハ之ヲ死亡當時同一戶籍内ニアル遺族トシテ死亡賜金給與シテ差支ナシ (大正一一・二〇・兵庫縣照會) (大正一一・四・二二・普通學務局回答)

○一年現役小學校教員俸給費國庫負擔金支出法

(昭和二・六・一三 各地方廳へ普通學務局通牒) 熊普 二一號

【問】 一年現役小學校教員俸給費國庫負擔金ヲ市町村ニ交付スルトキハ大正十年文部省訓令第十號第五條ニ依リ概算渡ノ方法ニ依ルヘキモノニ有之候處右交付時期カ八月ノ退營以後トナリタル場合ハ概算渡ノ方法ニ依ラス精算拂トナスコトヲ得ヘキモノニ候哉

【答】 右負擔金ヲ市町村ニ交付スル時期カ八月ノ退營以後トナリタル場合ハ精算拂ニ依ルヘキモノト御了知相成度

○小學校教員死亡給與金ノ負擔區分ニ關スル疑義

(昭和二・一〇・一五 各地方廳へ普通學務局通牒) 岐普 三六號

【問】 小學校令施行規則第五十七條ニ依リ小學校教員死亡ノ際其ノ遺族ニ給スヘキ給與金中へ加俸ニ對スル分モ加算スルコトハ既ニ御指示ノ通ニ有之而シテ該給與金中俸給ニ對スル分ハ其ノ俸給支出ノ町村等ノ負擔ニシテ縣ヨリ支給スル加俸ニ對スル分ハ縣ノ負擔スヘキモノナリヤ (岐阜縣照會)

【答】 右ハ俸給ニ對スル分ト共ニ町村等ノ負擔スヘキモノト御了知相成度

○一年現役小學校教員ノ死亡賜金給與ニ關スル疑義

(昭和二・二・七 各地方廳へ普通學務局函答) 非普二・二五 號

【問】 小學校教員在職中死亡セシモノニ對シテハ市町村之ニ死亡賜金ヲ給與シ居ルモ師範學校卒業後直ニ一年現役兵トシテ入營セシモノカ入營死亡シタルモノニ對シテハ之ニ死亡賜金ヲ被任命學校所屬市町村ニ於テ給與スヘキモノナルヤ又事實上ニ於テ右ニ俸給ヲ給スル者即チ國庫ノ負擔トスヘキモノナルヤ尙入營中ハ俸給月額ノ三分ノ二ヲ減スルモノナレハ俸給ノ三分ノ一ヲ以テ月俸額ト定ムヘキモノナルヤ (福井縣照會)

【答】 右死亡賜金ハ學校所屬市町村ニ於テ給スヘク又右給與ノ基礎トナルヘキ月俸額ハ三分ノ二ヲ減セサル全額ヲ指スモノト御了知相成度

○市町村立小學校教員俸給ニ關スル疑義

(昭和五年 佐賀縣照會) (昭和五・五・二 普通學務局函答) 四月二八日 佐普一・一號

【問】 明治三十年勅令第二號市町村立小學校教員俸給ニ關スル件第二條第三項中其ノ俸給額トアルハ實際俸給支給額ノ意ナラヤ又ハ前年度豫算決議ニ基ツク俸給額ノ意ナルヤ至急電信ニテ御返信相煩度

【答】 市町村立小學校教員俸給ニ關スル件第二條第三項中其ノ俸給額トアルハ實際俸給支給額ノ意ナリ(以上電文)

(三) 中學校、高等女學校

○中學校高等女學校職員懲戒處分ニ依レル減俸徵收方

(明治三四・二・一 山形縣照會) (明治三四・四・一 普通學務局函答) 發三第一六五號 丑普中一・一四二號

【問】 一、中學校高等女學校等職員ニシテ文官懲戒令ニ依リ減俸ニ處セラレタルモノノ徵收方ハ従前ノ懲戒例ニ於ケル罰俸ト同一ノ手續ニ依リ可然乎又ハ改正懲戒令ニハ減俸トナリタルヲ以テ其方法ハ俸給令第十五條ニ依リ發令ノ翌日ヨリ計算セサルヲ得サルカ若シ後段ノ如クセハ其月三十日ニ一ヶ月間月俸十分ノ一ノ減俸ニ處セラレタルトキハ

其翌三十一日一日分ヲ減スルニ止マルカ又ハ一ヶ月ヲ三十日ト計算シ翌月ニ涉リ徵收スヘキカ

二、懲戒處分後減俸徵收半途ニシテ他府縣公立學校ニ轉任シタルモノハ其不足ヲ轉任先管理廳ニ於テ徵收スヘキヤ

【答】 第一項 後段御見解ノ通但翌月ニ涉リ計算スヘキ儀ニ有之其計算方ハ例へハ月ノ三十日ニ一ヶ月間ノ減俸ニ處セラレタルモノナルトキハ翌三十一日ヨリ起算シ其起算應當日ノ前日即チ翌月三十日ヲ以テ終了ス尤モ其翌月ニ於テ起算應當日即チ三十日ニ滿タサル月アルトキハ其末日ヲ以テ終了スル儀ニ有之候 第二項 御見解ノ通

○縣立中學校長ヨリ學習院教授ニ轉任シタル者ハ退職者ト見做シ俸給支給方

【問】 本縣々立中學校長ヨリ直ニ學習院教授ニ任用セラレタル者有之候處右任用ハ轉任ト認メ辭令發布ノ當日ヲ以テ打切日割計算ニテ月俸ヲ支給シ之ニ反シテ其退官給與金ハ經濟ノ異ナル點ヨリ通算ノ途ナキヲ以テ之レヲ退官ト見做シ支給セリ然ルニ今退官給與金ヲ給スル以上八月俸ノ日割殘額モ亦支給セサルヘカラストノ異論起リ右官内省ハ他ノ官衙トモ違ヒ異例モ有之兩者二重ノ支給ニ關セス日割殘額ヲ給スヘキ筋ニ候哉 (明治三五・三・一四 栃木縣照會)

【答】 右ハ普テ及御回答候通り前職ハ自然退職ト見做シ退職給與金ヲ給與シ得ヘキモノニ有之候ニ付テハ之レカ俸給支給方モ亦退職者同様ニ御取扱相成可然存候 (明治三五・三・一九 會計課函答)

(四) 實業學校

○實業學校職員俸給旅費等支給額ニ關スル注意

(明治三二・六・八 滋賀縣へ專門學務局通牒) 亥普甲八二〇號

本年三月三十一日付内三發第五一一號ヲ以テ御伺出相成候實縣公立實業學校職員ノ俸給旅費其他諸給與ニ關スル規程ノ件ハ別途御伺出ノ縣立實業學校職員俸給旅費其他諸給與規程ニ比シ非常ニ差等有之候處右ハ實業補習學校ノミニ適用スルニハ敢テ不都合無之ト存候得共其他ノ實業學校ニ在テハ設立者ノ相違ニ依リ其學校職員ノ待遇ニ甚シク差等ヲ付スルハ不宜ト存候條再調ノ上何分ノ義更ニ御申出相成度依命此段及通牒候也

○實業補習學校準訓導存置及俸給額制定方

(明治三六・四・十香川縣照會) (明治三六・四・二〇實業事務局回答)

【問】 今回勅令第六十六號公立學校職員俸給令ヲ發布セラレ候處右俸給令ニ依レハ實業補習學校訓導ノ俸給ヲ規定セラレ准訓導俸給ノ規定無之ヲ以テ今後ハ補習學校準訓導ハ認メラレサル様ニモ相見エ候然ルニ實業補習學校ニ准訓導ヲ置クハ地方事情ニヨリ必要ノ場合モ可有之又實業學校令第十二條ノ規定モ有之候ニ付從來ノ通存置シ其俸給ヲ本縣限リ制定スルモ強テ差支無之様被存候ヘトモ聊疑義ヲ生シ候條至急何分ノ御回示相成度此段及照會候也

【答】 右ハ後段御見解ノ通ニ有之候

(五) 學 校 醫

○醫學校囑託學校醫ニ手當支給方

(明治三一・五・十京都府照會) (明治三一・五・三〇高等學務局回答)

【問】 本年勅令第二號ヲ以テ學校醫設置ノ件御公布相成候處同令第四條ニ於テ學校醫ニハ其學校經費ヨリ相當ノ手當ヲ給スヘシト有之候ヘ共當府學校醫ノ如キハ校醫ヲ同校教員ニ囑託シ其手當ヲ給セサルモ差支無之候哉

【答】 右ハ本年勅令第二號第四條ノ明文有之ニ付手當ヲ給セサル儀ニ候條省議ヲ經テ此段及回答候也

○學校醫手當支給方

(明治三一・六・一五富山縣及各地方廳へ普通學務局通牒)

學校醫設置ニ關スル御疑問ノ件ニ付三月二十六日戌普甲四二〇號ヲ以テ御回答ニ及置候處其第三學校醫ノ手當ハ必スシモ囑託ノ際辭令ヲ以テ之ヲ定ムルニ限ラス便宜該手當ヲ支給スル場合ニ臨ミ辭令ヲ交付セラルルモ差支無之筈ニ候又該手當ハ月渡ニスルモ年末若クハ年度末渡ニスルモ總テ費官ノ御見込ニ依リ御取扱相成可然儀ニ有之候此段及通牒候也

○學校醫出張旅費支給方

(明治三二・五・二九群馬縣照會) (明治三二・六・十專門學務局回答)

【問】 一、身體検査等學校醫ノ職務取扱ニ關シ聯絡統一ヲ保ツ爲メ中學校醫ヲ本校ニ召集シ又ハ本校醫ヲ分校ニ出張セシ

メ若クハ修學旅行等ニ際シ學校醫ヲ出張セシムル必要有之場合ニ於テハ手當ノ外ニ旅費ヲ支給スルモ差支無之哉

二、前項支給スルモ差支ナシトスレハ其ノ支給額並支給方法ニ關シテハ特ニ規定ヲ設ケサル可カラサルカ或ハ判任官待遇職員同様ノ振合ヲ以テ支給スルモ差支無之哉

【答】 公務ヲ以テ出張スル者ニ對シ旅費ヲ支給スルハ當然ノ儀ト認メラレ候ニ付費官限リ其支給額並支給方法ニ關スル規程ヲ設ケラレ相當旅費支給相成可然此段及回答候也